

障 害 者 基 礎 調 査 報 告 書

平成23年（2011年）1月

練 馬 区

はじめに

練馬区では、障害のある方の一人ひとりの人権を尊重し、どんなに障害が重くとも地域のなかで自分らしい自立した生活ができる社会を目指して、改定練馬区障害者計画（平成19年度～22年度）および第二期障害福祉計画（平成21～23年度）を策定し、障害者施策を展開してきました。

現在、国では障害者福祉施策の見直しを行っています。その中で、障害者基本法の改正や障害者総合福祉法（仮称）の制定等の議論が、障がい者制度改革推進会議や障がい者制度改革推進会議総合福祉部会等で行われています。

こうした状況のなか、区は新たな練馬区障害者計画の策定に向け、まずは障害のある方やご家族、介助・援助者の方に生活実態、ご意見・ご要望を伺うことが必要と考え、障害者基礎調査を実施いたしました。

このたび調査結果を本書にまとめました。今後、次期練馬区障害者計画策定の基礎資料として練馬区障害者計画懇談会などにおいて、十分に分析・活用し、障害のある方が自立して生活できるよう、引き続き積極的に障害者施策を展開してまいります。

結びにあたりまして、本調査に回答をお寄せいただいた障害のある方やご家族の皆様、介助・援助者の皆様に心から御礼申し上げます。

平成23年1月



練馬区長 志村 豊志郎

障害者基礎調査報告書

目次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査対象	1
3	調査時期	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	主な調査項目	2
II	調査結果	4
1	調査結果の概要	4
2	基本属性	8
(1)	性別	8
(2)	年齢	8
(3)	調査票の記入者	8
(4)	現在の居住場所	9
(5)	居住形態・施設入居年数（施設入居者のみ）	9
(6)	同居者（複数回答）	9
(7)	障害の程度	10
(8)	障害の種類（身体障害者）	11
(9)	障害程度区分認定の状況	12
(10)	発達障害、高次脳機能障害、難病等の診断状況	12
3	介助・援助の状況について	13
(1)	主な介助・援助者	13
(2)	介助・援助を受けている場面（複数回答）	14
(3)	介助・援助者が不在のときに希望する対応（複数回答）	18
(4)	必要とする手助け（介助・援助）を受けられているか	21
(5)	必要だが受けられていない介助・援助の内容（自由回答）	24
4	日中の過ごし方について	25
(1)	日中の主な過ごし方（場所）	25
5	教育について	27
(1)	通園・通学先	27
(2)	通園・通学に際し充実してほしいこと（複数回答）	27

6	雇用・就労について.....	28
	(1) 就労形態.....	28
	(2) 職場の所在地.....	31
	(3) 1年間の就労収入.....	32
	(4) 仕事をする上での不安や不満（複数回答）.....	33
	(5) 今後の就労意向.....	37
	(6) 働いてみたいと思う仕事の形態.....	40
	(7) 「働きたいが、働けないと思う」理由（自由回答）.....	42
	(8) 働くために整っていることが大切だと思う環境（複数回答）.....	43
7	外出や社会参加の状況.....	48
	(1) 外出頻度.....	48
	(2) 外出の際に困っていること（複数回答）.....	51
	(3) 最近の活動状況（複数回答）.....	56
	(4) 今後の活動意向（複数回答）.....	56
	(5) 最近の活動状況と今後の活動意向の比較.....	57
	(6) 活動に参加するために必要な支援（複数回答）.....	60
	(7) 近所とのつきあいの状況.....	65
8	健康状態や医療について.....	66
	(1) 過去1年間の健康診断（健康診査）の受診状況.....	66
	(2) 健康診断（健康診査）の未受診理由（複数回答）.....	67
	(3) 健康管理・医療について困ったことや不便なこと（複数回答）.....	68
9	相談や情報入手について.....	72
	(1) 悩みごとや心配ごとの相談先（家族・親せき以外）（複数回答）.....	72
	(2) 悩みごとや心配ごとの相談方法（精神障害者のみ）（複数回答）.....	77
	(3) 家族・親戚以外に相談するために必要な相談体制（自由回答）.....	78
	(4) 障害福祉サービスなどの情報の入手先（複数回答）.....	80
	(5) 障害福祉サービスの情報提供を充実するために区がすべきこと（自由回答）.....	86
	(6) コミュニケーションの手段・機器等の利用状況（身体障害者のみ）（複数回答）.....	87
	(7) コミュニケーションや情報取得支援のために充実してほしいこと（複数回答）.....	90
10	障害福祉サービスについて.....	92
	(1) 最近1年くらい間に利用したサービス（複数回答）.....	92
	(2) 今後も引き続き、あるいは新たに利用したいと思うサービス（複数回答）.....	99
	(3) 最近1年間のサービス利用状況と利用意向（複数回答）.....	105
	(4) 必要だと思うサービスを十分利用できているか.....	108
	(5) 必要だと思うサービスを十分利用できていない理由（複数回答）.....	111
	(6) サービスを利用しやすくするために必要なこと（自由回答）.....	112

11	将来について.....	114
	（1）今後の日中の過ごし方について.....	114
	（2）将来、暮らしたい場所.....	121
	（3）練馬区の居住継続意向.....	124
12	災害対策や消費者被害について.....	125
	（1）災害時の避難場所の認知状況.....	125
	（2）避難場所まで自力避難の可能性.....	128
	（3）災害に備えて必要と思う対策（複数回答）.....	131
	（4）消費者被害・トラブル等の被害経験・被害にあいそうになった経験（複数回答）.....	136
	（5）被害にあった・あいそうになったときの相談先（複数回答）.....	137
13	差別や人権侵害について.....	140
	（1）差別や人権侵害を受けていると感じることの有無.....	140
	（2）差別や人権侵害を受けていると感じるとき（自由回答）.....	142
	（3）地域で障害に対する理解を得られていると感じるか.....	143
	（4）地域で障害に対する理解を得られている、または得られていないと感じるとき.....	145
14	障害者施策全般に関して.....	147
	（1）区に充実してほしい施策（複数回答）.....	147
	（2）ご意見・ご要望（自由回答）.....	155
15	障害の表記について.....	158
	（1）希望する表記.....	158
	（2）その表記を希望する理由（複数回答）.....	159
16	介護・援助者の意向.....	160
	（1）介助・援助するにあたって、困っていること(複数回答).....	160
	（2）将来、本人に暮らしてほしい場所.....	168
	（3）地域で暮らすことの可能性（施設入所者のみ）.....	173
	（4）地域で暮らすための支援や環境（施設入所者のみ）(複数回答).....	174
	（5）介助・援助者の意向（自由回答）.....	176
Ⅲ	資料編.....	179
	1 調査票.....	179
	2 単純集計結果.....	213

I 調査概要

1 調査目的

平成 19 年 3 月に策定した「改定練馬区障害者計画(計画期間:平成 19 年度から 22 年度)」の見直し、「次期練馬区障害者計画」を策定するため、障害のある区民の意向を把握するアンケート調査を行い、計画策定の基礎データとして活用することを目的として実施した。

2 調査対象

身体障害者手帳所持者、愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者から、合計 5,000 名を無作為抽出した。抽出率は、各手帳所持者の概ね 20%程度を目安とした。また、施設入所者の意向についても把握するため、入所者のうち、知的障害者 80 名、身体障害者 20 名の合計 100 名を無作為抽出した。

※平成 22 年 3 月 31 日現在

	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	施設入所者
手帳所持者数	18,672	3,655	3,739	412
対象者数	3,600	650	650	100

【身体障害者数内訳】

	障害者	対象者数
視覚障害	1,434 人	290 人
聴覚平衡機能障害	1,636 人	320 人
音声言語機能障害	240 人	50 人
肢体不自由	9,652 人	1880 人
内部障害	5,710 人	1060 人

3 調査時期

平成 22 年 6 月～7 月

4 調査方法

郵送配付・郵送回収

5 回収状況

	対象者数	回収数	有効回収数	有効回収率
身体障害者	3,600	2,074	2,064	57.3%
知的障害者	650	353	350	53.8%
精神障害者	650	314	311	47.8%
施設入所者	100	95	94	94.0%
合計	5,000	2,836	2,819	56.4%

6 主な調査項目

基本属性

- ・ 性別、年齢、調査票の記入者、居住場所、居住形態、同居者、障害の程度 等
- ・ (身体障害者手帳保有者のみ) 障害の種類

介助・援助の状況

- ・ 主な介助・援助者、介助・援助を受けている場面、介助・援助者不在時に希望する対応 等

日中の過ごし方

- ・ 日中の主な過ごし方

教育について

- ・ 通園・通学先、通園・通学するなかでもっと充実してほしいこと

雇用・就労について

- ・ (就労者のみ) 就労形態、職場の所在地、1年間の就労収入、仕事をする上での不安や不満
- ・ (非就労者のみ) 今後の就労意向、希望する就労形態、働きたいが働けないと思う理由
- ・ 働くために整っていることが大切だと思う環境

外出や社会参加の状況

- ・ 外出頻度、外出の際に困っていること、最近の活動状況、近所づきあいの状況 等

健康状態や医療について

- ・ 健康診断(健康診査)の受診状況、健康管理・医療について困ったことや不便なこと 等

相談や情報入手について

- ・ 悩みごとや心配ごとの相談先、障害福祉サービスなどの情報の入手先 等
- ・ (精神障害者のみ) 悩みごとや心配ごとの相談方法
- ・ (身体障害者のみ) コミュニケーションの手段・機器等の利用状況 等

障害福祉サービスについて

- ・ 最近 1 年間に利用したサービス、今後利用したいサービス、必要だと思うサービスが十分利用できているか、サービスを利用しやすくするために必要なこと 等

将来について

- ・ 希望する日中の過ごし方、将来、暮らしたい場所、練馬区への居住継続意向

災害対策や消費者被害について

- ・ 災害時の避難場所の認知状況、災害に備えて必要と思う対策、消費者被害の状況 等

差別や人権侵害について

- ・ 差別や人権侵害を受けていると感じることの有無、地域での障害に対する理解の状況 等

障害者施策全般について

- ・ 練馬区に充実してほしい施策、意見・要望

障害の表記について

- ・ 希望する障害の表記、その表記を希望する理由

介護・援助者の意向

- ・ 介助・援助するにあたって、困っていること、将来、本人に暮らしてほしい場所 等
- ・ (施設入所者のみ) 地域で暮らすことの可能性 等

【この報告書における調査結果の見方】

【数値等について】

- 調査結果のグラフの数値は、回答率（％：パーセント）で表示している。（％）の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は全体及びnで示している。
- （％）の数値は、小数点第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の数値の合計が必ずしも100.0%とならない場合がある。
- 回答は、単数回答（○は1つ）と複数回答（○はいくつでも）の2種類がある。複数回答設問の場合、その回答割合（％）の合計は100.0%を超える場合がある。
- 各項目について、グラフ等が複数ページにまたがる場合は、囲みの中に全体的な傾向についての分析結果を記載したのち、各障害の結果を掲載している。
- 必要に応じて、年齢区分別、障害の程度別、障害の種類別（身体障害者のみ）、主な介護・援助者別等の傾向について分析している。なおこれらの分析において、例えば年齢区分別の場合、年齢無回答については数表に表記していない。そのため、0～17歳の回答者数と18～64歳の回答者数、65歳以上の回答者数の合計は全体の回答者数の合計と一致していない。障害の程度別など他の分析についても表記は同様である。
- 図表やコメント部分での回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。なお、数表において問番号に*がついている場合は、選択肢等を統合するなどの加工をしている。正式な回答の選択肢は、調査票を参照のこと。

Ⅱ 調査結果

1 調査結果の概要

調査について、全体の結果を簡潔に把握できるよう、概要をまとめた。対象者については、身体、知的、精神、施設と省略して記載している。詳細・グラフ等については、参照頁をご覧ください。

* 基本属性

身体では60歳以上が72.4%を占め、知的では30代までで68.6%、精神、施設は40～50代で半数(50.2%、53.2%)を占めている。(8頁)

障害程度内訳は、身体では、重度(1・2級)52.0%、中度(3・4級)35.8%、軽度(5・6級)9.2%となっている。知的では、最重度・重度(1・2度)36.9%、中度22.0%、軽度38.9%となっている。精神では、1級12.2%、2級52.1%、3級32.5%となっている。(10頁)

身体障害者手帳に1番目に記載された障害種類の内訳(施設を除く)は、「肢体不自由(上肢、下肢等)」が35.0%と最も多く、次いで「内部障害」29.1%、「肢体不自由(体幹)」10.4%、「聴覚障害」7.7%、「視覚障害」6.4%と続いている。(11頁)

* 介助・援助の状況について

身体の60.2%、知的の86.6%、精神の69.5%は、ふだん何らかの介助・援助を受けている。最も長く介助・援助している人としては、身体では「配偶者」48.7%、知的では「父、母」82.2%、精神では「父・母」40.7%が最も多くなっている。(13頁)

ふだんの生活の中で、「必要だが、受けられていない介助・援助がある」と回答した人は、身体では8.4%、知的では12.9%、精神では18.0%となっている。(21頁～23頁)

* 日中の過ごし方について

日中の主な過ごし方について、身体では「自宅にすることが多い」60.4%、知的では「働いている」36.3%、精神では「自宅で静養中である」49.2%がそれぞれ最も多くなっている。

現在働いている人の割合をみると、身体では14.6%、知的では36.3%、精神では17.7%となっている。(25頁～26頁)

* 教育について

現在の通園・通学先では、「特別支援学校」が身体 43.4%、知的 59.8%と最も多い。次いで、身体では「通常の学級」28.3%、知的では「特別支援学級」25.8%となっている。

通園・通学に際し充実してほしいこととしては、身体では「施設・設備などを充実させてほしい」が45.3%、知的では「夏休みなど長期休みの際の実施を充実させてほしい」が63.9%と、最も多くあげられている。(27頁)

* 雇用・就労について

現在、働いている人の就労形態は、身体では「会社・団体等の正規の職員、役員」46.0%が最も多く、知的と精神では「福祉作業所、授産施設等」が、知的 49.6%、精神 52.7%と、最も多くあげられている。(28頁～30頁)

1年間の就労収入は、身体では「100万円～400万円未満」が39.7%、知的と精神では20万円未満は約5割となっている。(32頁)

働くために大切な環境としては、身体と精神では「健康状態にあわせた働き方ができること」が最も多くあげられ、知的では「事業主や職場の人たちが障害者雇用を理解していること」、施設では「障害のある人に適した仕事があること」が最も多くあげられている。(43頁～47頁)

* 外出や社会参加の状況

「月に2～3日」あるいは「ほとんど外出しない」人が身体では14.9%、知的では6.9%、精神では11.0%みられる。(48頁～50頁)

外出の際に困っていることとしては、身体では「歩道が狭く、道路に段差が多い」、知的では「まわりの人と話すのがむずかしい」、精神では「他人の視線が気になる」をあげる人がそれぞれ最も多い。(51頁～55頁)

希望する活動に参加するために必要な支援として最も多くあげられているのは、身体では「障害のある人に配慮した施設や設備があること」、知的では「介助者・援助者がいること」、精神では「活動する場所が近くにあること」である。(60頁～64頁)

* 健康状態や医療について

過去1年間に健康診断(健康診査)を受けていない人は、身体では24.0%、知的では15.1%、精神では38.3%である。(66頁)

健康管理や医療について、困ったことや不便なこととしては、身体と精神では「医療費の負担が大きい」をあげる人が最も多いが、知的では「障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない」が最も多くなっている。(68頁～71頁)

* 相談や情報入手について

家族や親せき以外の悩みごとや心配ごとの相談先としては、身体では「友人・知人」23.3%、知的では「福祉施設の職員」26.0%、精神では「病院・診療所」46.0%、施設では「福祉施設の職員」69.1%が最も多くあげられている。知的では「総合福祉事務所の相談窓口」24.6%、精神では「保健相談所（保健師など）」16.1%も相談先として多い。（72頁～76頁）

障害福祉サービスなどの情報の入手先としては、「ねりま区報」がいずれの障害でも多く、身体では50.1%、知的では40.0%、精神では26.7%となっている。知的では「学校、職場、施設」28.6%、精神では「病院など」29.9%も多い。（80頁～85頁）

* 障害福祉サービスについて

最近1年間に利用した障害福祉サービスについて、身体と知的では「タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成」の利用割合が、身体38.6%、知的29.4%と最も多く、精神では、「病院や診療所のデイケア」が31.4%と最も多い。なお、いずれの障害でも3割前後の人が最近1年間にサービスを利用していない。（92頁～98頁）

「今後利用したいサービス」が、「利用したことがあるサービス」を大きく上回っているものは、身体では、「タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成」、「住宅設備改善費の給付」である。知的では、「短期入所（ショートステイ）・緊急一時保護」、「移動支援」、「グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス」である。精神では、「ホームヘルプなどの訪問系サービス」となっている。（105頁～107頁）

必要だと思うサービスを十分に利用できていないと考えている人は、身体では19.6%、知的では25.1%、精神では24.1%となっている。必要だと思うサービスを十分に利用できていない理由としては、身体と知的では「どのようなサービスがあるかわからないから」が最も多く、精神では、「利用の仕方がわからないから」が最も多くなっている。

（108頁～111頁）

* 将来について

将来、暮らしたい場所については、「家族と一緒に暮らしたい」がいずれの障害でも5割前後と最も多い。「ひとりで暮らしたい」は身体と知的で約1割に対し、精神では2割以上と多く、知的では、「グループホーム・ケアホームで暮らしたい」が家族との同居に次いで多くなっている。施設では、「施設に入所して暮らしたい」が4割と最も多いが、「家族と一緒に暮らしたい」も2割強となっている。（121頁～123頁）

練馬区に住み続けたいかについては、いずれの障害も「住み続けたいと思う」が多く、身体では76.1%、知的では72.3%、精神では66.2%、施設では47.9%となっている。

（124頁）

* 災害対策や消費者被害について

災害時の避難場所を知っている人の割合は、身体では 67.6%、知的では 54.3%、精神では 50.5%となっている。避難場所を知っている人のうち、自力で避難できる人は、身体では 55.2%、知的では 52.6%、精神では 69.4%となっている。(125 頁～130 頁)

* 差別や人権侵害について

障害があることで、差別や人権侵害を受けていると感じている（「いつも感じる」「たまに感じる」の合計）人の割合は、身体では 23.7%、知的では 55.1%、精神では 52.1%、施設では 24.4%となっている。(140 頁～141 頁)

* 障害者施策全般に関して

今後、障害者施策を進めていくうえで、区に充実してほしい施策としては、「障害者や高齢者に優しい「福祉のまちづくり」の推進」がいずれの障害でも上位にあげられている。また、知的と精神では「就労支援の充実を図ること」が最も多くあげられている。

(147 頁～154 頁)

* 障害の表記について

「障害」という言葉の表記については、いずれの障害でも「こだわりはない（どれでもよい）」を選んだ人が最も多く、その理由としては、「表記だけ変えても意味がないから」が最も多くなっている。知的では、「障がい」を選んだ人が他の障害より多くなっている。

(158 頁～159 頁)

* 介護・援助者の意向

主な介護・援助者が介助・援助をするにあたって、困っていることとしては、「年齢的に負担が大きい」、「精神的な負担が大きい」、「経済的な負担が大きい」が上位にあげられている。特に、知的の介助・援助者の回答では、他の障害と比べて、障害の程度が重いほど、負担感が大きい傾向がみられる。(160 頁～167 頁)

将来、本人に暮らしてほしい場所としては、いずれの障害でも「現在の家族と一緒に暮らしてほしい」が最も多くなっている (168 頁～169 頁)。

2 基本属性

(1) 性別

本調査における回答者の性別は、身体障害者では男性が 48.7%、女性が 49.1%である。

知的障害者は、男性が 61.1%、女性が 37.4%である。

精神障害者は、男性が 42.4%、女性が 55.6%である。

施設入所者は、男性が 54.3%、女性が 44.7%である。

		男 性	女 性	無回答
身体障害者	(n=2,064)	48.7%	49.1%	2.2%
知的障害者	(n=350)	61.1%	37.4%	1.4%
精神障害者	(n=311)	42.4%	55.6%	1.9%
施設入所者	(n=94)	54.3%	44.7%	1.1%

(2) 年齢

身体障害者の年齢は、60 歳以上が 72.4%を占め、平均年齢は 66.1 歳である。

知的障害者の年齢は、30 歳代までが 68.6%で、平均年齢は 30.7 歳である。

精神障害者の年齢は、40～50 歳代が 50.2%で、平均年齢は 49.1 歳である。

施設入所者の年齢は、40～50 歳代が 53.2%で、平均年齢は 46.7 歳である。

		10 歳未満	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代以上	無回答	平均
身体障害者	(n=2,064)	1.2%	1.5%	1.8%	3.4%	6.6%	8.8%	72.4%	4.2%	66.1 歳
知的障害者	(n=350)	7.1%	21.7%	16.9%	22.9%	17.1%	5.7%	5.4%	3.1%	30.7 歳
精神障害者	(n=311)	0.3%	1.9%	4.8%	14.8%	27.7%	22.5%	23.8%	4.2%	49.1 歳
施設入所者	(n=94)	—	—	11.7%	14.9%	30.9%	22.3%	15.9%	4.3%	46.7 歳

(3) 調査票の記入者

調査票の記入者は、身体障害者では「本人が自分一人で記入」が 65.2%である。

知的障害者では、「本人の意向を考えながら家族や介護者が記入」が 62.6%であり、「本人が自分一人で記入」は 15.7%である。

精神障害者では、「本人が自分一人で記入」が 71.1%である。

施設入所者では、「本人の意向を考えながらの家族や介護者が記入」が 46.8%であり、「本人が自分一人で記入」は 7.4%である。

		本人が自分一人で記入	本人に聞いて家族や 介助者が代筆	本人の意向を考えなが ら家族や介助者が記入	無回答
身体障害者	(n=2,064)	65.2%	16.1%	15.9%	2.8%
知的障害者	(n=350)	15.7%	19.7%	62.6%	2.0%
精神障害者	(n=311)	71.1%	10.0%	14.1%	4.8%
施設入所者	(n=94)	7.4%	42.6%	46.8%	3.2%

(4) 現在の居住場所

居住エリアは、身体障害者では、練馬が 29.3%、石神井が 28.1%である。
 知的障害者では、石神井が 29.1%、光が丘が 28.3%である。
 精神障害者では、練馬が 31.8%、石神井が 31.2%である。
 施設入所者では、練馬が 30.9%、石神井が 22.3%である。

		練馬	石神井	大泉	光が丘	無回答
身体障害者	(n=2,064)	29.3%	28.1%	18.6%	22.2%	1.8%
知的障害者	(n=350)	25.1%	29.1%	15.7%	28.3%	1.7%
精神障害者	(n=311)	31.8%	31.2%	19.9%	14.5%	2.6%
施設入所者	(n=94)	30.9%	22.3%	18.1%	11.7%	17.0%

(5) 居住形態・施設入居年数（施設入居者のみ）

現在の居住形態は、身体障害者では「自分の持ち家(購入マンションも含む)」が 48.8%と最も多く、次いで「アパート、賃貸マンション、借家」(17.1%)、「公営住宅」(13.0%)である。
 知的障害者では、「親など家族の持ち家(購入マンションも含む)」が 45.1%と最も多く、次いで「アパート、賃貸マンション、借家」(18.6%)である。
 精神障害者では、「アパート、賃貸マンション、借家」が 36.3%と最も多く、次いで「親など家族の持ち家(購入マンションも含む)」が 25.4%である。

		自分の持ち家	親など家族の持ち家	公営住宅	アパート、賃貸マンション、借家	グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム	社宅、会社の寮	福祉施設	病院に入院している	その他	無回答
身体障害者	(n=2,064)	48.8%	11.9%	13.0%	17.1%	0.8%	0.7%	2.3%	2.8%	0.8%	1.8%
知的障害者	(n=350)	9.1%	45.1%	14.9%	18.6%	3.1%	1.1%	5.7%	0.6%	0.9%	0.9%
精神障害者	(n=311)	19.0%	25.4%	10.9%	36.3%	1.3%	—	0.3%	4.5%	—	2.3%

施設入所者に、現在の施設の居住年数を聞いたところ、「5年以上～10年未満」が 48.9%と最も多く、次いで「10年以上」が 35.1%である。

		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上	無回答
施設入所者	(n=94)	2.1%	10.6%	48.9%	35.1%	3.2%

(6) 同居者（複数回答）

同居者としては、身体障害者では「配偶者(夫または妻)」が 54.5%と最も多く、次いで「息子、娘(息子または娘の配偶者も含む)」が 30.9%である。なお、14.9%の人が一人暮らしである。
 知的障害者は、81.4%が「父、母」と同居しており、40.0%は「兄弟、姉妹」と同居している。
 精神障害者では、33.1%が「父、母」と同居しており、「配偶者(夫または妻)」と同居している人は 19.3%、「息子、娘(息子または娘の配偶者も含む)」と同居している人は 10.6%である。なお、36.3%の人が一人暮らしである。

		自分一人だけで暮らしている	配偶者(夫または妻)	息子、娘	父、母	祖父、祖母	兄弟、姉妹	福祉施設の職員や仲間	その他	無回答
身体障害者	(n=2,064)	14.9%	54.5%	30.9%	11.5%	0.9%	5.5%	2.8%	3.1%	2.3%
知的障害者	(n=350)	3.4%	1.1%	0.9%	81.4%	4.6%	40.0%	9.4%	1.4%	1.7%
精神障害者	(n=311)	36.3%	19.3%	10.6%	33.1%	1.3%	9.0%	1.0%	1.6%	2.6%

(7) 障害の程度

身体障害者の障害程度内訳は、身体障害者手帳1級 37.5%、2級 14.5%、3級 15.5%、4級 20.3%、5級 4.6%、6級 4.6%である。施設入所者では1級 56.0%、2級 20.0%が多い。

		1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
身体障害者	(n=2,064)	37.5%	14.5%	15.5%	20.3%	4.6%	4.6%	3.0%
施設入所者	(n=25)	56.0%	20.0%	8.0%	8.0%	—	4.0%	4.0%

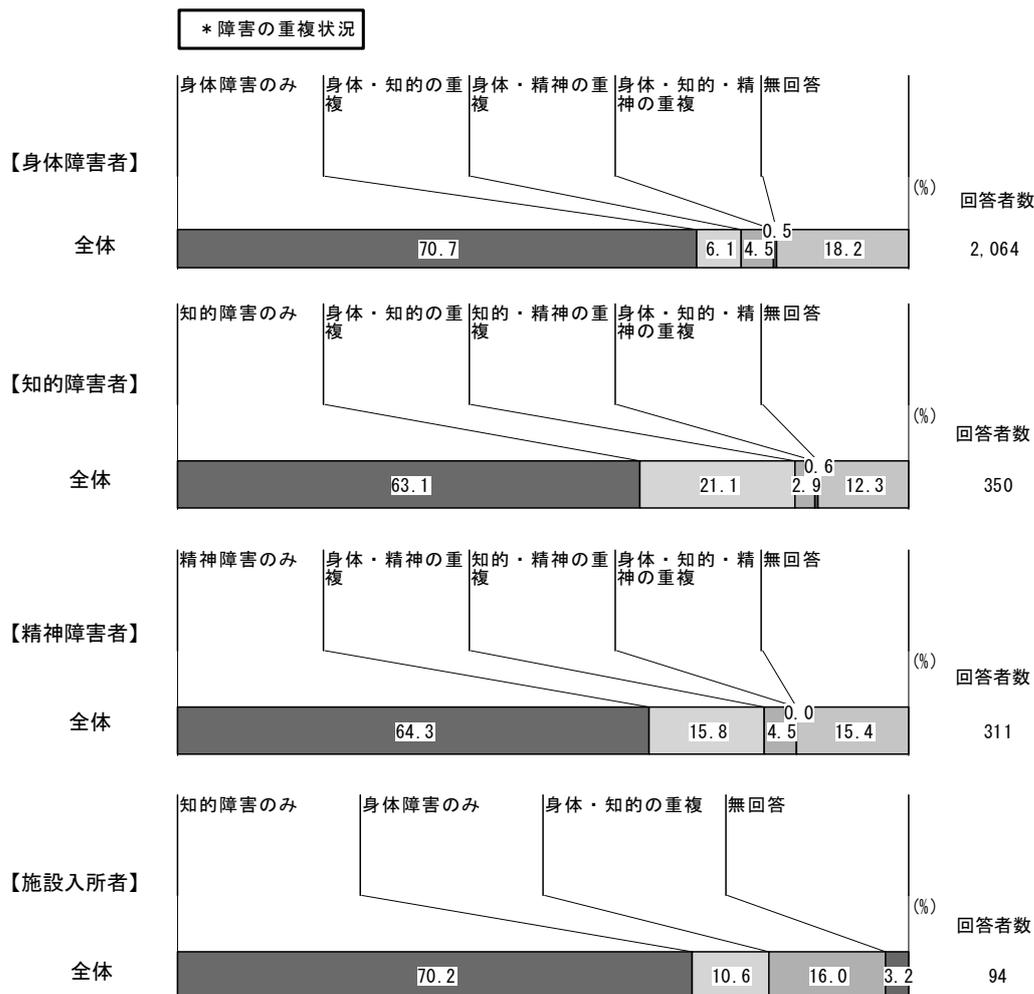
知的障害者の障害程度内訳は、愛の手帳1度 4.0%、2度 32.9%、3度 22.0%、4度 38.9%である。施設入所者では、2度 49.4%、3度 30.9%が多い。

		1度	2度	3度	4度	無回答
知的障害者	(n=350)	4.0%	32.9%	22.0%	38.9%	2.3%
施設入所者	(n=81)	2.5%	49.4%	30.9%	14.8%	2.5%

精神障害者の障害程度内訳は、精神障害者保健福祉手帳1級 12.2%、2級 52.1%、3級 32.5%である。

		1級	2級	3級	無回答
精神障害者	(n=311)	12.2%	52.1%	32.5%	3.2%

なお、回答者の手帳の保有状況より、障害の重複状況をみると、身体障害者で 11.1%、知的障害者で 24.6%、精神障害者で 20.3%、施設入所者で 16.0%である。



(8) 障害の種類（身体障害者）

身体障害者手帳に1番目に記載された障害種類の内訳は、「肢体不自由（上肢、下肢等）」が35.0%と最も多く、次いで「内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能障害）」（29.1%）、「肢体不自由（体幹）」（10.4%）と続いている。

		視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声・言語 そしゃく機能 の障害	肢体不自由 （上肢 下肢 等）	肢体不自由 （体幹）	内部障害	その他	無回答
身体障害者	(n=2,064)	6.4%	7.7%	1.3%	2.0%	35.0%	10.4%	29.1%	2.9%	5.2%
施設入所者	(n=25)	28.0%	4.0%	—	4.0%	28.0%	16.0%	8.0%	—	12.0%

身体障害者手帳に2番目に記載された障害種類の内訳は、「肢体不自由（体幹）」が7.1%と最も多く、次いで「内部障害」（3.0%）と続いている。

		視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声・言語 そしゃく機能 の障害	肢体不自由 （上肢 下肢 等）	肢体不自由 （体幹）	内部障害	その他	無回答
身体障害者	(n=2,064)	0.7%	1.0%	0.1%	1.4%	2.6%	7.1%	3.0%	1.3%	82.8%
施設入所者	(n=25)	—	—	—	12.0%	—	4.0%	—	—	84.0%

年齢区分別にみると、年齢が高いほど「内部障害」の割合が大きくなる。

		視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声・言語 そしゃく機能 の障害	肢体不自由 （上肢 下肢 等）	肢体不自由 （体幹）	内部障害	その他	無回答
0～17歳	(n=53)	9.4%	13.2%	—	3.8%	39.6%	17.0%	13.2%	3.8%	—
18～64歳	(n=614)	6.7%	8.3%	0.7%	1.8%	38.8%	11.4%	26.4%	2.0%	4.1%
65歳以上	(n=1,311)	6.2%	7.2%	1.5%	1.8%	34.2%	10.0%	31.8%	3.2%	4.1%

(9) 障害程度区分認定の状況

障害程度区分(6段階)の認定を受けたことがある割合は、身体障害者で14.2%、知的障害者で30.0%、精神障害者で12.2%であり、施設入所者では37.2%である。

身体障害者では、区分認定者の区分内訳は、区分1が11.6%、区分2が17.7%、区分3が10.6%、区分4が10.2%、区分5が7.2%、区分6が11.3%である。

施設入所者では、障害程度区分認定を受けた人の割合が、他の対象者より多い。

		ない	ある						無回答
			区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
身体障害者	(n=2,064)	66.2%	14.2%						19.6%
		(n=293)	11.6%	17.7%	10.6%	10.2%	7.2%	11.3%	31.4%
知的障害者	(n=350)	54.9%	30.0%						15.1%
		(n=105)	3.8%	16.2%	13.3%	20.0%	15.2%	15.2%	16.2%
精神障害者	(n=311)	61.7%	12.2%						26.0%
		(n=38)	10.5%	28.9%	13.2%	5.3%	2.6%	—	39.5%
施設入所者	(n=94)	47.9%	37.2%						14.9%
		(n=35)	—	8.6%	14.3%	22.9%	34.3%	14.3%	5.7%

(10) 発達障害、高次脳機能障害、難病等の診断状況

発達障害と診断されたことがある人は、知的障害者で32.3%である。

高次脳機能障害と診断されたことがある人は、身体障害者で4.5%である。

難病と診断されたことがある人は、身体障害者で16.5%(12.4%+4.1%)である。

		発達障害と診断されたことがある	高次脳機能障害と診断されたことがある	難病(特定疾患)と診断されたことがある	難病(特定疾患以外)と診断されたことがある	特にない	無回答
身体障害者	(n=2,064)	2.8%	4.5%	12.4%	4.1%	59.9%	17.4%
知的障害者	(n=350)	32.3%	2.3%	4.3%	1.7%	37.1%	24.9%
精神障害者	(n=311)	7.4%	2.6%	4.5%	2.9%	46.9%	37.9%
施設入所者	(n=94)	2.1%	1.1%	1.1%	—	66.0%	29.8%

3 介助・援助の状況について

(1) 主な介助・援助者

身体障害者では、32.4%が「特に介助・援助は受けていない」状況だが、主な介助・援助者としては、「配偶者(夫、妻)」が 31.6%と最も多く、次いで「息子、娘(息子、娘の配偶者も含む)」が 17.2%で続いている。

知的障害者では、主な介助・援助者としては、「父、母」が 74.6%と最も多い。

精神障害者では、22.8%が「特に介助・援助は受けていない」状況だが、主な介助・援助者としては、「父、母」が 31.5%と最も多く、次いで「配偶者(夫、妻)」が 16.7%である。

		特に介助・援助は受けていない	配偶者(夫、妻)	父、母	息子、娘	祖母、祖父	兄弟、姉妹
身体障害者	(n=2,064)	32.4%	31.6%	8.8%	17.2%	0.3%	3.6%
知的障害者	(n=350)	8.9%	0.3%	74.6%	—	5.1%	21.4%
精神障害者	(n=311)	22.8%	16.7%	31.5%	5.1%	0.3%	10.9%

		行政の職員	病院の職員 (看護師等)	施設の職員	ホームヘルパー	その他	無回答
身体障害者	(n=2,064)	1.8%	4.0%	5.9%	13.1%	2.8%	7.4%
知的障害者	(n=350)	2.9%	1.7%	18.9%	12.3%	5.7%	4.6%
精神障害者	(n=311)	8.7%	12.2%	5.8%	9.0%	8.0%	7.7%

* 主な介助者・援助者のうち、最も長く介助・援助している人

主な介助・援助者のうち、最も長く介助・援助している人は、身体障害者では、「配偶者(夫、妻)」が 48.7%と最も多く、次いで「息子、娘(息子、娘の配偶者も含む)」が 15.4%である。

知的障害者では、「父、母」が 82.2%と最も多く、次いで「施設の職員」(7.6%)である。

精神障害者では、「父、母」が 40.7%と最も多く、次いで「配偶者(夫、妻)」(21.8%)である。

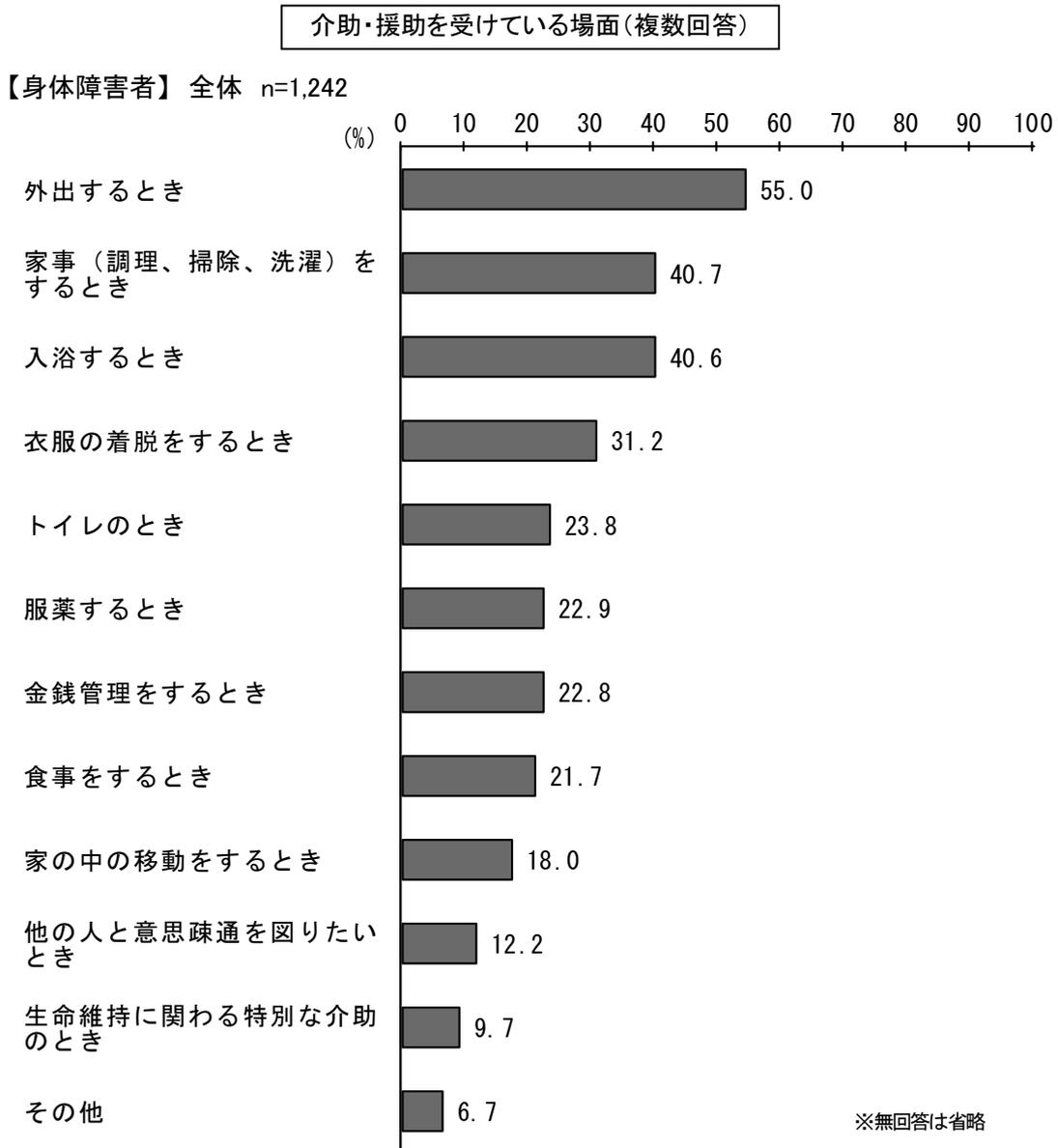
		配偶者(夫、妻)	父、母	息子、娘	兄弟、姉妹	祖母、祖父	行政の職員
身体障害者	(n=1,242)	48.7%	13.0%	15.4%	0.2%	3.1%	0.5%
知的障害者	(n=303)	—	82.2%	—	0.3%	5.0%	0.3%
精神障害者	(n=216)	21.8%	40.7%	2.3%	—	7.4%	3.2%

		病院の職員 (看護師等)	施設の職員	ホームヘルパー	その他	無回答
身体障害者	(n=1,242)	3.5%	3.3%	8.5%	2.3%	1.8%
知的障害者	(n=303)	0.7%	7.6%	1.0%	2.0%	1.0%
精神障害者	(n=216)	9.3%	0.9%	8.3%	4.2%	1.9%

(2) 介助・援助を受けている場面（複数回答）

具体的に介助・援助を受けている場面としては、身体障害者では「外出するとき」、知的障害者では「お金の管理をするとき」、精神障害者では「食事のしたく」が最も多くなっている。

身体障害者では、「外出をするとき」が 55.0%と最も多く、次いで「家事（調理、掃除、洗濯）をするとき」（40.7%）、「入浴をするとき」（40.6%）と続いている。



具体的に介助・援助を受けている場面について、障害の程度別にみると、重度(1級・2級)では、「外出するとき」で60.7%と多くなっている。

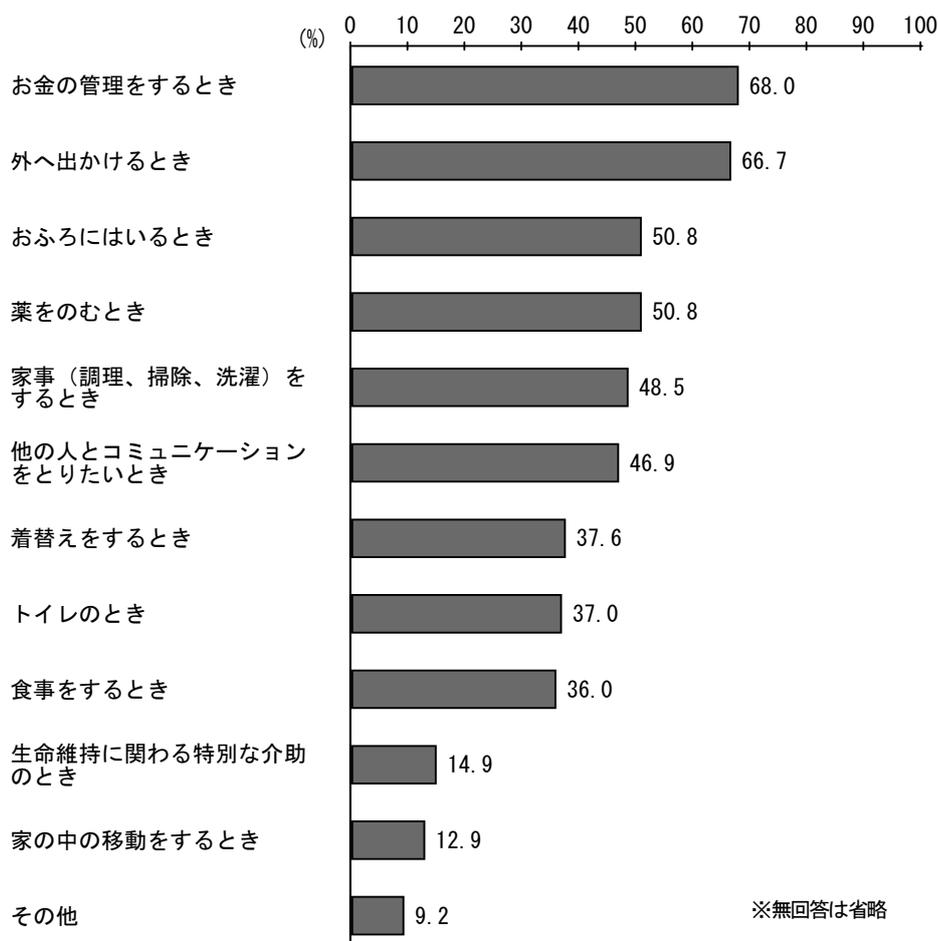
*問6 障害の程度		n	7	6	3	4	2	8	11	1	5	10	9	12
			外出するとき	家事(調理、掃除、洗濯)をするとき	入浴するとき	衣服の着脱をするとき	トイレのとき	服薬するとき	金銭管理をするとき	食事をするとき	家の中の移動をするとき	他の人と意思疎通を図りたいとき	生命維持に関わる特別な介助のとき	その他
0	全体	1,242	55.0	40.7	40.6	31.2	23.8	22.9	22.8	21.7	18.0	12.2	9.7	6.7
1	重度(1・2級)	781	60.7	41.2	48.3	38.4	30.1	27.9	26.4	27.8	22.5	14.2	11.8	7.2
2	中度(3・4級)	365	46.0	40.8	24.4	17.5	11.2	11.2	16.2	10.1	8.8	7.9	5.5	6.3
3	軽度(5・6級)	72	34.7	30.6	34.7	22.2	18.1	25.0	15.3	12.5	12.5	13.9	2.8	1.4

知的障害者では、「お金の管理をするとき」が 68.0%と最も多く、次いで「外へ出かけるとき」(66.7%)、「お風呂にはいるとき」「薬をのむとき」(ともに 50.8%)と続いている。

障害の程度別にみると、最重度・重度(1・2度)で「外へ出かけるとき」、「お風呂にはいるとき」が多く、8割以上である。

介助・援助を受けている場面(複数回答)

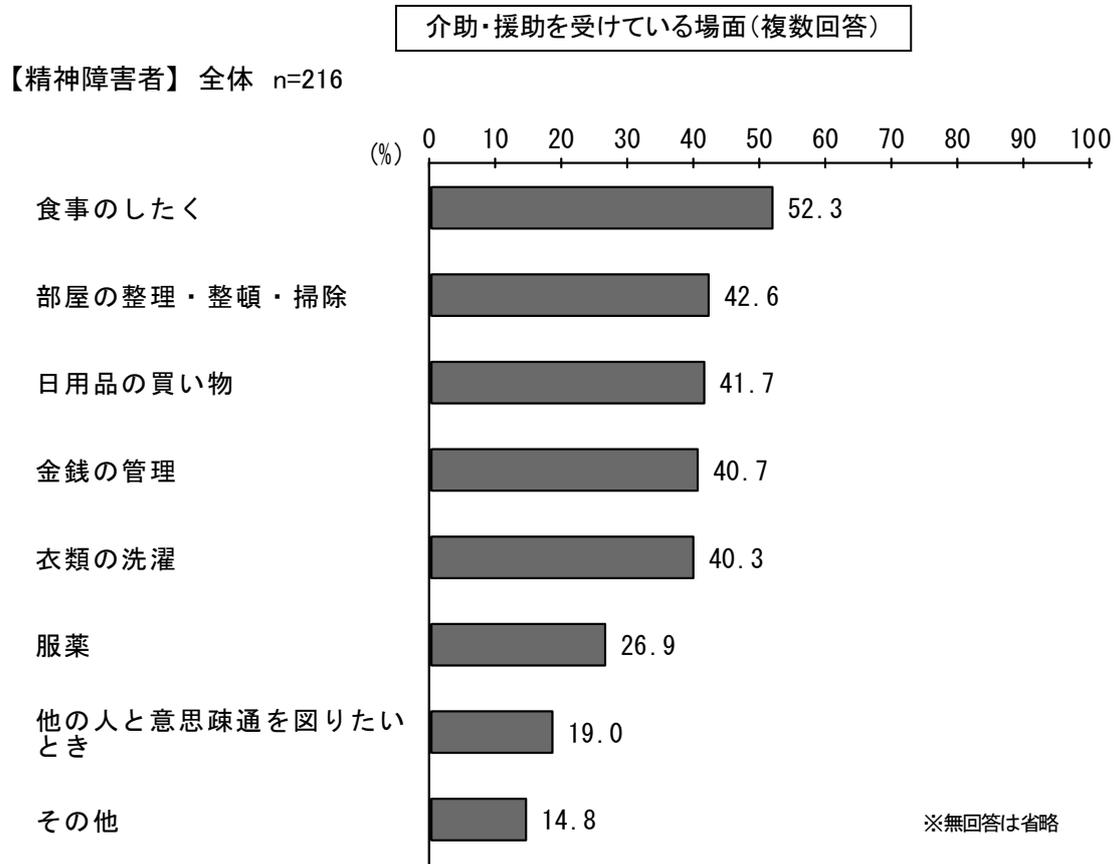
【知的障害者】全体 n=303



*問6 障害の程度	n	11	7	3	8	6	10	4	2	1	9	5	12
		お金の管理をするとき	外へ出かけるとき	お風呂にはいるとき	薬をのむとき	家事調理、掃除、洗濯)をするとき	他の人とコミュニケーションをとりたいたとき	着替えをするとき	トイレのとき	食事をするとき	生命維持に関わる特別な介助のとき	家の中の移動をするとき	その他
0 全体	303	68.0	66.7	50.8	50.8	48.5	46.9	37.6	37.0	36.0	14.9	12.9	9.2
1 最重度・重度(1・2度)	128	64.8	86.7	81.3	73.4	46.9	63.3	60.9	62.5	56.3	23.4	21.1	10.9
2 中度(3度)	71	87.3	64.8	33.8	33.8	54.9	42.3	21.1	21.1	19.7	12.7	5.6	2.8
3 軽度(4度)	97	58.8	42.3	23.7	33.0	45.4	29.9	18.6	14.4	20.6	6.2	6.2	12.4

精神障害者では、「食事のしたく」が 52.3%と最も多く、次いで「部屋の整理・整頓・掃除」(42.6%)、「日用品の買い物」(41.7%)と続いている。

障害の程度別にみると、1 級では「食事のしたく」、「日用品の買い物」、「衣類の洗濯」がいずれも半数以上である。



		4	1	3	7	2	5	6	8	
		食事のしたく	部屋の整理・整頓・掃除	日用品の買い物	金銭の管理	衣類の洗濯	服薬	他の人と意思疎通を図りたいとき	その他	
* 問6	障害の程度	n								
0	全体	216	52.3	42.6	41.7	40.7	40.3	26.9	19.0	14.8
1	1級	29	65.5	48.3	55.2	48.3	55.2	44.8	37.9	27.6
2	2級	120	50.0	39.2	40.0	40.8	35.0	20.0	16.7	8.3
3	3級	60	50.0	45.0	38.3	38.3	40.0	28.3	13.3	20.0

(3) 介助・援助者が不在のときに希望する対応（複数回答）

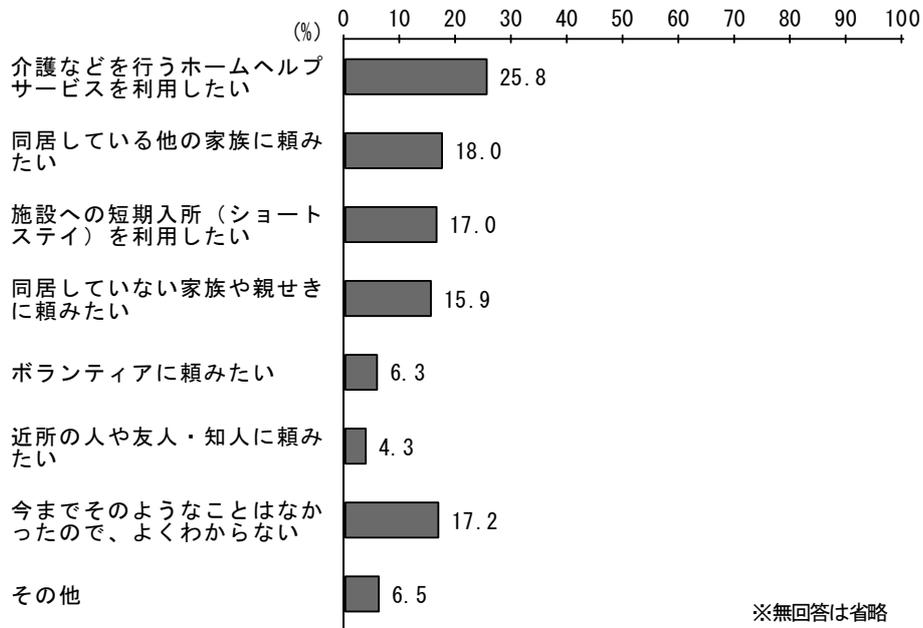
主な介助・援助者の不在時に希望する対応としては、身体障害者と精神障害者では「ホームヘルプサービスを利用したい」、知的障害者では「ショートステイを利用したい」が最も多くなっている。

身体障害者では「介護などを行うホームヘルプサービスを利用したい」と回答した人が 25.8%と最も多く、次いで「同居している他の家族に頼みたい」(18.0%)、「施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい」(17.0%)と続いている。一方、「今までそのようなことはなかったため、よくわからない」も 17.2%である。

障害の程度別で見ると、程度が重くなるほど、「介護などを行うホームヘルプサービスを利用したい」が多くなっており、重度(1・2級)では 28.6%となっている。

介助・援助者が不在のときに希望する対応（複数回答）

【身体障害者】 全体 n=1,242



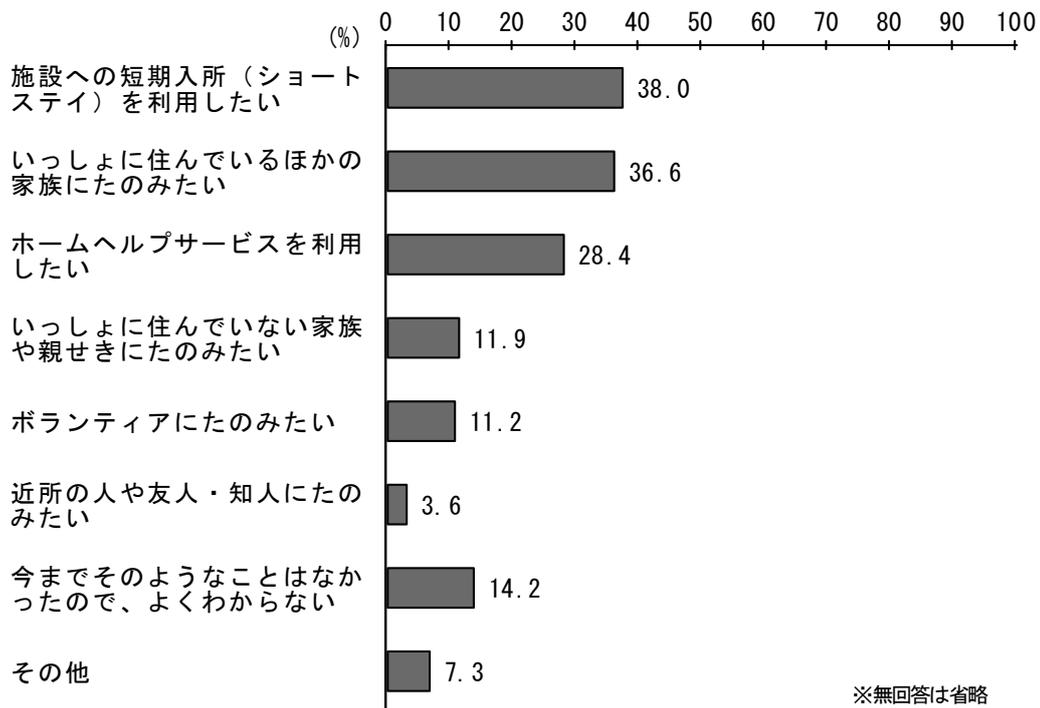
* 問6 障害の程度	n	3	1	4	2	6	5	7	8
		介護などを行うホームヘルプサービスを利用したい	同居している他の家族に頼みたい	施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい	同居していない家族や親せきに頼みたい	ボランティアに頼みたい	近所の人や友人・知人に頼みたい	今までそのようなことはなかったため、よくわからない	その他
0 全体	1,242	25.8	18.0	17.0	15.9	6.3	4.3	17.2	6.5
1 重度(1・2級)	781	28.6	20.6	20.5	16.1	5.8	3.7	17.2	6.0
2 中度(3・4級)	365	22.7	13.4	11.0	17.3	7.4	5.2	17.8	6.3
3 軽度(5・6級)	72	13.9	15.3	9.7	8.3	6.9	5.6	15.3	8.3

知的障害者では、「施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい」と回答した人が 38.0%と最も多く、次いで「いっしょに住んでいるほかの家族にたのみたい」(36.6%)、「ホームヘルプサービスを利用したい」(28.4%)と回答している。

障害の程度別にみると、最重度・重度(1・2度)では特に「施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい」が多く、57.8%となっている。

介助・援助者が不在のときに希望する対応(複数回答)

【知的障害者】全体 n=303



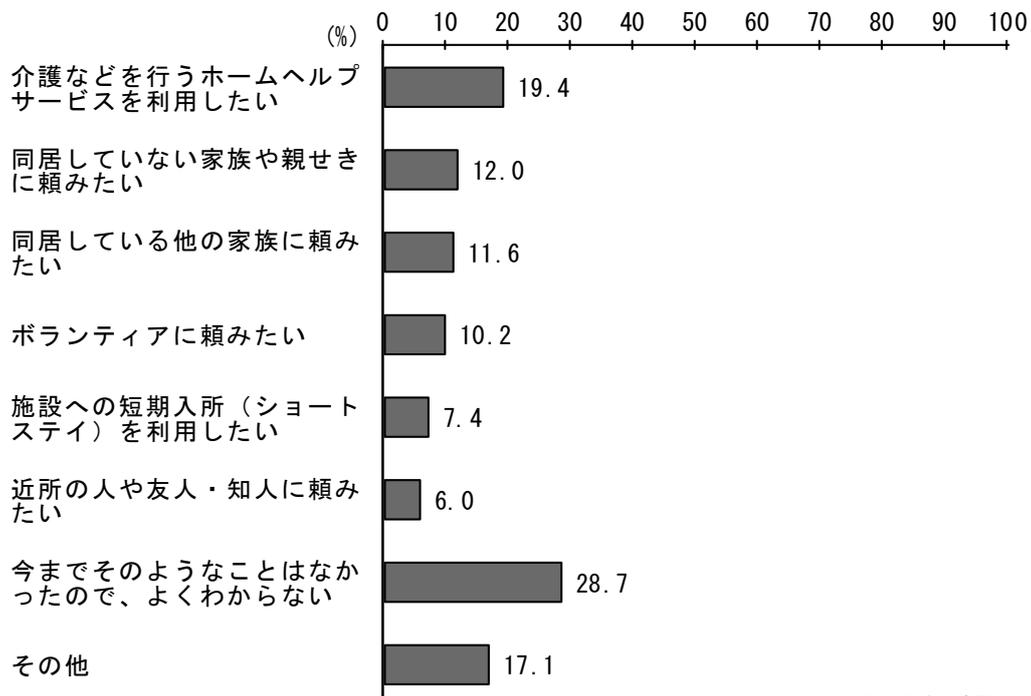
* 問6 障害の程度	n	4	1	3	2	6	5	7	8
		施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい	いっしょに住んでいるほかの家族にたのみたい	ホームヘルプサービスを利用したい	いっしょに住んでいない家族や親せきにたのみたい	ボランティアにたのみたい	近所の人や友人・知人にたのみたい	たの、よくわからない	今までそのようなことはなかった
0 全体	303	38.0	36.6	28.4	11.9	11.2	3.6	14.2	7.3
1 最重度・重度(1・2度)	128	57.8	38.3	33.6	10.2	9.4	1.6	8.6	9.4
2 中度(3度)	71	29.6	32.4	33.8	18.3	16.9	5.6	15.5	2.8
3 軽度(4度)	97	18.6	38.1	18.6	10.3	10.3	4.1	19.6	8.2

精神障害者では、28.7%の人が「今までそのようになったことがないので、よくわからない」と回答しているが、19.4%は「介護などを行うホームヘルプサービスを利用したい」、12.0%は「同居していない家族や親せきに頼みたい」、11.6%は「同居している他の家族に頼みたい」と回答している。

障害の程度別にみると、2級、3級では、3割以上が「今までそのようなことはなかったので、よくわからない」と回答している。

介助・援助者が不在のときに希望する対応(複数回答)

【精神障害者】全体 n=216



※無回答は省略

		3	2	1	6	4	5	7	8	
		介護などを行うホームヘルプサービスを利用したい	同居していない家族や親せきに頼みたい	同居している他の家族に頼みたい	ボランティアに頼みたい	施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい	近所の人や友人・知人に頼みたい	今までそのようなことはなかったので、よくわからない	その他	
* 問6	障害の程度	n								
0	全体	216	19.4	12.0	11.6	10.2	7.4	6.0	28.7	17.1
1	1級	29	27.6	6.9	13.8	17.2	13.8	0.0	10.3	20.7
2	2級	120	20.0	13.3	11.7	10.0	5.8	7.5	30.8	14.2
3	3級	60	15.0	13.3	10.0	8.3	6.7	6.7	35.0	16.7

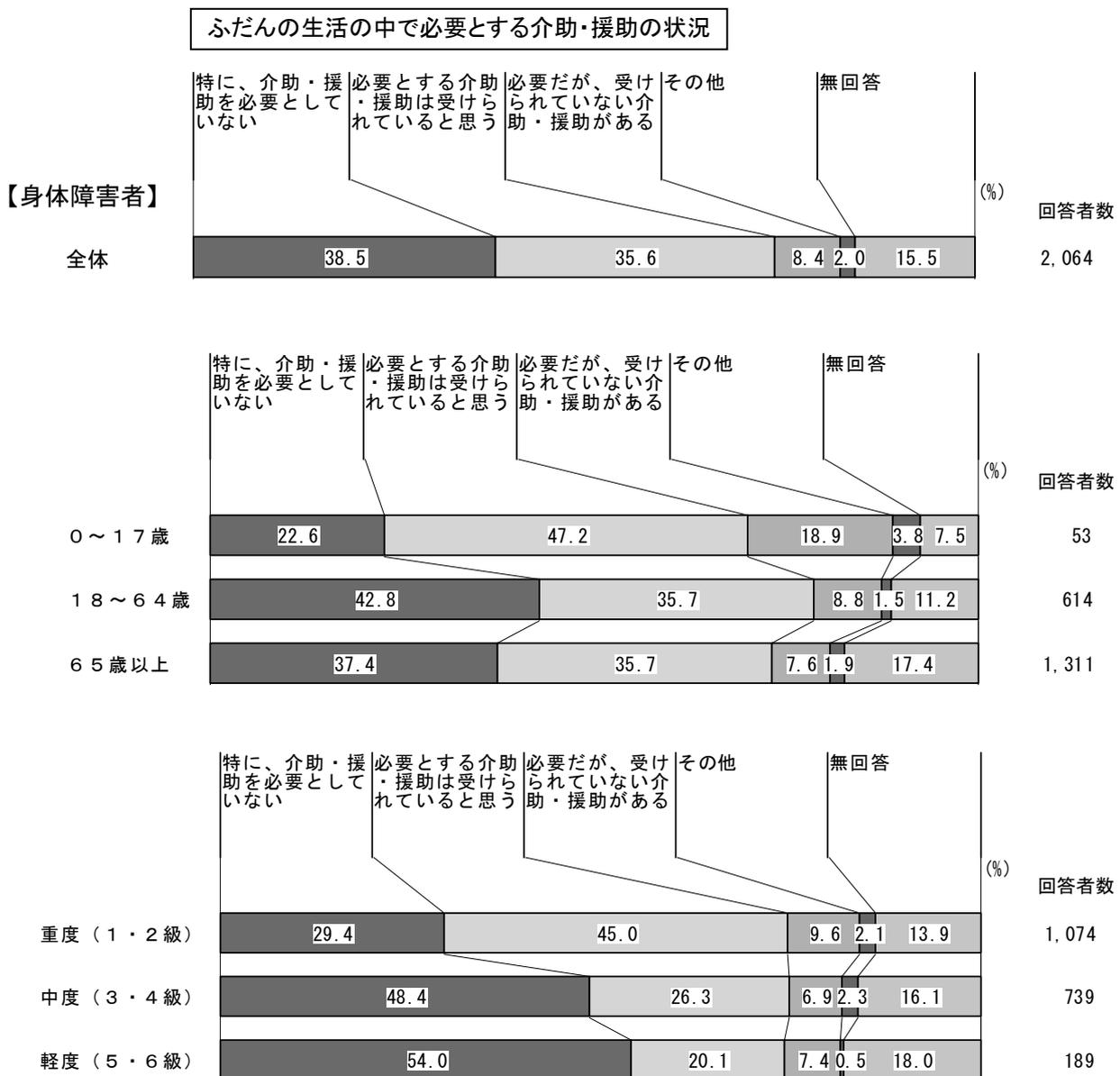
(4) 必要とする手助け（介助・援助）を受けられているか

ふだんの生活の中で「必要とする手助け（介助・援助）は受けられている」と考えている人は、身体障害者で 35.6%、知的障害者で 50.0%、精神障害者で 44.7%となっている。

身体障害者では、ふだんの生活の中で、必要とする介助・援助を受けられていると思うかについて、「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合は、8.4%である。

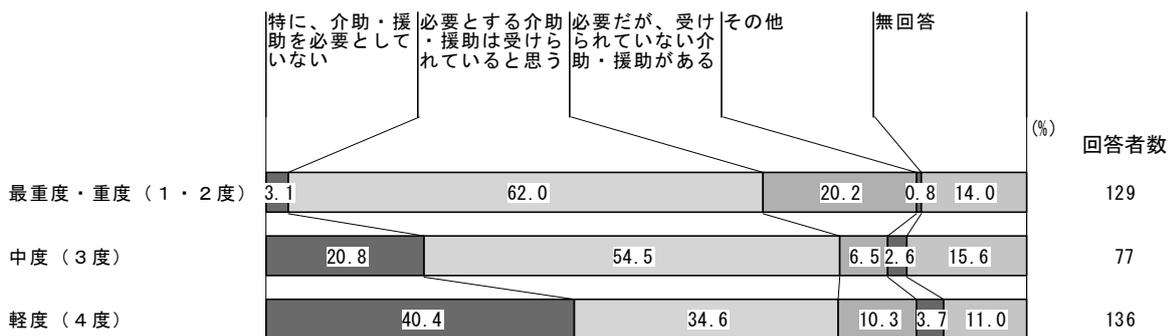
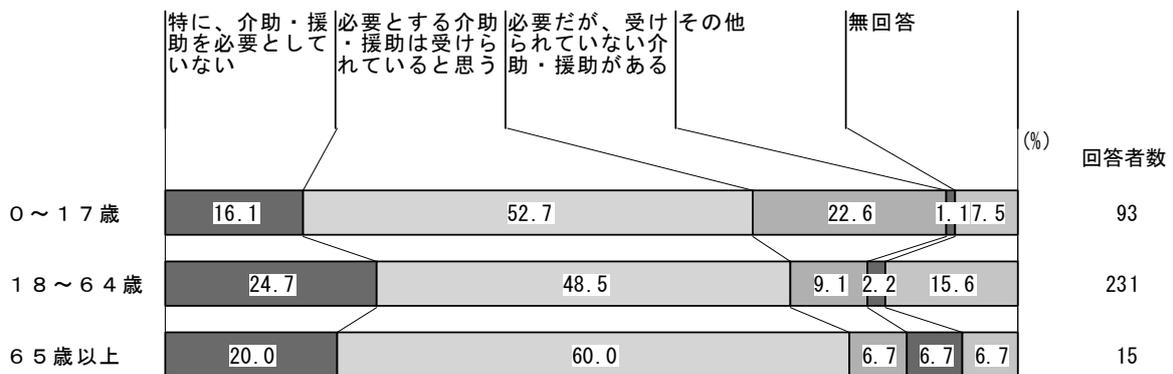
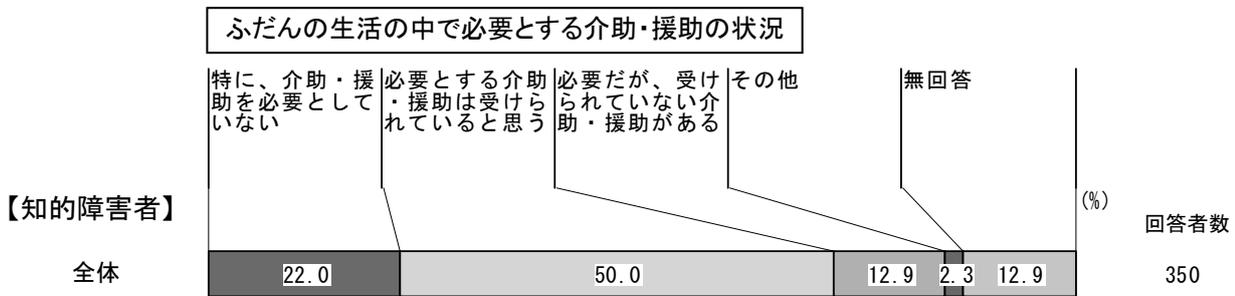
年齢区分別でみると、「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合は、0～17歳では 18.9%と他の年齢区分より多い。

障害の程度別でみると、「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合にはそれほど差は見られない。



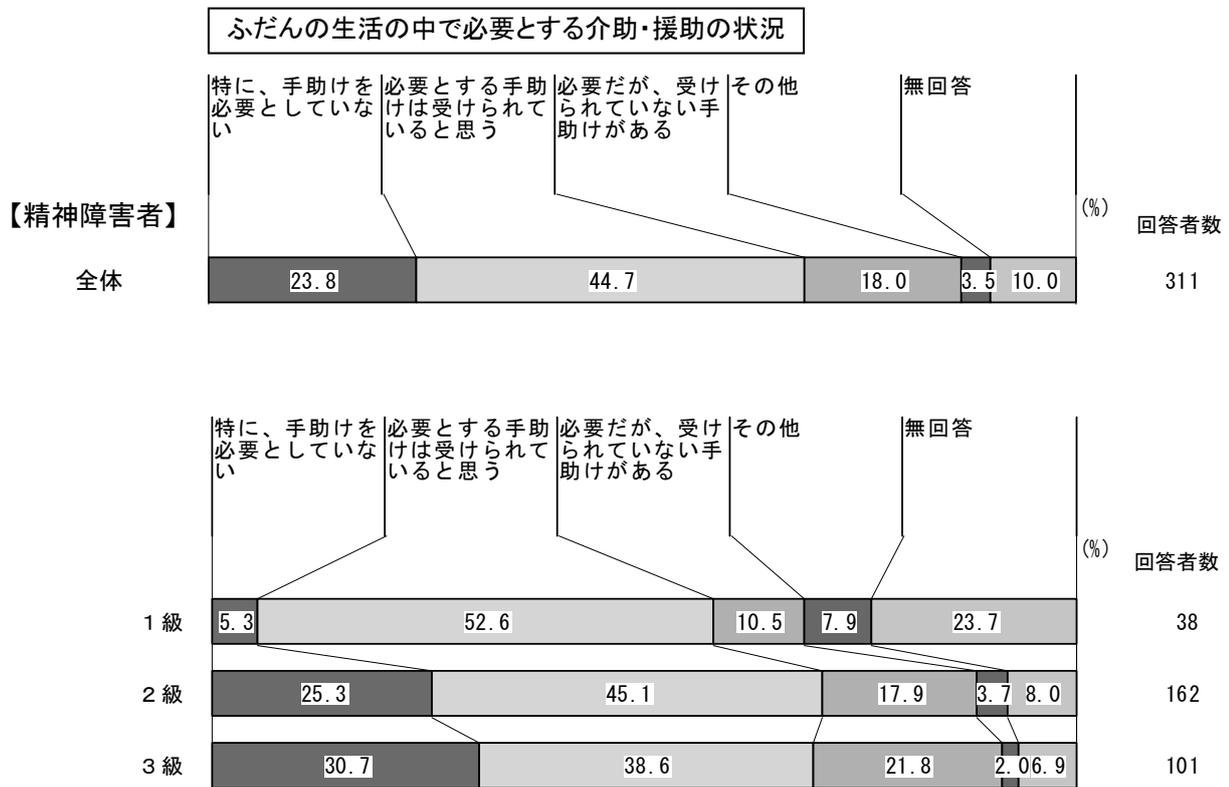
知的障害者では「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合は 12.9%となっている。年齢区別でみると、「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合は、0～17歳では 22.6%と他の年齢区分より多い。

障害の程度別でみると、最重度・重度(1・2度)では「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合が多くなっている。



精神障害者では「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合は 18.0%である。

障害の程度別でみると、程度が軽いほど、「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合は多くなっている。



(5) 必要だが受けられていない介助・援助の内容（自由回答）

主な意見は、次のとおりである。

【身体障害者】

- ・家族が同居なので、家の掃除が頼めないこと。
- ・家族が病気などの緊急な場合に対応するサービス。

【知的障害者】

- ・ヘルパーの人手不足・支給量不足のため、移動支援を十分利用できない。
- ・家族が病気などの緊急な場合に対応するサービス。
- ・人の言葉を理解したり、書類等を読む介助・援助。

【精神障害者】

- ・家族が病気などの緊急な場合に対応するサービス。
- ・看護師など専門職による外出支援。
- ・症状が不安定なときの生活全般の支援。

4 日中の過ごし方について

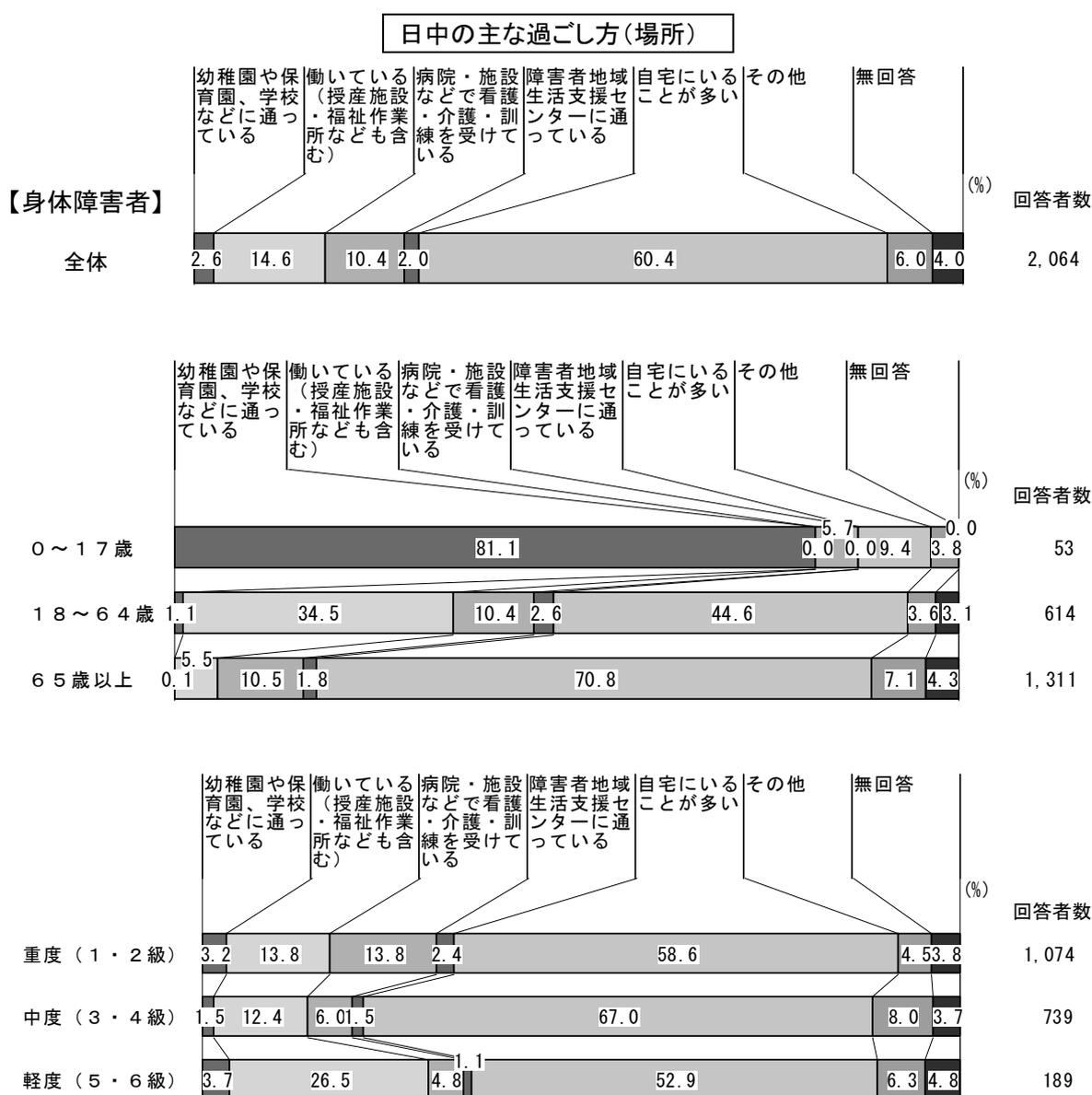
(1) 日中の主な過ごし方（場所）

日中の主な過ごし方は、身体障害者では「自宅にすることが多い」(60.4%)、知的障害者では「働いている」(36.3%)、精神障害者では「自宅で静養中である」(49.2%)がそれぞれ最も多くなっている。

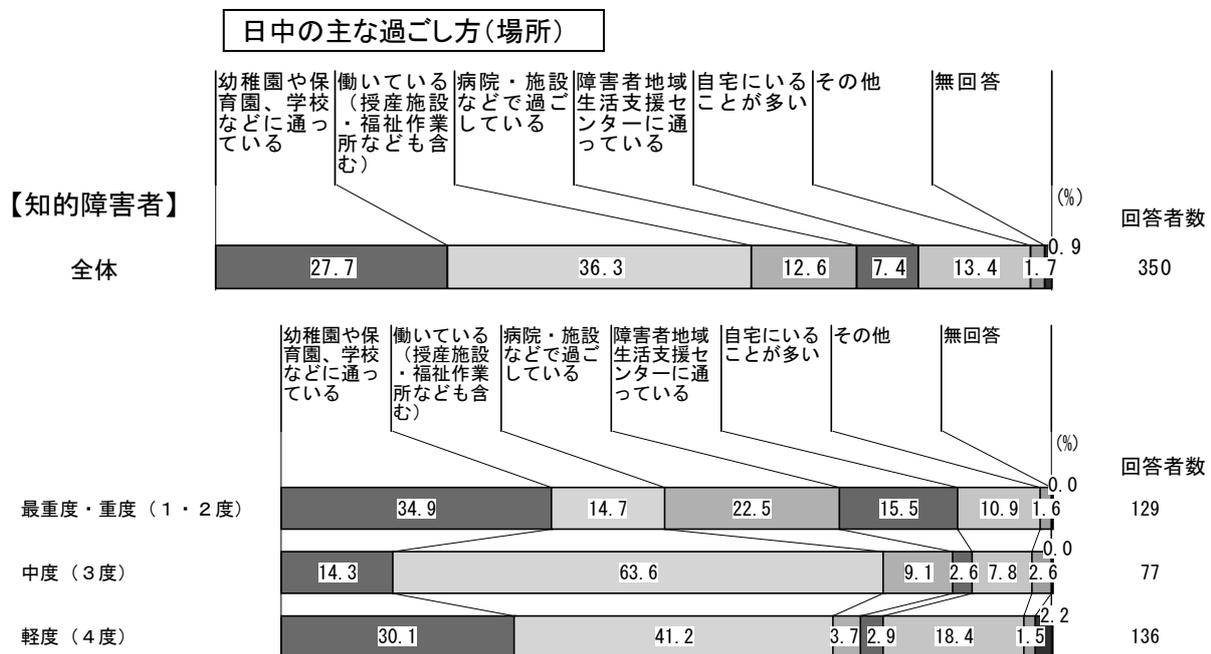
身体障害者では「自宅にすることが多い」と回答した人が 60.4%と最も多く、次いで「働いている(授産施設、福祉作業所なども含む)」が 14.6%で続いている。

年齢別にみると、0～17 歳では、「幼稚園や保育園、学校などに通っている」が 81.1%、18～64 歳では、「働いている」が 34.5%、「自宅にすることが多い」が 44.6%である。65 歳以上では「自宅にすることが多い」が 70.8%である。

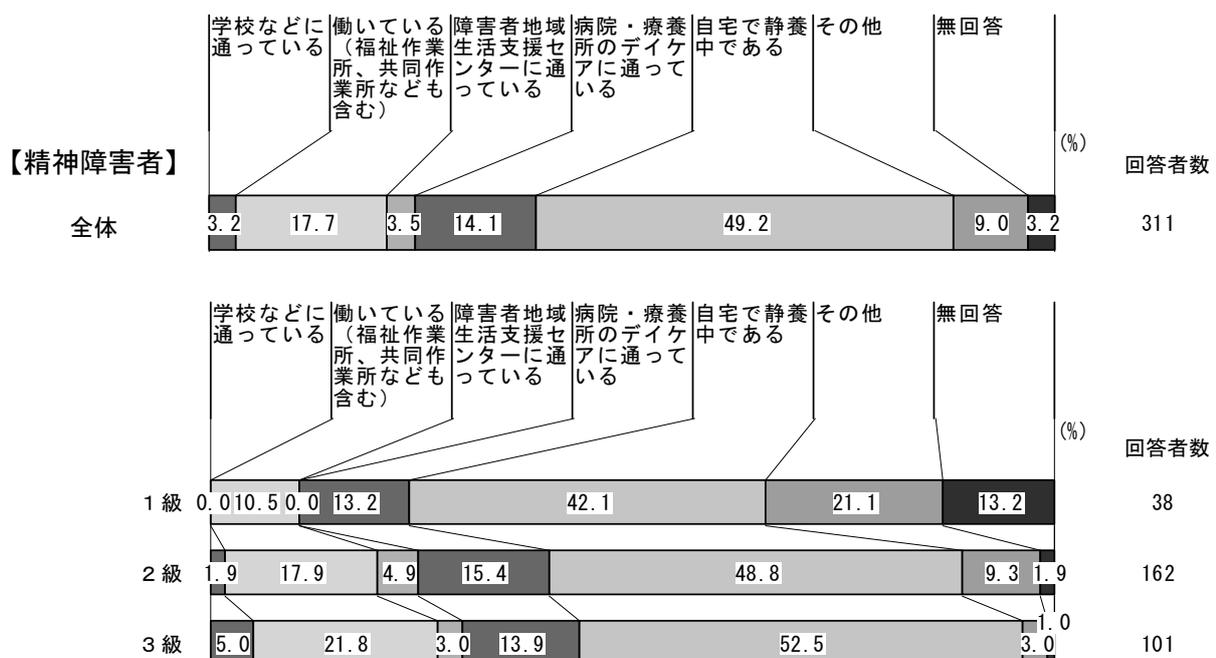
障害の程度別でみると、軽度(5・6級)では、「働いている」が 26.5%と多くなっている。



知的障害者では、「働いている」人が 36.3%、「幼稚園や保育園、学校などに通っている」人が 27.7%である。障害の程度別にみると、軽度(4度)では、「自宅にすることが多い」が 18.4%と多くなっている。



精神障害者では、「自宅で静養中である」人が 49.2%、「働いている」人が 17.7%、「病院・診療所のデイケアに通っている」人が 14.1%である。



5 教育について

(1) 通園・通学先

現在の通園・通学先は、身体障害者では、幼稚園や保育園、学校などに通っている人は全体の2.6%で、そのうち、通園・通学先は、「特別支援学校」が43.4%、「通常の学級」が28.3%、「専門学校・大学」が7.5%である。

知的障害者では、幼稚園や保育園、学校などに通っている人は全体の27.7%で、通園・通学先は、「特別支援学校」が59.8%、「特別支援学級」が25.8%である。

		幼稚園	保育園	通園施設	特別支援学校	特別支援学級	通常の学級	職業訓練校	専門学校・大学	その他	無回答
身体障害者	(n=53)	1.9%	5.7%	—	43.4%	7.5%	28.3%	3.8%	7.5%	1.9%	—
知的障害者	(n=97)	1.0%	5.2%	2.1%	59.8%	25.8%	3.1%	—	1.0%	2.1%	—

(2) 通園・通学に際し充実してほしいこと（複数回答）

通園・通学に際し充実してほしいこととしては、身体障害者では、「施設・設備などを充実させてほしい」が45.3%と最も高く、次いで「夏休みなど長期休みの際の取組みを充実させてほしい」(37.7%)、「先生・生徒の理解などが深まってほしい」(34.0%)である。

知的障害者では、「夏休みなど長期休みの際の取組みを充実させてほしい」が63.9%と最も高く、次いで「放課後の取組みを充実させてほしい」(52.6%)、「先生・生徒の理解などが深まってほしい」(37.1%)である。

		通いやすくしてほしい(通学手段の改善など)	施設・設備などを充実させてほしい	介助体制を充実させてほしい	先生・生徒の理解などが深まってほしい	放課後の取組みを充実させてほしい	夏休みなど長期休みの際の取組みを充実させてほしい	その他	特に困っていることはない	無回答
身体障害者	(n=53)	26.4%	45.3%	17.0%	34.0%	22.6%	37.7%	15.1%	13.2%	1.9%
知的障害者	(n=97)	34.0%	34.0%	25.8%	37.1%	52.6%	63.9%	19.6%	7.2%	3.1%

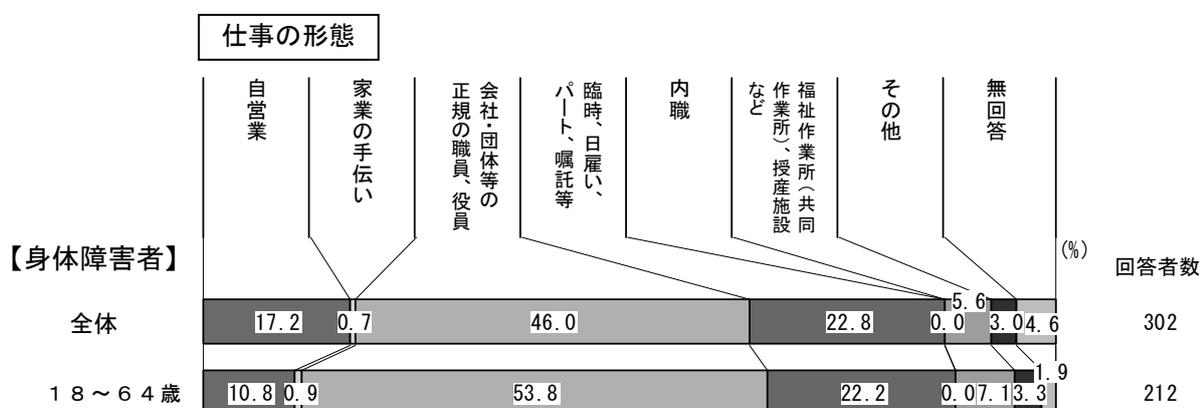
6 雇用・就労について

(1) 就労形態

現在、働いている人の就労形態の内訳をみると、身体障害者では「会社・団体等の正規の職員、役員」(46.0%)が最も多く、知的障害者と精神障害者では「福祉作業所、授産施設等」(49.6%、52.7%)が最も多い。

身体障害者では、「会社・団体等の正規の職員、役員」が 46.0%と最も多く、次いで「臨時、日雇いパート、嘱託等」(22.8%)、「自営業」(17.2%)と続いている。

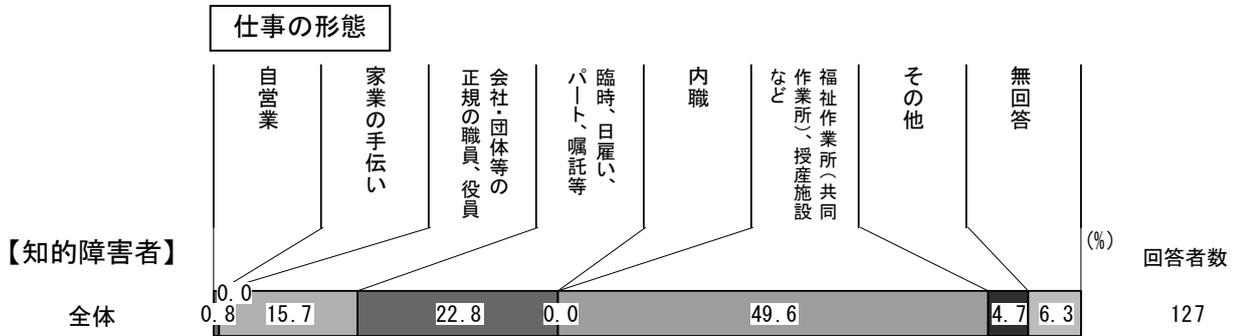
年齢区分別にみると、18～64歳では、「会社・団体等の正規の職員、役員」が 53.8%である。障害の程度別でみると、程度による差はあまり見られない。



		1	2	3	4	5	6	7	
		自営業	家業の手伝い	役員	会社・団体等の正規の職員、役員	臨時、日雇い、パート、嘱託等	内職	福祉作業所(共同作業所)、授産施設など	その他
*問6 障害の程度	n								
0	全体	302	17.2	0.7	46.0	22.8	0.0	5.6	3.0
1	重度(1・2級)	148	16.9	0.0	48.6	20.9	0.0	7.4	2.0
2	中度(3・4級)	92	18.5	1.1	41.3	23.9	0.0	4.3	4.3
3	軽度(5・6級)	50	16.0	2.0	44.0	28.0	0.0	2.0	4.0

知的障害者では、「福祉作業所、授産施設等」が 49.6%と最も多く、次いで「臨時、日雇い、パート、嘱託など」(22.8%)、「会社・団体等の正規の職員、役員」(15.7%)と続いている。

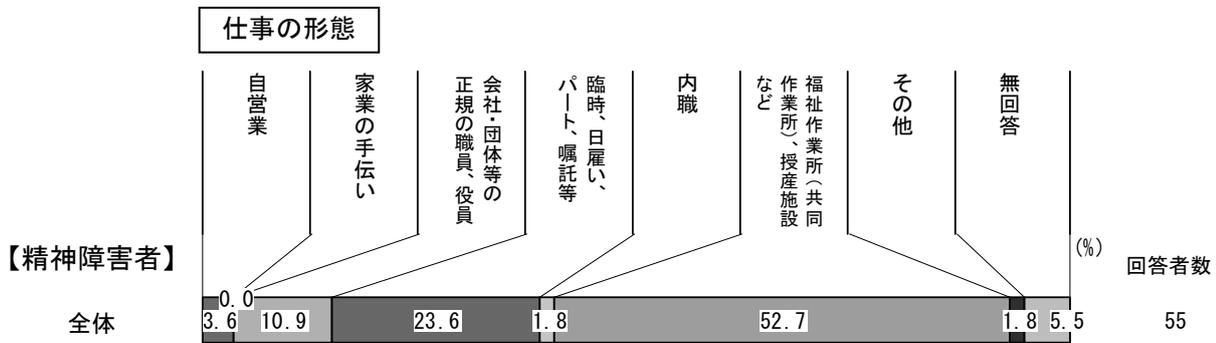
障害の程度別にみると、軽度(4度)では、「福祉作業所、授産施設等」が少なく、「会社・団体等の正規の職員、役員」が多くなっている。



		1	2	3	4	5	6	7	
		自営業	家業の手伝い	会社・団体などの正規の職員、役員	臨時、日雇い、パート、嘱託など	内職	福祉作業所(共同作業所)、授産施設など	その他	
* 問6	障害の程度	n							
0	全体	127	0.8	0.0	15.7	22.8	0.0	49.6	4.7
1	最重度・重度(1・2度)	19	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	68.4	5.3
2	中度(3度)	49	2.0	0.0	8.2	22.4	0.0	65.3	0.0
3	軽度(4度)	56	0.0	0.0	25.0	28.6	0.0	32.1	8.9

精神障害者では、「福祉作業所、授産施設等」が 52.7%と最も多く、次いで「臨時、日雇いパート、嘱託等」(23.6%)、「会社・団体等の正規の職員、役員」(10.9%)と続いている。

障害の程度別にみると、3級では、「福祉作業所、授産施設等」が少なく、「会社・団体等の正規の職員、役員」や「臨時、日雇いパート、嘱託等」が多い。



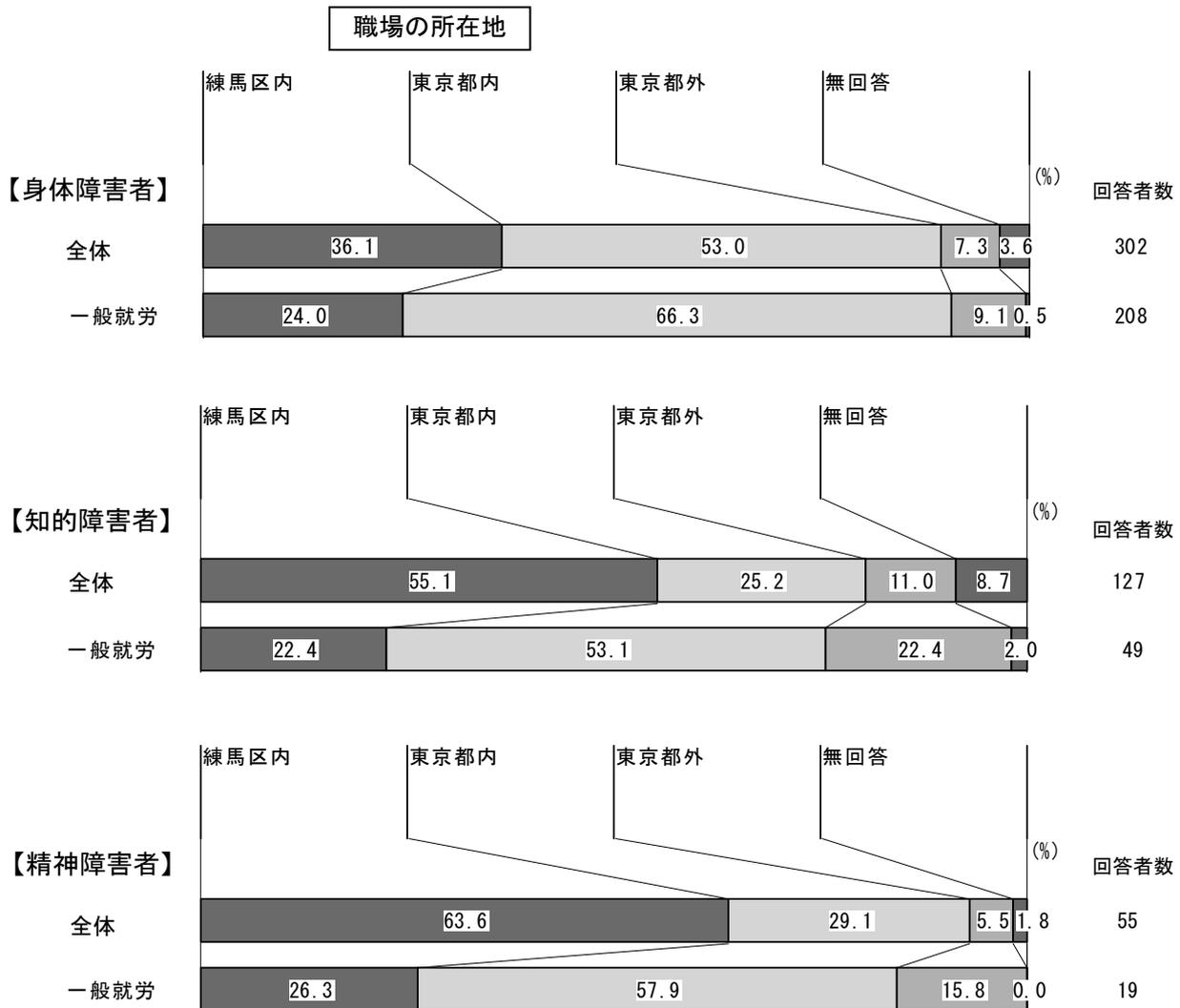
		1	2	3	4	5	6	7	
		自営業	家業の手伝い	会社・団体などの正規の職員、役員	臨時、日雇い、パート、嘱託など	内職	福祉作業所(共同作業所)、授産施設など	その他	
*問6 障害の程度		n							
0	全体	55	3.6	0.0	10.9	23.6	1.8	52.7	1.8
1	1級	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
2	2級	29	0.0	0.0	6.9	17.2	3.4	65.5	0.0
3	3級	22	9.1	0.0	18.2	36.4	0.0	31.8	4.5

(2) 職場の所在地

職場の所在地は、身体障害者では、「東京都内(練馬区を除く)」が 53.0%と最も多く、次いで「練馬区内」(36.1%)となっている。仕事の形態のうち、一般就労(「会社・団体等の正規の職員、役員」「臨時、日雇い、パート、嘱託等」の合計)では、「東京都内」が 66.3%である。

知的障害者では、「練馬区内」が 55.1%と最も多いが、一般就労では、「東京都内」が 53.1%である。

精神障害者では、「練馬区内」が 63.6%と最も多いが、一般就労では、「東京都内」が 57.9%である。



(3) 1年間の就労収入

1年間の仕事による収入は、身体障害者では、「100万円～400万円未満」が39.7%を占めている。

知的障害者では、「5万円未満」が16.5%、「5万～20万円未満」が34.6%となっており、20万円未満の収入の人が51.1%を占めている。なお、「福祉作業所、授産施設等」で働いている人のみを見ると、年間の就労収入20万円未満が8割を超えていることがわかる。

精神障害者では、「5万円未満」が32.7%、「5万～20万円未満」が18.2%となっており、20万円未満の収入の人が5割を占めている。

		5万円未満	5万円～20万円未満	20万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～400万円未満	400万円～700万円未満	700万円以上	収入はない	無回答
身体障害者	(n=302)	3.6%	6.6%	6.0%	10.9%	39.7%	16.9%	8.6%	2.3%	5.3%
知的障害者	(n=127)	16.5%	34.6%	5.5%	15.0%	19.7%	0.8%	—	0.8%	7.1%
精神障害者	(n=55)	32.7%	18.2%	7.3%	3.6%	23.6%	7.3%	—	3.6%	3.6%

【「福祉作業所、授産施設等」で働いている人のみの就労収入】

		5万円未満	5万円～20万円未満	20万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～400万円未満	400万円～700万円未満	700万円以上	収入はない	無回答
身体障害者	(n=17)	47.1%	35.3%	17.6%	—	—	—	—	—	—
知的障害者	(n=63)	31.7%	54.0%	4.8%	4.8%	—	—	—	1.6%	3.2%
精神障害者	(n=29)	55.2%	24.1%	13.8%	—	—	—	—	6.9%	—

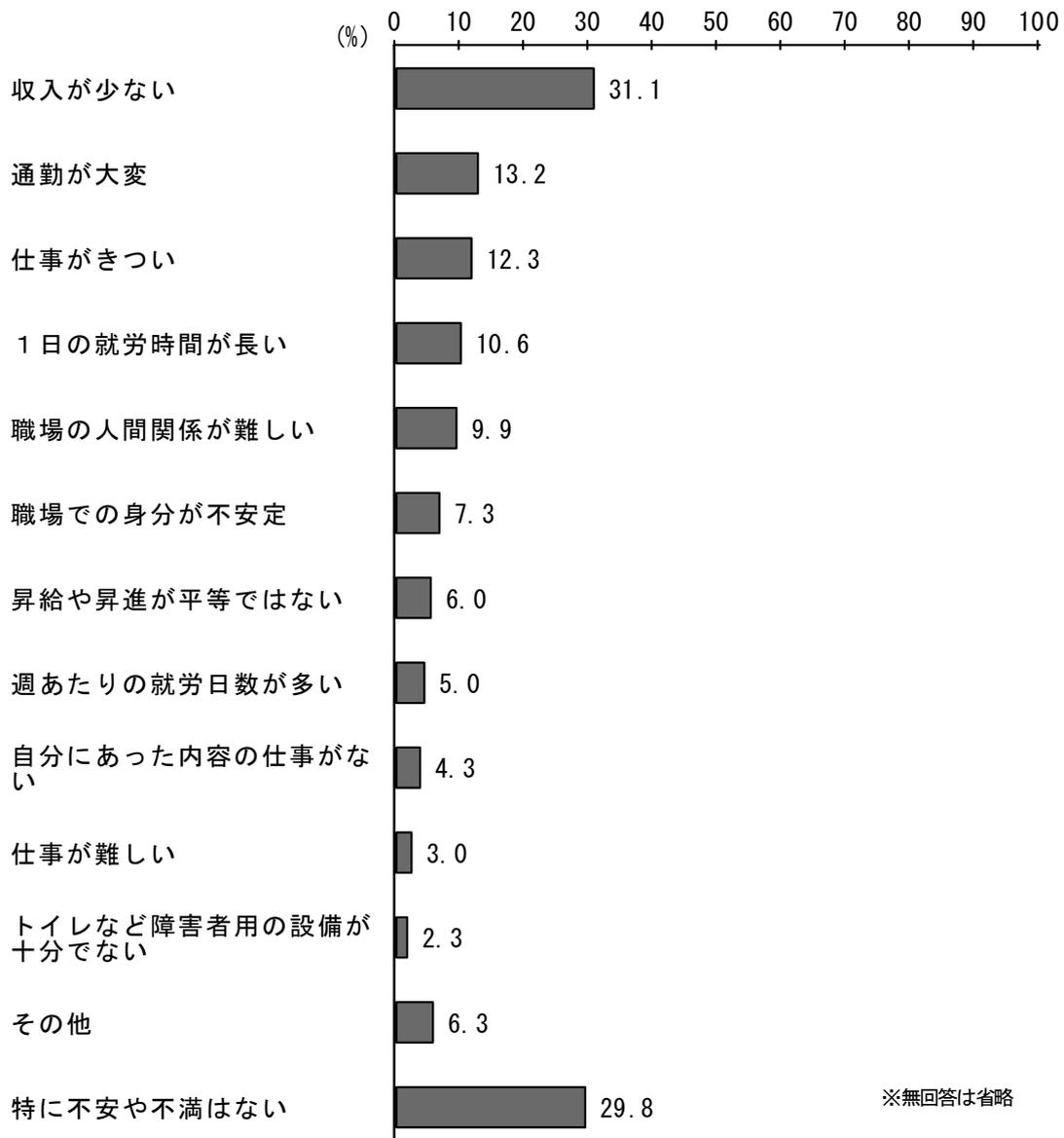
(4) 仕事をする上での不安や不満(複数回答)

仕事をする上での不安や不満としては、いずれの障害でも「収入が少ない」ことが最も多くあげられている。次いで多い項目では、身体障害者では「通勤が大変」、知的障害者では「職場の人たちとうまくいかない」、精神障害者では「職場の人間関係が難しい」ことがあげられている。

身体障害者では「収入が少ない」ことをあげる人が31.1%と最も多くなっている。なお、29.8%は「特に不安や不満はない」と回答している。

仕事をする上での不安や不満(複数回答)

【身体障害者】 全体 n=302

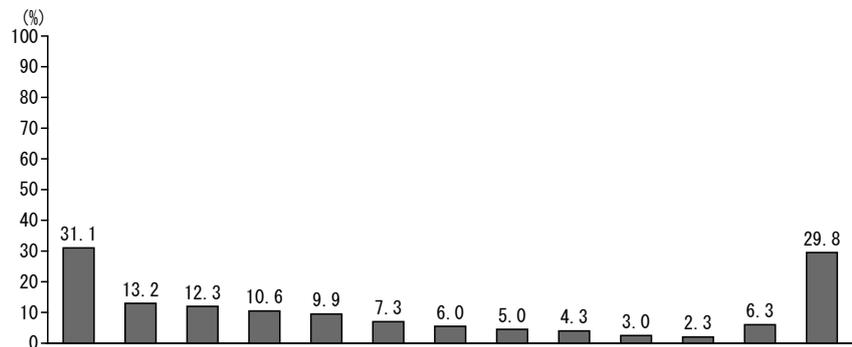


障害の程度別にみると、程度が重いほど、「収入が少ない」や「仕事がつい」が多くなっており、また、軽くなるほど、「通勤が大変」が多くなっている。

就労形態別にみると、「会社・団体等の正規の職員、役員」や「臨時、日雇い、パート、嘱託」の場合は、約2割の人が「通勤が大変」なことをあげている。また、「臨時、日雇い、パート、嘱託」では、「職場での身分が不安定」をあげる人も17.4%みられる。

仕事をする上での不安や不満(複数回答)

【身体障害者】 全体 n=302



* 問6 障害の程度	n	1	11	3	5	7	8	10	6	4	2	9	12	13
		収入が少ない	通勤が大変	仕事がつい	1日の就労時間が長い	職場の人間関係が難しい	職場での身分が不安定	昇給や昇進が平等ではない	週あたりの就労日数が多い	自分にあった内容の仕事がない	仕事がつい	トイレなど障害者用の設備が十分でない	その他	特に不安や不満はない
0 全体	302	31.1	13.2	12.3	10.6	9.9	7.3	6.0	5.0	4.3	3.0	2.3	6.3	29.8
1 重度(1・2級)	148	35.8	11.5	12.8	10.8	12.2	7.4	6.8	5.4	4.7	2.7	1.4	4.1	29.1
2 中度(3・4級)	92	28.3	14.1	12.0	12.0	5.4	5.4	4.3	2.2	2.2	3.3	5.4	7.6	29.3
3 軽度(5・6級)	50	24.0	18.0	10.0	6.0	12.0	10.0	8.0	10.0	6.0	4.0	0.0	10.0	34.0

【仕事の形態別】

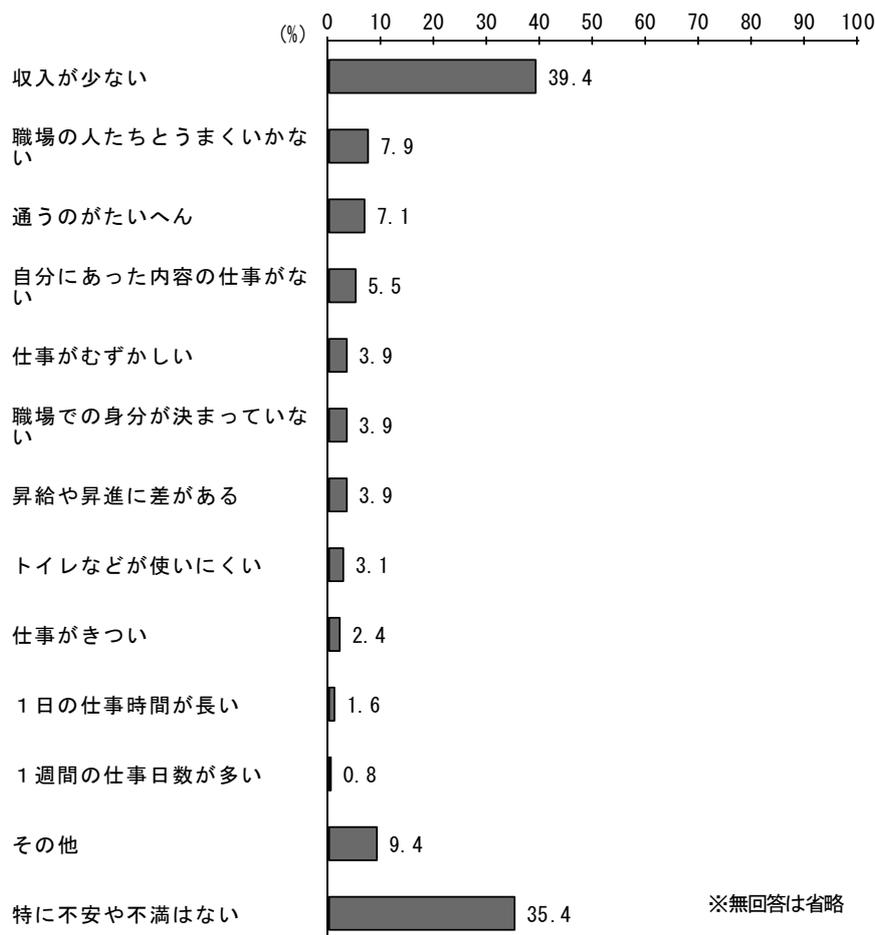
1	3	4	6	1	11	3	5	7	8	10	6	4	2	9	12	13
1 自営業	52	50.0	0.0	13.5	11.5	0.0	1.9	0.0	5.8	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	32.7	
3 会社・団体等の正規の職員、役員	139	26.6	19.4	13.7	13.7	14.4	5.0	9.4	6.5	3.6	3.6	1.4	6.5	29.5		
4 臨時、日雇い、パート、嘱託等	69	33.3	17.4	13.0	7.2	13.0	17.4	7.2	2.9	10.1	1.4	0.0	5.8	29.0		
6 福祉作業所(共同作業所)、授産施設など	17	35.3	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0	41.2		

※ 上記の就労形態以外は省略

知的障害者では、「収入が少ない」が39.4%と最も多く、次いで「職場の人たちとうまくいかない」(7.9%)、「通うのがたいへん」(7.1%)と続いている。なお、35.4%は「特に不安や不満はない」と回答している。

仕事をする上での不安や不満(複数回答)

【知的障害者】全体 n=127

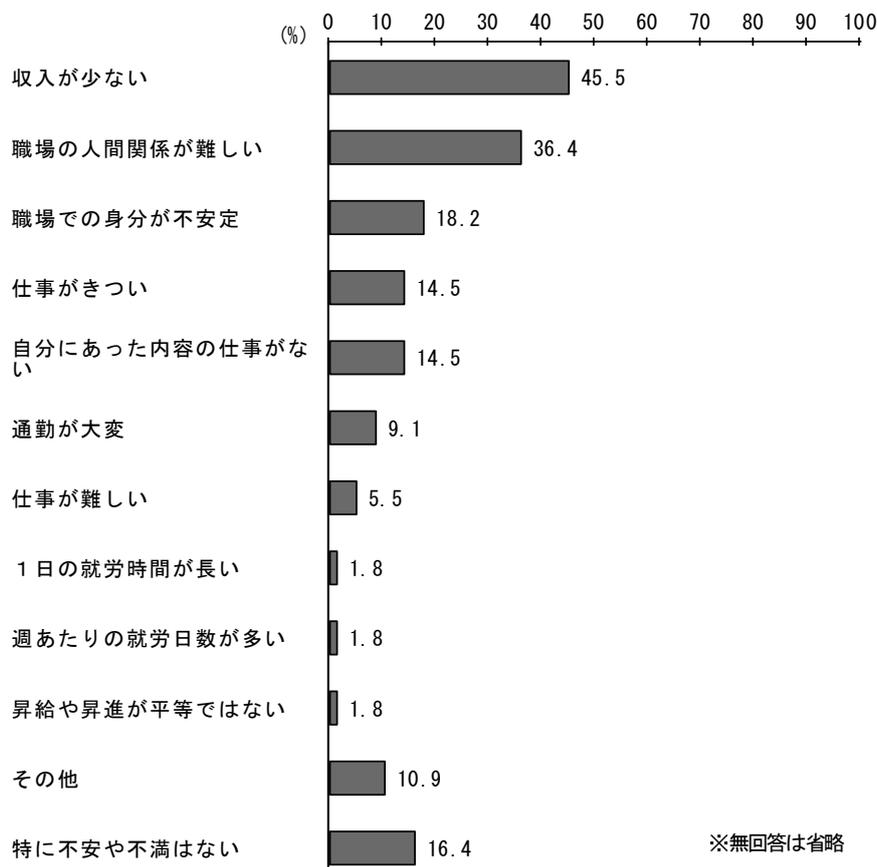


* 問20 仕事の形態【ベース:就労者】	n	1	7	11	4	2	8	10	9	3	5	6	12	13
		収入が少ない	ない 職場の人たちとうまくいかない	通うのがたいへん	ない 自分にあった内容の仕事がない	仕事がむずかしい	ない 職場での身分が決まっていない	昇給や昇進に差がある	トイレなどが使いにくい	仕事がきつい	1日の仕事時間が長い	1週間の仕事日数が多い	その他	特に不安や不満はない
0 全体	127	39.4	7.9	7.1	5.5	3.9	3.9	3.9	3.1	2.4	1.6	0.8	9.4	35.4
3 会社・団体などの正規の職員、役員	20	31.6	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	10.5	47.4
4 臨時、日雇い、パート、嘱託など	29	49.0	2.0	10.2	4.1	6.1	2.0	0.0	4.1	2.0	4.1	2.0	8.2	28.6
6 福祉作業所(共同作業所)、授産施設など	63	33.9	16.1	5.4	7.1	3.6	7.1	8.9	0.0	3.6	0.0	0.0	10.7	37.5

精神障害者では、「収入が少ない」が 45.5%と最も多く、次いで「職場の人間関係が難しい」(36.4%)、「職場での身分が不安定」(18.2%)と続いている。

仕事をする上での不安や不満(複数回答)

【精神障害者】全体 n=55



* 問 18 仕事の形態【ベース:就労者】	n	1	7	8	3	4	10	2	5	6	9	11	12
		収入が少ない	職場の人間関係が難しい	職場での身分が不安定	仕事がつい	ない 自分にあった内容の仕事がない	通勤が大変	仕事難しい	1日の就労時間が長い	い 週あたりの就労日数が多い	昇給や昇進が平等ではない	その他	特に不安や不満はない
0 全体	55	45.5	36.4	18.2	14.5	14.5	9.1	5.5	1.8	1.8	1.8	10.9	16.4
3 会社・団体などの正規の職員、役員	6	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	33.3
4 臨時、日雇い、パート、嘱託など	13	61.5	53.8	46.2	23.1	15.4	7.7	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0
6 福祉作業所(共同作業所)、授産施設など	29	44.8	34.5	6.9	6.9	17.2	10.3	3.4	0.0	0.0	0.0	6.9	17.2

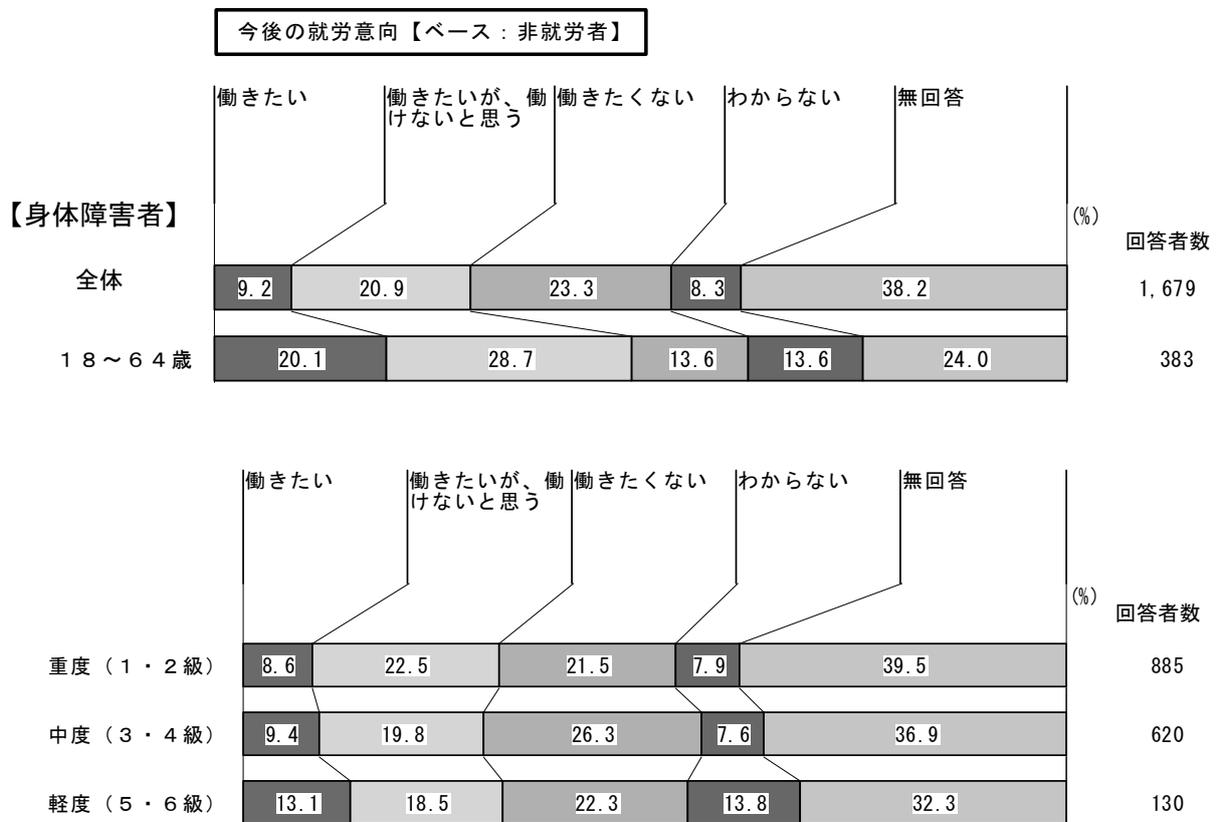
(5) 今後の就労意向

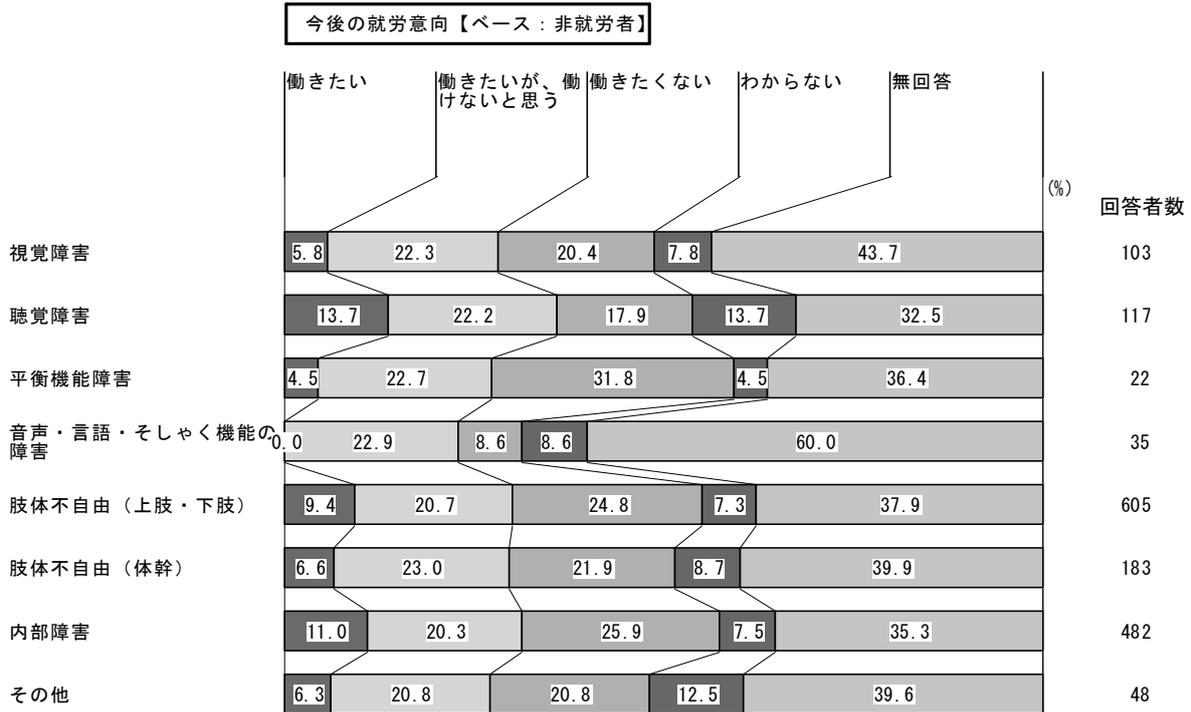
現在、働いていないが、今後は働きたいと思っている人の割合は、身体障害者の 9.2%、知的障害者では 20.9%、精神障害者では 23.2%である。

身体障害者では「働きたい」と思う人が 9.2%、「働きたいが、働けないと思う」人が 20.9%である。

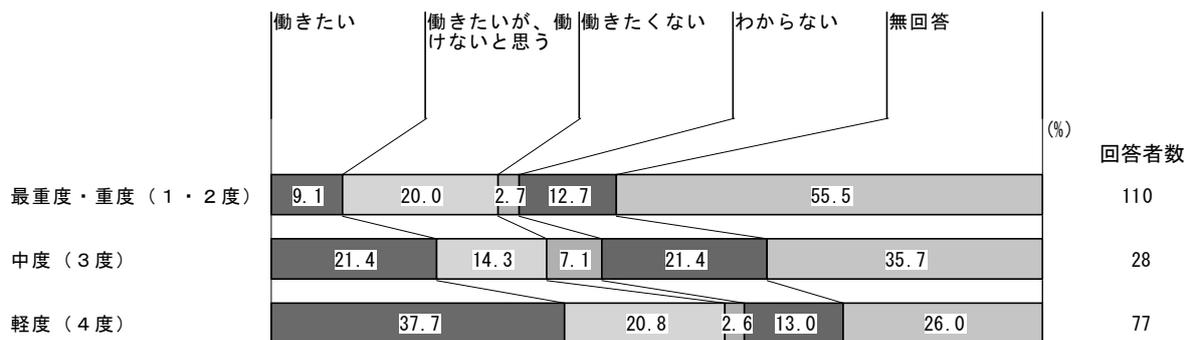
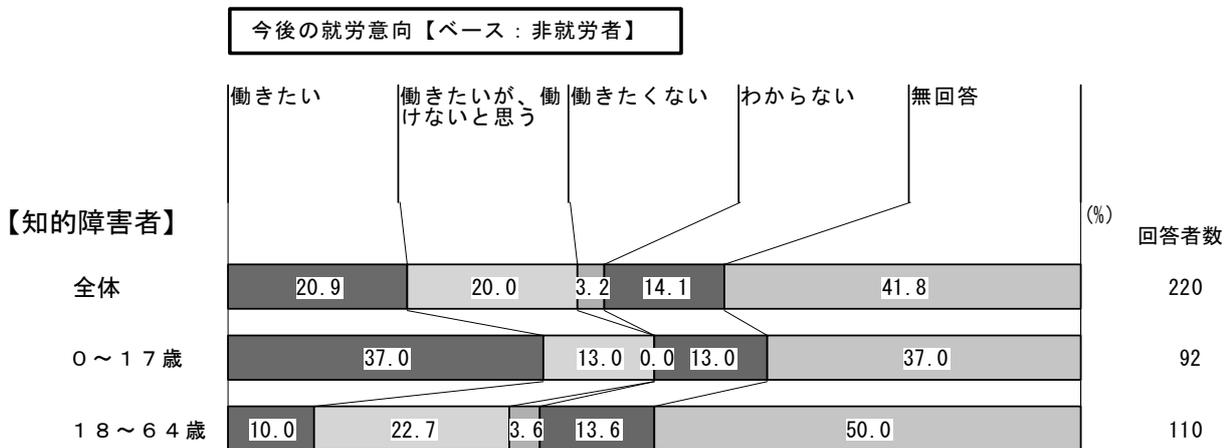
年齢区分別でみると、18～64 歳では 20.1%が「働きたい」、28.7%が「働きたいが、働けないと思う」と回答している。

障害の程度別でみると、程度が軽くなるほど、「働きたい」という意向は多くなっている。障害の種類別でみると、「聴覚障害」、「内部障害」では「働きたい」が 1 割以上と多くなっている。

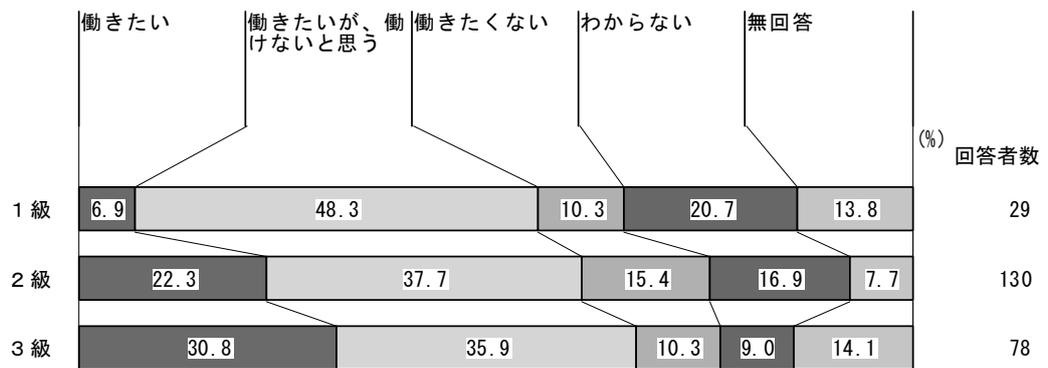
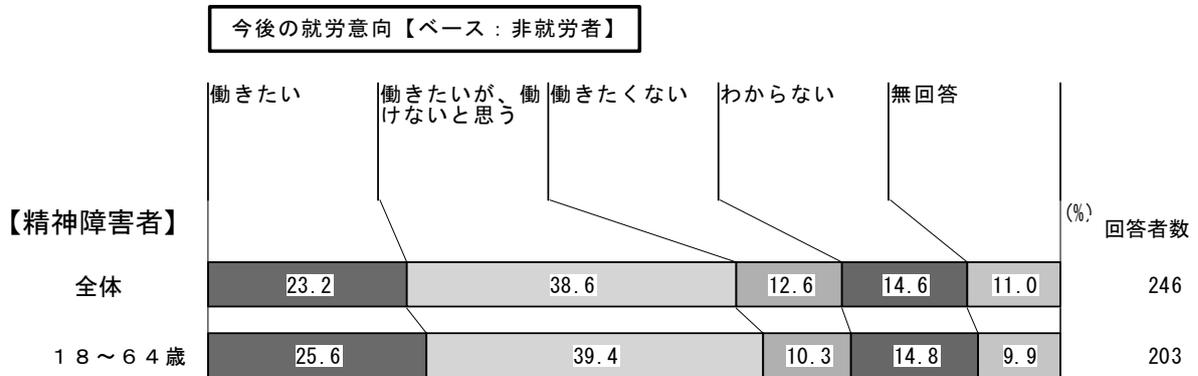




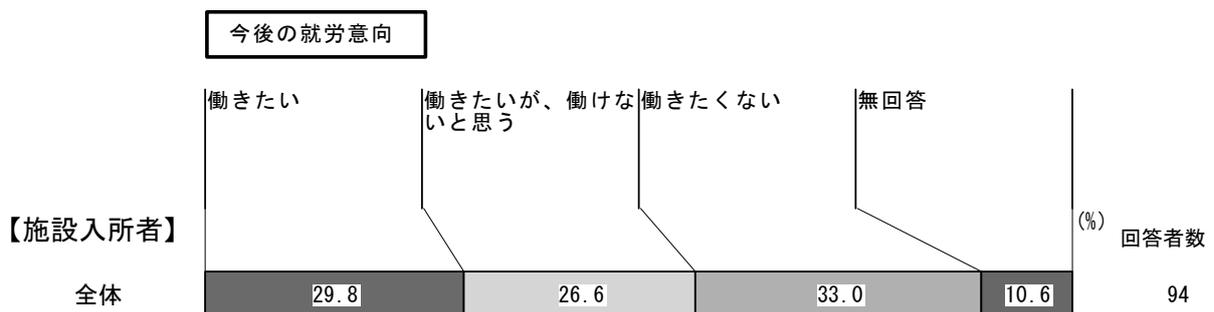
知的障害者では、「働きたい」が20.9%、「働きたいが、働けないと思う」が20.0%である。
 年齢区分別でみると、0～17歳では「働きたい」が37.0%と多い。
 障害の程度別でみると、程度が軽くなるほど「働きたい」という意向は多く、軽度（4度）では37.7%となっている。



精神障害者では、「働きたい」が 23.2%、「働きたいが、働けないと思う」が 38.6%である。
 障害の程度別でみると、程度が軽いほど、「働きたい」は多くなる傾向が見られ、3級では 30.8%である。



施設入所者では、「働きたい」が 29.8%、「働きたいが、働けないと思う」が 26.6%である。

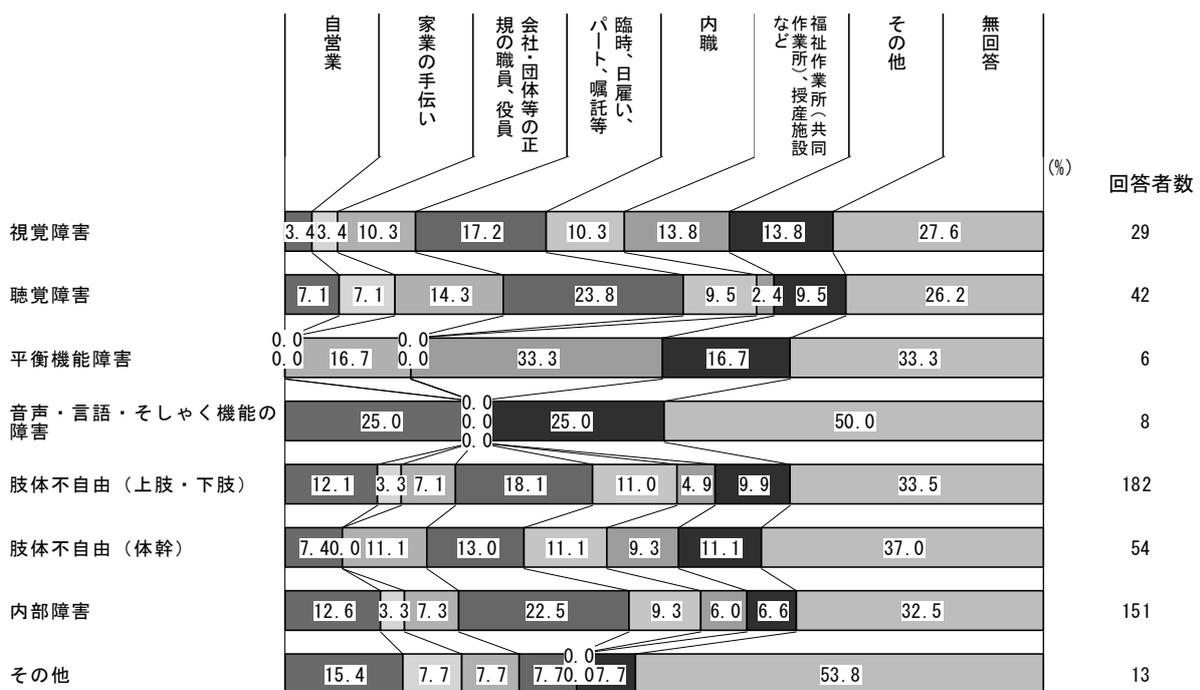
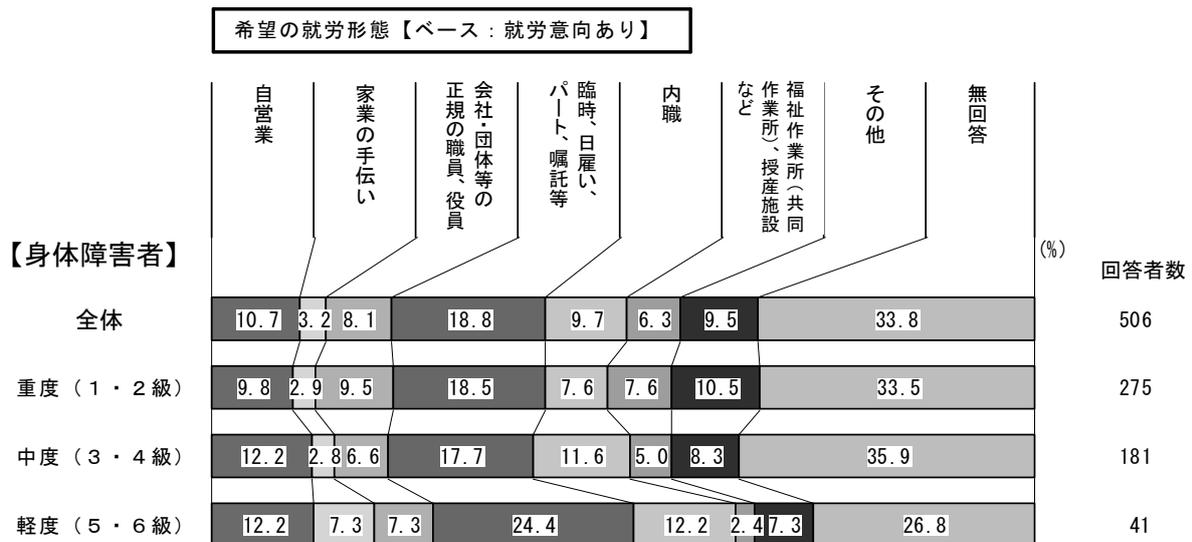


(6) 働いてみたいと思う仕事の形態

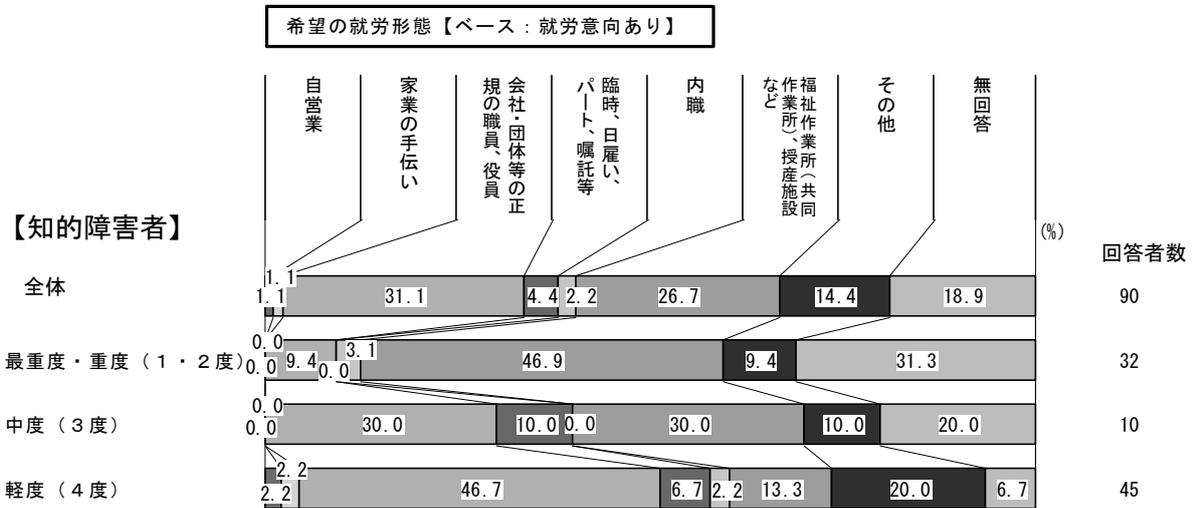
現在働いていない人で、今後働きたいと思っている人の希望する仕事の形態は、身体障害者、精神障害者では「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が最も多く、知的障害者では「会社・団体等の正規の職員、役員」が最も多くなっている。

身体障害者では、「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が 18.8%と最も多く、「自営業」が 10.7%で続いている。

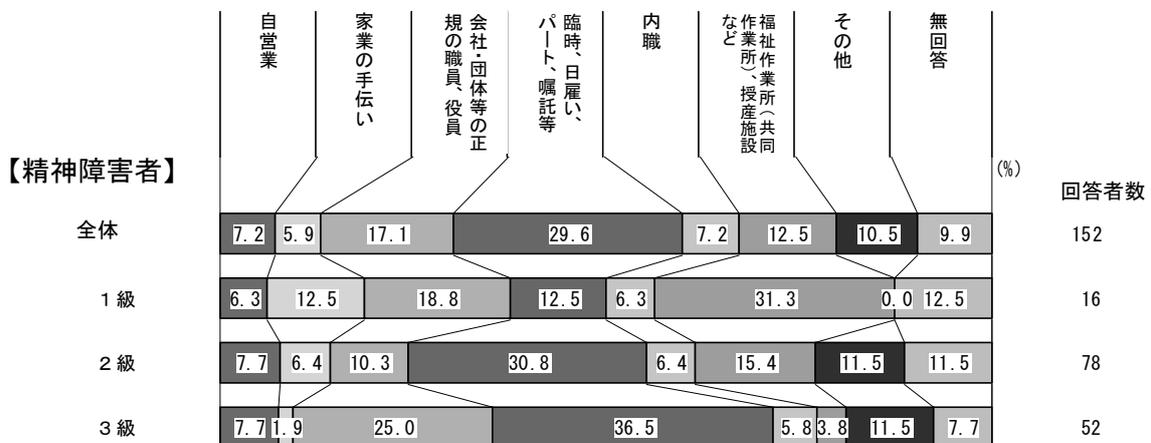
障害の程度別でみると、軽度(5・6級)で、「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が多くなっている。



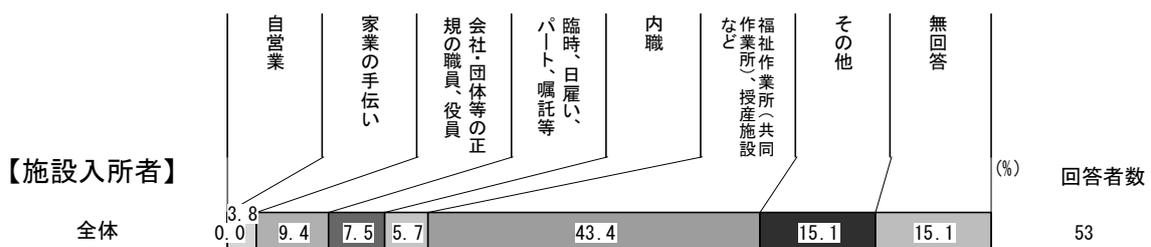
知的障害者では、「会社・団体等の正規の職員、役員」が 31.1%、「福祉作業所、授産施設など」が 26.7%で続く。障害の程度別で見ると、軽度(4度)では、「会社・団体等の正規の職員、役員」が 46.7%と多い。



精神障害者では、「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が 29.6%と最も多く、次いで「会社・団体等の正規の職員、役員」が 17.1%が続いている。障害の程度別で見ると、「家業の手伝い」や「福祉作業所、授産施設など」は程度が軽くなるほど、少なくなっている。



施設入所者では、「福祉作業所、授産施設など」が 43.4%、次いで「その他」が 15.1%である。



(7)「働きたいが、働けないと思う」理由（自由回答）

主な意見は、次のとおりである。

【身体障害者】

- ・障害者と分かると採用を断られるから。
- ・障害のため休みがちになり、周囲に迷惑をかけるから。

【知的障害者】

- ・自分に協調性がないから。
- ・周囲とのコミュニケーションが困難だから。
- ・障害について理解してもらえないか不安だから。
- ・高校を卒業する頃には福祉作業所の定員がいっぱいで、行き先がないと思うから。

【精神障害者】

- ・症状が安定しないから。
- ・何度も失敗してしまったため、不安だから。
- ・求職がないから。

【施設入所者】

- ・コミュニケーションが困難だから。

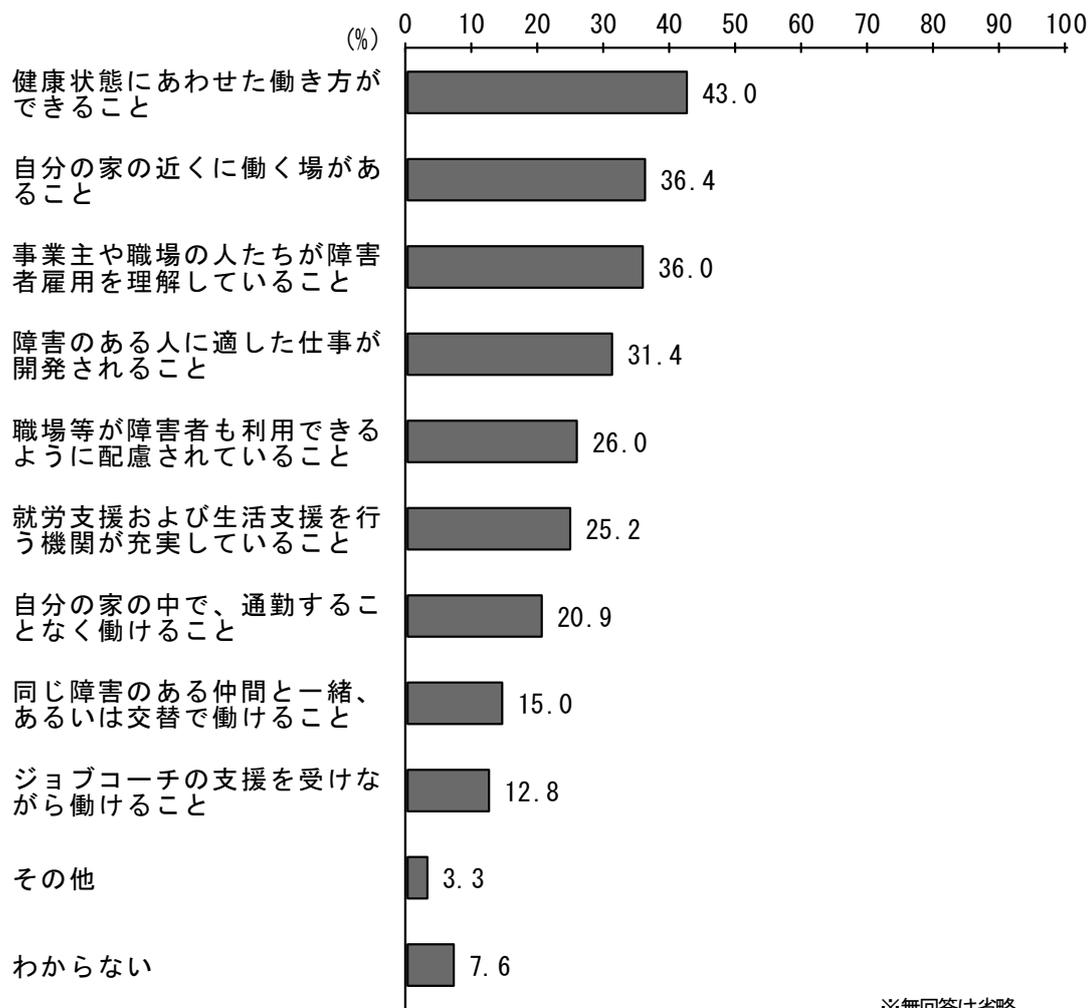
(8) 働くために整っていることが大切だと思う環境（複数回答）

障害のある人が働くために大切な環境としては、身体障害者と精神障害者では「健康状態にあわせた働き方ができること」(43.0%、57.6%)が最も多くあげられ、知的障害者では「事業主や職場の人たちが障害者雇用を理解していること」(48.0%)、施設入所者では「障害のある人に適した仕事があること」(52.1%)が最も多くあげられている。

身体障害者では、「健康状態にあわせた働き方ができること」をあげる人が43.0%と最も多く、次いで「自分の家の近くに働く場があること」(36.4%)、「事業主や職場の人たちが障害者雇用を理解していること」(36.0%)と続いている。

働くために整っていることが大切だと思う環境（複数回答）

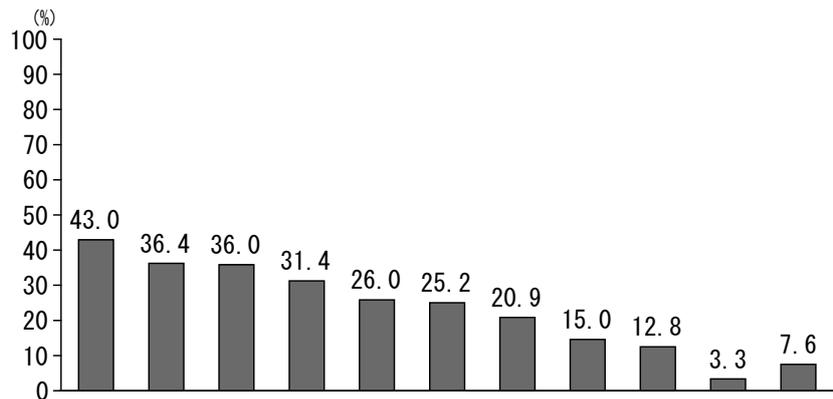
【身体障害者】 全体 n=2,064



障害の種類別でみると、視覚障害や聴覚障害では「事業主や職場の人たちが障害者雇用を理解していること」が最も多く、音声・言語・そしゃく機能の障害では、「障害のある人に適した仕事が開発されること」が最も多くなっている。

障害者が働く為の環境で大切だと思うこと(複数回答)

【身体障害者】 全体 n=2,064



* 問6 障害の程度	n	3	1	6	4	7	5	2	9	8	10	11
		健康状態にあわせた働きができること	自分の家の近くに働く場があること	事業主や職場の人たちが障害者雇用を理解していること	障害のある人に適した仕事が開発されること	職場等が障害者も利用できるように配慮されていること	就労支援および生活支援を行う機関が充実していること	自分の家の中で、通勤することなく働けること	あるいは交替で働けること	同じ障害のある仲間と一緒に働けること	ジョブコーチの支援を受けながら働けること	その他
0 全体	2,064	43.0	36.4	36.0	31.4	26.0	25.2	20.9	15.0	12.8	3.3	7.6
1 重度(1・2級)	1,074	43.7	35.3	36.4	31.5	27.1	26.4	21.4	16.4	13.6	3.3	7.8
2 中度(3・4級)	739	42.2	38.4	34.2	30.9	24.6	23.7	20.0	13.0	11.6	3.9	7.6
3 軽度(5・6級)	189	47.6	40.2	42.9	38.6	26.5	28.6	22.8	12.2	13.8	2.6	7.9

【身体障害の種類別】

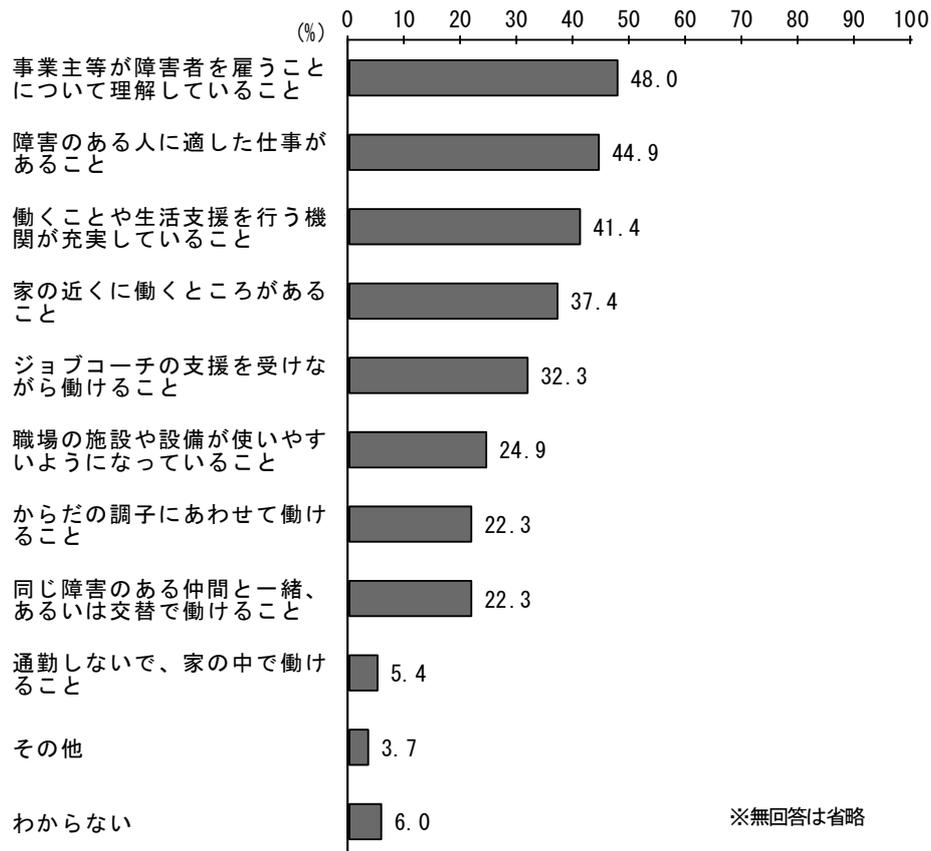
障害の種類	n	3	1	6	4	7	5	2	9	8	10	11
1 視覚障害	133	36.8	35.3	40.6	39.8	27.1	27.1	16.5	15.0	11.3	2.3	9.0
2 聴覚障害	158	37.3	30.4	43.0	38.0	23.4	22.8	17.7	20.3	15.8	4.4	6.3
3 平衡機能障害	26	42.3	26.9	23.1	19.2	19.2	15.4	19.2	11.5	3.8	3.8	7.7
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	41	31.7	29.3	24.4	39.0	24.4	26.8	22.0	19.5	19.5	4.9	2.4
5 肢体不自由(上肢・下肢)	723	44.5	39.3	38.3	33.3	29.7	27.1	23.9	13.8	14.0	2.9	7.2
6 肢体不自由(体幹)	215	40.5	34.4	35.3	34.9	31.6	31.6	20.0	14.0	14.9	2.3	7.0
7 内部障害	601	49.8	38.8	34.8	27.6	22.1	23.6	21.1	15.0	10.6	4.3	8.3
8 その他	59	35.6	30.5	30.5	28.8	28.8	20.3	11.9	16.9	15.3	5.1	13.6

知的障害者では、「事業主や職場の人たちが障害者を雇うことについて理解していること」が48.0%と最も多く、次いで「障害のある人に適した仕事があること」(44.9%)、「働くことや生活支援を行う機関が充実していること」(41.4%)と続いている。

障害の程度別でみると、中度(3度)では「障害のある人に適した仕事があること」が最も多い。

働くために整っていることが大切だと思う環境(複数回答)

【知的障害者】全体 n=350



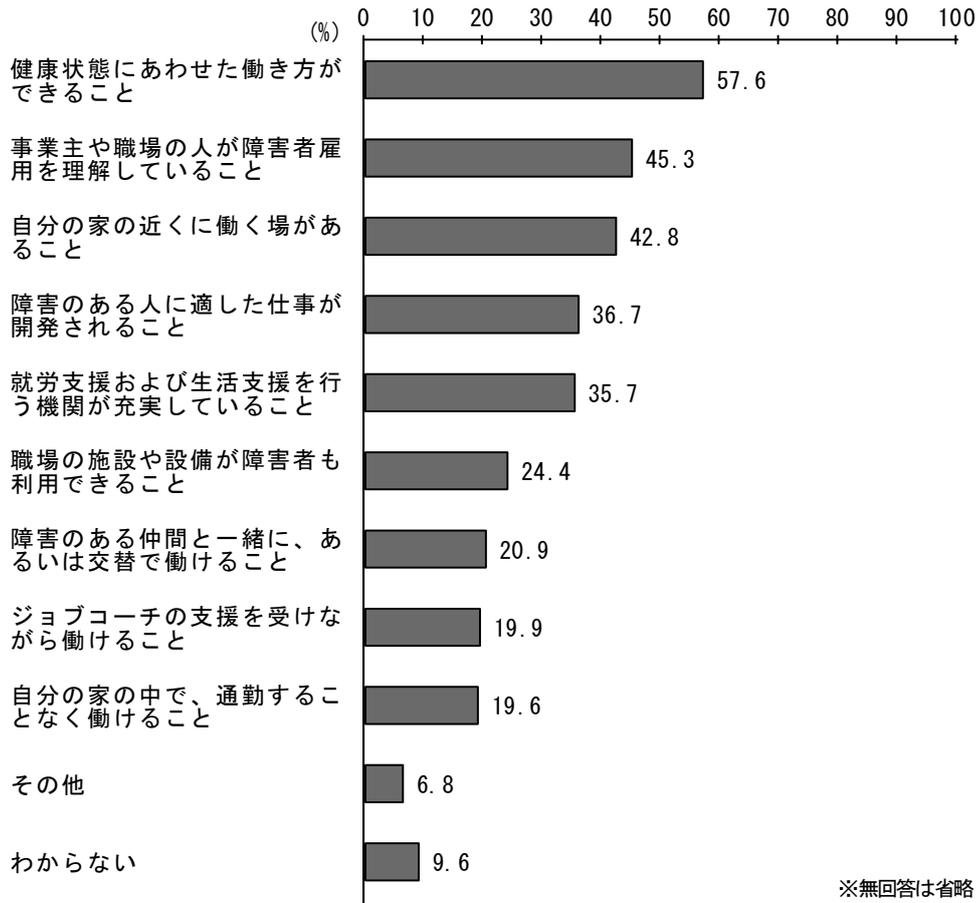
* 問6 障害の程度	n	6	4	5	1	8	7	3	9	2	10	11
		事業主等が障害者を雇うことについて理解していること	あること	障害のある人に適した仕事があること	働くことや生活支援を行う機関が充実していること	家の近くに働くところがあること	ジョブコーチの支援を受けながら働けること	職場の施設や設備が使いやすいようになっていること	からだの調子にあわせて働けること	同じ障害のある仲間と一緒に、あるいは交替で働けること	通勤しないで、家の中で働けること	その他
0 全体	350	48.0	44.9	41.4	37.4	32.3	24.9	22.3	22.3	5.4	3.7	6.0
1 最重度・重度(1・2度)	129	36.4	41.1	41.1	34.9	26.4	26.4	20.2	17.1	3.9	3.9	5.4
2 中度(3度)	77	55.8	58.4	49.4	42.9	36.4	22.1	15.6	26.0	2.6	1.3	3.9
3 軽度(4度)	136	55.1	41.2	37.5	36.8	36.8	24.3	27.9	25.0	8.8	5.1	6.6

精神障害者では、「健康状態にあわせた働き方ができること」が 57.6%と最も多く、次いで「事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること」(45.3%)、「自分の家の近くに働く場があること」(42.8%)と続いている。

障害の程度別でみると、1級では「健康状態にあわせた働き方ができること」がやや少なくなっている。

働くために整っていることが大切だと思う環境(複数回答)

【精神障害者】全体 n=311

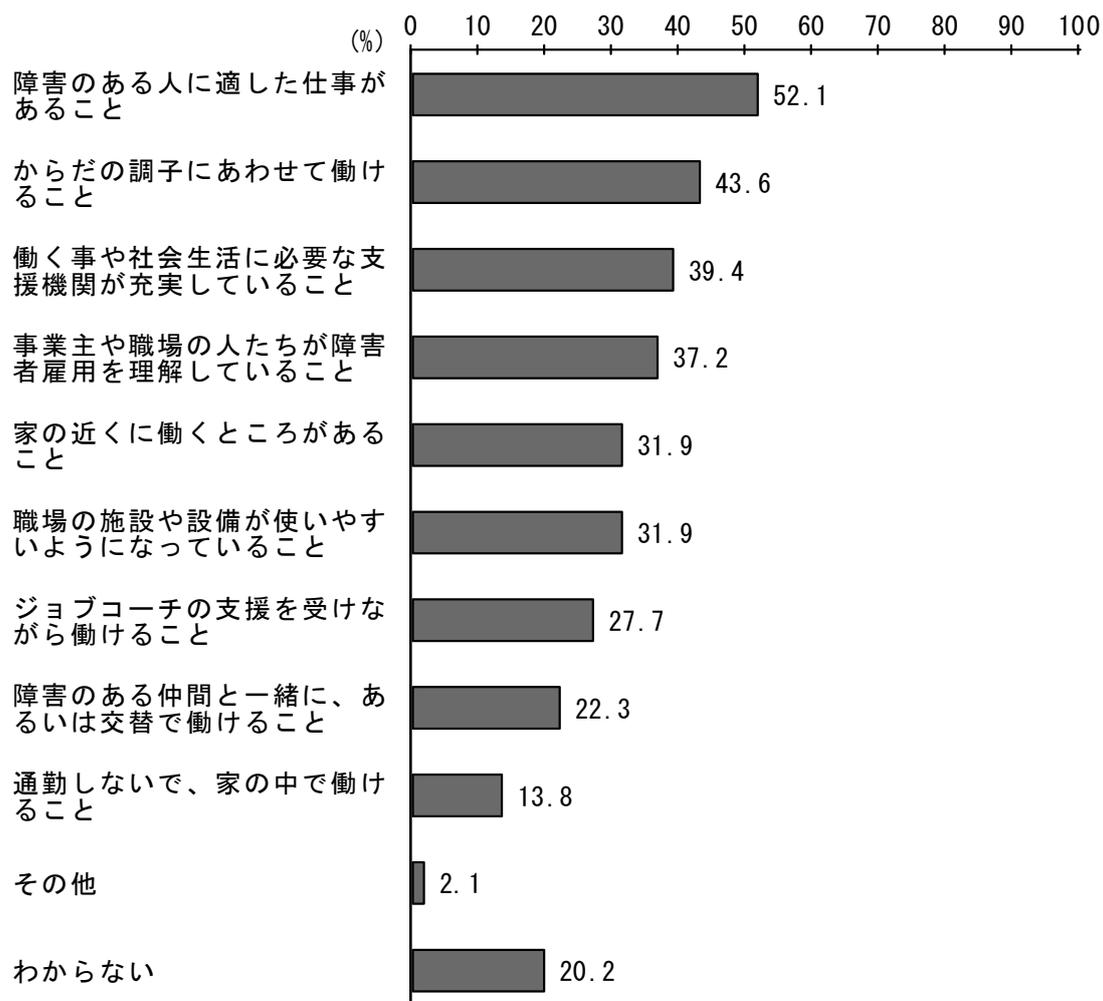


* 問6 障害の程度	n	3	6	1	4	5	7	9	8	2	10	11
		健康状態にあわせた働き方ができること	事業主や職場の人が障害者雇用を理解していること	自分の家の近くに働く場があること	障害のある人に適した仕事が開発されること	就労支援および生活支援を行う機関が充実していること	職場の施設や設備が障害者も利用できること	障害のある仲間と一緒に、あるいは交替で働けること	ジョブコーチの支援を受けながら働けること	自分の家の中で、通勤することなく働けること	その他	わからない
0 全体	311	57.6	45.3	42.8	36.7	35.7	24.4	20.9	19.9	19.6	6.8	9.6
1 1級	38	39.5	34.2	34.2	34.2	34.2	23.7	18.4	21.1	15.8	5.3	21.1
2 2級	162	63.0	45.1	46.9	38.9	39.5	30.2	24.1	21.6	24.1	4.3	7.4
3 3級	101	58.4	51.5	41.6	34.7	31.7	17.8	17.8	17.8	13.9	8.9	9.9

施設入所者では、「障害のある人に適した仕事があること」が 52.1%と最も多く、次いで「からだの調子にあわせて働けること」(43.6%)、「働く事や社会生活に必要な支援機関が充実していること」(39.4%)と続いている。

働くために整っていることが大切だと思う環境(複数回答)

【施設入所者】 全体 n=94



※無回答は省略

7 外出や社会参加の状況

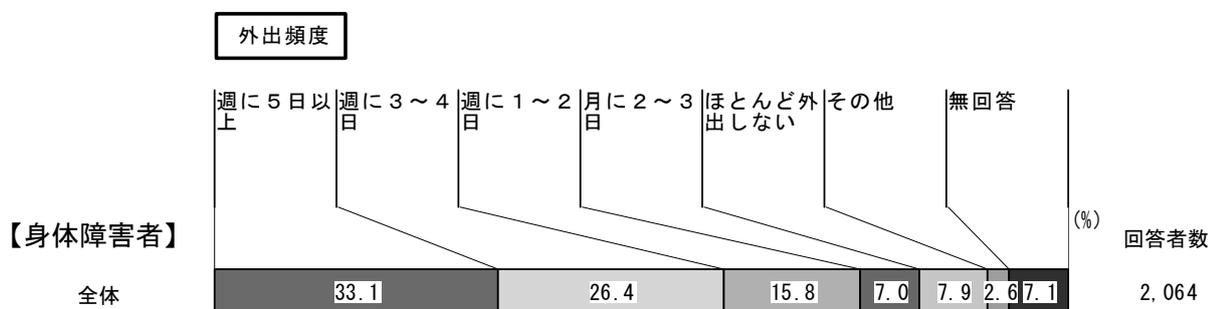
(1) 外出頻度

「月に2～3日」あるいは「ほとんど外出しない」人が身体障害者で14.9%、知的障害者で6.9%、精神障害者では11.0%みられる。

身体障害者の外出頻度をみると、「週に5日以上」が33.1%、「週に3～4日」が26.4%、「週に1～2日」が15.8%、「月に2～3日」が7.0%であり、「ほとんど外出しない」人は7.9%である。

年齢区分別にみると、65歳以上では10.0%の人が「ほとんど外出しない」と回答している。

障害の程度別にみると、「ほとんど外出しない」人の割合は、重度(1級・2級)では8.9%、中度(3級・4級)では8.0%、軽度(5級・6級)では2.6%である。

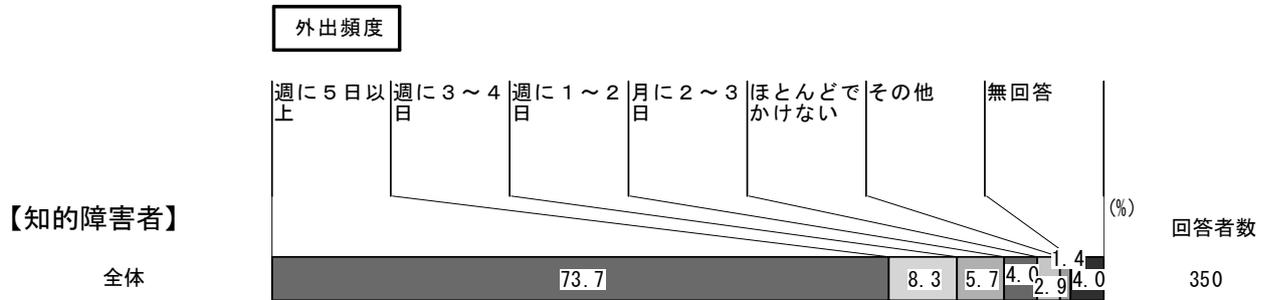


		1	2	3	4	5	6	
		週に5日以上	週に3～4日	週に1～2日	月に2～3日	ほとんど外出しない	その他	
* 問1	年齢	n						
0	全体	2,064	33.1	26.4	15.8	7.0	7.9	2.6
1	0～17歳	53	83.0	1.9	3.8	1.9	5.7	1.9
2	18～64歳	614	51.0	22.1	13.0	5.0	4.4	1.1
3	65歳以上	1,311	23.0	29.7	17.9	8.0	10.0	3.1

【障害の程度別】

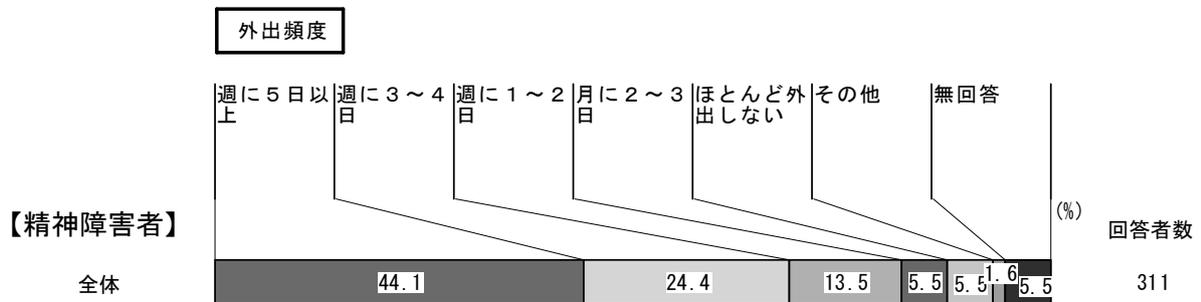
1	重度(1・2級)	1,074	30.3	26.5	16.0	7.4	8.9	2.8
2	中度(3・4級)	739	35.3	27.3	15.6	6.9	8.0	1.9
3	軽度(5・6級)	189	44.4	22.8	15.9	5.8	2.6	3.2

知的障害者では、「週に5日以上」が73.7%、「週に3～4日」が8.3%、「週に1～2日」が5.7%、「月に2～3日」が4.0%であり、「ほとんど外出しない」人は2.9%である。
 障害の程度別にみると、程度による差はあまり見られない。



		1	2	3	4	5	6	
		週に5日以上	週に3～4日	週に1～2日	月に2～3日	ほとんどでかけない	その他	
	* 問6 障害の程度	n						
0	全体	350	73.7	8.3	5.7	4.0	2.9	1.4
1	最重度・重度 (1・2度)	129	71.3	9.3	3.9	2.3	3.1	3.1
2	中度 (3度)	77	75.3	6.5	7.8	6.5	1.3	0.0
3	軽度 (4度)	136	77.2	8.1	5.9	3.7	3.7	0.7

精神障害者では、「週に5日以上」が 44.1%、「週に3～4日」が 24.4%、「週に1～2日」が 13.5%、「月に2～3日」が 5.5%であり、「ほとんど外出しない」人は 5.5%である。
 障害の程度別にみると、1級では、「ほとんど外出しない」が多くなっている。



		1	2	3	4	5	6	
		週に5日以上	週に3～4日	週に1～2日	月に2～3日	ほとんど外出しない	その他	
	* 問 6 障害の程度	n						
0	全体	311	44.1	24.4	13.5	5.5	5.5	1.6
1	1級	38	18.4	28.9	10.5	2.6	15.8	2.6
2	2級	162	46.3	23.5	14.2	8.0	4.3	1.2
3	3級	101	50.5	26.7	12.9	2.0	3.0	2.0

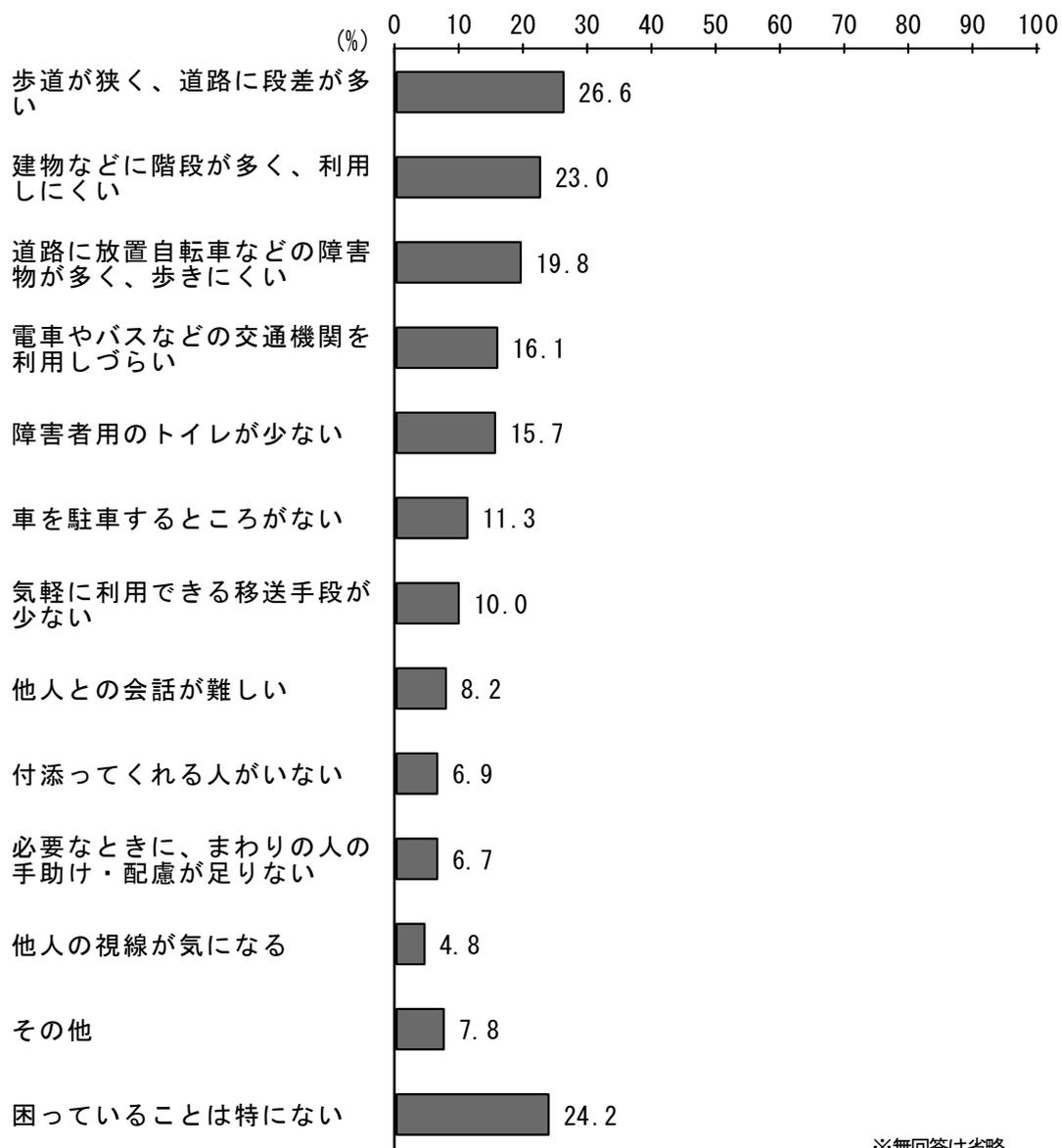
(2) 外出の際に困っていること（複数回答）

外出の際に困っていることとしては、身体障害者では「歩道が狭く、道路に段差が多い」、知的障害者では「まわりの人と話すのがむずかしい」、精神障害者では「他人の視線が気になる」をあげる人がそれぞれ最も多い。

身体障害者では、「歩道が狭く、道路に段差が多い」をあげる人が 26.6%と最も多く、次いで「建物などに階段が多く、利用しにくい」(23.0%)、「道路に放置自転車などの障害物が多く、歩きにくい」(19.8%)と続いている。

外出の際に困っていること(複数回答)

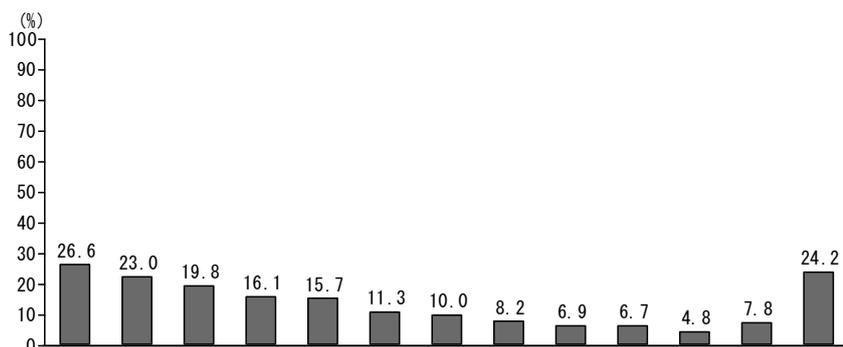
【身体障害者】 全体 n=2,064



障害の程度別にみると、重度(1・2度)では「電車やバスなどの交通機関を利用しづらい」、「障害者用のトイレが少ない」が多い傾向がみられる。

外出の際に困っていること(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064

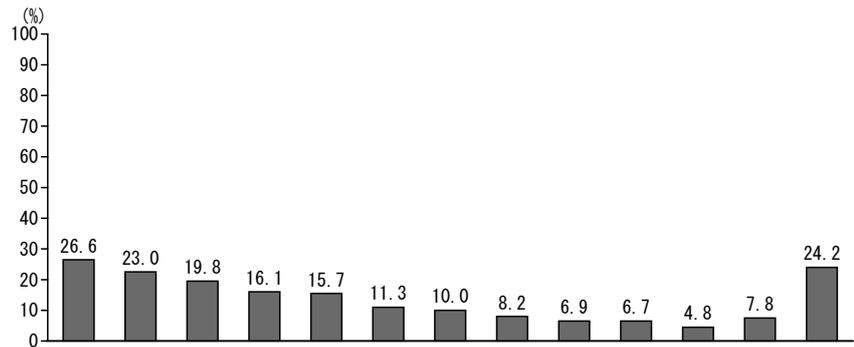


* 問6 障害の程度	n	困っていること(複数回答)												
		5	7	6	10	11	8	9	2	1	4	3	12	13
0 全体	2,064	26.6	23.0	19.8	16.1	15.7	11.3	10.0	8.2	6.9	6.7	4.8	7.8	24.2
1 重度(1・2級)	1,074	29.1	24.7	21.3	19.1	18.7	12.8	12.8	8.6	8.3	8.1	4.9	7.5	21.8
2 中度(3・4級)	739	24.9	23.1	18.4	13.7	13.1	9.6	7.2	7.4	5.4	4.9	4.6	8.7	27.1
3 軽度(5・6級)	189	21.2	16.4	18.0	10.1	7.4	10.6	7.4	10.6	4.8	5.8	5.8	6.3	27.5

障害の種類別にみると、聴覚障害と音声・言語・そしゃく機能の障害では、「他人との会話が難しい」(34.2%、58.5%)が多くなっている。

外出の際に困っていること(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064



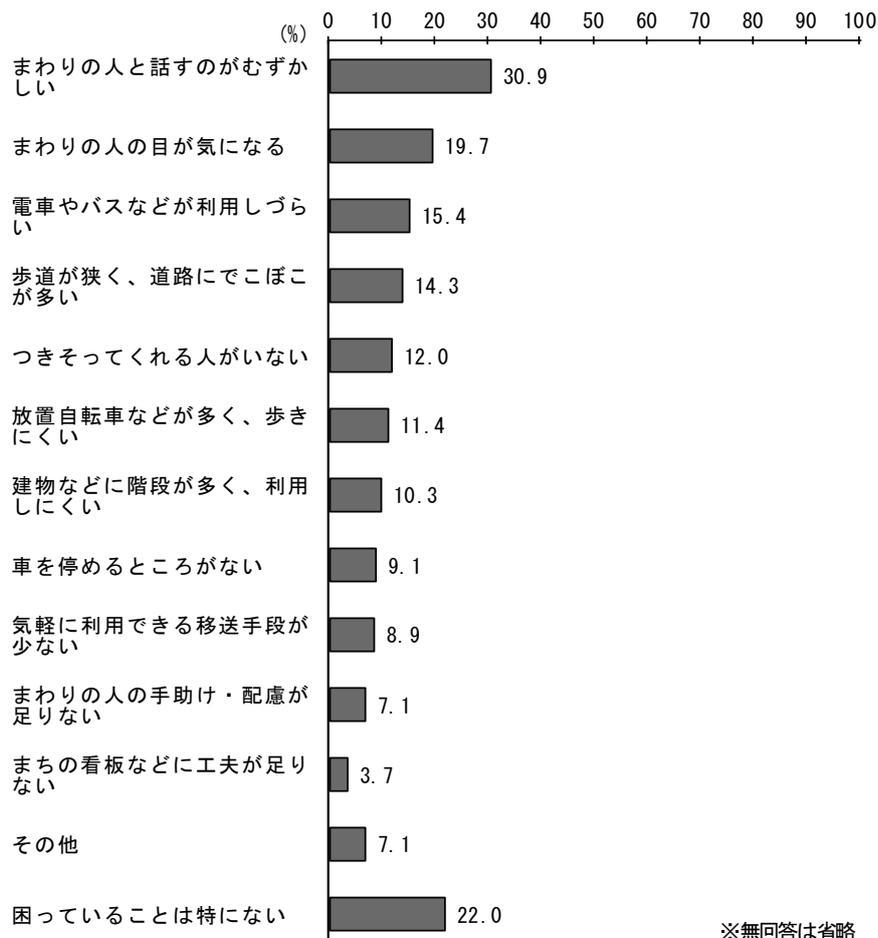
問7 障害者手帳に記載された障害の種類 1番目	n	困っていること												
		5	7	6	10	11	8	9	2	1	4	3	12	13
0 全体	2,064	26.6	23.0	19.8	16.1	15.7	11.3	10.0	8.2	6.9	6.7	4.8	7.8	24.2
1 視覚障害	133	47.4	21.1	45.9	18.8	14.3	6.8	11.3	3.8	12.0	10.5	2.3	20.3	11.3
2 聴覚障害	158	11.4	6.3	13.3	10.1	5.7	3.2	4.4	34.2	5.1	8.2	4.4	7.6	26.6
3 平衡機能障害	26	34.6	38.5	19.2	19.2	15.4	11.5	3.8	15.4	7.7	3.8	0.0	7.7	15.4
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	41	22.0	22.0	9.8	19.5	9.8	9.8	12.2	58.5	9.8	7.3	12.2	7.3	7.3
5 肢体不自由(上肢・下肢)	723	34.9	31.1	24.5	20.9	23.1	15.4	12.4	6.4	8.2	8.2	7.9	7.9	17.6
6 肢体不自由(体幹)	215	39.1	36.7	25.6	27.9	23.3	18.1	17.2	6.0	7.4	9.3	6.0	6.0	14.9
7 内部障害	601	13.3	13.6	10.0	7.3	7.7	9.0	6.5	2.0	3.8	3.8	1.3	5.8	39.1
8 その他	59	22.0	16.9	15.3	15.3	8.5	8.5	8.5	5.1	6.8	1.7	1.7	15.3	32.2

知的障害者では、「まわりの人と話すのがむずかしい」が 30.9%と最も多く、次いで「まわりの人の目が気になる」(19.7%)、「電車やバスなどが利用しづらい」(15.4)%と続いている。

障害の程度別にみると、最重度・重度(1・2度)ではどの項目も回答率が高くなっている。また、中度(3度)では、「まわりの人の目が気になる」が少ない。

外出の際に困っていること(複数回答)

【知的障害者】全体 n=350



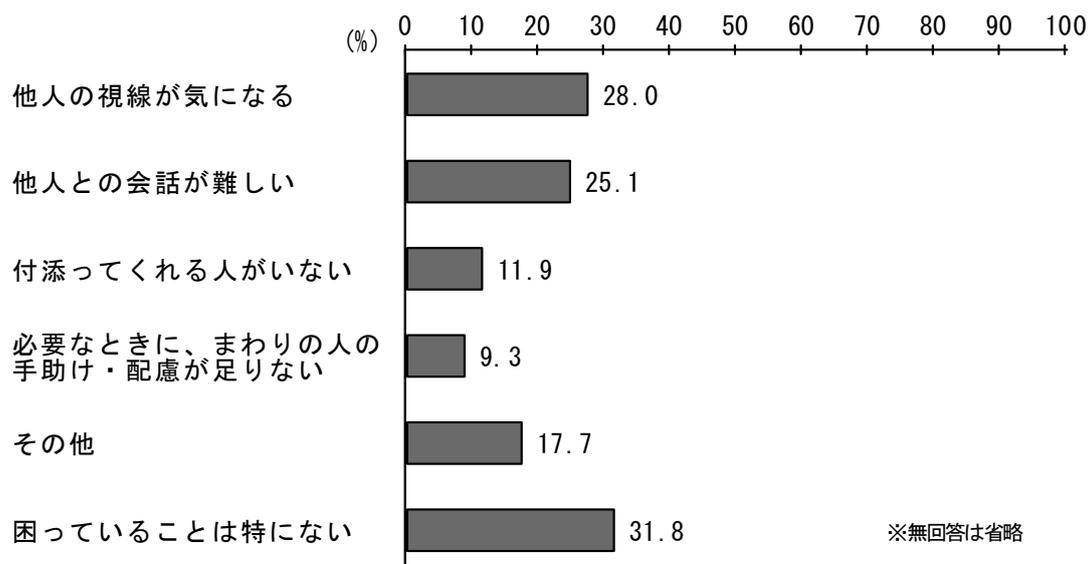
* 問6 障害の程度	n	2	3	10	5	1	6	7	8	9	4	11	12	13
		まわりの人と話すのがむずかしい	まわりの人の目が気になる	らい 電車やバスなどが利用しづら	こが多い 歩道が狭く、道路にでこぼ	い つきそってくれる人がいな	きにくい 放置自転車などが多く、歩	用しにくい 建物などに階段が多く、利	車を停めるところがない	段が少ない 気軽に利用できる移送手	が足りない まわりの人の手助け・配慮	りない まちの看板などに工夫が足	その他	困っていることは特にな
0 全体	350	30.9	19.7	15.4	14.3	12.0	11.4	10.3	9.1	8.9	7.1	3.7	7.1	22.0
1 最重度・重度(1・2度)	129	30.2	25.6	24.0	20.2	14.0	18.6	15.5	17.1	16.3	10.1	3.1	10.1	8.5
2 中度(3度)	77	33.8	7.8	14.3	10.4	13.0	7.8	5.2	6.5	7.8	7.8	3.9	3.9	20.8
3 軽度(4度)	136	30.9	20.6	8.1	10.3	10.3	5.9	8.1	2.9	2.2	4.4	2.9	6.6	33.8

精神障害者では、「困っていることは特にない」との回答が 31.8%を占める一方、外出の際に困っていることとして、「他人の視線が気になる」が 28.0%、「他人との会話が難しい」が 25.1%である。

障害の程度別にみると、「付き添ってくれる人がいない」は2級で多く、3級で少ない。

外出の際に困っていること(複数回答)

【精神障害者】全体 n=311



		3	2	1	4	5	6
		他人の視線が気になる	他人との会話が難しい	付添ってくれる人がいない	必要に応じて、まわりの人の手助け・配慮が足りない	その他	困っていることは特にない
* 問6 障害の程度	n						
0 全体	311	28.0	25.1	11.9	9.3	17.7	31.8
1 1級	38	34.2	28.9	13.2	15.8	7.9	18.4
2 2級	162	26.5	25.9	16.0	9.3	19.8	30.9
3 3級	101	28.7	21.8	5.0	6.9	18.8	38.6

(3) 最近の活動状況（複数回答）

最近行った活動としては、身体障害者では「買い物」をあげる人が53.0%と最も多く、次いで「旅行」が33.5%である。なお、「特に何もしていない」人が23.1%みられる。

知的障害者では、「買い物」が62.0%と最も多く、次いで「旅行」(56.3%)、「スポーツやレクリエーション」(35.1%)である。なお、「特に何もしていない」人が12.3%みられる。

精神障害者では、「買い物」が66.2%と最も多く、次いで「旅行」(26.7%)、「スポーツやレクリエーション」(18.6%)である。なお、「特に何もしていない」人が16.1%みられる。

		スポーツ やレク リエー ション	旅行	買い物	ボラン ティア 活動	障害者 団体の 活動	趣味な どのサ ークル 活動	講座や 講演会 などへ の参加	地域の 行事や お祭	その他	特に何 もして いない	無回答
身体障害者	(n=2,064)	12.5%	33.5%	53.0%	3.8%	4.3%	16.9%	9.9%	9.4%	4.8%	23.1%	9.8%
知的障害者	(n=350)	35.1%	56.3%	62.0%	2.9%	17.7%	16.3%	3.4%	25.7%	5.7%	12.3%	6.3%
精神障害者	(n=311)	18.6%	26.7%	66.2%	4.5%	5.5%	14.8%	12.2%	9.6%	10.3%	16.1%	4.8%

(4) 今後の活動意向（複数回答）

今後、してみたい活動としては、身体障害者では、「旅行」をあげる人が45.6%と最も多く、次いで「買い物」(31.3%)、「趣味などのサークル活動」(25.9%)である。なお、今後「特に活動したくない」と回答した人が14.8%みられる。

知的障害者では、「旅行」が60.3%と最も多く、「買い物」(48.0%)、「スポーツやレクリエーション」(42.6%)と続いている。なお、今後「特に活動したくない」と回答した人が8.6%みられる。

精神障害者では、「買い物」が39.5%と最も多く、次いで「旅行」(39.2%)、「趣味などのサークル活動」(24.8%)である。なお、今後「特に活動したくない」と回答した人が17.4%みられる。

施設入所者では、「買い物」が67.0%と最も多く、次いで「旅行」(50.0%)、「地域の行事やお祭」(44.7%)である。なお、今後「特に活動したくない」と回答した人が8.5%みられる。

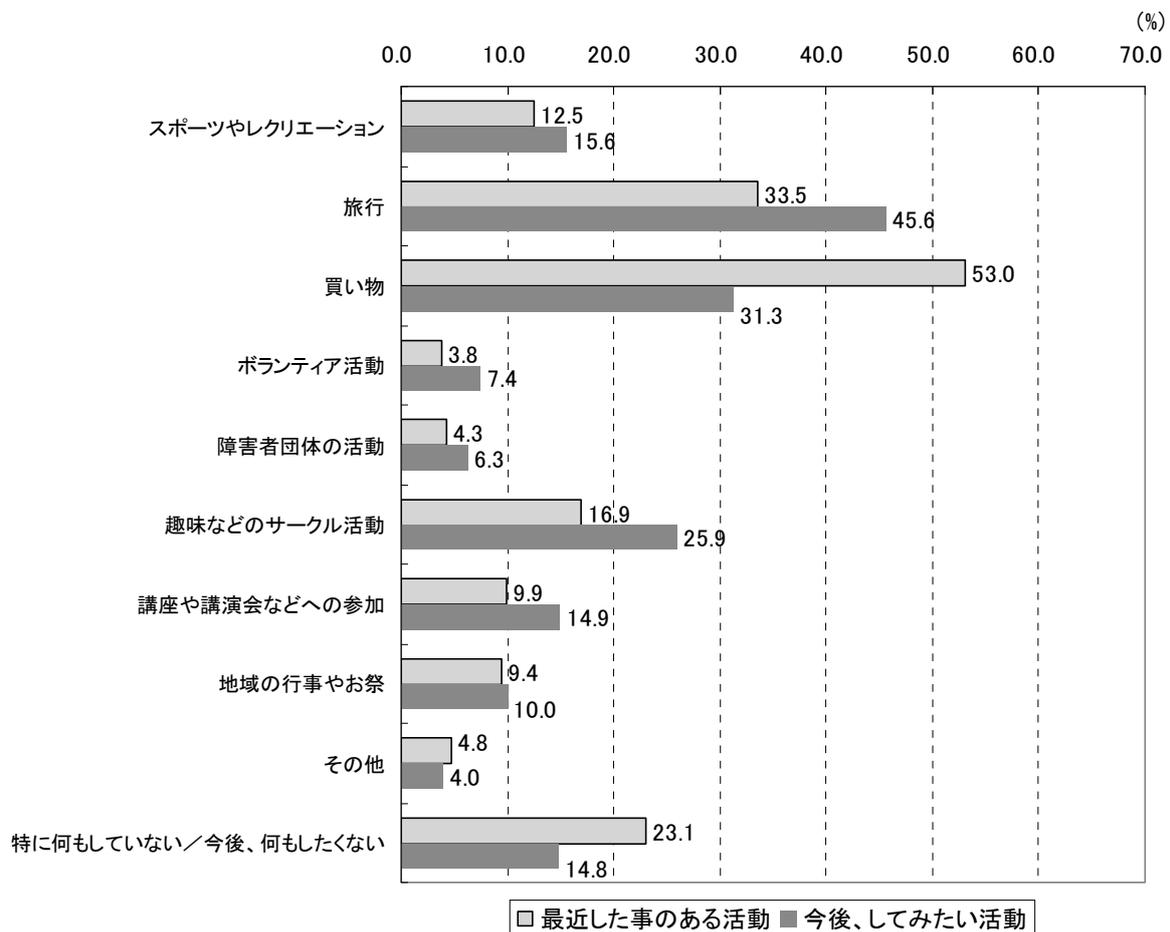
		スポーツ やレク リエー ション	旅行	買い物	ボラン ティア 活動	障害者 団体の 活動	趣味な どのサ ークル 活動	講座や 講演会 などへ の参加	地域の 行事や お祭	その他	特に活 動した くない	無回答
身体障害者	(n=2,064)	15.6%	45.6%	31.3%	7.4%	6.3%	25.9%	14.9%	10.0%	4.0%	14.8%	16.8%
知的障害者	(n=350)	42.6%	60.3%	48.0%	7.1%	12.9%	26.6%	4.6%	28.6%	4.6%	8.6%	11.1%
精神障害者	(n=311)	21.9%	39.2%	39.5%	11.6%	8.4%	24.8%	16.1%	10.3%	8.0%	17.4%	7.7%
施設入所者	(n=94)	30.9%	50.0%	67.0%	6.4%	3.2%	37.2%	6.4%	44.7%	3.2%	8.5%	4.3%

(5) 最近の活動状況と今後の活動意向の比較

過去1年間の活動と今後の活動意向を比較して、身体障害者では、特に「旅行」の意向が高く、知的障害者では、「趣味などのサークル活動」の意向が高く、精神障害者では、特に「旅行」、「趣味などのサークル活動」の意向が高くなっている。

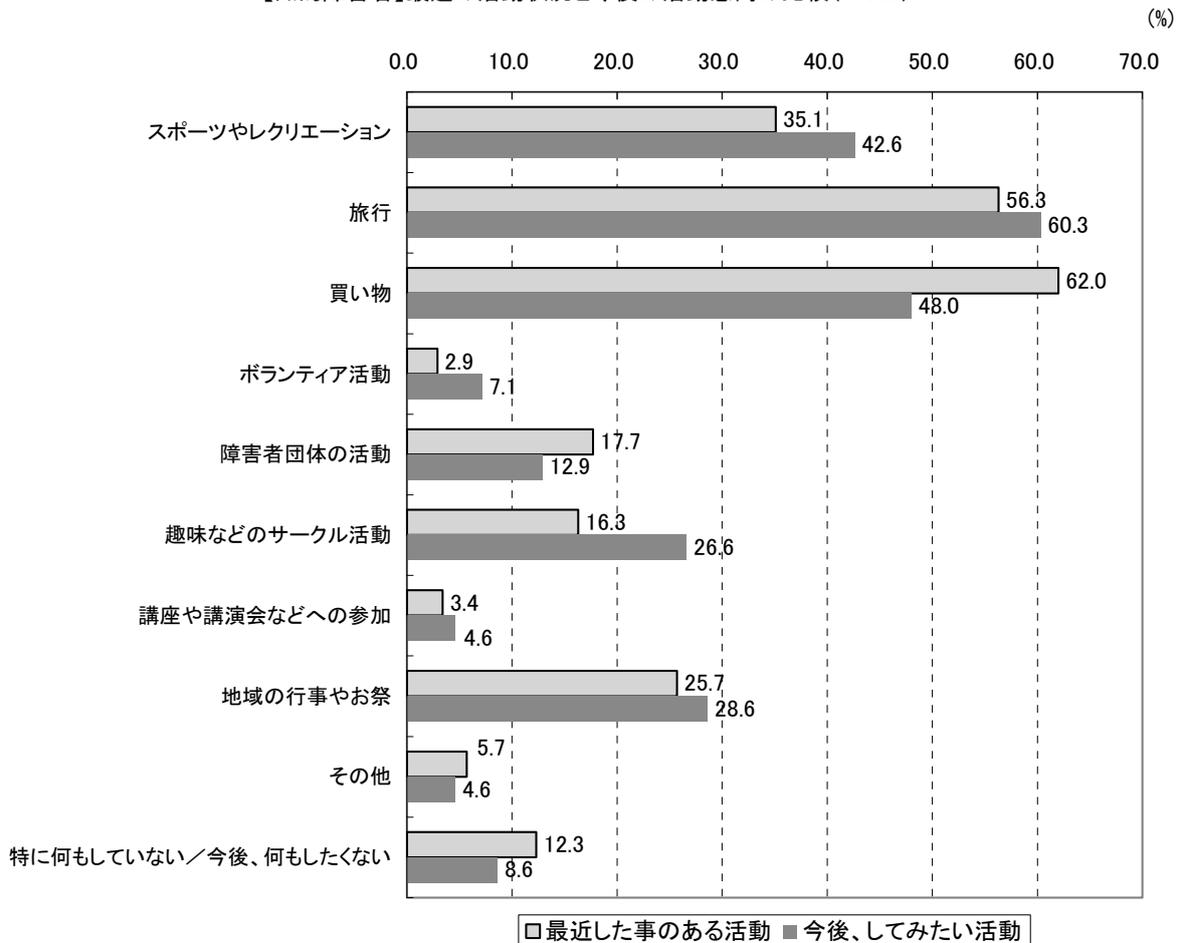
身体障害者で、最近行った活動内容と、「今後してみたい」と回答のあった活動内容を比較すると、「買い物」を除くいずれの活動においても、実際に活動している人より、活動を希望する人が多くなっている。特にその差が大きいものは、「旅行」である。

【身体障害者】最近の活動状況と今後の活動意向の比較(n=2,064)



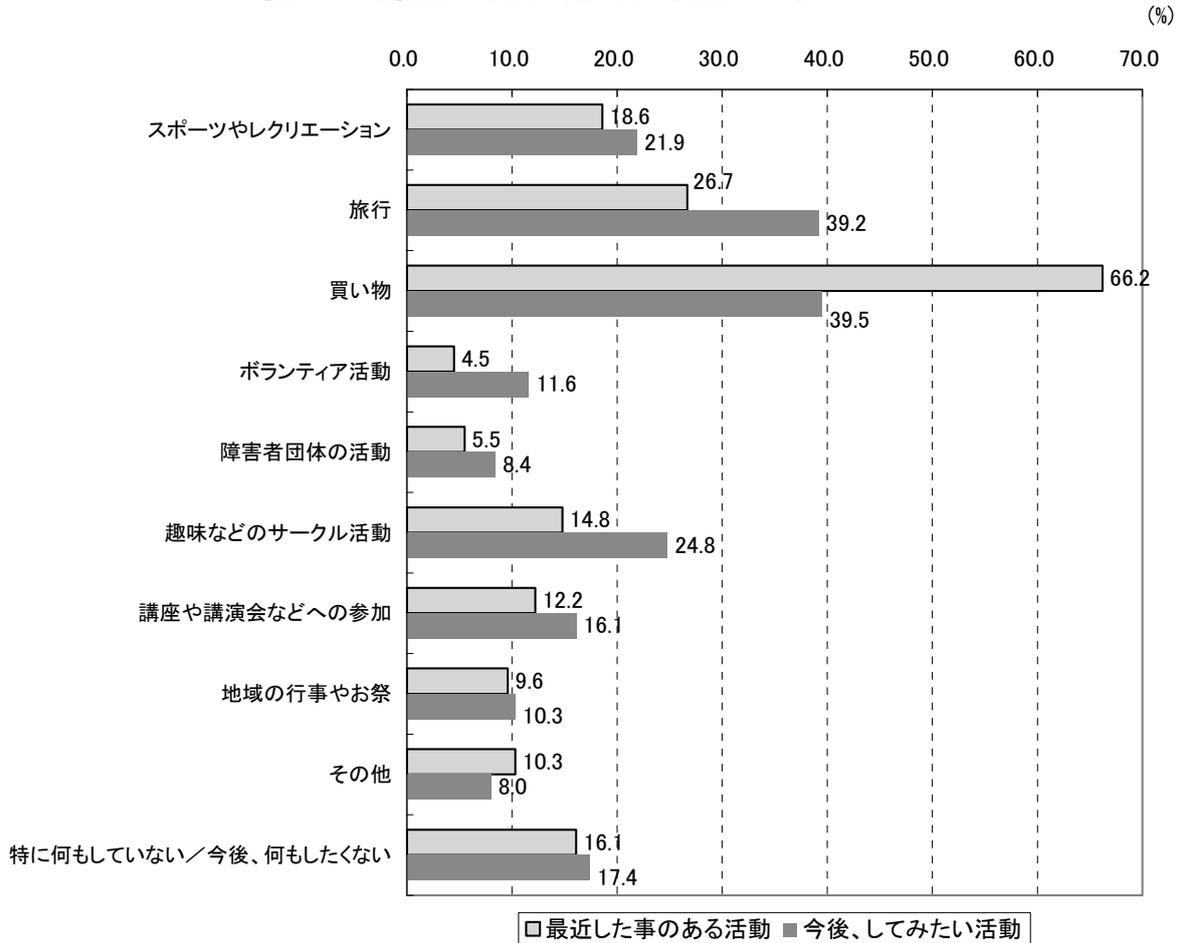
知的障害者で、最近行った活動内容と、「今後してみたい」と回答のあった活動内容を比較すると、「買い物」「障害者団体の活動」を除くいずれの活動においても、実際に活動している人より、活動を希望する人が多くなっている。特にその差が大きいものは、「趣味などのサークル活動」である。

【知的障害者】最近の活動状況と今後の活動意向の比較 (n=350)



精神障害者で、最近行った活動内容と、「今後してみたい」と回答のあった活動内容を比較すると、「買い物」を除くいずれの活動においても、実際に活動している人より、活動を希望する人が多くなっている。特にその差が大きいものは、「旅行」、「趣味などのサークル活動」である。

【精神障害者】最近の活動状況と今後の活動意向の比較(n=311)



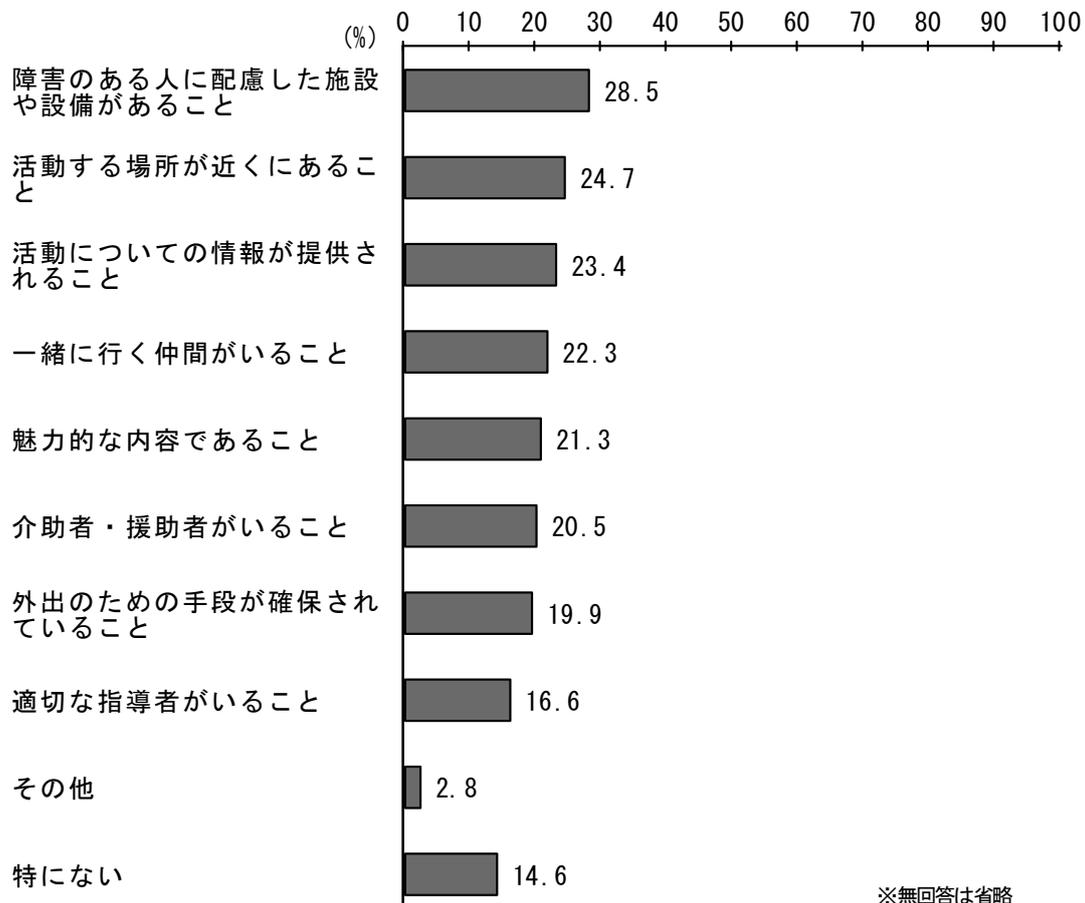
(6) 活動に参加するために必要な支援（複数回答）

希望する活動に参加するために必要な支援として最も多くあげられているのは、身体障害者では「障害のある人に配慮した施設や設備があること」(28.5%)、知的障害者では「介助者・援助者がいること」(45.1%)、精神障害者では「活動する場所が近くにあること」(35.7%)である。

身体障害者では、「障害のある人に配慮した施設や設備があること」をあげる人が 28.5%と最も多く、次いで「活動する場所が近くにあること」(24.7%)、「活動についての情報が提供されること」(23.4%)と続いている。

活動に参加するために必要な支援（複数回答）

【身体障害者】 全体 n=2,064



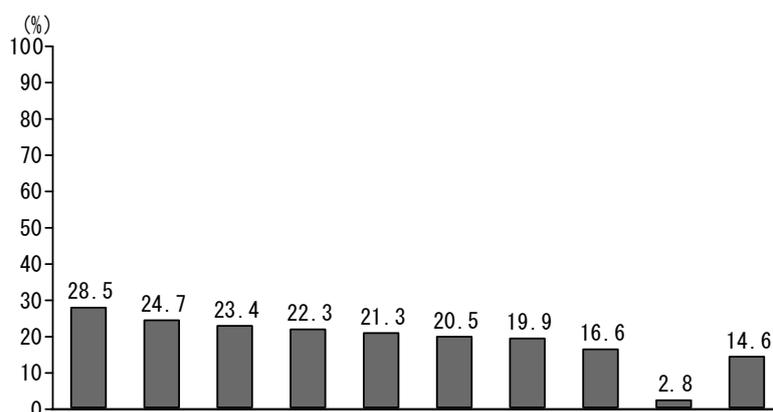
※無回答は省略

障害の程度別にみると、活動に参加するために必要な支援について、中度(3・4級)では「活動する場所が近くにあること」、軽度(5・6級)では「魅力的な内容であること」が最も多くなっている。

障害の種類別にみると、視覚障害、肢体不自由ともに「障害のある人に配慮した施設や設備があること」が最も多くみられる(31.6%、34.7%)。また、聴覚障害では「一緒に行く仲間がいること」が33.5%で最も多い。

活動に参加するために必要な支援(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064



* 問6 障害の程度	n	7	3	1	2	5	8	4	6	9	10
		施設や設備があること	障害のある人に配慮した活動する場所が近くにあること	活動する場所が近くにあること	活動についての情報が提供されること	一緒に行く仲間がいること	魅力的な内容であること	介助者・援助者がいること	外出のための手段が確保されていること	適切な指導者がいること	その他
0 全体	2,064	28.5	24.7	23.4	22.3	21.3	20.5	19.9	16.6	2.8	14.6
1 重度(1・2級)	1,074	31.3	21.5	21.4	20.8	20.2	26.4	22.9	15.5	2.5	14.9
2 中度(3・4級)	739	26.1	29.8	27.6	24.5	21.5	13.5	17.3	18.4	3.4	14.1
3 軽度(5・6級)	189	23.3	25.9	21.2	21.2	28.0	15.3	14.8	15.9	1.6	15.3

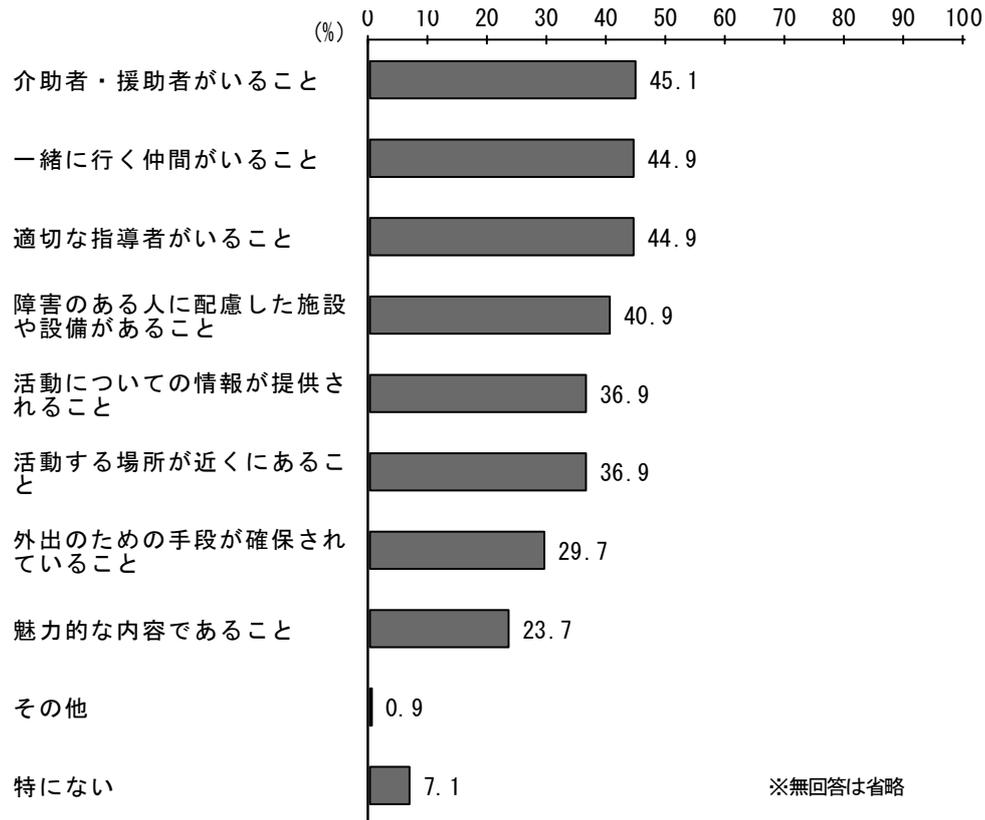
【身体障害の種類別】

1	視覚障害	133	31.6	27.1	26.3	30.1	23.3	31.6	28.6	20.3	3.8	12.0
2	聴覚障害	158	22.2	25.9	27.2	33.5	23.4	12.7	9.5	18.4	3.8	10.1
3	平衡機能障害	26	38.5	11.5	7.7	23.1	11.5	34.6	19.2	11.5	0.0	19.2
4	音声・言語・そしゃく機能の障害	41	36.6	24.4	24.4	22.0	12.2	36.6	22.0	19.5	4.9	4.9
5	肢体不自由(上肢・下肢)	723	34.7	28.6	24.2	22.3	23.2	24.2	24.3	16.7	2.5	12.2
6	肢体不自由(体幹)	215	39.1	23.7	22.3	18.6	20.5	30.7	30.7	14.9	2.3	10.2
7	内部障害	601	19.6	21.0	23.3	19.3	21.0	12.1	12.3	15.8	2.2	21.1
8	その他	59	27.1	25.4	23.7	25.4	22.0	16.9	25.4	20.3	8.5	25.4

知的障害者では、「介助者・援助者がいること」が 45.1%と最も多く、次いで「一緒に行く仲間がいること」、「適切な指導者がいること」(ともに 44.9%)と続いている。障害の程度別にみると、最重度・重度(1・2度)では特に、「介助者・援助者がいること」、「障害のある人に配慮した施設や設備があること」が多い。

活動に参加するために必要な支援(複数回答)

【知的障害者】全体 n=350

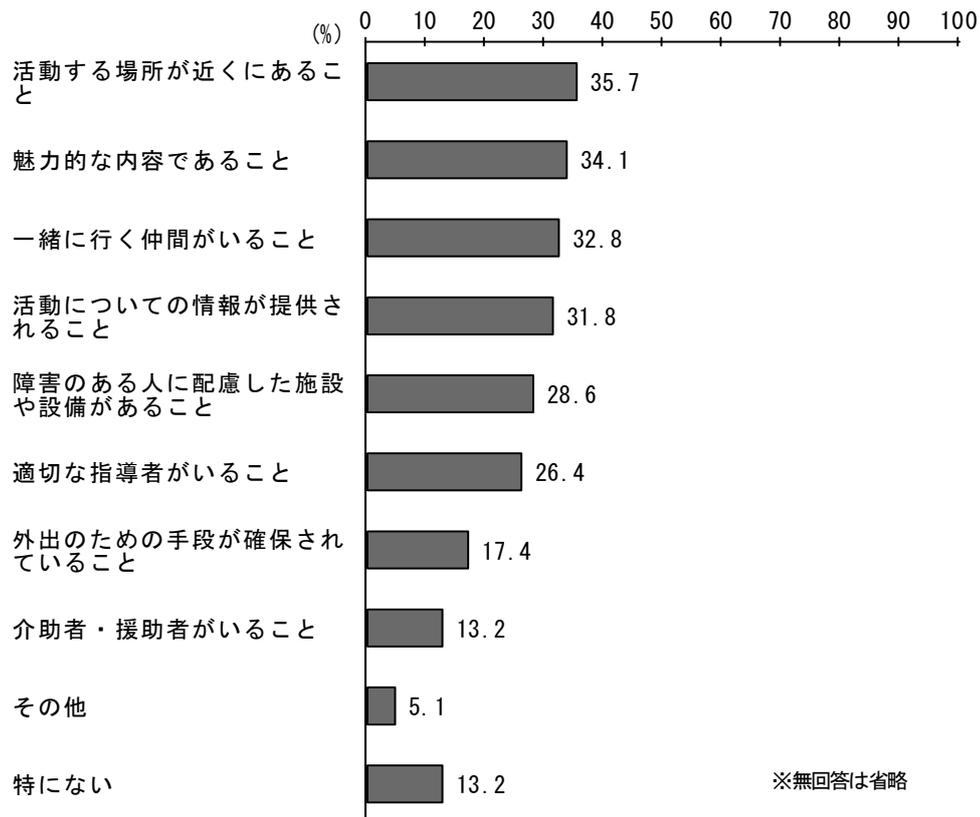


* 問6 障害の程度	n	8	2	6	7	1	3	4	5	9	10
		介助者・援助者がいること	一緒に行く仲間がいること	適切な指導者がいること	障害のある人に配慮した施設や設備があること	活動についての情報が提供されること	活動する場所が近くにあること	外出のための手段が確保されていること	魅力的な内容であること	その他	特にない
0 全体	350	45.1	44.9	44.9	40.9	36.9	36.9	29.7	23.7	0.9	7.1
1 最重度・重度(1・2度)	129	63.6	38.0	45.7	54.3	31.8	41.9	44.2	24.0	1.6	1.6
2 中度(3度)	77	44.2	53.2	55.8	36.4	42.9	41.6	31.2	23.4	1.3	6.5
3 軽度(4度)	136	27.9	47.1	36.8	30.9	36.8	30.9	14.7	25.0	0.0	13.2

精神障害者では、「活動する場所が近くにあること」が 35.7%と最も多く、次いで「魅力的な内容であること」が 34.1%と続いている。障害の程度別にみると、1級では「障害のある人に配慮した施設や設備があること」、2級では「活動する場所が近くにあること」、3級では「魅力的な内容であること」が最も多い。

活動に参加するために必要な支援(複数回答)

【精神障害者】全体 n=311

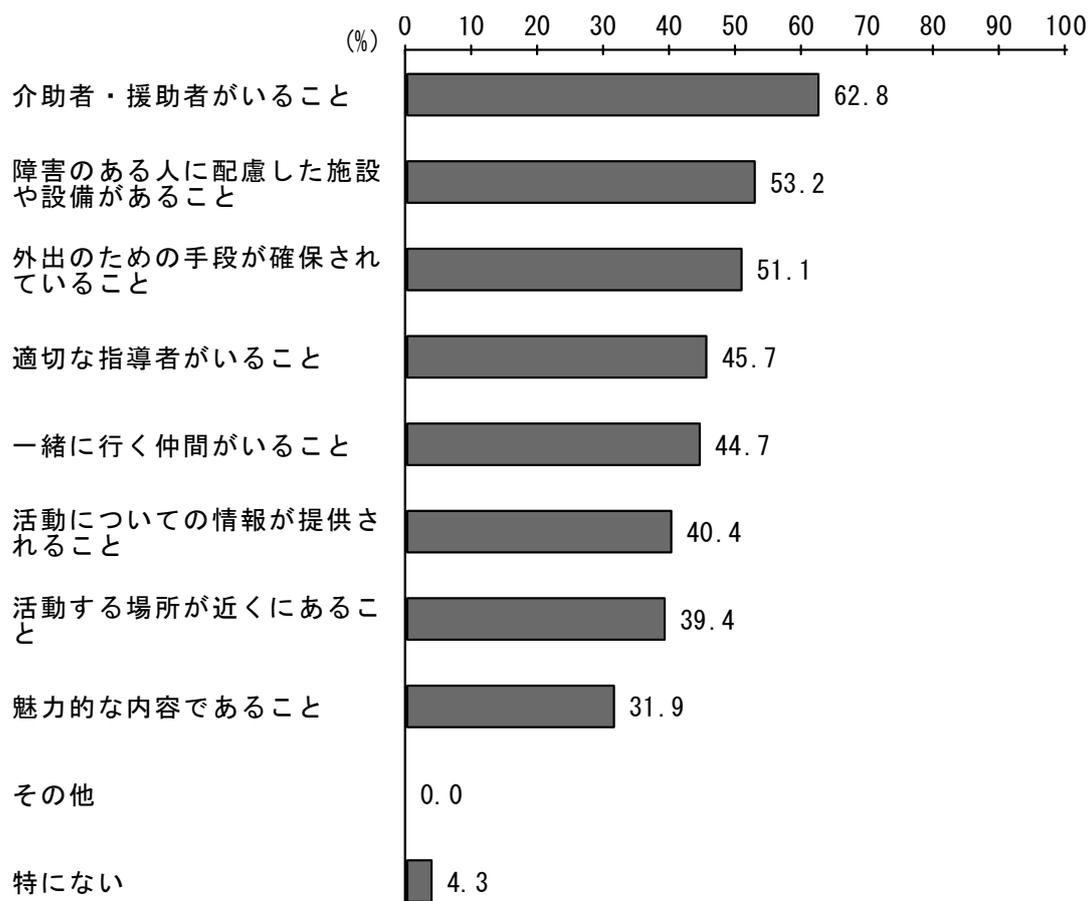


* 問6 障害の程度	n	3	5	2	1	7	6	4	8	9	10
		活動する場所が近くにあること	魅力的な内容であること	一緒に行く仲間がいること	活動についての情報が提供されること	障害のある人に配慮した施設や設備があること	適切な指導者がいること	外出のための手段が確保されていること	介助者・援助者がいること	その他	特になし
0 全体	311	35.7	34.1	32.8	31.8	28.6	26.4	17.4	13.2	5.1	13.2
1 1級	38	31.6	23.7	23.7	18.4	34.2	21.1	15.8	31.6	0.0	10.5
2 2級	162	37.7	32.1	34.0	36.4	33.3	30.9	19.8	11.1	3.7	14.2
3 3級	101	35.6	41.6	33.7	30.7	19.8	22.8	13.9	9.9	8.9	12.9

施設入所者では、「介助者・援助者がいること」が 62.8%と最も多く、次いで「障害のある人に配慮した施設や設備があること」が 53.2%と続いている。

活動に参加するために必要な支援(複数回答)

【施設入所者】全体 n=94



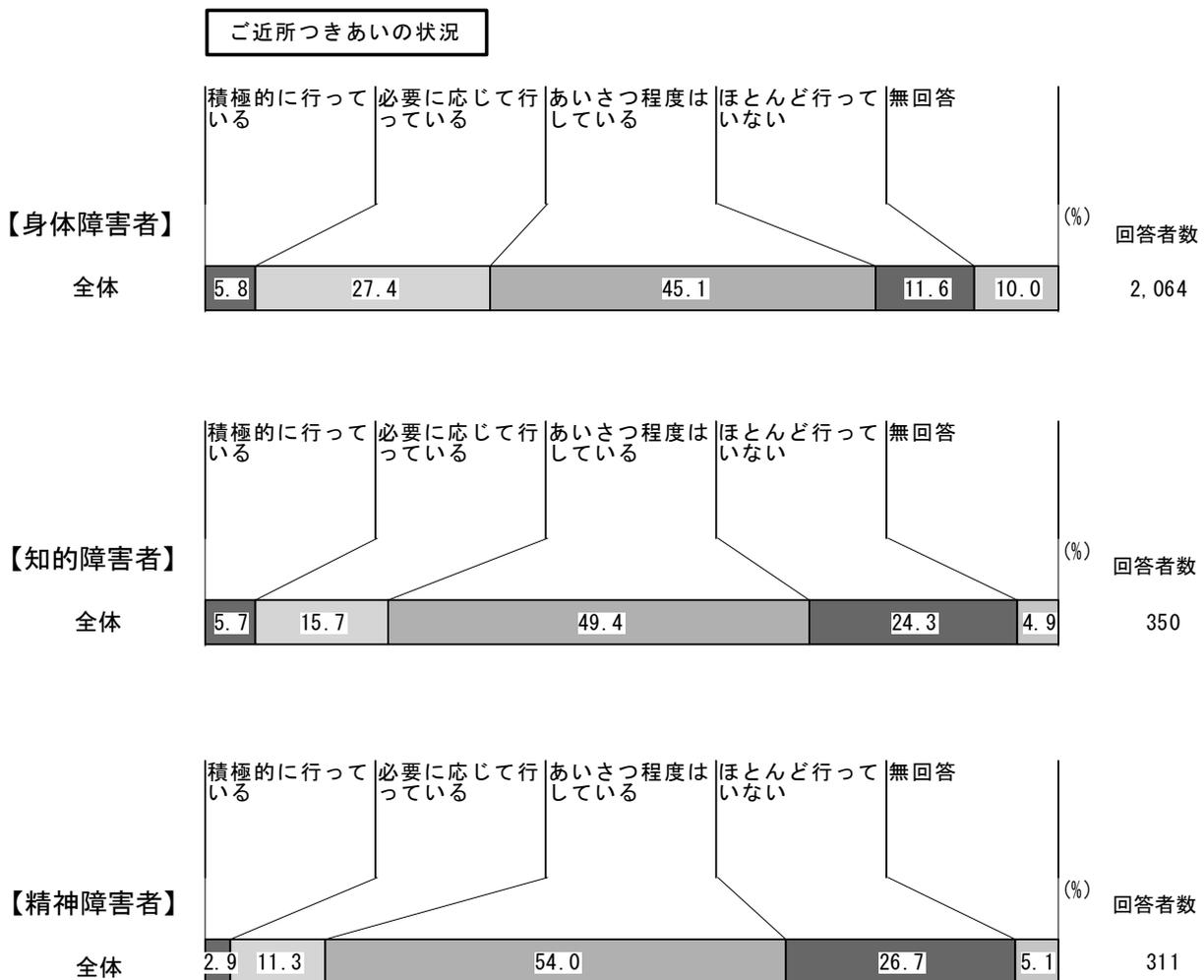
※無回答は省略

(7) 近所とのつきあいの状況

近所とのつきあいの状況をみると、身体障害者では、「積極的にやっている」人は 5.8%であり、27.4%は「必要に応じてやっている」、45.1%は「あいさつ程度はしている」と回答している。なお、近所づきあいを「ほとんど行っていない」人が 11.6%みられる。

知的障害者では、「積極的にやっている」人が 5.7%、「必要に応じてやっている」が 15.7%、「あいさつ程度はしている」が 49.4%である。なお、「ほとんど行っていない」人が 24.3%みられる。

精神障害者では、「積極的にやっている」人が 2.9%、「必要に応じてやっている」が 11.3%、「あいさつ程度はしている」が 54.0%である。なお、「ほとんど行っていない」人が 26.7%みられる。



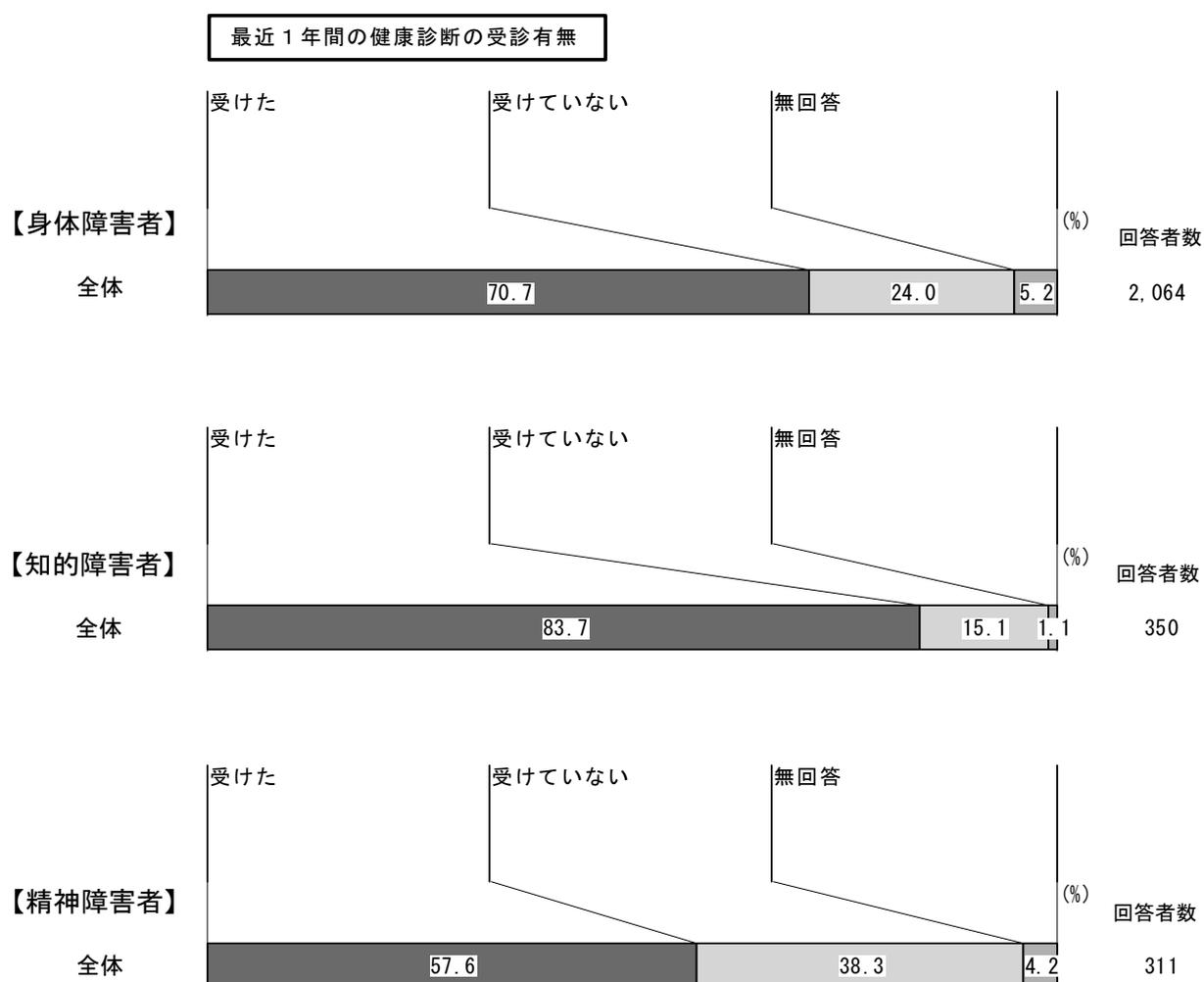
8 健康状態や医療について

(1) 過去1年間の健康診断（健康診査）の受診状況

過去1年間の健康診断（健康診査）の受診状況は、身体障害者では、「受けた」人が70.7%、健康診断を「受けていない」人も24.0%みられる。

知的障害者では、「受けた」人が83.7%、「受けていない」人も15.1%みられる。

精神障害者では、「受けた」人が57.6%、「受けていない」人が38.3%みられ、「受けていない」割合は他の障害より多い。



(2) 健康診断（健康診査）の未受診理由（複数回答）

過去1年間の健康診断（健康診査）を「受けていない」人に、その理由をたずねたところ、身体障害者では、「現在、通院しているから」（62.5%）が最も多く、次いで「その他」（19.2%）である。

知的障害者では、「その他」が 28.3%と最も多く、次いで「現在、通院しているから」（26.4%）である。

精神障害者では、「現在、通院しているから」が 37.8%と最も多く、次いで「その他」（25.2%）である。

「その他」の内容としては、身体障害者では、入院・入所中が多く、知的障害者では本人が嫌がるからといった理由が多く、精神障害者では、体調が予測できない等が多くあげられている。

		忙しくて受ける暇がないから	日曜・休日・平日夜間などに受けられる場所がないから	健康診断が受けられる医療機関を知らないから	障害のため外出するのが難しいから	介助者に負担がかかるから	期日を忘れた・気がつかなかったから	現在、通院しているから	自分には必要ないから	その他	無回答
身体障害者	(n=496)	4.4%	3.4%	3.6%	12.3%	4.8%	5.4%	62.5%	5.4%	19.2%	3.4%
知的障害者	(n=53)	9.4%	17.0%	15.1%	15.1%	15.1%	3.8%	26.4%	11.3%	28.3%	3.8%
精神障害者	(n=119)	5.9%	3.4%	10.1%	19.3%	3.4%	14.3%	37.8%	10.9%	25.2%	2.5%

その他としては、主に次のような理由が上げられている。

【身体障害者】

- ・入院・入所中であるため。
- ・医師の訪問があるため。
- ・医師の声が聞き取れないため。
- ・自己負担金が生じるため。
- ・子どもがまだ小さく、他に預けてまで受診するつもりはないため。

【知的障害者】

- ・本人が嫌がるため。

【精神障害者】

- ・体調が予測できないので、受診日を特定することが困難であるため。
- ・性同一性障害のため、心情として通常の健診を受けにくい。

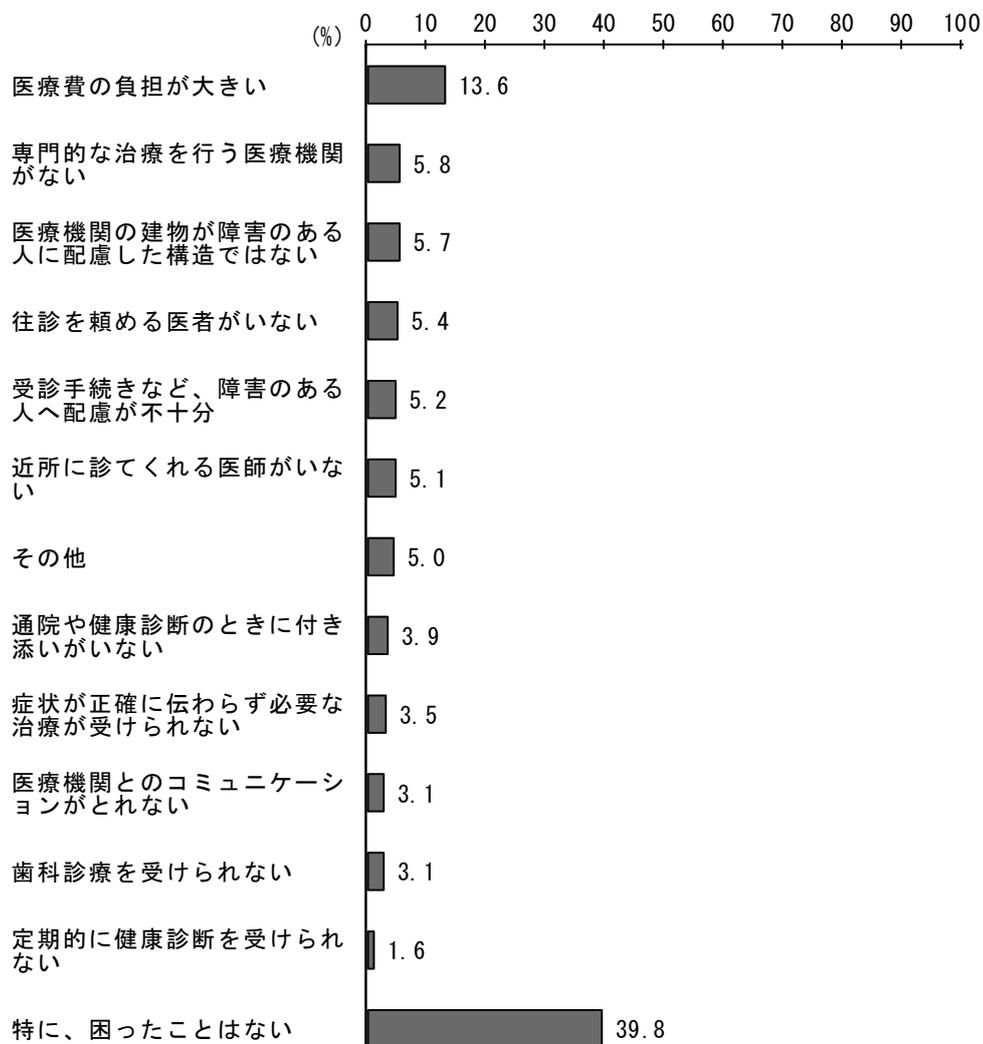
(3) 健康管理・医療について困ったことや不便なこと（複数回答）

健康管理・医療について困ったことや不便なこととしては、身体障害者、精神障害者ともに「医療費の負担が大きい」ことをあげる人が最も多い。知的障害者では「障害で症状が正確に伝わらず必要な治療が受けられない」ことが最も多くあげられている。

身体障害者では、「医療費の負担が大きい」をあげる人が 13.6%と最も多い。なお、39.8%は「特に、困ったことはない」と回答している。

健康管理・医療について困ったことや不便なこと（複数回答）

【身体障害者】 全体 n=2,064



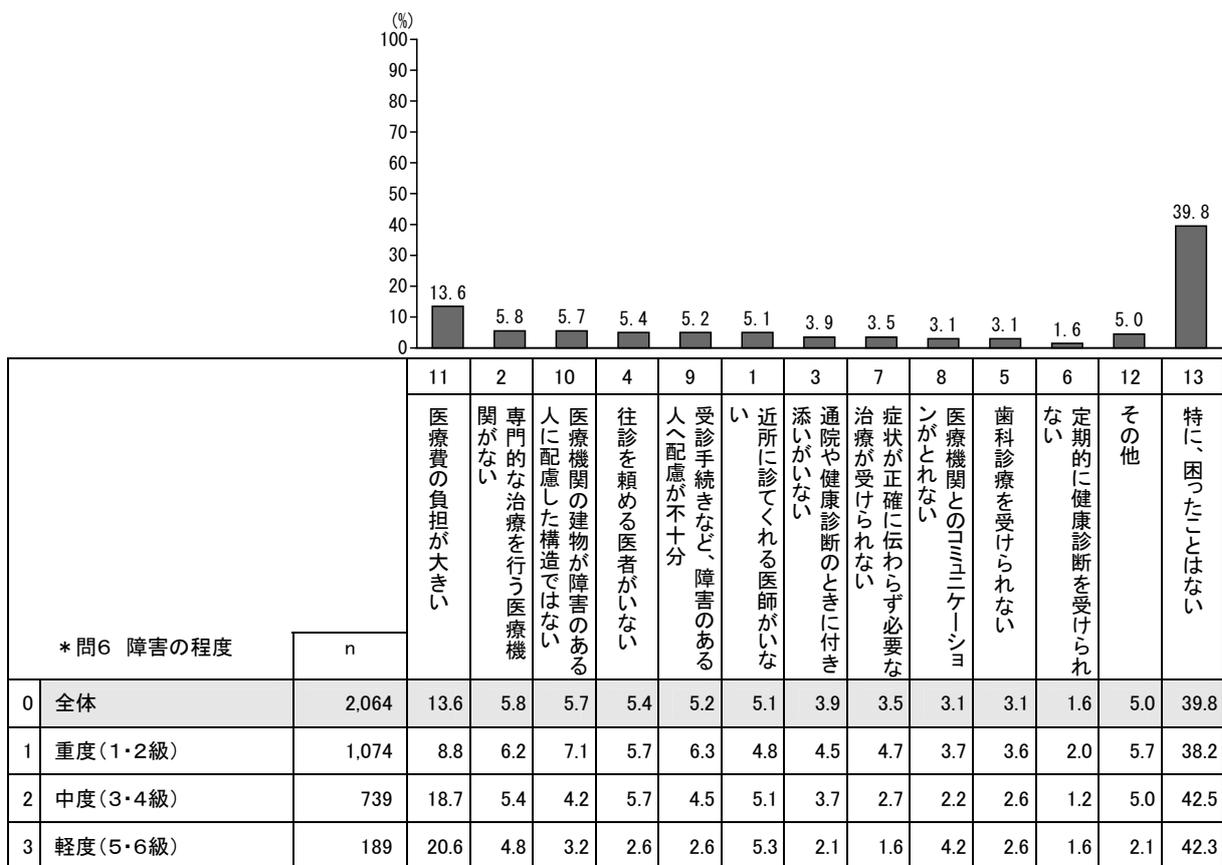
※無回答は省略

健康管理や医療について、障害の程度別にみると、程度が軽いほど、「医療費の負担が大きい」が多い。

障害の種類別にみると、困ったり不便に思ったこととしては、いずれも「医療費の負担が大きい」が最も多い。視覚障害では、「往診を頼める医者がいない」、聴覚障害では「医療機関とのコミュニケーションがとれない」、音声・言語・そしゃく機能の障害では、「症状が正確に伝わらず必要な治療が受けられない」が次いで多くなっている。

健康管理・医療について困ったことや不便なこと(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064



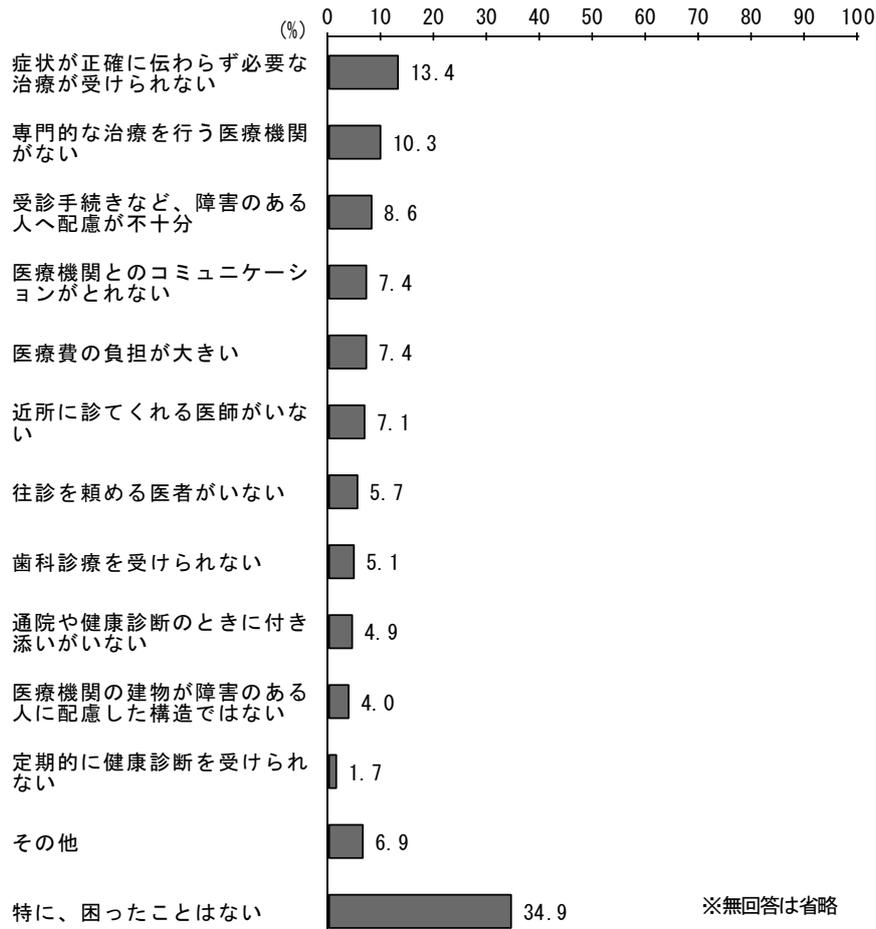
【身体障害の種類別】

1 視覚障害	133	14.3	3.0	9.0	9.8	6.8	4.5	3.8	3.0	2.3	1.5	2.3	3.0	36.1
2 聴覚障害	158	12.7	3.2	3.8	5.7	9.5	3.2	3.8	8.9	12.7	3.2	1.3	6.3	31.0
3 平衡機能障害	26	11.5	7.7	3.8	0.0	11.5	0.0	7.7	7.7	0.0	3.8	0.0	7.7	38.5
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	41	24.4	7.3	0.0	12.2	4.9	7.3	4.9	17.1	4.9	7.3	2.4	17.1	14.6
5 肢体不自由(上肢・下肢)	723	14.4	7.2	7.1	4.1	5.3	4.1	4.8	3.5	2.2	3.3	1.8	5.0	39.4
6 肢体不自由(体幹)	215	11.6	8.4	10.7	7.0	7.9	8.4	5.1	4.2	3.7	5.1	3.3	6.5	33.5
7 内部障害	601	12.8	4.3	2.2	5.3	3.3	5.2	2.2	1.5	2.2	2.2	1.0	3.7	47.8
8 その他	59	18.6	8.5	3.4	1.7	1.7	6.8	1.7	3.4	0.0	3.4	0.0	8.5	40.7

知的障害者では、「障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない」が13.4%と最も多く、次いで「専門的な治療を行う病院・診療所がない」が10.3%である。なお、34.9%は「特に、困ったことはない」と回答している。障害の程度別にみると、程度が軽いほど、「医療費の負担が大きい」が多い。

健康管理・医療について困ったことや不便なこと(複数回答)

【知的障害者】全体 n=350

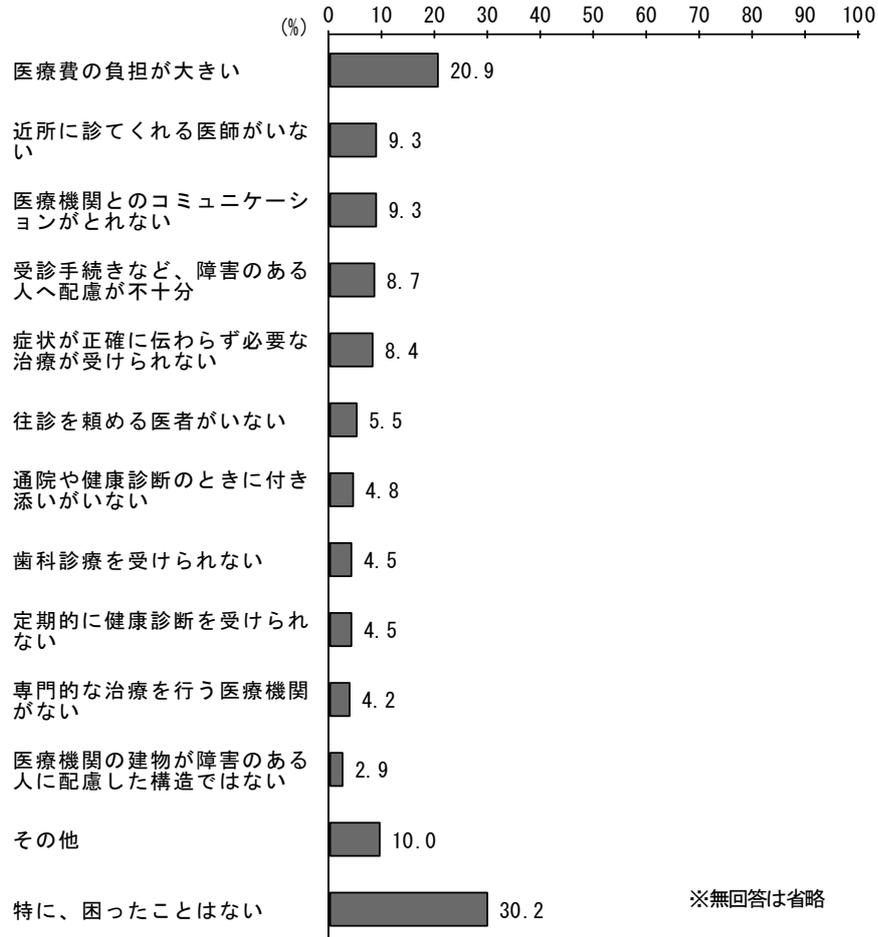


* 問6 障害の程度	n	7	2	9	8	11	1	4	5	3	10	6	12	13
		症状が正確に伝わらず必要な治療が受けられない	症状が正確に伝わらず必要な治療が受けられない	専門的な治療を行う医療機関がない	受診手続きなど、障害のある人へ配慮が不十分	医療機関とのコミュニケーションがとれない	医療費の負担が大きい	近所に診てくれる医師がない	往診を頼める医者がいない	歯科診療を受けられない	通院や健康診断のときに付き添いがいない	人に配慮した構造ではない	医療機関の建物が障害のある人に配慮した構造ではない	定期的に健康診断を受けられない
0 全体	350	13.4	10.3	8.6	7.4	7.4	7.1	5.7	5.1	4.9	4	1.7	6.9	34.9
1 重度・最重度(1・2度)	129	17.8	13.2	13.2	9.3	3.9	9.3	8.5	8.5	5.4	5.4	3.1	10.1	24.8
2 中度(3度)	77	13	7.8	9.1	5.2	9.1	6.5	5.2	3.9	7.8	3.9	1.3	7.8	28.6
3 軽度(4度)	136	9.6	8.8	4.4	7.4	10.3	5.1	2.9	2.9	2.9	2.9	0.7	3.7	47.8

精神障害者では、「医療費の負担が大きい」が 20.9%と最も多い。なお、30.2%は「特に、困ったことはない」と回答している。障害の程度別にみると、3級では「医療費の負担が大きい」が多い。

健康管理・医療について困ったことや不便なこと(複数回答)

【精神障害者】全体 n=311



* 問6 障害の程度	n	11	1	8	9	7	4	3	5	6	2	10	12	13
		医療費の負担が大きい	近所に診てくれる医師がいない	がとれない	医療機関とのコミュニケーションがとれない	受診手続きなど、障害のある人へ配慮が不十分	症状が正確に伝わらず必要な治療が受けられない	往診を頼める医者がいない	添いがいない	通院や健康診断のときに付き添いがいない	歯科診療を受けられない	定期的に健康診断を受けられない	専門的な治療を行う医療機関がない	建物が障害のある人に配慮した構造になっていない
0 全体	311	20.9	9.3	9.3	8.7	8.4	5.5	4.8	4.5	4.5	4.2	2.9	10.0	30.2
1 1級	38	18.4	10.5	10.5	10.5	15.8	5.3	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3	10.5	31.6
2 2級	162	19.1	10.5	6.8	7.4	6.8	6.2	4.3	4.9	3.7	4.3	1.9	8.0	30.9
3 3級	101	24.8	7.9	10.9	8.9	6.9	5.0	4.0	4.0	5.0	4.0	4.0	13.9	27.7

9 相談や情報入手について

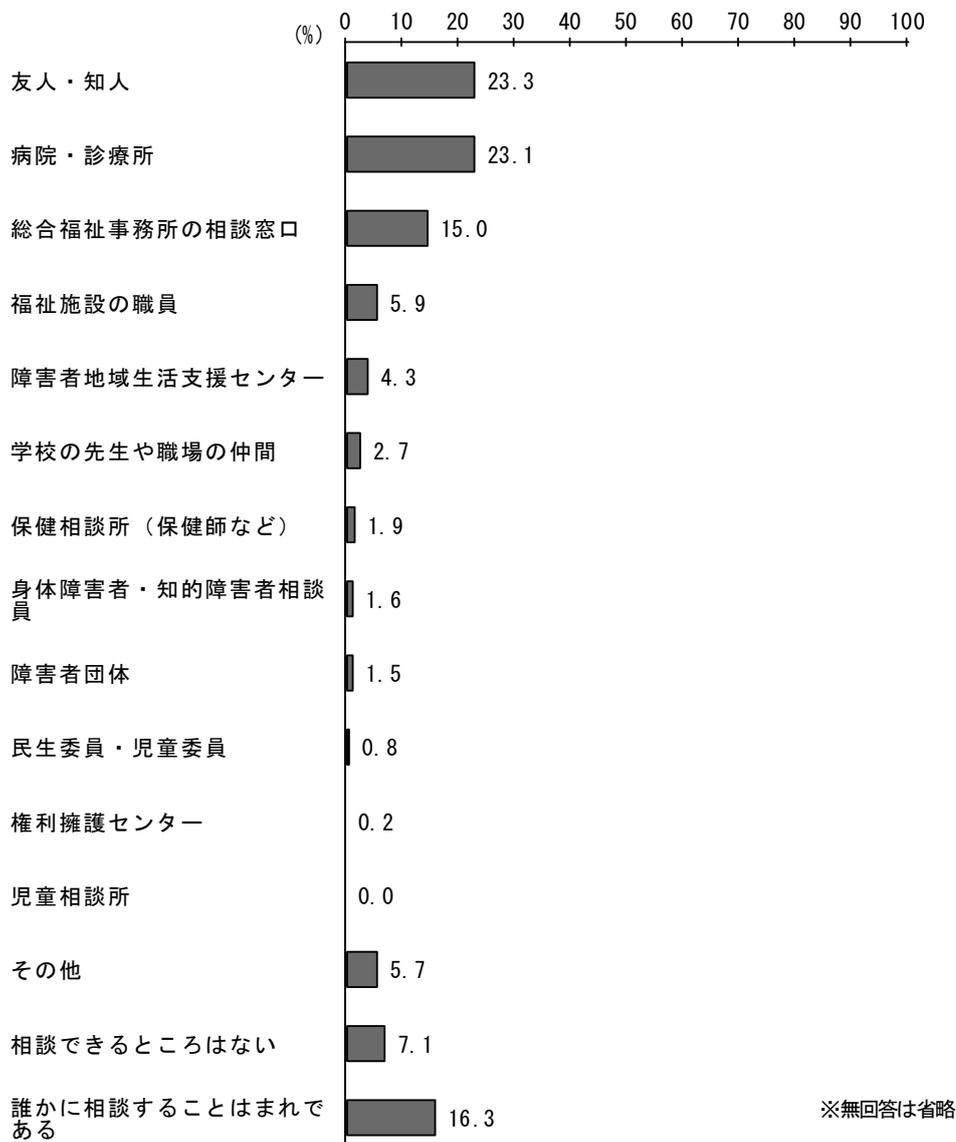
(1) 悩みごとや心配ごとの相談先(家族・親せき以外)(複数回答)

身体障害者では、「友人・知人」に相談することが最も多い。また知的障害者では、「福祉施設の職員」に相談することが多く、精神障害者では、「病院・診療所」が最も多い。一方、身体障害者の7.1%、知的障害者の6.3%、精神障害者の6.8%が、「相談できるところはない」と回答している。

身体障害者では、悩みごとや心配ごとの相談先(家族・親せき以外)として、「友人・知人」をあげる人が23.3%と最も多く、次いで「病院・診療所」(23.1%)、「総合福祉事務所の相談窓口」(15.0%)と続いている。なお、7.1%が「相談できるところはない」と回答している。

悩みごとや心配ごとの相談先(家族・親せき以外)(複数回答)

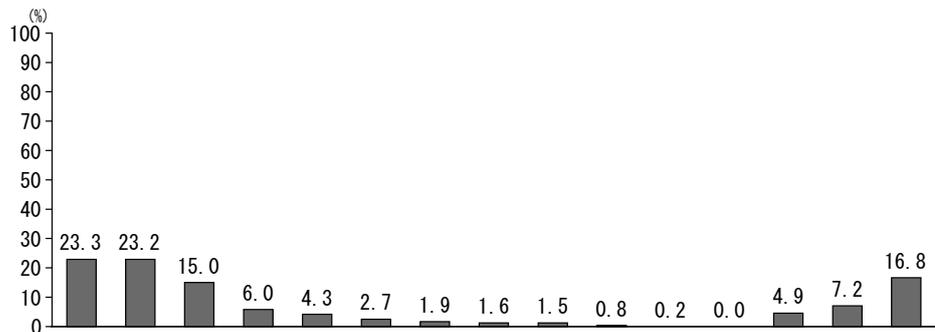
【身体障害者】全体 n=2,064



障害の程度別にみると、重度(1・2級)では、「病院・診療所」が最も多い。
 障害の種類別にみると、肢体不自由(体幹)、内部障害では「病院・診療所」(24.7%、30.6%)が最も多い。

悩みごとや心配ごとの相談先(家族・親せき以外)(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064



* 問6 障害の程度	n	相談先														
		12	9	1	8	3	10	2	6	11	5	4	7	13	14	15
0 全体	2,064	23.3	23.2	15.0	6.0	4.3	2.7	1.9	1.6	1.5	0.8	0.2	0.0	4.9	7.2	16.8
1 重度(1・2級)	1,074	19.6	26.1	17.3	7.9	4.7	3.1	2.1	2.1	1.8	0.5	0.1	0.1	5.0	7.4	16.9
2 中度(3・4級)	739	28.4	20.3	13.1	3.5	4.1	1.8	2.2	0.7	1.5	0.8	0.5	0.0	4.5	6.5	17.6
3 軽度(5・6級)	189	27.5	19.0	11.6	2.6	3.2	4.2	0.5	1.1	0.0	2.6	0.0	0.0	5.8	9.0	14.8

【身体障害の種類別】

障害の種類	n	12	9	1	8	3	10	2	6	11	5	4	7	13	14	15
1 視覚障害	133	26.3	14.3	14.3	5.3	3.0	3.8	2.3	0.8	1.5	1.5	0.8	0.0	5.3	10.5	12.0
2 聴覚障害	158	34.8	12.7	19.6	3.2	5.1	5.7	1.3	3.8	4.4	3.8	0.0	0.0	4.4	7.6	10.8
3 平衡機能障害	26	11.5	23.1	3.8	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	26.9
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	41	22.0	26.8	12.2	12.2	0.0	2.4	2.4	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	12.2	7.3	2.4
5 肢体不自由(上肢・下肢)	723	26.3	20.5	16.7	6.9	5.3	2.6	2.1	2.2	1.4	0.3	0.4	0.0	4.8	6.6	17.6
6 肢体不自由(体幹)	215	20.5	24.7	19.5	10.2	4.7	2.3	3.3	2.3	2.3	0.9	0.0	0.5	2.8	5.6	15.8
7 内部障害	601	19.1	30.6	11.5	3.8	2.7	2.2	1.7	0.2	0.5	0.5	0.2	0.0	4.2	7.5	20.6
8 その他	59	18.6	27.1	15.3	1.7	5.1	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.3	5.1	16.9

知的障害者では、「福祉施設の職員」が 26.0%と最も多く、次いで「総合福祉事務所の相談窓口」(24.6%)、「友人・知人」(20.0%)と続いている。なお、6.3%が「相談できるところはない」と回答している。障害の程度別にみると、程度が重くなるほど、「総合福祉事務所の相談窓口」が多い。

悩みごとや心配ごとの相談先(家族・親せき以外)(複数回答)

【知的障害者】全体 n=350

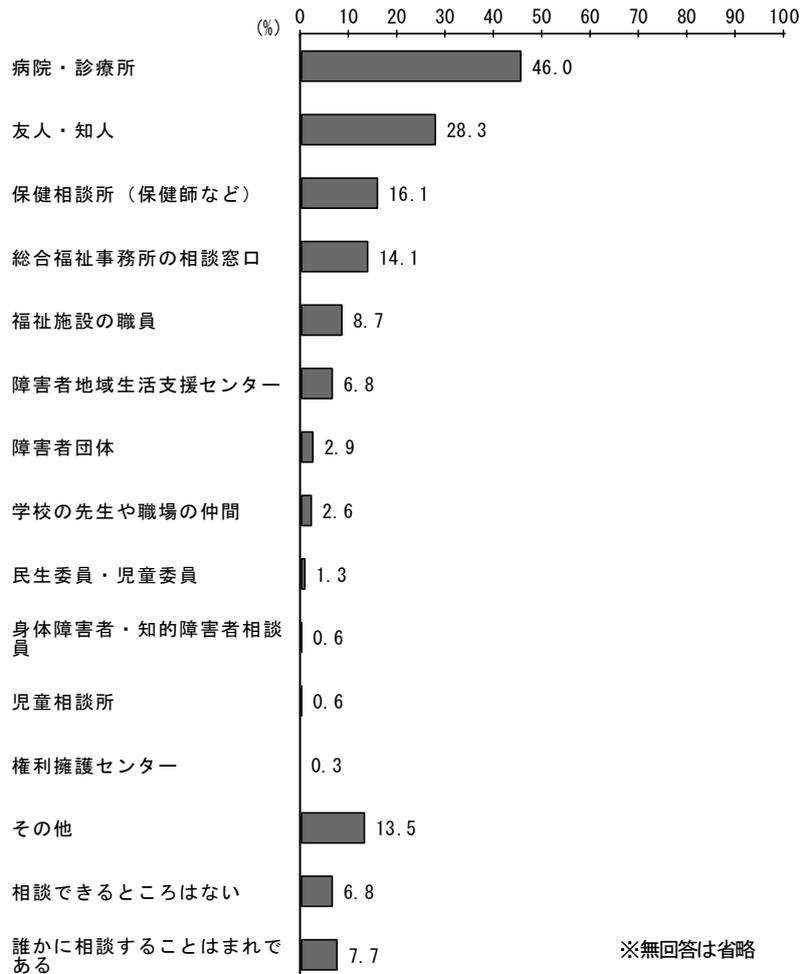


* 問6 障害の程度	n	8	1	12	9	10	6	11	3	2	4	7	5	13	14	15
		福祉施設の職員	総合福祉事務所の相談窓口	友人・知人	病院・診療所	学校の先生や職場の仲間	身体障害者・知的障害者相談員	障害者団体	障害者地域生活支援センター	保健相談所(保健師など)	権利擁護センター	児童相談所	民生委員・児童委員	その他	相談できるところはない	誰かに相談することはあまりない
0 全体	350	26.0	24.6	20.0	19.7	15.4	7.1	6.0	5.7	2.9	1.1	1.1	0.0	8.6	6.3	13.4
1 最重度・重度(1・2度)	129	32.6	36.4	19.4	26.4	17.1	7.0	6.2	6.2	3.1	1.6	0.8	0.0	6.2	7.0	7.8
2 中度(3度)	77	32.5	27.3	5.2	11.7	10.4	6.5	10.4	3.9	1.3	0.0	0.0	0.0	6.5	6.5	18.2
3 軽度(4度)	136	16.2	11.8	29.4	18.4	16.9	8.1	3.7	5.9	3.7	0.7	2.2	0.0	12.5	5.9	15.4

精神障害者では、「病院・診療所」が 46.0%と最も多く、次いで「友人・知人」(28.3%)、「保健相談所(保健師など)」(16.1%)と続いている。なお、6.8%が「相談できるところはない」と回答している。障害の程度別にみると、程度が軽くなるほど、「友人・知人」が多い。

悩みごとや心配ごとの相談先(家族・親せき以外)(複数回答)

【精神障害者】全体 n=311

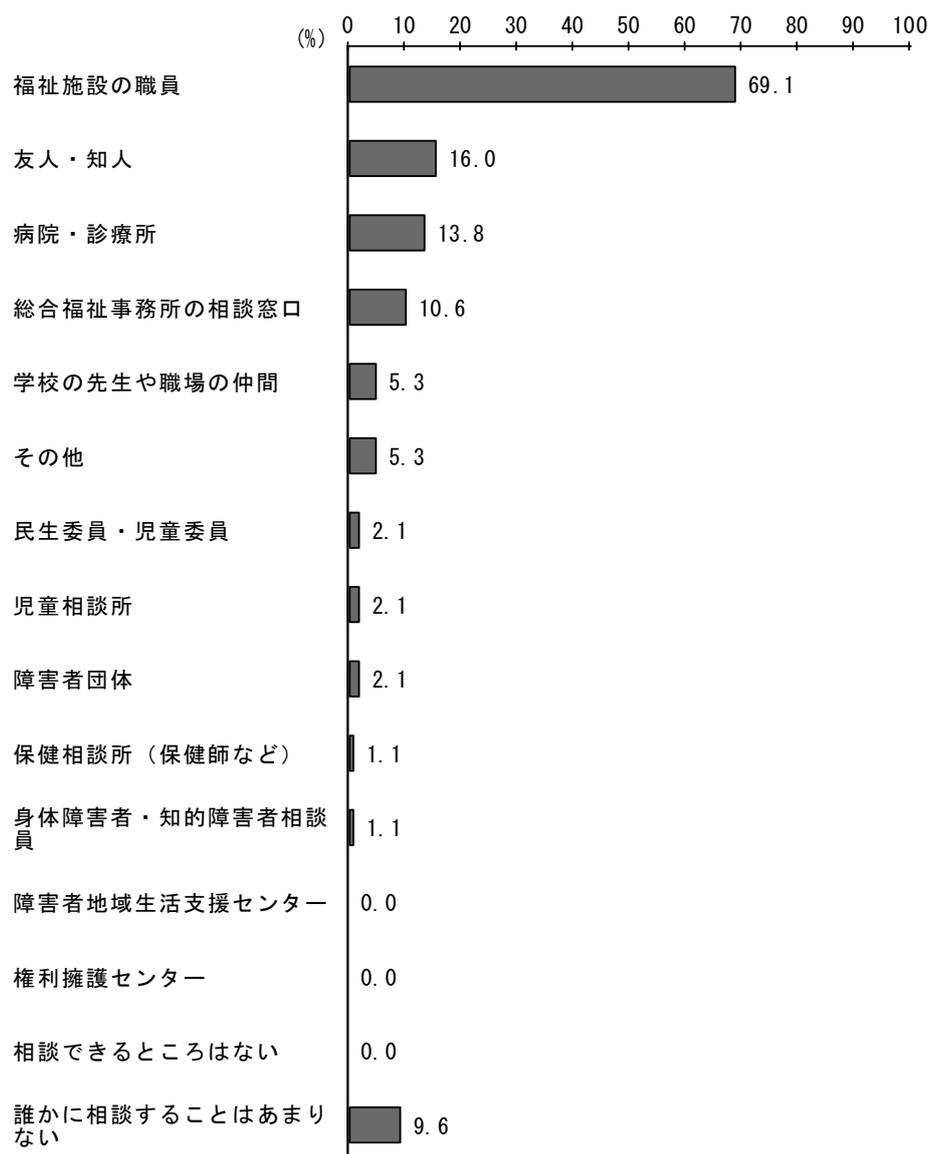


*問6 障害の程度	n	9	12	2	1	8	3	11	10	5	6	7	4	13	14	15
		病院・診療所	友人・知人	保健相談所(保健師など)	総合福祉事務所の相談窓口	福祉施設の職員	障害者地域生活支援センター	障害者団体	学校の先生や職場の仲間	民生委員・児童委員	談員	身体障害者・知的障害者相談員	児童相談所	権利擁護センター	その他	相談できるところはない
0 全体	311	46.0	28.3	16.1	14.1	8.7	6.8	2.9	2.6	1.3	0.6	0.6	0.3	13.5	6.8	7.7
1 1級	38	52.6	21.1	15.8	7.9	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	15.8	7.9	7.9
2 2級	162	48.8	27.2	19.8	17.3	13.0	8.0	3.7	2.5	1.9	1.2	1.2	0.0	10.5	6.2	6.8
3 3級	101	41.6	33.7	11.9	10.9	4.0	6.9	2.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	17.8	5.9	7.9

施設入所者では、「福祉施設の職員」が 69.1%と最も多く、次いで「友人・知人」(16.0%)、「病院・診療所」(13.8%)と続いている。なお、「相談できるところはない」人はいなかった。

悩みごとや心配ごとの相談先(家族・親せき以外)(複数回答)

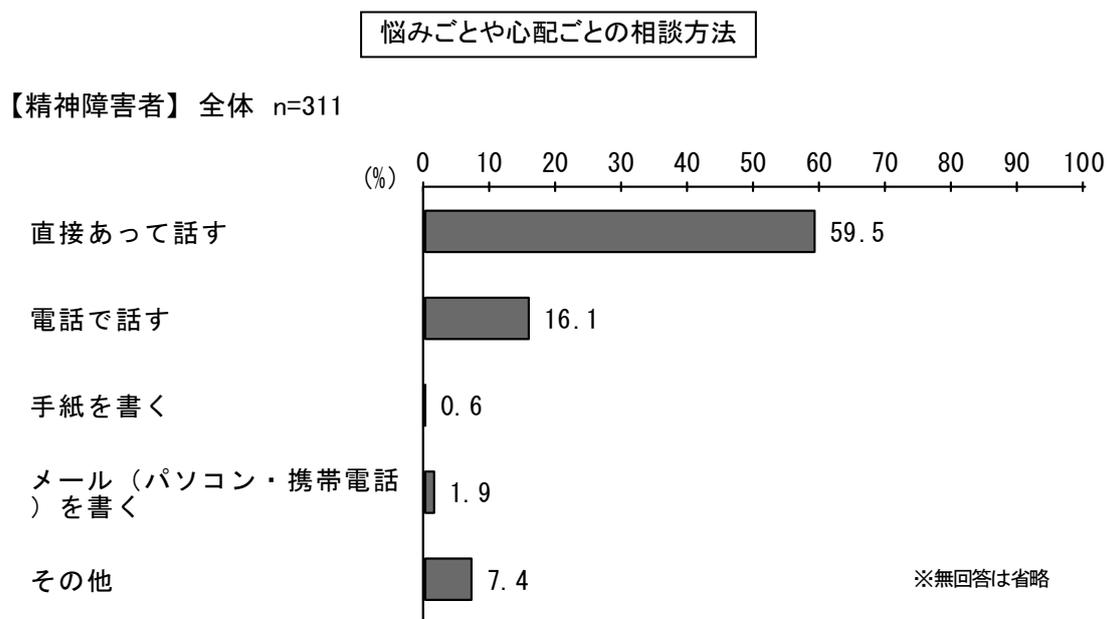
【施設入所者】全体 n=94



※無回答は省略

(2) 悩みごとや心配ごとの相談方法（精神障害者のみ）（複数回答）

精神障害者に対して、悩みごとや心配ごとの相談方法を尋ねたところ、「直接あって話す」が59.5%、「電話で話す」が16.1%である。



(3) 家族・親戚以外に相談するために必要な相談体制（自由回答）

主な意見は、次のとおりである。

【身体障害者】

- ・相談からサービス利用、就労支援までのトータルコーディネーターの存在。
- ・訪問による相談の充実。
- ・電話による相談の充実。
- ・メールによる相談の充実。
- ・近所に相談できる場所があること。
- ・相談員の専門性の向上。
- ・職員の入れ替わりを少なくしてほしい。
- ・ホームページなどに相談窓口一覧の掲載がほしい。
- ・どこに、だれに相談していいかわからない。
- ・土日の相談窓口がほしい。

【知的障害者】

- ・相談からサービス利用、就労支援までのトータルコーディネーターの存在。
- ・近所に相談できる場所があること。
- ・相談員の専門性の向上。
- ・身近な施設(学校等)で相談できること。
- ・相談ボランティアがほしい。
- ・ピアカウンセリングの充実。
- ・本人理解のため、継続的・定期的な相談が受けられること。
- ・信頼できる固定の相談員がほしい。

【精神障害者】

- ・24時間の相談体制。
- ・専門性のある相談窓口がほしい。
- ・総合的な相談窓口がほしい。
- ・区に気軽に相談できるシステムがほしい。
- ・施設(学校)に専門相談員を設置してほしい。
- ・訪問による相談の充実。
- ・専門家がいて予約無しで利用できる、相談カフェのような存在がほしい。
- ・プライバシー保護のため、個室で相談できる場がほしい。
- ・年代や性別で相談員を選びたい。
- ・固定の相談員がほしい。

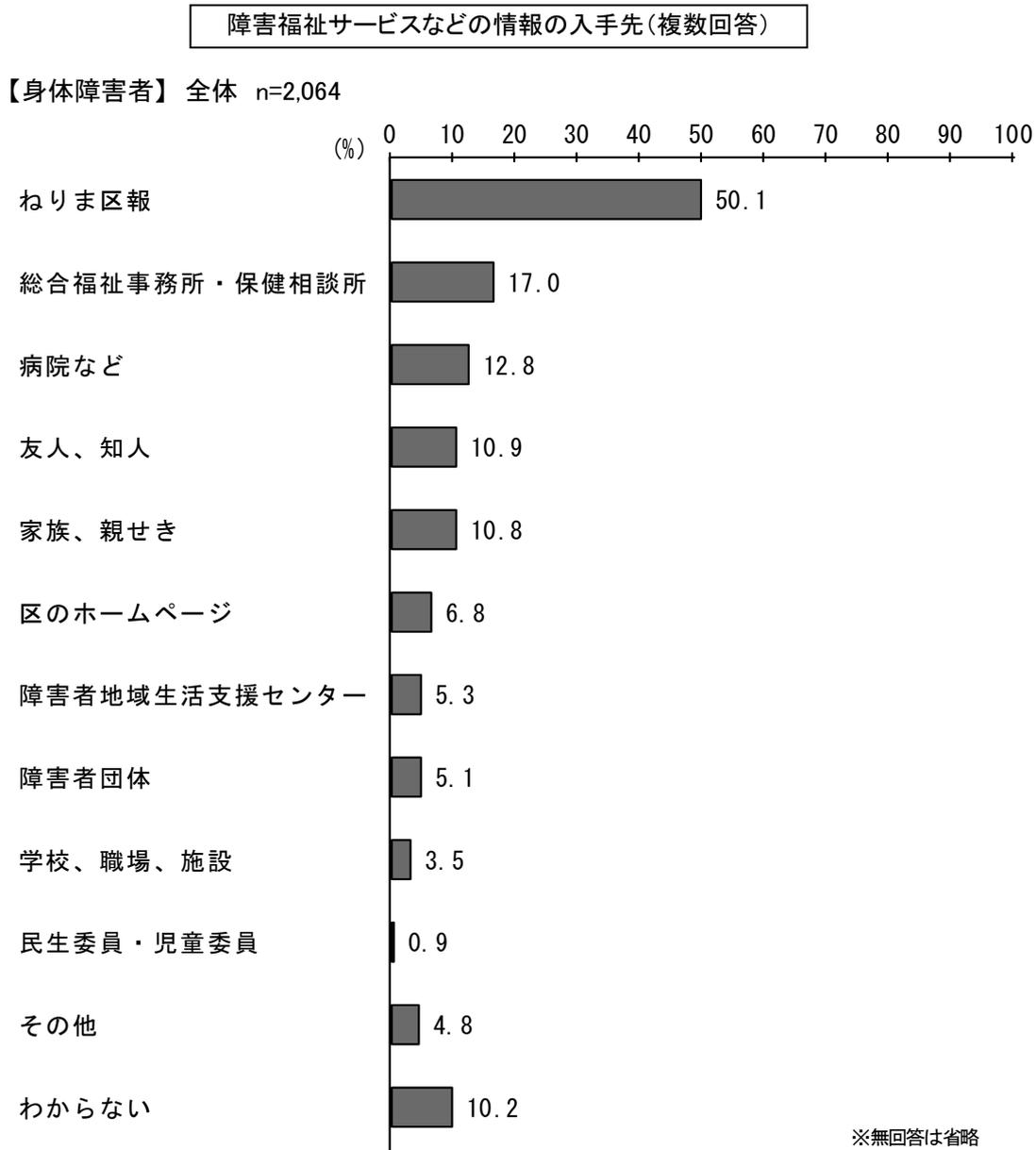
【施設入所者】

- ・専門性の高い相談員がいてほしい。
- ・個室で相談できる場がほしい。
- ・ゆっくり話を聞いてほしい。

(4) 障害福祉サービスなどの情報の入手先（複数回答）

福祉サービスなどの情報の入手先は、身体障害者と知的障害者では「ねりま区報」をあげる人が最も多く、精神障害者では「病院など」が最も多い。

身体障害者では、「ねりま区報」をあげる人が 50.1%と特に多く、次いで「総合福祉事務所・保健相談所」が 17.0%である。

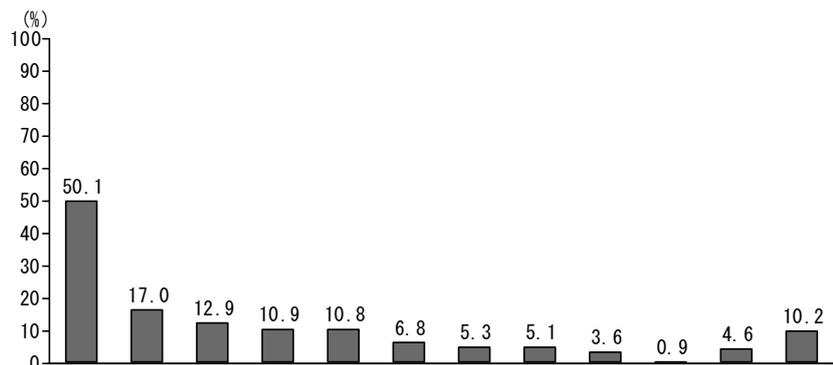


年齢区分別にみると、障害福祉サービスなどの情報の入手先は、0～17歳では「学校、職場、施設」をあげる人が最も多い。「総合福祉事務所・保健相談所」は、0～17歳では39.6%だが、65歳以上では14.1%である。

障害の程度別でみると、重度の人ほど、「総合福祉事務所・保健相談所」や「病院など」から情報入手の回答が多い。

障害福祉サービスなどの情報の入手先(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064



* 問 1 年齢	n	1	3	6	10	9	2	4	8	5	7	11	12
		ねりま区報	総合福祉事務所・保健相談所	病院など	友人、知人	家族、親せき	区のホームページ	障害者地域生活支援センター	障害者団体	学校、職場、施設	民生委員・児童委員	その他	わからない
0 全体	2,064	50.1	17.0	12.9	10.9	10.8	6.8	5.3	5.1	3.6	0.9	4.6	10.2
1 0～17歳	53	41.5	39.6	26.4	24.5	5.7	13.2	5.7	13.2	43.4	0.0	0.0	9.4
2 18～64歳	614	45.9	21.3	10.9	12.4	8.0	12.4	3.9	8.1	5.2	0.0	5.4	12.2
3 65歳以上	1,311	52.9	14.1	13.7	9.8	12.3	3.9	6.0	3.4	1.1	1.3	4.7	9.0

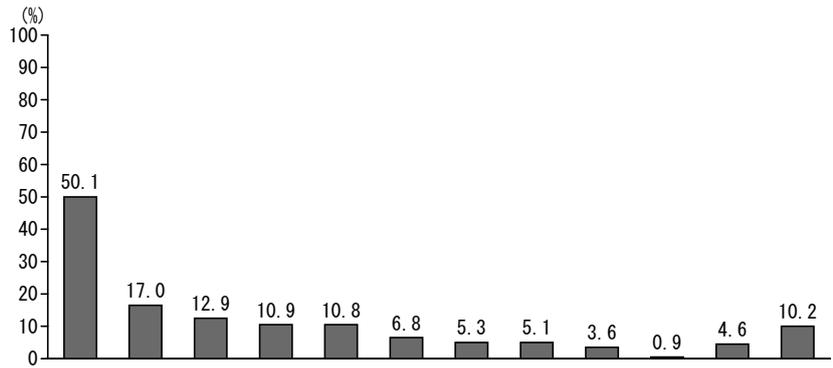
【障害の程度別】

1 重度 (1・2級)	1,074	47.2	20.6	15.1	10.2	12.0	7.6	5.6	6.0	5.0	0.5	4.7	9.4
2 中度 (3・4級)	739	55.8	12.9	11.5	12.0	9.5	6.1	5.4	4.6	1.6	1.4	4.5	10.1
3 軽度 (5・6級)	189	50.3	12.7	6.3	12.7	10.1	4.8	2.6	2.6	2.6	1.6	4.8	14.8

障害の種類別でみると、いずれも「ねりま区報」からの情報入手が最も多いが、そのほかでは、視覚障害、聴覚障害の人では、「障害者団体」から情報入手が他の障害より多い。

障害福祉サービスなどの情報の入手先(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064



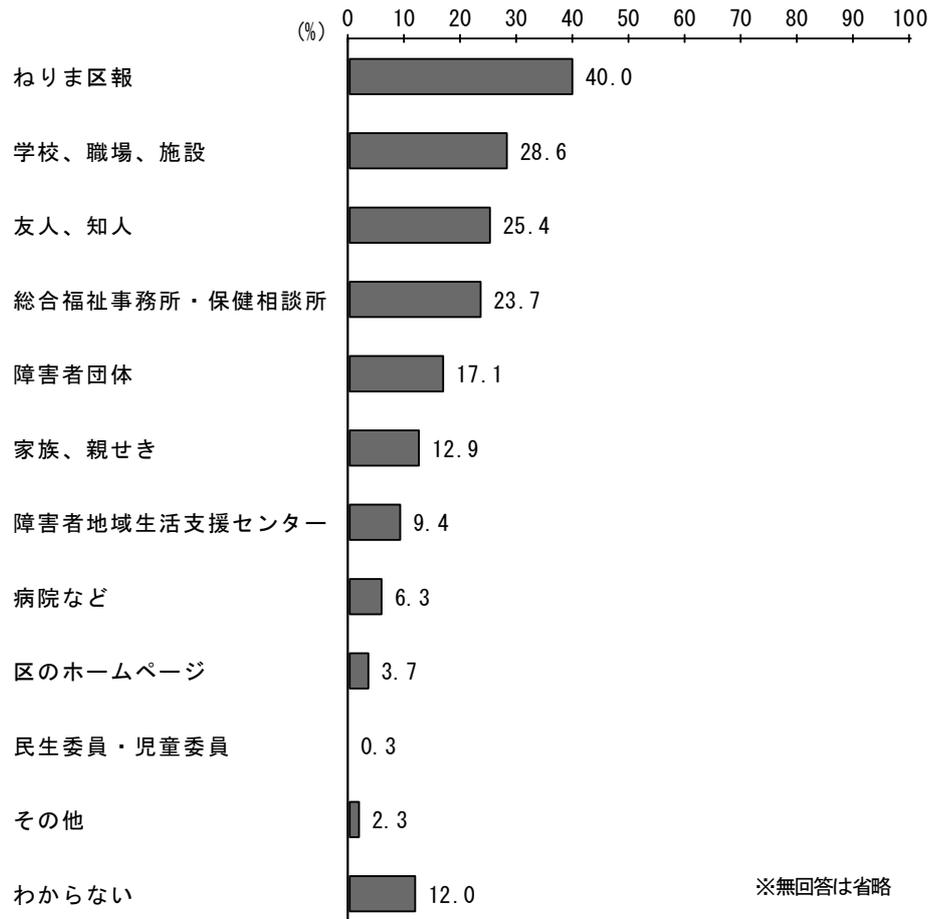
問7 身体障害者手帳に記載された障害の種類 1 番目	n	1	3	6	10	9	2	4	8	5	7	11	12
		ねりま区報	総合福祉事務所・保健相談所	病院など	友人、知人	家族、親せき	区のホームページ	障害者地域生活支援センター	障害者団体	学校、職場、施設	民生委員・児童委員	その他	わからない
0 全体	2,064	50.1	17.0	12.9	10.9	10.8	6.8	5.3	5.1	3.6	0.9	4.6	10.2
1 視覚障害	133	40.6	15.8	4.5	17.3	13.5	7.5	3.0	10.5	2.3	0.8	9.0	13.5
2 聴覚障害	158	57.6	13.9	7.0	13.3	8.9	7.6	5.1	13.9	3.2	1.3	4.4	7.0
3 平衡機能障害	26	57.7	15.4	26.9	7.7	11.5	11.5	11.5	7.7	0.0	3.8	3.8	11.5
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	41	41.5	17.1	12.2	19.5	14.6	0.0	9.8	7.3	4.9	0.0	7.3	4.9
5 肢体不自由(上肢・下肢)	723	52.0	18.5	11.8	10.8	10.9	7.3	5.5	3.9	5.9	0.6	5.0	9.1
6 肢体不自由(体幹)	215	50.7	19.5	12.6	11.6	14.4	6.5	7.4	7.0	5.1	1.4	5.1	11.6
7 内部障害	601	50.6	15.3	17.0	7.8	8.8	7.0	3.8	2.8	1.0	1.0	2.5	11.6
8 その他	59	50.8	15.3	18.6	11.9	6.8	1.7	6.8	5.1	1.7	1.7	13.6	5.1

知的障害者では、「ねりま区報」が 40.0%、「学校、職場、施設」が 28.6%、「友人、知人」が 25.4%である。

障害の程度別にみると、程度が重いほど、「ねりま区報」や「学校、職場、施設」、「友人・知人」、「総合福祉事務所・保健相談所」などからの情報入手が多い。

障害福祉サービスなどの情報の入手先(複数回答)

【知的障害者】全体 n=350



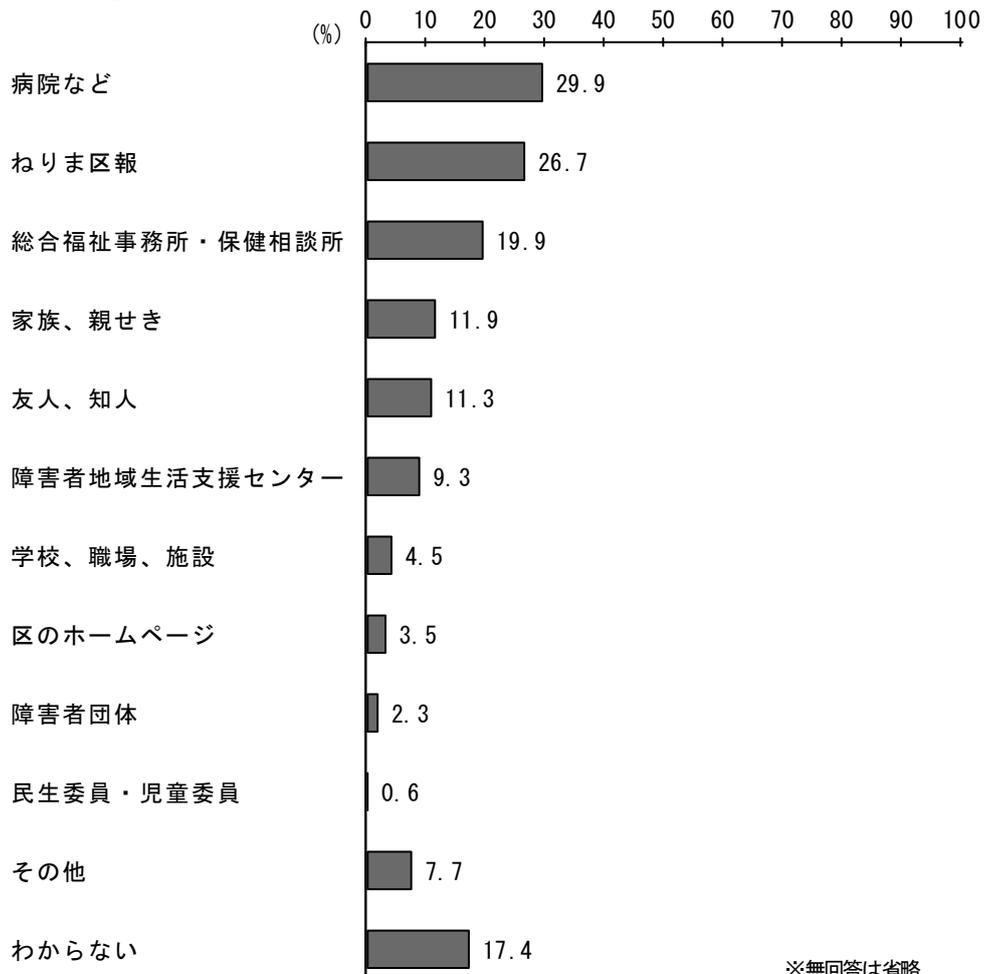
* 問 6 障害の程度	n	1	5	10	3	8	9	4	6	2	7	11	12
		ねりま区報	学校、職場、施設	友人、知人	総合福祉事務所・保健相談所	障害者団体	家族、親せき	障害者地域生活支援センター	病院など	区のホームページ	民生委員・児童委員	その他	わからない
0 全体	350	40.0	28.6	25.4	23.7	17.1	12.9	9.4	6.3	3.7	0.3	2.3	12.0
1 最重度・重度 (1・2度)	129	47.3	35.7	39.5	29.5	25.6	10.9	9.3	7.8	4.7	0.0	2.3	3.9
2 中度 (3度)	77	44.2	27.3	18.2	23.4	20.8	13.0	6.5	5.2	2.6	0.0	1.3	10.4
3 軽度 (4度)	136	32.4	23.5	16.9	19.1	8.1	14.7	10.3	4.4	3.7	0.7	2.9	19.9

精神障害者では、「病院など」をあげる人が 29.9%と最も多く、次いで「ねりま区報」が 26.7%で続いている。

障害の程度別にみると、程度が重いほど、「ねりま区報」や「総合福祉事務所・保健相談所」が多い傾向にあるが、「障害者地域生活支援センター」は軽いほど多い。

障害福祉サービスなどの情報の入手先(複数回答)

【精神障害者】全体 n=311



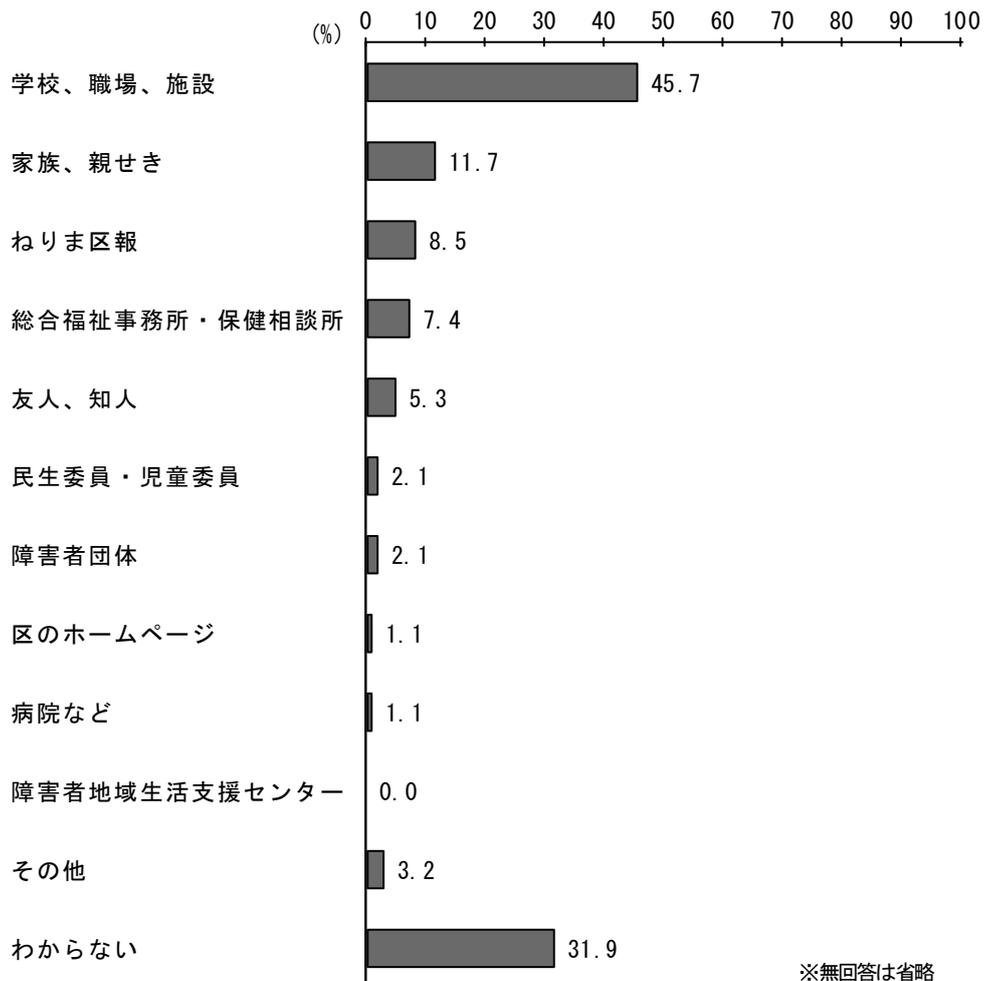
※無回答は省略

* 問6 障害の程度	n	6	1	3	9	10	4	5	2	8	7	11	12
		病院など	ねりま区報	総合福祉事務所・保健相談所	家族、親せき	友人、知人	障害者地域生活支援センター	学校、職場、施設	区のホームページ	障害者団体	民生委員・児童委員	その他	わからない
0 全体	311	29.9	26.7	19.9	11.9	11.3	9.3	4.5	3.5	2.3	0.6	7.7	17.4
1 1級	38	28.9	34.2	23.7	15.8	10.5	5.3	2.6	0.0	0.0	0.0	21.1	5.3
2 2級	162	32.7	28.4	21.0	15.4	9.9	9.3	6.8	4.9	3.1	1.2	6.2	15.4
3 3級	101	27.7	22.8	17.8	5.0	14.9	10.9	1.0	2.0	1.0	0.0	5.0	23.8

施設入所者では、「学校、職場、施設」をあげる人が 45.7%と最も多く、次いで「家族、親せき」が 11.7%で続いている。

障害福祉サービスなどの情報の入手先(複数回答)

【施設入所者】全体 n=94



※無回答は省略

(5) 障害福祉サービスの情報提供を充実するために区がすべきこと（自由回答）

主な意見は、次のとおりである。

【身体障害者】

- ・電話・郵送・メール・訪問等を活用し、個別の情報周知。
- ・区報の充実。
- ・わたしの便利帳の充実。
- ・ホームページの充実。
- ・施設を活用した情報提供。
- ・現状に満足している。

【知的障害者】

- ・郵送による個別の情報周知。
- ・福祉サービス講演会による周知。
- ・わかりやすい手引きの作成。
- ・施設を活用した情報提供。
- ・障害専門の区報作成。
- ・相談窓口の知識向上。

【精神障害者】

- ・区報の充実。
- ・町内会掲示板や公共施設での周知。
- ・ホームページの充実。
- ・サービス情報が分かりやすく掲載されている手引きの充実。
- ・福祉サービス説明会の開催。
- ・新聞広告を活用した情報提供。
- ・個別に応じた細やかな情報提供をしてほしい。

【施設入所者】

- ・テレビを活用した情報提供。
- ・訪問による情報提供。
- ・施設職員からの情報提供。

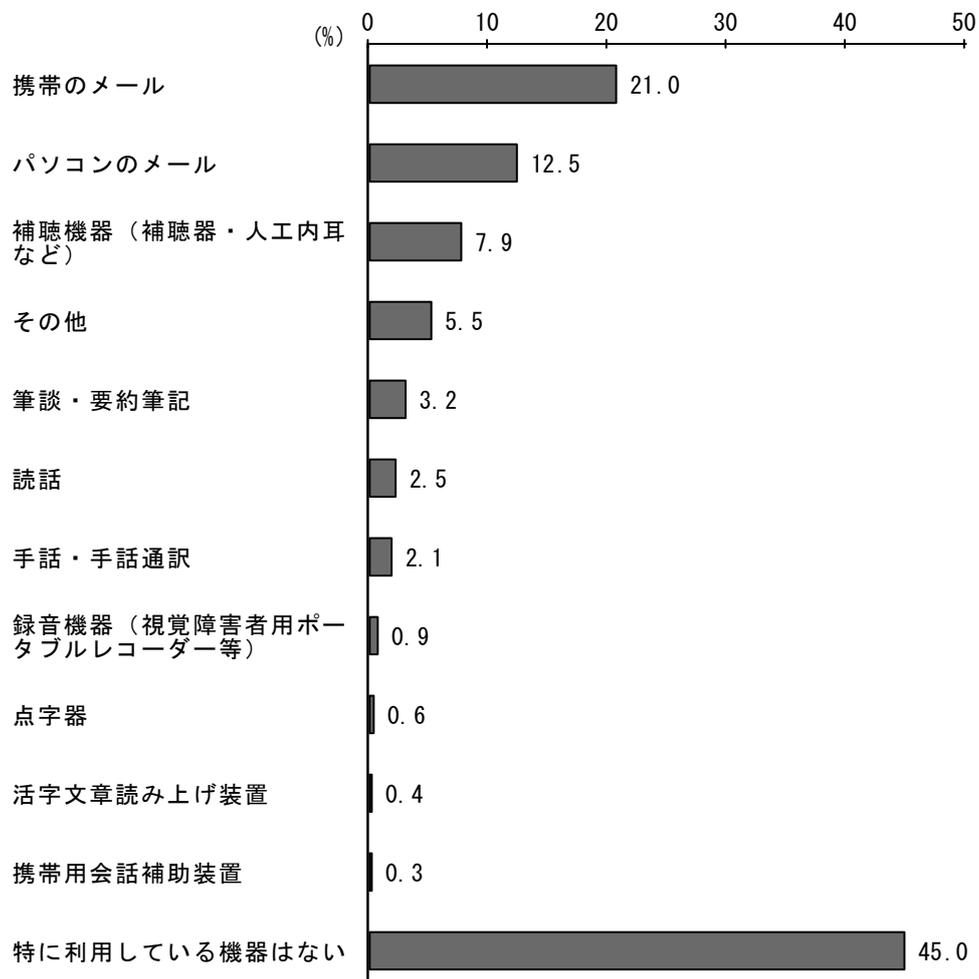
(6) コミュニケーションの手段・機器等の利用状況(身体障害者のみ) (複数回答)

コミュニケーションのための手段・機器等において、身体障害者の 21.0%は、「携帯のメール」、12.5%は「パソコンのメール」を利用している。

身体障害者に尋ねたところ、「携帯のメール」が 21.0%と最も多く、次いで「パソコンのメール」が 12.5%となっている。一方、「特に利用している機器はない」は 45.0%である。

コミュニケーションの際の手段・機器(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064

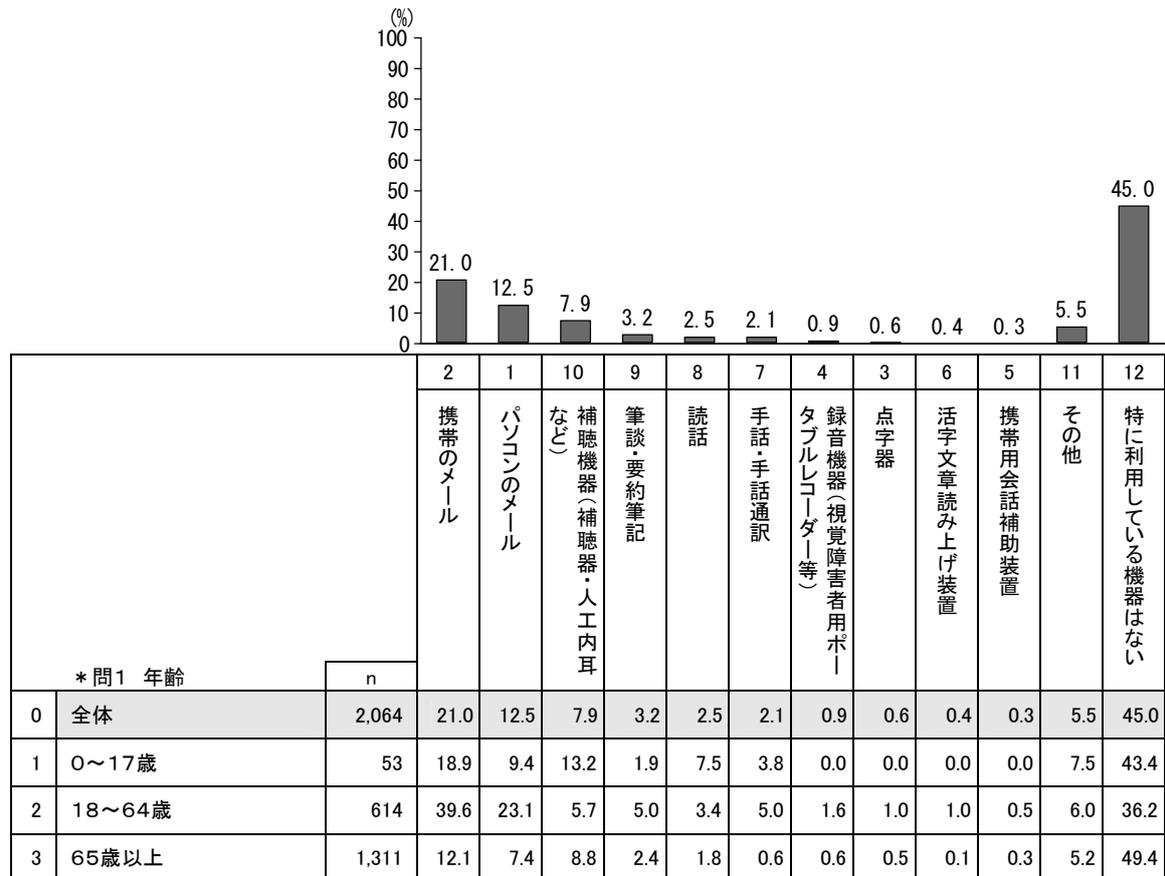


※無回答は省略

年齢区別にみると、18～64歳では「携帯のメール」が39.6%、「パソコンのメール」が23.1%と他の年齢区分より高い。

コミュニケーションの際の手段・機器（複数回答）

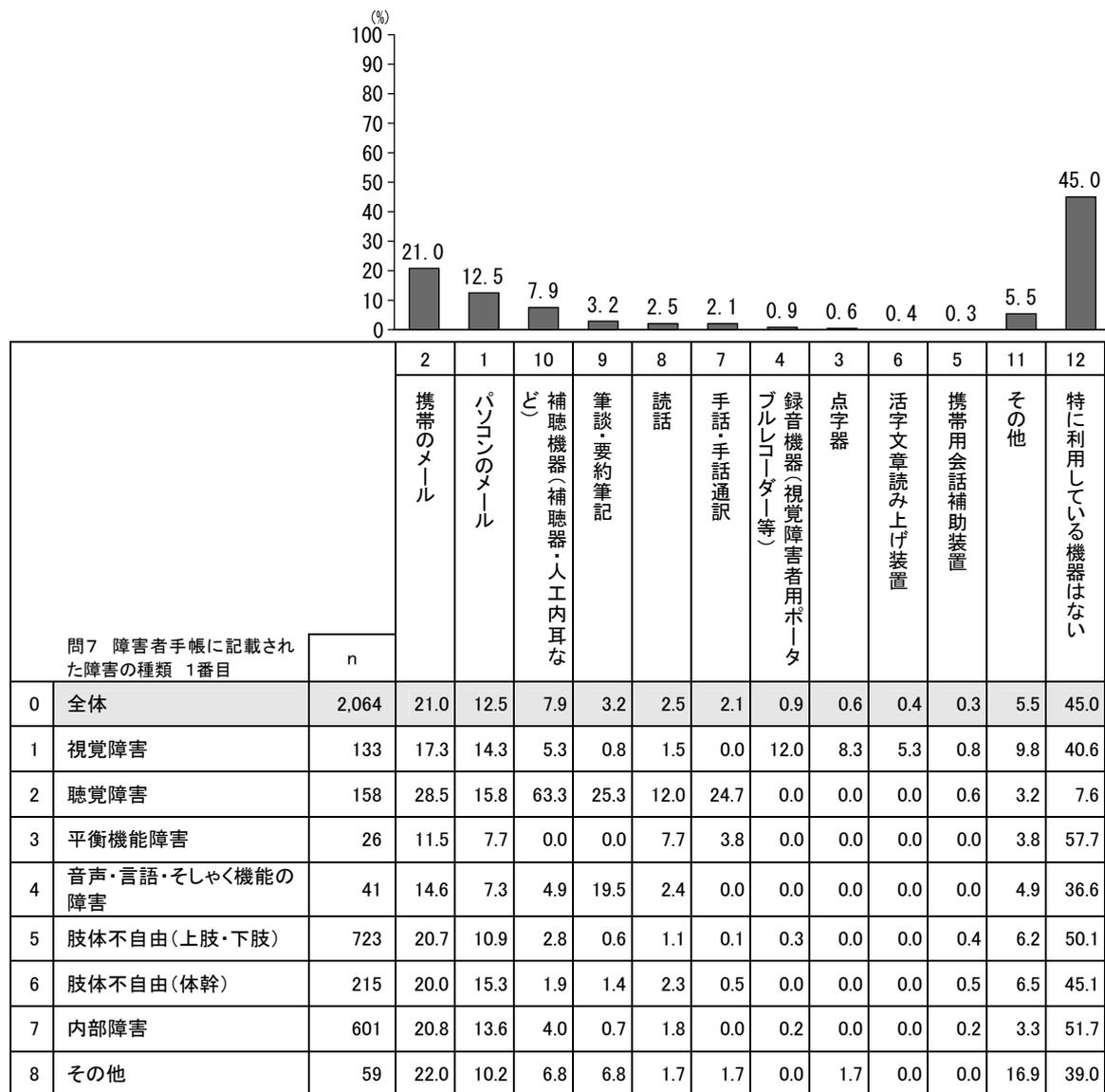
【身体障害者】全体 n=2,064



障害の種類別にみると、聴覚障害では、「補聴機器」(63.3%)が最も多く、次いで「携帯のメール」(28.5%)である。音声・言語・そしゃく機能の障害では、「筆談・要約筆記」(19.5%)が最も多く、次いで「携帯のメール」(14.6%)である。

コミュニケーションの際の手段・機器(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064



(7) コミュニケーションや情報取得支援のために充実してほしいこと（複数回答）

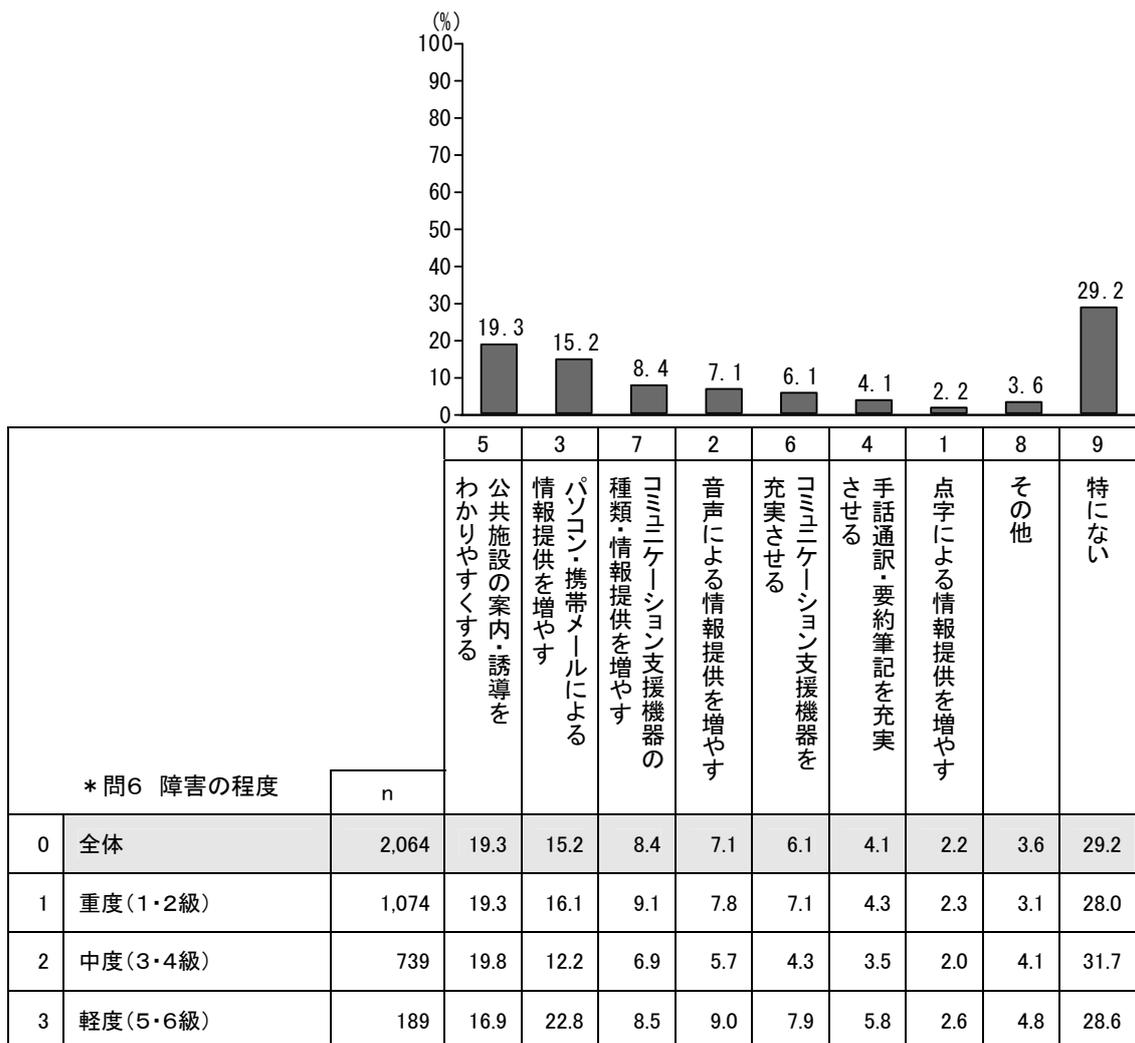
コミュニケーションや情報取得のために充実すべき内容としては、「公共施設の案内・誘導をわかりやすくする」、「パソコン・携帯メールによる情報提供を増やす」が上位に上げられている。

コミュニケーションや情報取得のために充実すべき内容について、身体障害者に尋ねたところ、「公共施設の案内・誘導をわかりやすくする」が 19.3%と最も多く、次いで「パソコン・携帯メールによる情報提供を増やす」(15.2%)、「コミュニケーション支援機器の種類・情報提供を増やす」(8.4%)である。

障害の程度別にみると、「パソコン・携帯メールによる情報提供を増やす」が、軽度(5・6級)で多くなっている。

コミュニケーションや情報取得のために充実すべき内容(複数回答)

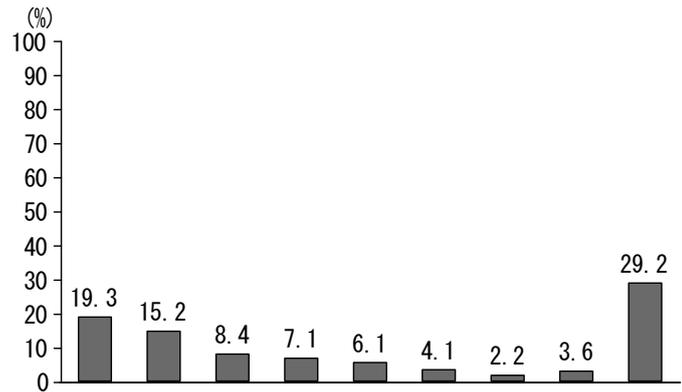
【身体障害者】全体 n=2,064



障害の種類別にみると、視覚障害では、「音声による情報提供を増やす」が他の障害の種類より多く、聴覚障害では、「手話通訳・要約筆記を充実させる」が多い。

コミュニケーションや情報取得のために充実すべき内容(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064



問7 障害者手帳に記載された障害の種類 1番目		n	5 わかりやすくする 公共施設の案内・誘導を 増やす	3 情報提供を増やす パソコン・携帯メールによる 種類・情報提供を増やす	7 コミュニケーション支援機器の 種類・情報提供を増やす	2 音声による情報提供を増やす	6 コミュニケーション支援機器を 充実させる	4 手話通訳・要約筆記を充実 させる	1 点字による情報提供を増やす	8 その他	9 特にな い
0	全体	2,064	19.3	15.2	8.4	7.1	6.1	4.1	2.2	3.6	29.2
1	視覚障害	133	24.1	19.5	12.0	36.8	9.8	0.8	8.3	6.0	17.3
2	聴覚障害	158	17.7	25.9	17.7	3.8	16.5	29.7	1.9	6.3	20.9
3	平衡機能障害	26	34.6	3.8	23.1	3.8	0.0	3.8	0.0	3.8	26.9
4	音声・言語・そしゃく機能の障害	41	9.8	7.3	7.3	14.6	9.8	2.4	2.4	7.3	7.3
5	肢体不自由(上肢・下肢)	723	19.4	14.9	8.7	4.4	5.5	1.9	1.7	2.4	30.8
6	肢体不自由(体幹)	215	19.5	16.3	7.9	7.9	6.5	1.9	1.4	3.7	25.6
7	内部障害	601	19.5	14.1	4.8	5.0	3.7	2.0	1.8	3.2	36.3
8	その他	59	20.3	10.2	5.1	3.4	5.1	5.1	5.1	8.5	33.9

10 障害福祉サービスについて

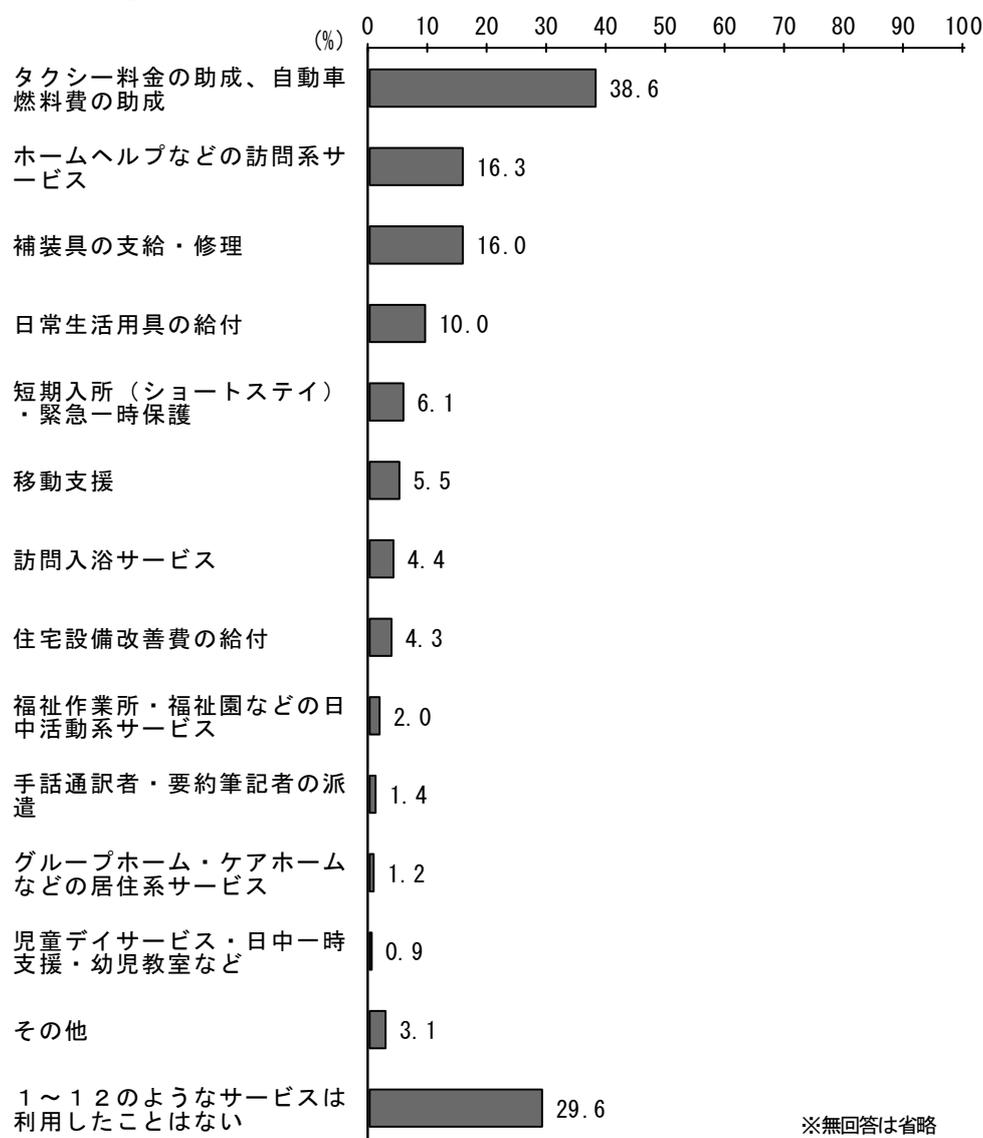
(1) 最近1年くらいの間にご利用したサービス（複数回答）

身体障害者と知的障害者では「タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成」の利用経験が最も高く、精神障害者は、「病院や診療所のデイケア」が最も高い。なお、いずれも3割前後の人がサービスを最近1年くらいの間にご利用していない。

最近1年間に利用したサービスとしては、身体障害者では、「タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成」が38.6%と最も多く、次いで「ホームヘルプなどの訪問系サービス」(16.3%)、「補装具の支給・修理」(16.0%)と続いている。

最近1年間で利用した障害福祉サービス(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064

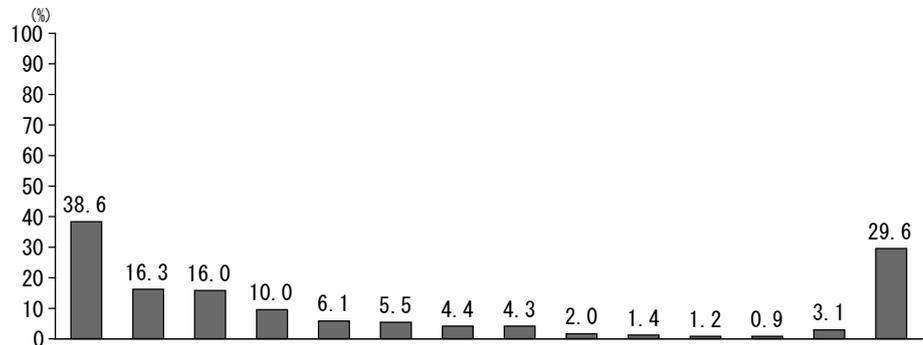


最近1年間に利用したサービスについて、年齢区分別にみると、0～17歳では「補装具の支給・修理」が最も多く(49.1%)、18～64歳では、「タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成」が48.4%と他の年齢区分より多い。

障害の程度別にみると、重度の人ほどサービス全般に利用割合が高く、軽度の人では「利用したことはない」人が51.9%である。

最近1年間で利用した障害福祉サービス(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064



* 問1 年齢		n	6	1	3	4	2	7	8	5	9	12	10	11	13	14	
			燃料費の助成	タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成	ホームヘルプなどの訪問系サービス	補装具の支給・修理	日常生活用具の給付	急一時保護	短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護	移動支援	訪問入浴サービス	住宅設備改善費の給付	福祉作業所・福祉園などの日中活動系サービス	手話通訳者・要約筆記者の派遣	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	児童デイサービス・日中一時支援・幼児教室など	1～12のようなサービスは利用したことはない
0	全体	2,064	38.6	16.3	16.0	10.0	6.1	5.5	4.4	4.3	2.0	1.4	1.2	0.9	3.1	29.6	
1	0～17歳	53	30.2	15.1	49.1	22.6	15.1	15.1	3.8	1.9	0.0	3.8	0.0	13.2	0.0	13.2	
2	18～64歳	614	48.4	11.9	16.9	12.1	5.9	8.3	3.7	3.7	5.2	2.9	0.3	0.5	2.9	27.2	
3	65歳以上	1,311	34.8	18.5	13.8	8.6	5.7	4.0	4.7	4.5	0.7	0.5	1.7	0.7	3.6	31.6	

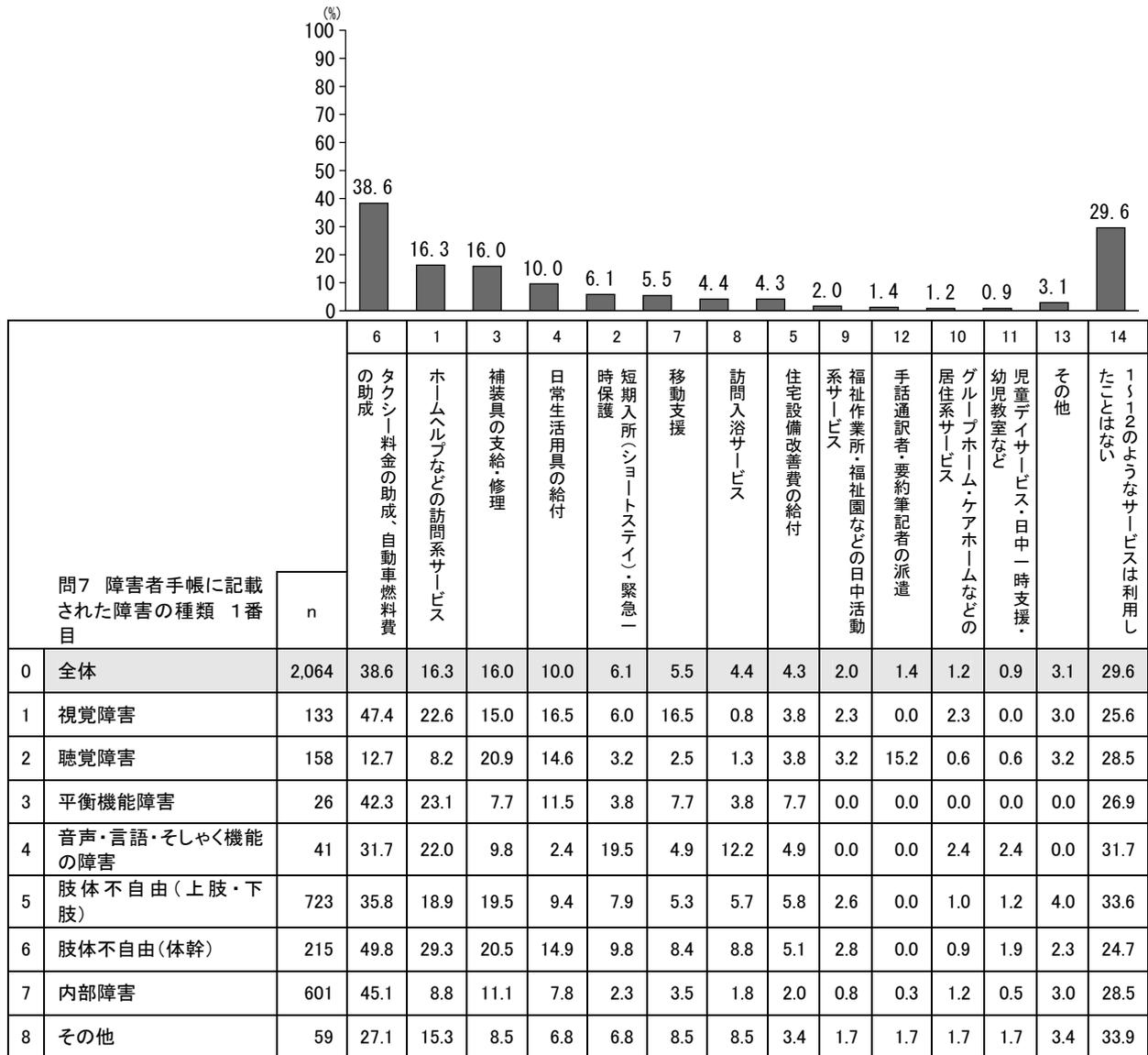
【障害の程度別】

1	重度(1・2級)	1,074	51.2	21.7	18.3	13.2	8.8	7.9	6.6	5.2	2.9	1.9	1.3	1.4	2.9	20.5
2	中度(3・4級)	739	27.7	10.7	13.9	6.2	2.7	3.1	1.6	3.0	0.9	0.5	0.8	0.5	3.5	37.3
3	軽度(5・6級)	189	13.8	7.9	12.2	5.8	4.2	1.6	2.1	3.7	0.5	1.6	2.6	0.0	3.7	51.9

障害の種類別にみると、視覚障害では「移動支援」(16.5%)、聴覚障害では、「手話通訳者・要約筆記者の派遣」(15.2%)が他の障害より多い。

最近1年間で利用した障害福祉サービス(複数回答)

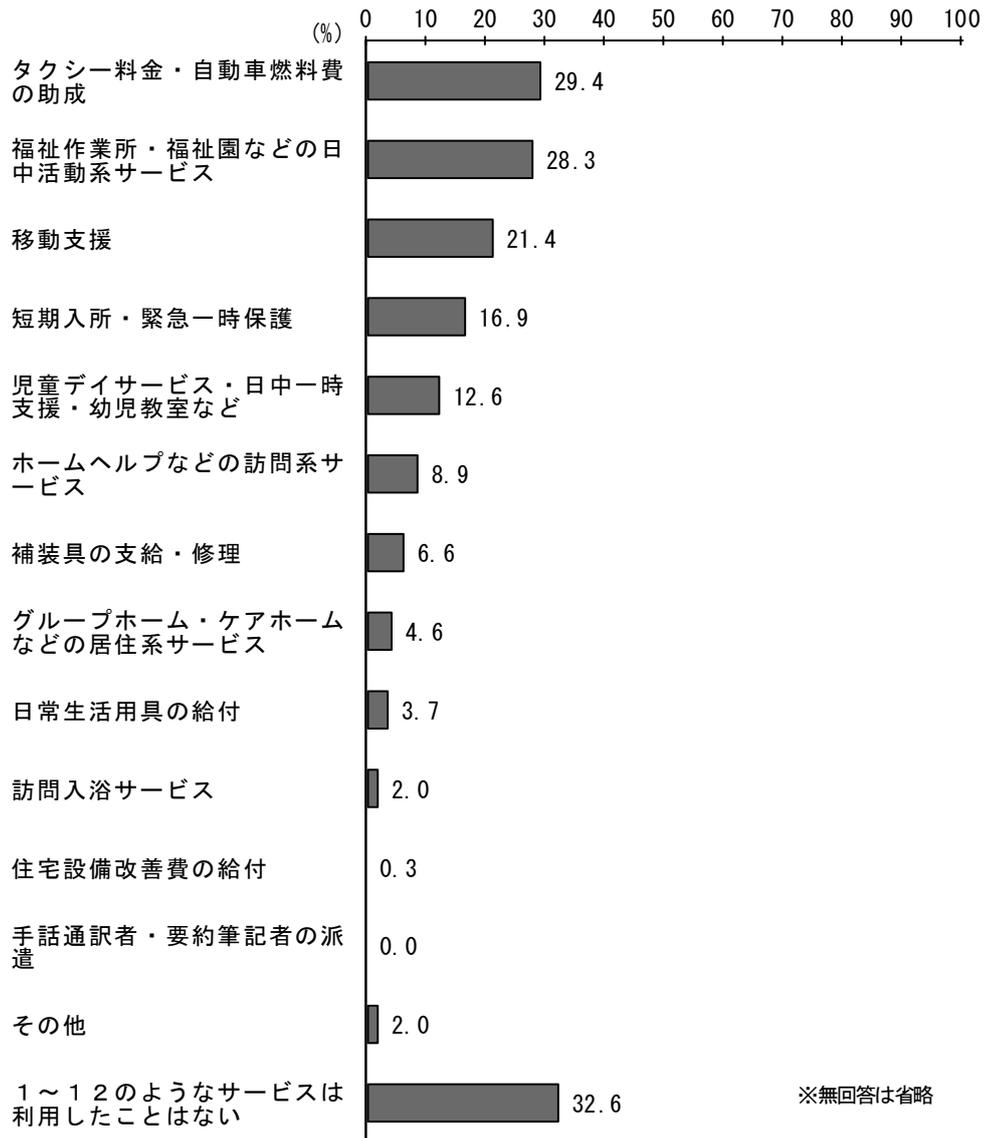
【身体障害者】全体 n=2,064



知的障害者では、「タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成」(29.4%)、「福祉作業所・福祉園などの日中活動系サービス」(28.3%)、「移動支援」(21.4%)の順である。

最近1年間で利用した障害福祉サービス(複数回答)

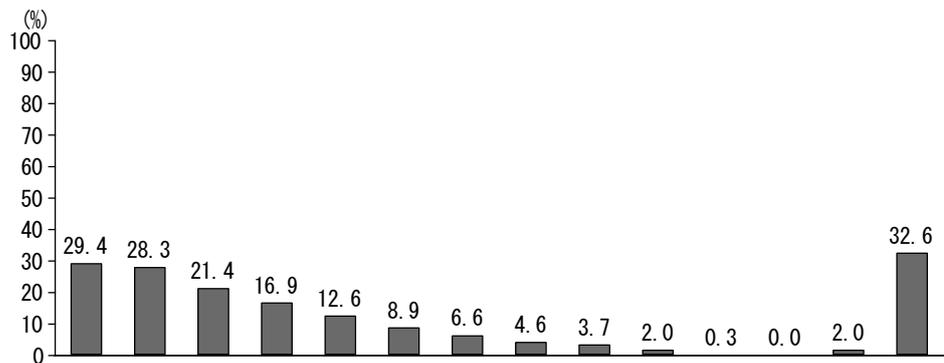
【知的障害者】全体 n=350



障害の程度別にみると、程度が重いほど、サービス全般の利用割合は高い傾向にある。

最近1年間で利用した障害福祉サービス(複数回答)

【知的障害者】全体 n=350

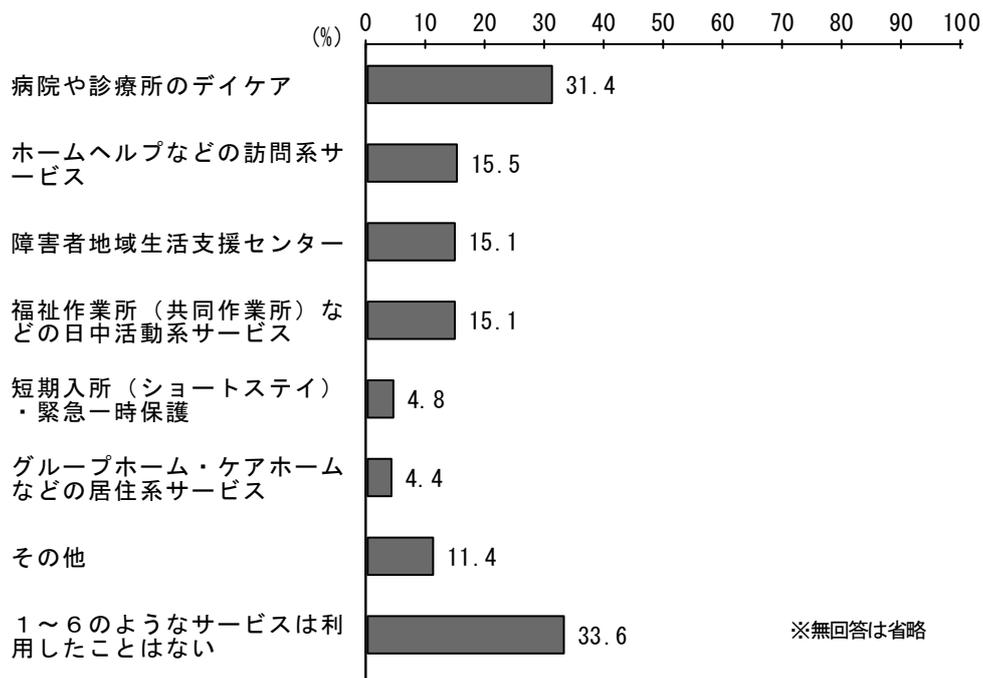


* 問6 障害の程度	n	6	9	7	2	11	1	3	10	4	8	5	12	13	14
		タクシー料金・自動車燃料費の助成	日中活動系サービス	福祉作業所・福祉園などの移動支援	短期入所・緊急一時保護	児童デイサービス・日中一時支援・幼児教室など	ホームヘルプなどの訪問系サービス	補装具の支給・修理	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	日常生活用具の給付	訪問入浴サービス	住宅設備改善費の給付	派遣 手話通訳者・要約筆記者の	その他	15 12のようなサービスは利用したことはない
0 全体	350	29.4	28.3	21.4	16.9	12.6	8.9	6.6	4.6	3.7	2.0	0.3	0.0	2.0	32.6
1 最重度・重度(1・2度)	129	62.0	40.3	35.7	35.7	22.5	16.3	11.6	3.1	5.4	3.9	0.8	0.0	3.1	8.5
2 中度(3度)	77	15.6	35.1	24.7	11.7	6.5	3.9	6.5	7.8	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3	37.7
3 軽度(4度)	136	6.6	14.0	7.4	2.9	7.4	4.4	1.5	2.9	3.7	0.7	0.0	0.0	1.5	53.7

精神障害者では、「病院や診療所のデイケア」(31.4%)、「ホームヘルプなどの訪問系サービス」(15.5%)、「障害者地域生活支援センター」「福祉作業所(共同作業所)などの日中活動系サービス」(ともに 15.1%)の順である。

最近1年間で利用した障害福祉サービス(複数回答)

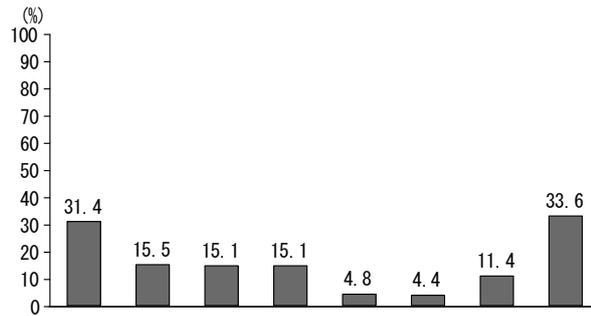
【精神障害者】全体 n=271



障害の程度別でみると、「ホームヘルプなどの訪問系サービス」は、程度が重いほど利用割合が高いが、「障害者地域生活支援センター」は、程度が軽いほど、利用割合が高い。

最近1年間で利用した障害福祉サービス(複数回答)

【精神障害者】全体 n=271



* 問6 障害の程度	n	6	1	3	4	2	5	7	8
		病院や診療所のデイケア	ホームヘルプなどの訪問系サービス	障害者地域生活支援センター	福祉作業所(共同作業所)などの日中活動系サービス	福祉作業所(共同作業所)など一時保護	短期入所(ショートステイ)・緊急の居住系サービス	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	その他
0 全体	271	31.4	15.5	15.1	15.1	4.8	4.4	11.4	33.6
1 1級	32	31.3	21.9	12.5	12.5	6.3	6.3	28.1	28.1
2 2級	153	35.9	17.6	15.0	19.0	5.9	5.2	8.5	26.8
3 3級	81	22.2	9.9	17.3	9.9	2.5	2.5	9.9	49.4

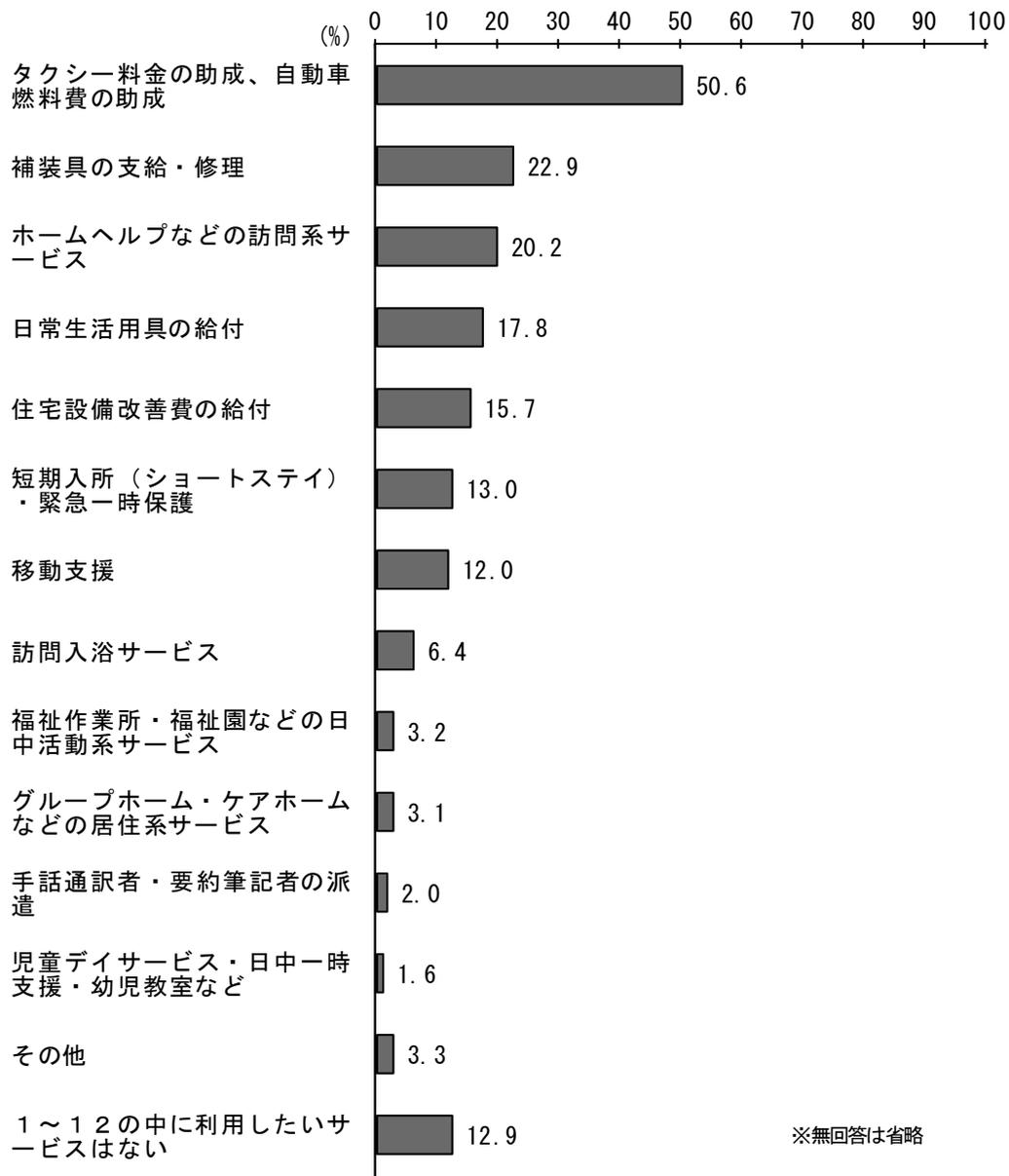
(2) 今後も引き続き、あるいは新たに利用したいと思うサービス（複数回答）

最も利用意向の高いサービスは、身体障害者と知的障害者では「タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成」、精神障害者では「病院や診療所のデイケア」である。

身体障害者では、今後も引き続き、あるいは新たに利用したいと思うサービスとしては、「タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成」が 50.6%と最も多く、次いで「補装具の支給・修理」(22.9%)、「ホームヘルプなどの訪問系サービス」(20.2%)と続いている。

今後も利用したい障害福祉サービス(複数回答)

【身体障害者】 全体 n=2,064

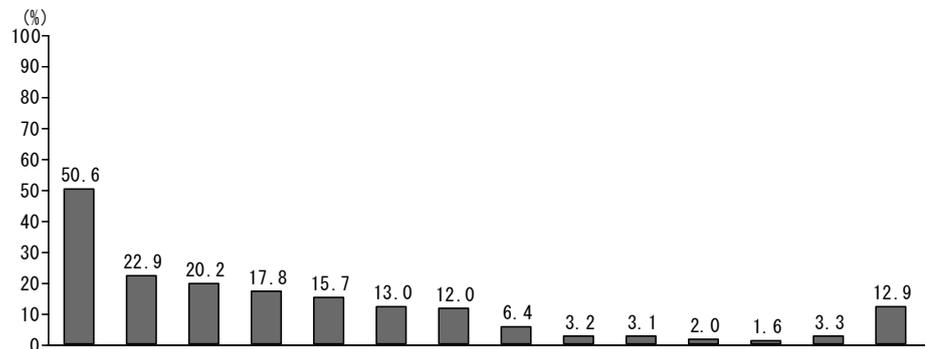


今後も引き続き、あるいは新たに利用したいと思うサービスについて、年齢区分別にみると、0～17歳では、「補装具の支給・修理」が60.4%と特に多く、そのほか、「日常生活用具の給付」、「短期入所・緊急一時保護」、「移動支援」などについても他の年齢区分より多い。

障害の程度別にみると、重度の人ほど利用意向が高い傾向がみられる。軽度の人でサービスの利用意向のない人は24.3%である。

今後も利用したい障害福祉サービス(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064



* 問1 年齢	n	6	3	1	4	5	2	7	8	9	10	12	11	13	14
		車燃料費の助成	補装具の支給・修理	ホームヘルプなどの訪問系サービス	日常生活用具の給付	住宅設備改善費の給付	イ・緊急一時保護	短期入所(ショートステイ)	移動支援	訪問入浴サービス	福祉作業所・福祉園などの日中活動系サービス	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	派遣	児童デイサービス・日中一時支援・幼児教室など	手話通訳者・要約筆記者の派遣
0 全体	2,064	50.6	22.9	20.2	17.8	15.7	13.0	12.0	6.4	3.2	3.1	2.0	1.6	3.3	12.9
1 0～17歳	53	52.8	60.4	30.2	41.5	20.8	35.8	30.2	20.8	7.5	5.7	5.7	30.2	0.0	9.4
2 18～64歳	614	55.7	27.0	16.0	23.5	17.6	12.1	15.5	6.5	7.7	2.8	4.9	1.0	4.2	11.9
3 65歳以上	1,311	48.5	19.4	22.2	14.5	14.6	12.4	9.6	5.7	1.1	3.2	0.6	0.7	3.0	13.6

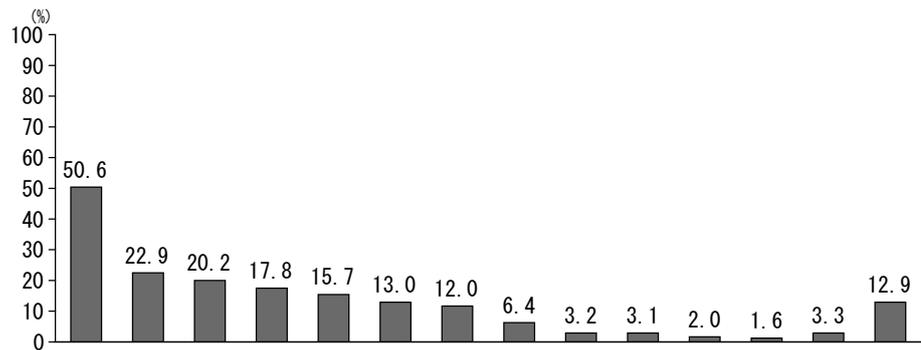
【障害の程度別】

障害程度	n	6	3	1	4	5	2	7	8	9	10	12	11	13	14
1 重度(1・2級)	1,074	60.8	25.8	25.0	23.2	17.7	18.3	16.5	9.5	4.5	2.9	2.4	2.3	3.4	8.7
2 中度(3・4級)	739	43.4	19.6	15.7	12.3	12.6	6.8	7.2	2.8	1.5	3.2	1.2	0.9	3.0	15.8
3 軽度(5・6級)	189	28.0	22.8	13.8	11.6	16.4	8.5	5.8	3.2	2.6	4.8	3.7	0.5	3.7	24.3

障害の種類別でみると、視覚障害では、「移動支援」、聴覚障害では、「手話通訳者・要約筆記者の派遣」、平衡機能障害では、「短期入所(ショートステイ)緊急一時保護」の利用意向が高い傾向がある。

今後も利用したい障害福祉サービス(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064

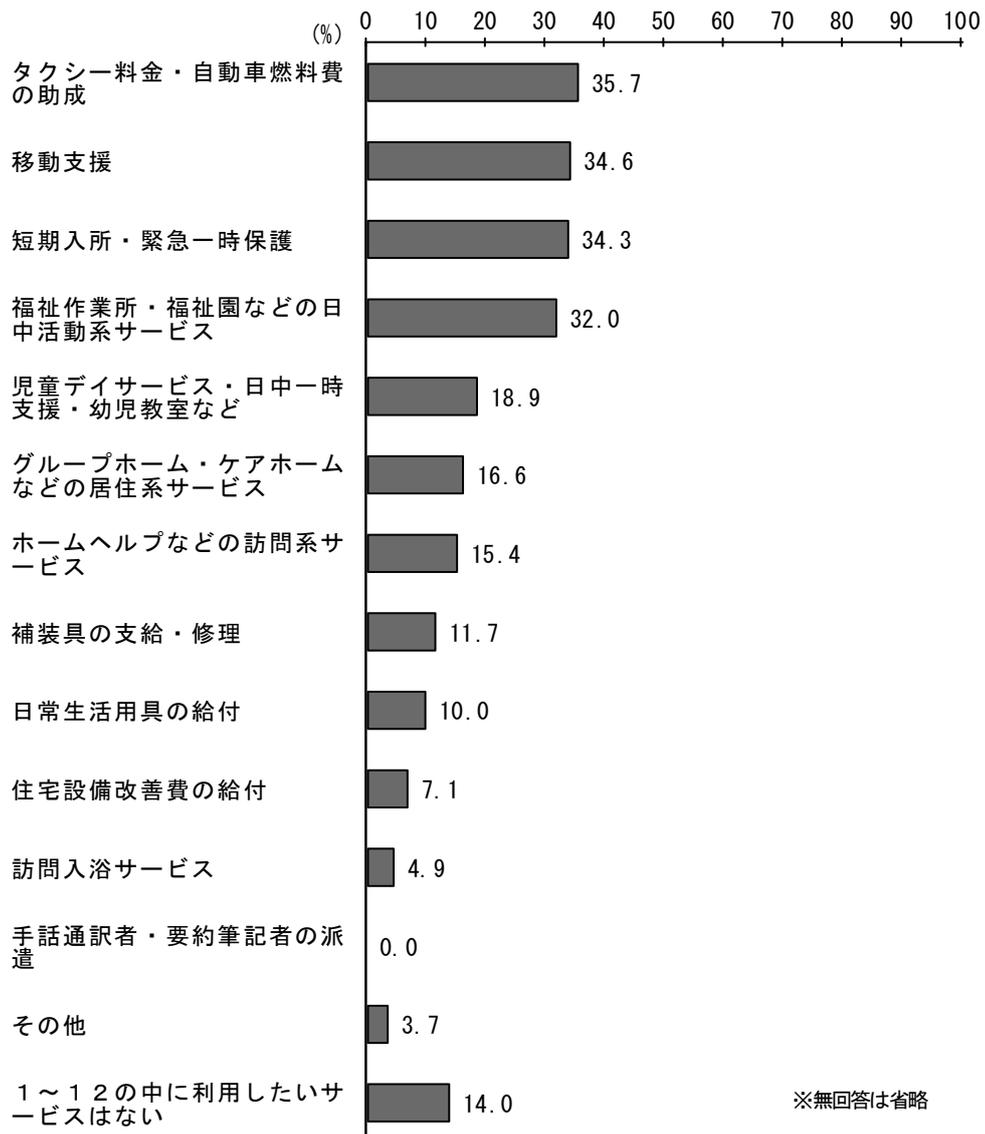


問7 障害者手帳に記載された障害の種類 1番目	n	6	3	1	4	5	2	7	8	9	10	12	11	13	14
		タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成	補装具の支給・修理	ホームヘルプなどの訪問系サービス	日常生活用具の給付	住宅設備改善費の給付	短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護	移動支援	訪問入浴サービス	福祉作業所・福祉園などの日中活動系サービス	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	手話通訳者・要約筆記者の派遣	児童デイサービス・日中一時支援・幼児教室など	その他	1～12の中に利用したいサービスはない
0 全体	2,064	50.6	22.9	20.2	17.8	15.7	13.0	12.0	6.4	3.2	3.1	2.0	1.6	3.3	12.9
1 視覚障害	133	55.6	24.8	28.6	27.8	15.0	14.3	24.8	3.0	3.0	3.8	0.0	0.8	1.5	10.5
2 聴覚障害	158	22.8	37.3	13.9	23.4	15.8	7.0	5.1	3.2	5.1	7.0	23.4	1.9	3.2	14.6
3 平衡機能障害	26	42.3	15.4	26.9	15.4	38.5	19.2	19.2	7.7	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	11.5
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	41	46.3	19.5	26.8	14.6	12.2	36.6	9.8	12.2	2.4	7.3	0.0	9.8	0.0	4.9
5 肢体不自由(上肢・下肢)	723	52.1	27.0	23.0	17.0	18.5	14.8	13.4	8.4	3.7	2.8	0.1	1.7	3.6	14.0
6 肢体不自由(体幹)	215	57.7	36.7	35.8	30.7	21.4	24.7	22.3	14.9	5.6	2.8	0.0	2.8	3.3	10.2
7 内部障害	601	56.4	12.6	11.5	11.6	11.0	7.0	6.3	2.3	1.5	2.3	0.2	1.0	3.2	13.3
8 その他	59	40.7	11.9	16.9	15.3	15.3	6.8	11.9	10.2	1.7	1.7	1.7	0.0	8.5	13.6

知的障害者では、「タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成」(35.7%)、「移動支援」(34.6%)、「短期入所・緊急一時保護」(34.3%)の順である。

今後も利用したい障害福祉サービス(複数回答)

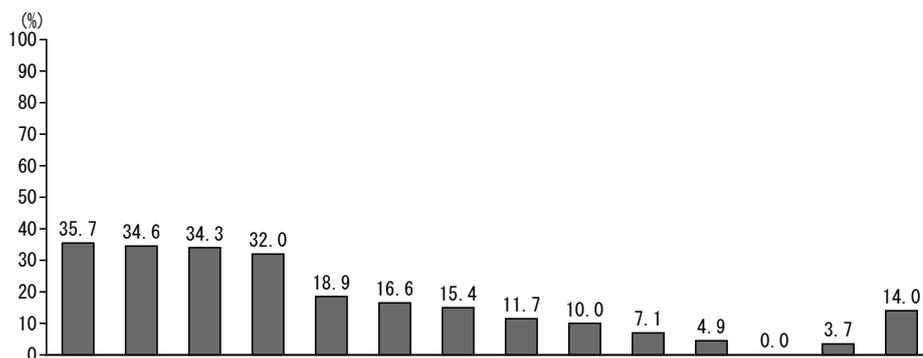
【知的障害者】全体 n=350



障害の程度別にみると、上位4項目では特に、程度が重いほど、利用意向は高くなっており、「タクシー料金・自動車燃料費の助成」、「短期入所・緊急一時保護」については最重度・重度(1・2度)で6割を超えている。

今後も利用したい障害福祉サービス(複数回答)

【知的障害者】全体 n=350



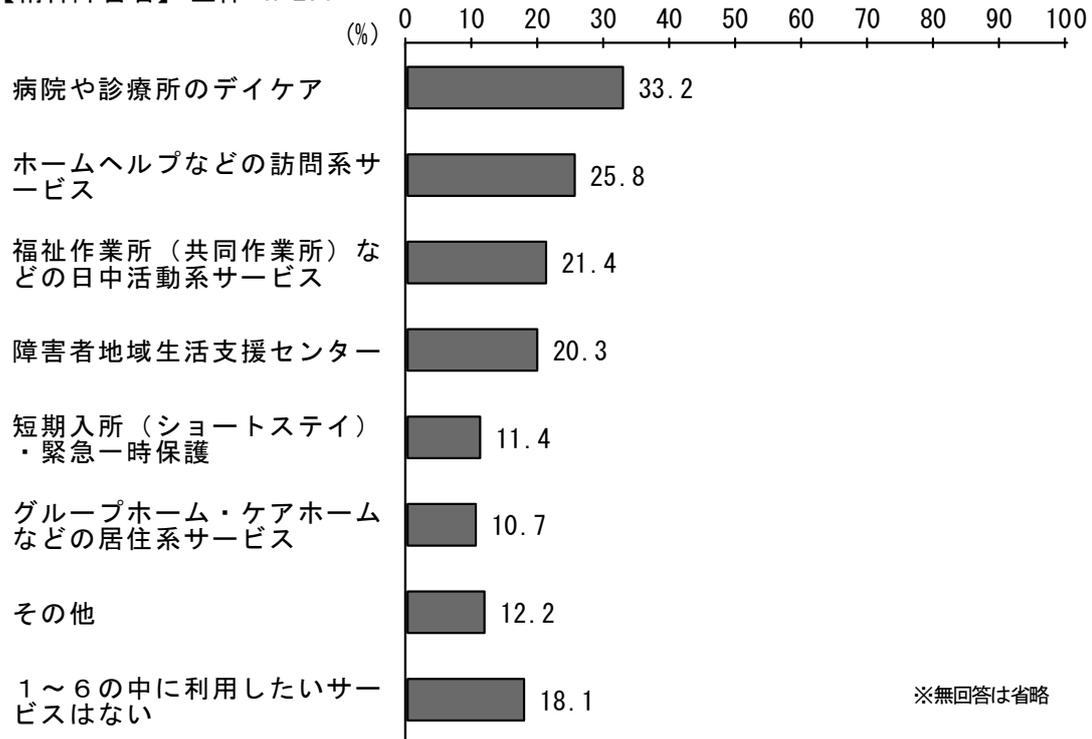
* 問6 障害の程度	n	6	7	2	9	11	10	1	3	4	5	8	12	13	14
		タクシー料金・自動車燃料費の助成	移動支援	短期入所・緊急一時保護	福祉作業所・福祉園などの日中活動系サービス	児童デイサービス・日中一時支援・幼児教室など	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	ホームヘルプなどの訪問系サービス	補装具の支給・修理	日常生活用具の給付	住宅設備改善費の給付	訪問入浴サービス	手話通訳者・要約筆記者の派遣	その他	1～12の中に利用したいサービスはない
0 全体	350	35.7	34.6	34.3	32.0	18.9	16.6	15.4	11.7	10.0	7.1	4.9	0.0	3.7	14.0
1 最重度・重度(1・2度)	129	61.2	55.0	62.8	47.3	25.6	15.5	27.9	20.9	17.1	10.9	11.6	0.0	6.2	3.9
2 中度(3度)	77	23.4	27.3	28.6	36.4	11.7	20.8	6.5	11.7	5.2	6.5	2.6	0.0	0.0	13.0
3 軽度(4度)	136	18.4	20.6	11.8	16.2	17.6	14.7	9.6	2.9	5.9	4.4	0.0	0.0	3.7	25.0

精神障害者では、「病院や診療所のデイケア」(33.2%)、「ホームヘルプなどの訪問系サービス」(25.8%)、「福祉作業所(共同作業所)などの日中活動系サービス」(21.4%)の順である。

障害の程度別にみると、重度の人ほど「ホームヘルプなどの訪問系サービス」や「短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護」などの利用意向が高い。また、3級では、「障害者地域生活支援センター」が最も多い。

今後も利用したい障害福祉サービス(複数回答)

【精神障害者】全体 n=271

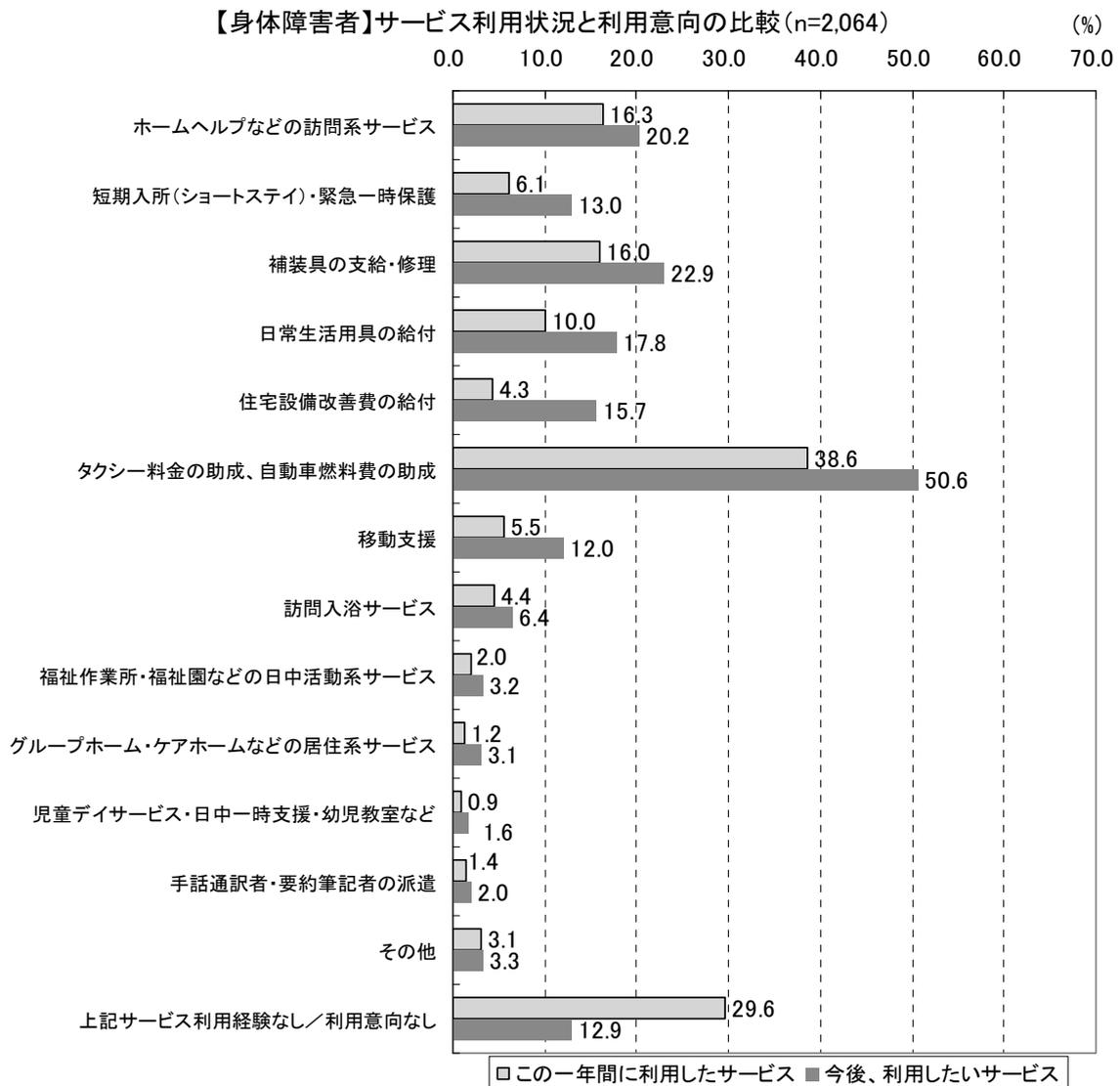


* 問6 障害の程度	n	6	1	4	3	2	5	7	8
		病院や診療所のデイケア	ホームヘルプなどの訪問系サービス	福祉作業所(共同作業所)などの日中活動系サービス	障害者地域生活支援センター	短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	その他	1～6の中に利用したいサービスはない
0 全体	271	33.2	25.8	21.4	20.3	11.4	10.7	12.2	18.1
1 1級	32	37.5	37.5	18.8	21.9	25.0	25.0	28.1	12.5
2 2級	153	36.6	26.1	24.2	16.3	12.4	9.2	8.5	15.0
3 3級	81	24.7	22.2	18.5	28.4	4.9	8.6	12.3	25.9

(3) 最近1年間のサービス利用状況と利用意向（複数回答）

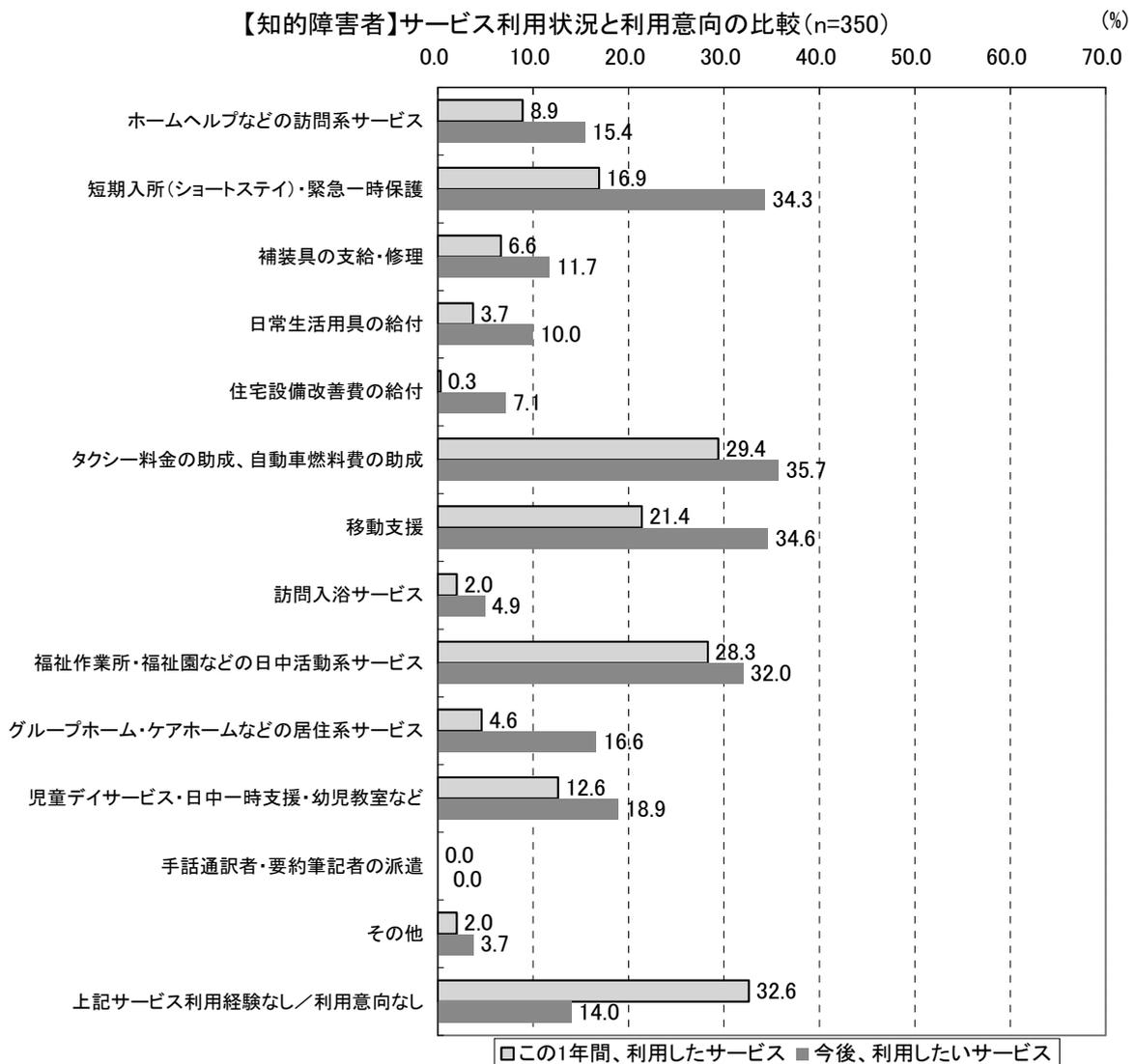
身体障害者のサービス利用状況と今後の利用意向を比較すると、「タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成」の利用経験、利用意向とももっとも高い。

最近1年くらいのサービス利用状況と利用意向を比較すると、いずれのサービスにおいても、利用意向が利用経験を上回っている。特にその差が大きいものは、「タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成」、「住宅設備改善費の給付」である。



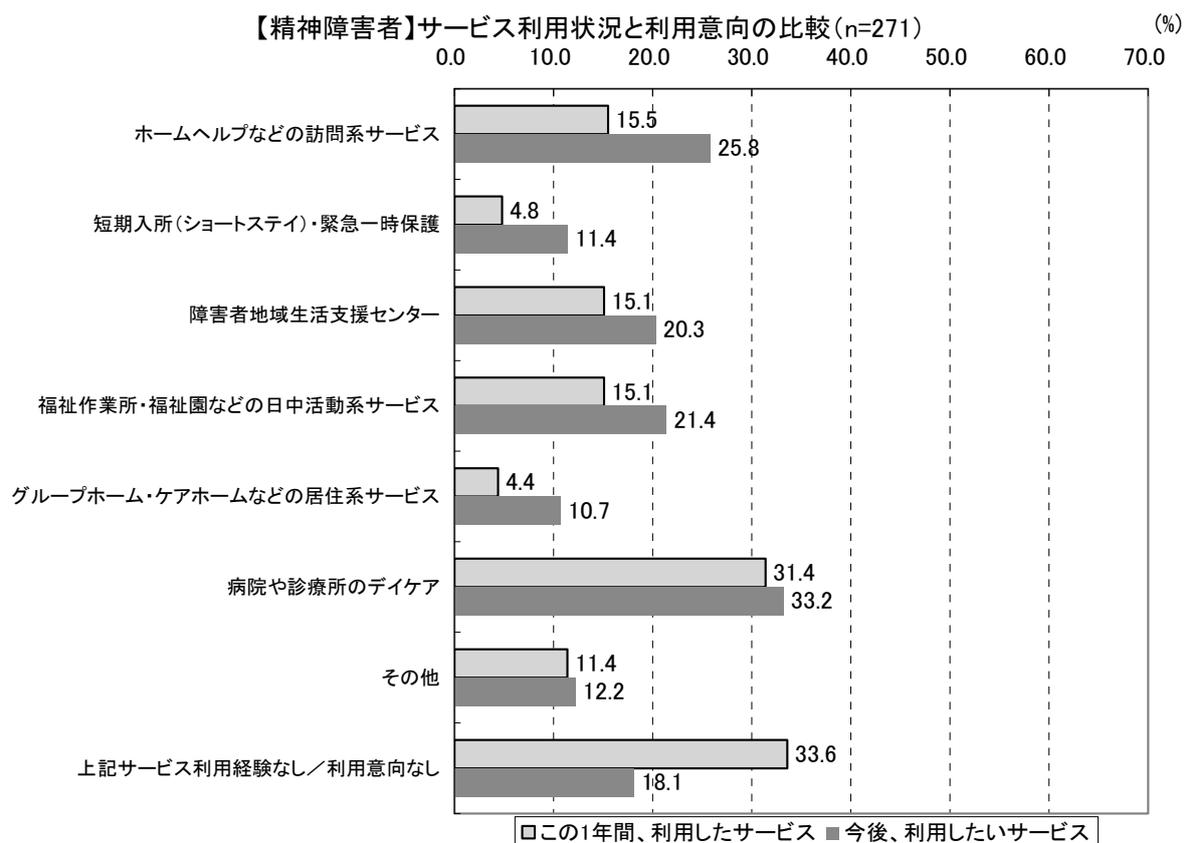
知的障害者のサービス利用状況と今後の利用意向を比較すると、身体障害者同様「タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成」の利用経験、利用意向が最も高いほか、「移動支援」「短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護」の利用意向は利用経験を大きく上回っている。

最近1年くらいのサービス利用状況と利用意向を比較すると、いずれのサービスにおいても、利用意向が利用経験を上回っている。特にその差が大きいものは、「短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護」、「移動支援」、「グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス」である。



精神障害者のサービス利用状況と今後の利用意向を比較すると、「病院や診療所のデイケア」は利用経験、利用意向が最も高い。次いで「ホームヘルプなどの訪問系サービス」は利用割合は15.5%に対して利用意向は25.8%と高い。

最近1年くらいのサービス利用状況と利用意向を比較すると、いずれのサービスにおいても、利用意向が利用経験を上回っている。特にその差が大きいものは、「ホームヘルプなどの訪問系サービス」である。



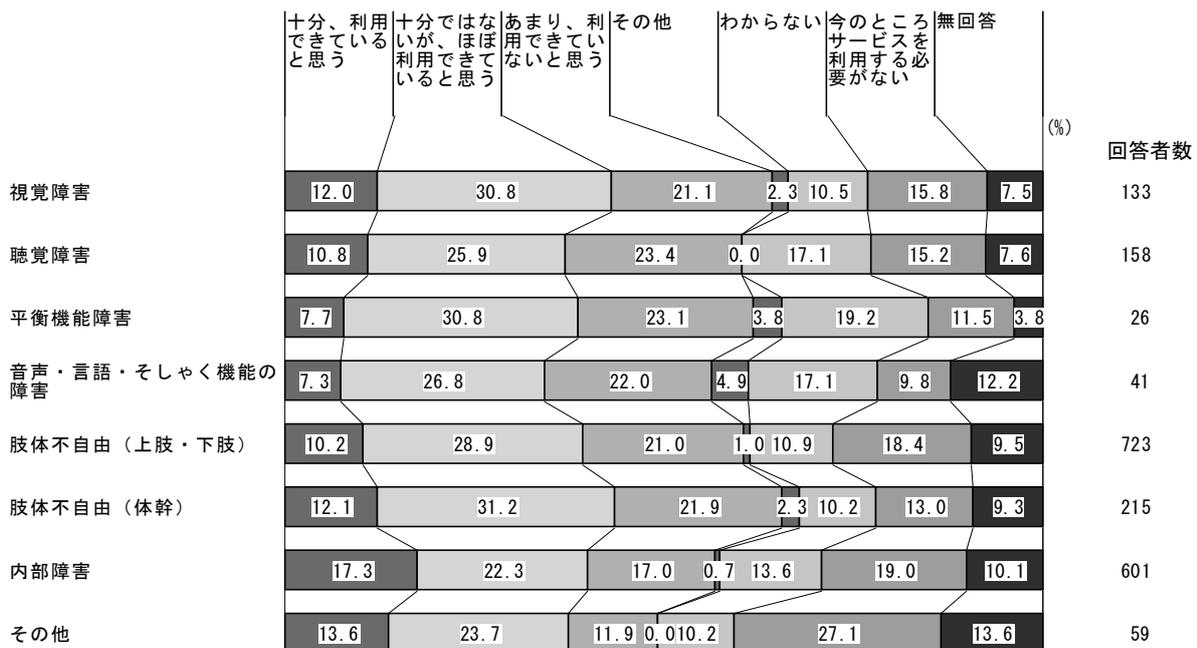
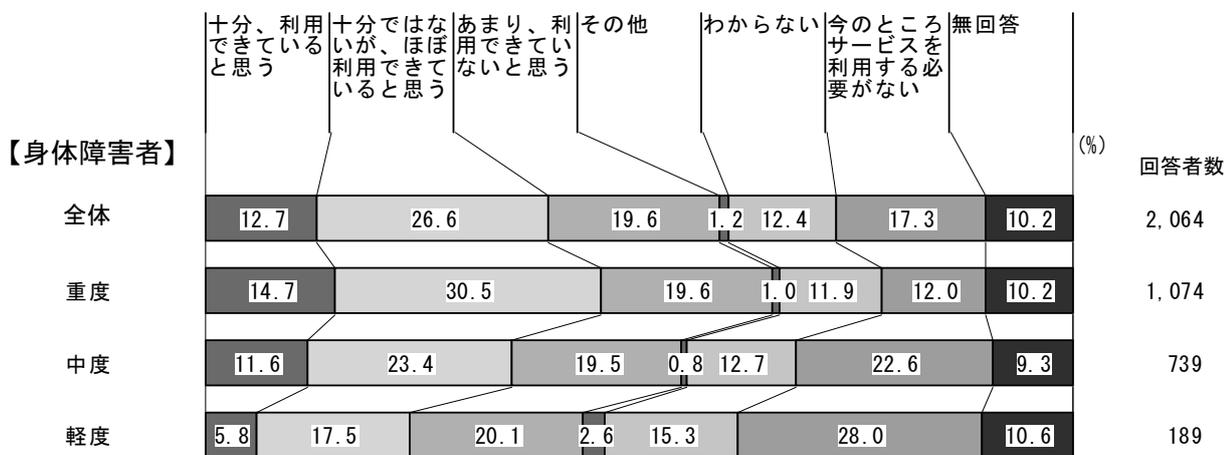
(4) 必要だと思うサービスを十分利用できているか

必要だと思うサービスをあまり利用できていないと考えている人は、身体障害者で 19.6%、知的障害者で 25.1%、精神障害者の 24.1%となっている。

現在、必要だと思うサービスを十分利用できているかを尋ねたところ、身体障害者では、12.7%の人が「十分、利用できていると思う」、26.6%が「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」と回答しており、あわせると約4割がほぼ十分にサービス利用ができていると考えられる。

障害の程度別にみると、「十分、利用できていると思う」人は程度が重いほど多い。

必要なサービスの利用状況

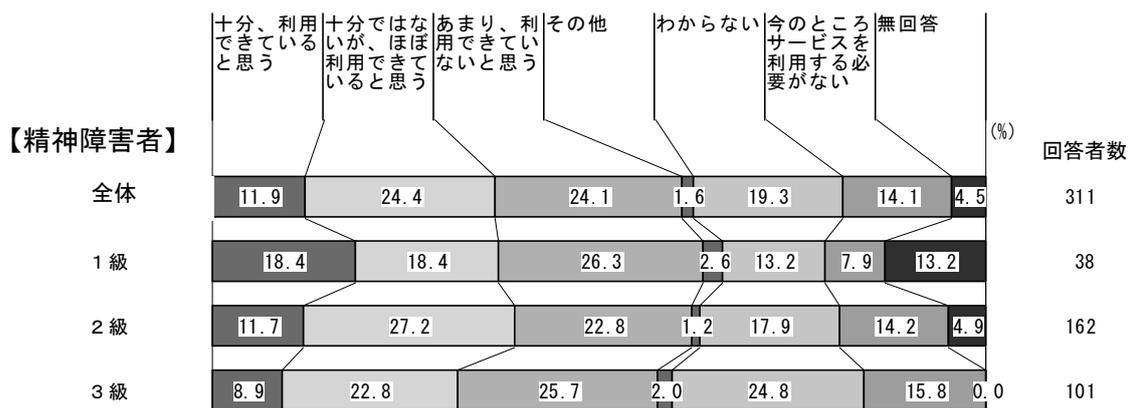
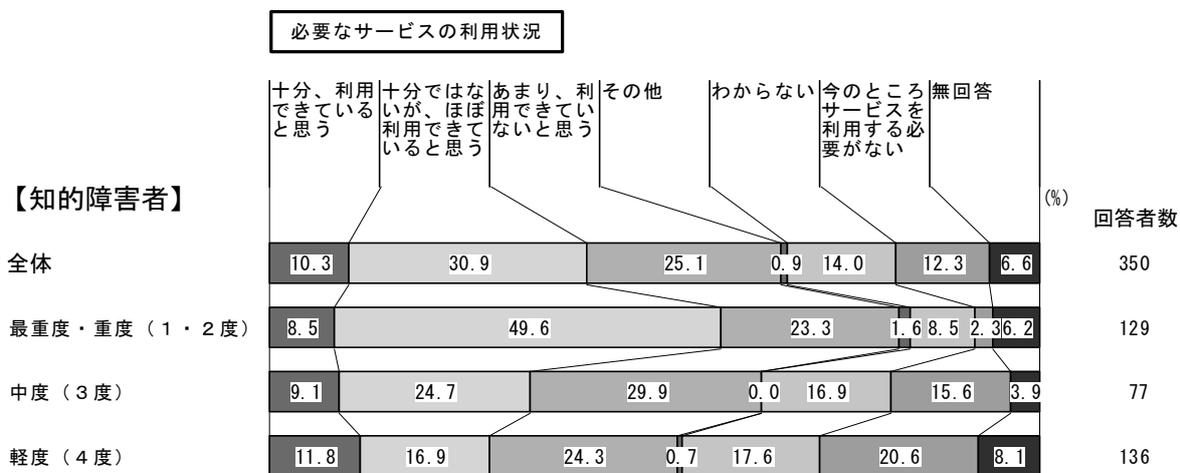


知的障害者では、「十分、利用できていると思う」が 10.3%、「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」が 30.9%で、4割の人は、ほぼ十分にサービス利用ができています。

障害の程度別にみると、「十分、利用できていると思う」人は程度が軽いほど多く、また、「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」人は程度が重いほど多い。

精神障害者では、「十分、利用できていると思う」が 11.9%、「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」が 24.4%で、4割弱の人はほぼ十分にサービス利用ができています。

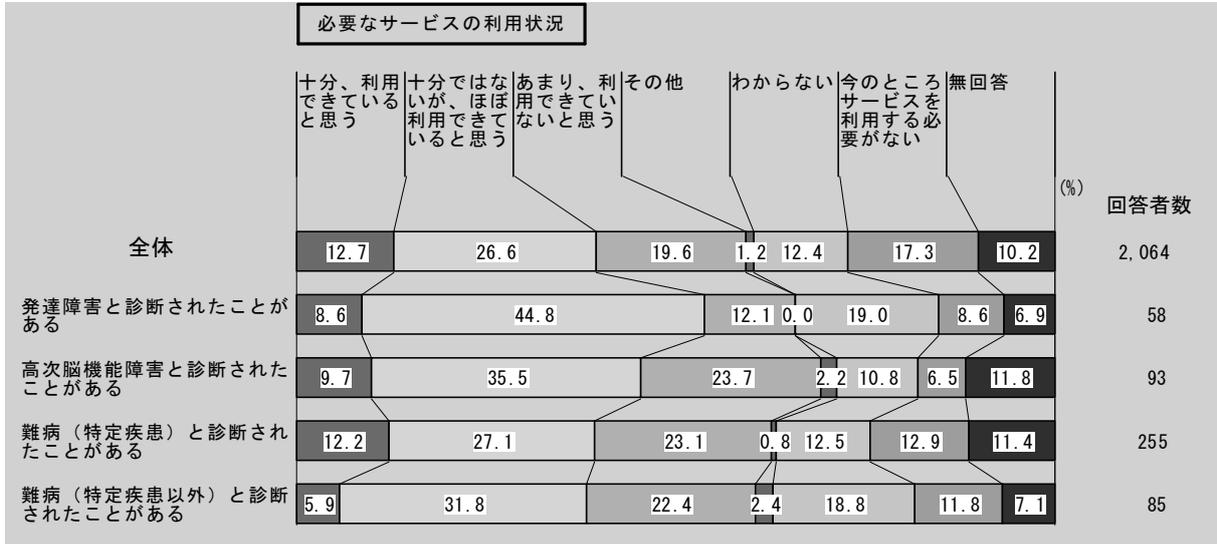
障害の程度別にみると、「十分、利用できていると思う」人は程度が重いほど多い。



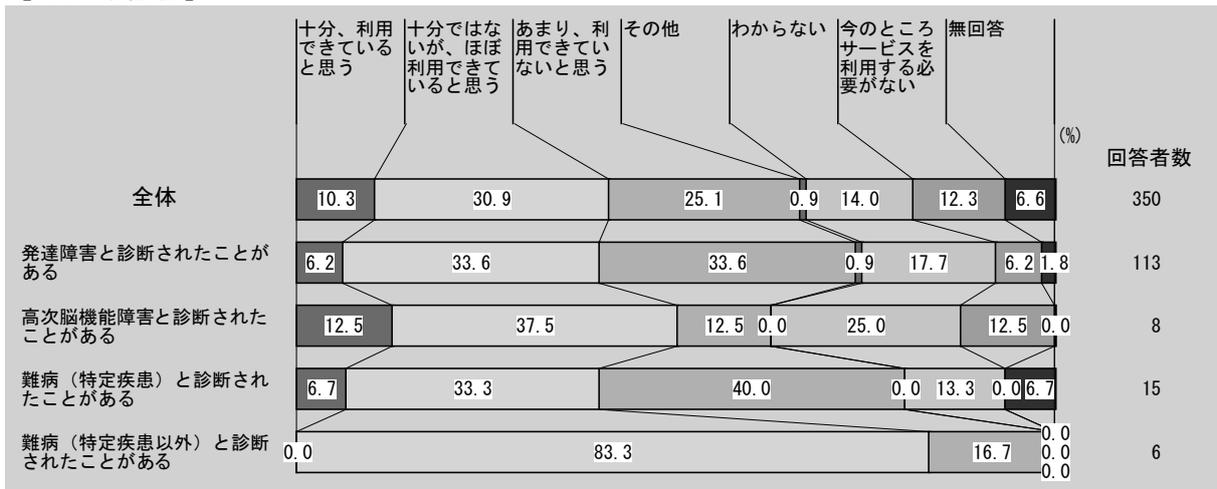
<参考>

各障害者手帳を保有している対象者の中で、発達障害や高次脳機能障害、難病（特定疾患、特定疾患以外）の診断経験を持つ人のサービス利用状況を参考として記載する。

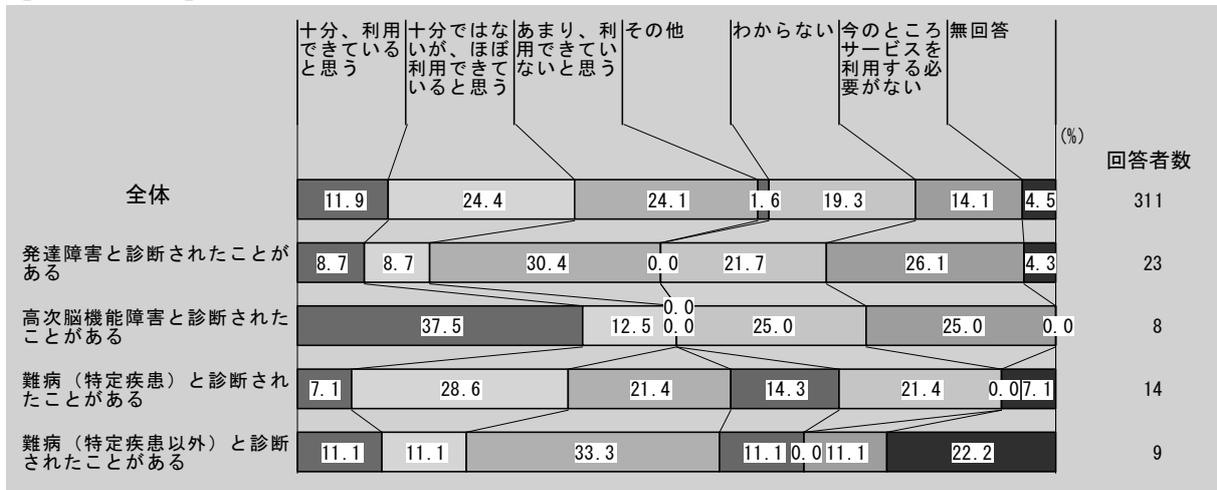
【身体障害者】



【知的障害者】



【精神障害者】



(5) 必要だと思うサービスを十分利用できていない理由（複数回答）

必要だと思うサービスを「十分、利用できていないと思う」と回答した人に、十分利用できていない理由を尋ねたところ、身体障害者では、「どのようなサービスがあるかわからないから」が 34.1%と最も多く、次いで「利用の仕方がわからないから」(26.7%)、「自己負担が大きく、利用できないから」(23.5%)と続いている。

知的障害者では、「どのようなサービスがあるかわからないから」が 38.6%と最も多く、次いで「利用の仕方がわからないから」(29.5%)、「支給要件に該当しないから」「対応できる事業者がないから」(ともに 26.1%)である。

精神障害者では、「利用の仕方がわからないから」が 49.3%と最も多く、次いで「どのようなサービスがあるかわからないから」(41.3%)、「自己負担が大きく、利用できないから」(21.3%)である。

		自己負担 が大きく、 利用でき ないから	支給要件 に該当し ないから	必要とす るサービ スがな いから	どのよう なサー ビス がある か わ ら な い か ら	利用の仕 方がわか らないか ら	対応でき る事業 者がい ない から	その他	わから ない	無回答
身体障害者	(n=405)	23.5%	20.2%	13.1%	34.1%	26.7%	7.4%	9.6%	4.4%	5.7%
知的障害者	(n=88)	20.5%	26.1%	15.9%	38.6%	29.5%	26.1%	12.5%	3.4%	5.7%
精神障害者	(n=75)	21.3%	14.7%	16.0%	41.3%	49.3%	12.0%	8.0%	5.3%	5.3%

(6) サービスを利用しやすくするために必要なこと（自由回答）

主な意見は、次のとおりである。

【身体障害者】

- ・サービスの専用コーナーを設けるなど、区報を充実してほしい。
- ・自分が受けられるサービス一覧などの情報がほしい。
- ・施設で相談が受けられること。
- ・様々な相談(高齢者制度・手話・点字等)に対応できる相談員育成。
- ・郵送でサービス情報を知らせてほしい。
- ・身近な場所で手続きをしてほしい。
- ・1か所で手続きをしてほしい。
- ・手続きを簡素化してほしい。
- ・ショートステイの増設。
- ・ホームヘルプサービス支給時間増加。
- ・サービス提供者の質の向上。
- ・ヘルパーの待遇向上。
- ・継続的なリハビリを受けられる施設整備。
- ・障害程度に関わらず、希望するサービスが受けられること。
- ・サービス利用の自己負担金軽減。
- ・割引制度などの拡大。
- ・概ね今の制度で満足している。

【知的障害者】

- ・サービス情報を詳しく載せるなど、区報を充実してほしい。
- ・福祉サービス全般の利用説明会の開催。
- ・身近な場所で手続きをしてほしい。
- ・一生を通じて段階的に受けられるサービスを、個別に相談できるようにしてほしい。
- ・気軽な相談窓口と専門的相談窓口を設置してほしい。
- ・施設間での横の連携。
- ・1か所で全てがまかなえるシステム。
- ・緊急一時保護の増設。
- ・ヘルパー育成と増加。
- ・児童デイサービス増設。
- ・福祉タクシー券の充実。
- ・特別支援学級を全ての小中学校に設置してほしい。
- ・サービス利用の自己負担金軽減。
- ・仲間づくりの場の整備。
- ・現状で満足している。

【精神障害者】

- ・区報でもっとサービス等の情報提供をしてほしい。
- ・サービスの種類や使い方を、分かりやすく伝えてほしい。
- ・関係者が情報提供やサービス利用提案をしてほしい。
- ・サービス従事者の質の向上。
- ・手続きを簡素化してほしい。
- ・個々の障害に応じたサービスを整備してほしい。
- ・ヘルパーを育成してほしい。
- ・施設間での横の連携。
- ・サービス利用の自己負担金軽減。
- ・現状に満足している。

11 将来について

(1) 今後の日中の過ごし方について

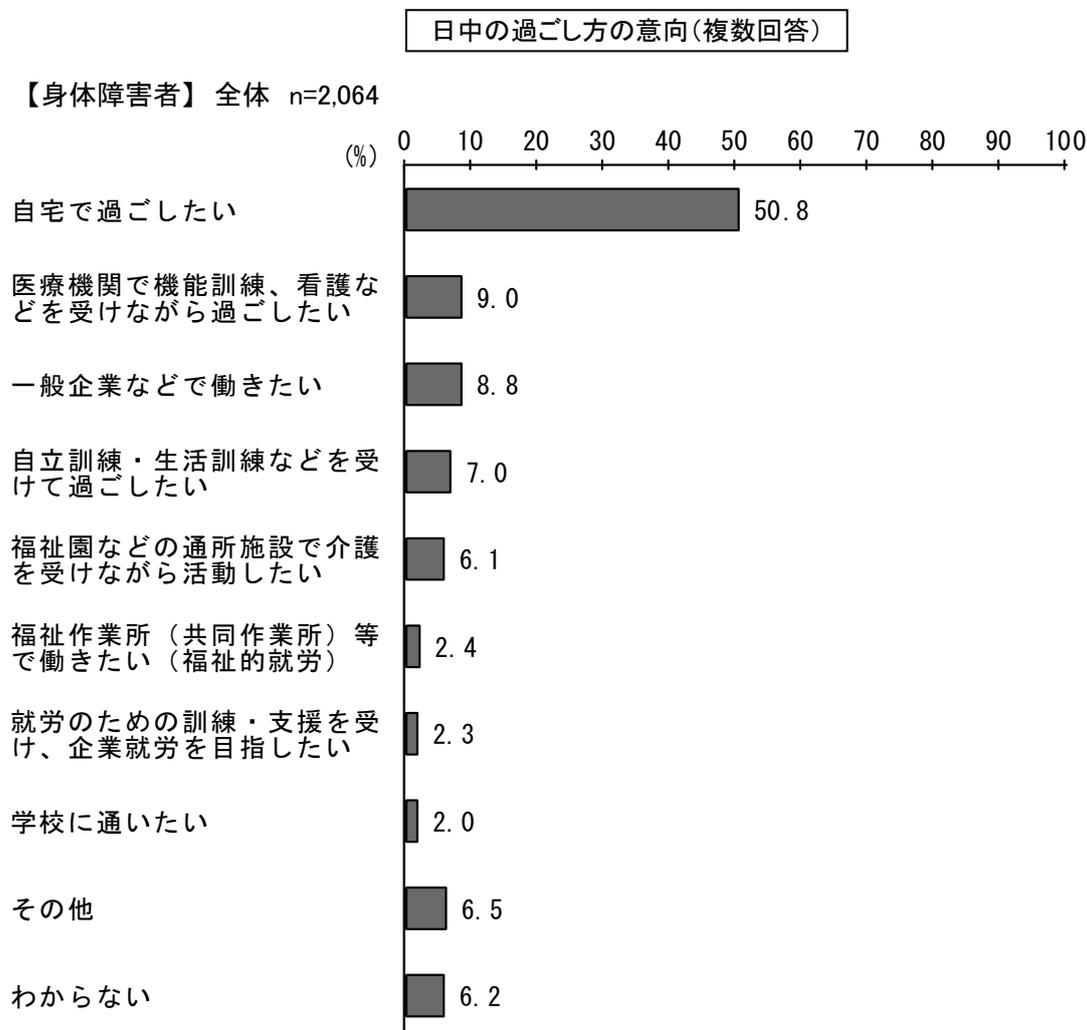
今後の日中の過ごし方については、身体障害者と精神障害者では「自宅で過ごしたい」が最も多く、身体障害者で 50.8%、精神障害者で 46.6%となっている。知的障害者では「通所施設で、手助けを受けながら活動を行いたい」が 26.6%と最も多くなっている。

身体障害者では、「自宅で過ごしたい」と回答した人が 50.8%と最も多い。

現在の日中の過ごし方別にみると、「幼稚園や保育園、学校などに通っている」人は、「一般企業などで働きたい」が 35.8%である。

障害の程度別でみると、軽度(5・6級)では、「一般企業などで働きたい」が多い。

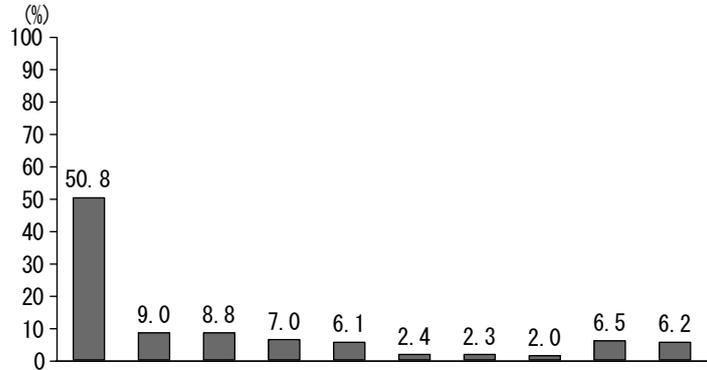
年齢区分別でみると、0～17 歳では「一般企業などで働きたい」、「福祉園などの通所施設で介護を受けながら活動したい」も多くなっている。



※無回答は省略

日中の過ごし方の意向(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064



問17 日中の過ごし方	n	1	6	2	5	7	3	4	8	9	10
		自宅で過ごしたい	医療機関で機能訓練、看護などを 受けながら過ごしたい	一般企業などで働きたい	自立訓練・生活訓練などを受けて 過ごしたい	けながら活動したい	福祉園などの通所施設で介護を受 けながら活動したい	福祉作業所(共同作業所)等で働 きたい(福祉的就労)	福祉作業所(共同作業所)等で働 業就労を目指したい	就労のための訓練・支援を受け、企 業就労を目指したい	学校に通いたい
0 全体	2,064	50.8	9.0	8.8	7.0	6.1	2.4	2.3	2.0	6.5	6.2
1 幼稚園や保育園、学校などに通 っている	53	5.7	3.8	35.8	11.3	22.6	7.5	20.8	32.1	1.9	5.7
2 働いている(授産施設・福祉作業 所なども含む)	302	20.5	2.0	31.8	3.3	0.3	6.6	2.3	3.0	10.9	10.3
3 病院・施設などで看護・介護・訓 練を受けている	214	36.4	23.8	3.3	9.8	16.8	0.9	2.3	0.0	8.4	5.1
4 障害者地域生活支援センターに 通っている	41	31.7	17.1	0.0	26.8	31.7	4.9	2.4	0.0	0.0	2.4
5 自宅にすることが多い	1,247	66.5	8.6	3.8	6.7	4.0	1.6	1.5	1.0	4.8	5.5
6 その他	124	36.3	6.5	8.1	7.3	7.3	1.6	3.2	1.6	16.1	5.6

【障害の程度別】

1 重度(1・2級)	1,074	52.3	10.3	8.6	8.5	8.6	2.2	2.7	2.3	5.4	5.6
2 中度(3・4級)	739	54.0	7.2	7.4	5.3	2.8	2.0	1.8	1.4	7.6	6.5
3 軽度(5・6級)	189	37.6	6.3	15.9	5.8	4.8	3.7	2.1	3.7	9.5	9.0

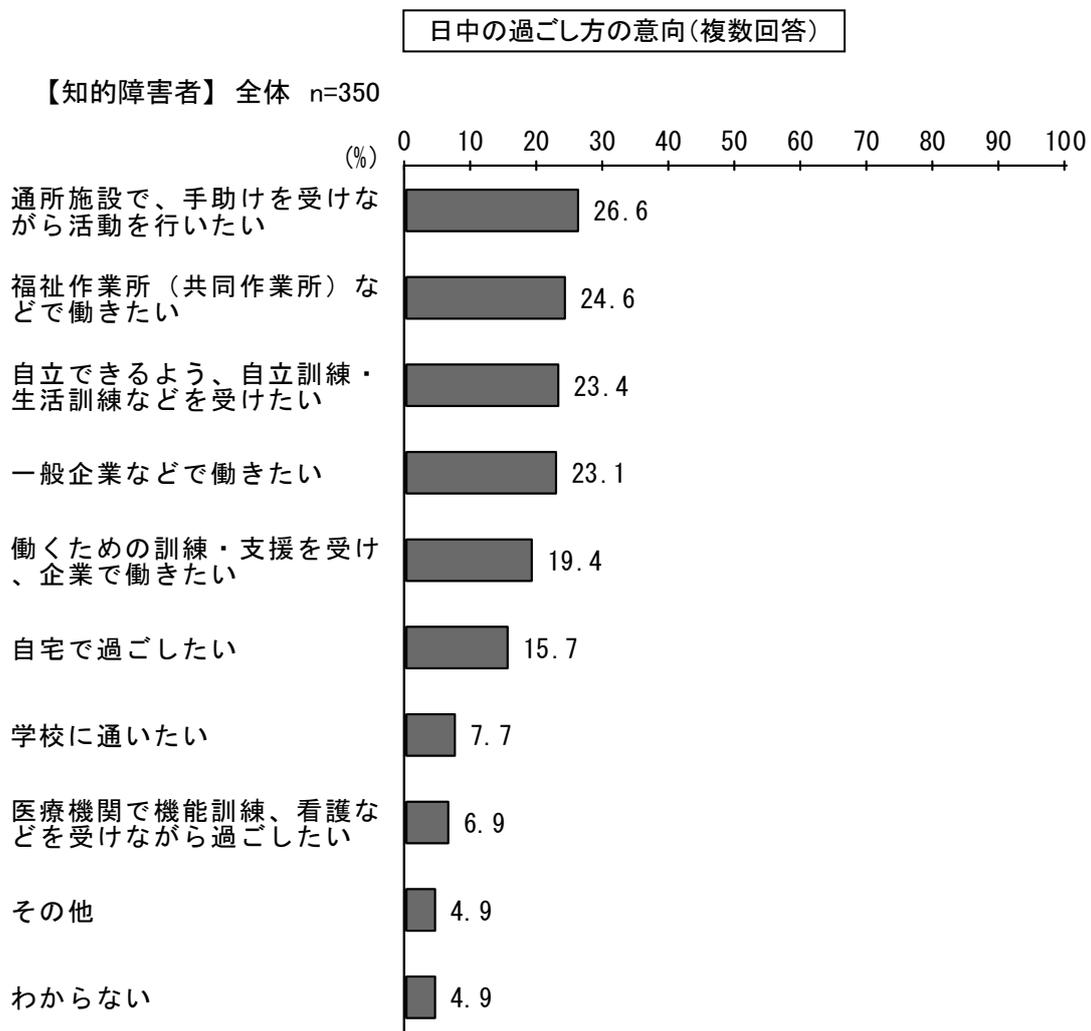
【年齢区分別】

1 0～17歳	53	9.4	7.5	26.4	7.5	26.4	5.7	15.1	30.2	3.8	7.5
2 18～64歳	614	36.2	7.5	22.8	7.3	8.3	5.0	3.7	2.0	9.1	7.2
3 65歳以上	1,311	60.4	9.8	1.6	6.7	4.2	1.0	1.0	1.0	5.5	5.6

知的障害者では、「通所施設で、手助けを受けながら活動を行いたい」が 26.6%と最も多く、次いで「福祉作業所(共同作業所)などで働きたい」(24.6%)、「自立できるよう、自立訓練・生活訓練などを受けたい」(23.4%)である。

現在の日中の過ごし方別にみると、「幼稚園や保育園、学校などに通っている」人は、「自立できるよう、自立訓練・生活訓練などを受けたい」が最も多い。

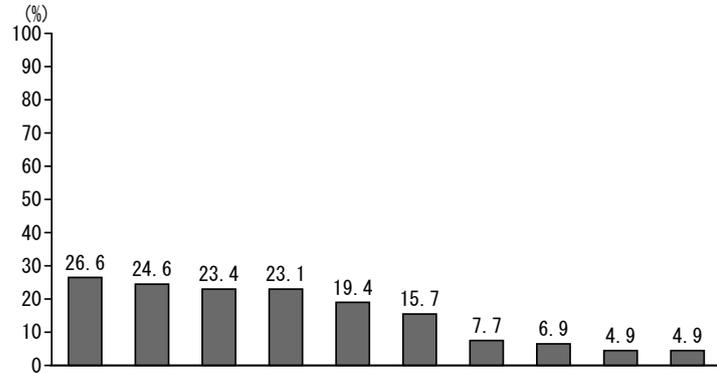
障害の程度別でみると、中度(3度)では、「福祉作業所(共同作業所)などで働きたい」が多いが、軽度(4度)では、「一般企業などで働きたい」が最も多い。



※無回答は省略

日中の過ごし方の意向(複数回答)

【知的障害者】全体 n=350



問17 日中の過ごし方	n	7	3	5	2	4	1	8	6	9	10
		活動したい	通所施設で、手助けを受けながらきたい	福祉作業所(共同作業所等で働きたい)	訓練などを受けたい	自立できるよう、自立訓練・生活訓練などを受けたい	一般企業などで働きたい	働くための訓練・支援を受け、企業で働きたい	自宅で過ごしたい	学校に通いたい	医療機関で機能訓練、看護などを受けながら過ごしたい
0 全体	350	26.6	24.6	23.4	23.1	19.4	15.7	7.7	6.9	4.9	4.9
1 幼稚園や保育園、学校などに通っている	97	35.1	32.0	45.4	34.0	42.3	5.2	26.8	6.2	5.2	2.1
2 働いている(授産施設・福祉作業所なども含む)	127	11.0	34.6	14.2	30.7	11.8	13.4	0.0	3.9	3.9	3.9
3 病院・施設などで過ごしている	44	47.7	4.5	6.8	0.0	2.3	15.9	0.0	22.7	11.4	4.5
4 障害者地域生活支援センターに通っている	26	57.7	7.7	23.1	0.0	7.7	15.4	0.0	3.8	0.0	11.5
5 自宅にすることが多い	47	17.0	14.9	17.0	12.8	19.1	46.8	2.1	4.3	4.3	4.3
6 その他	6	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

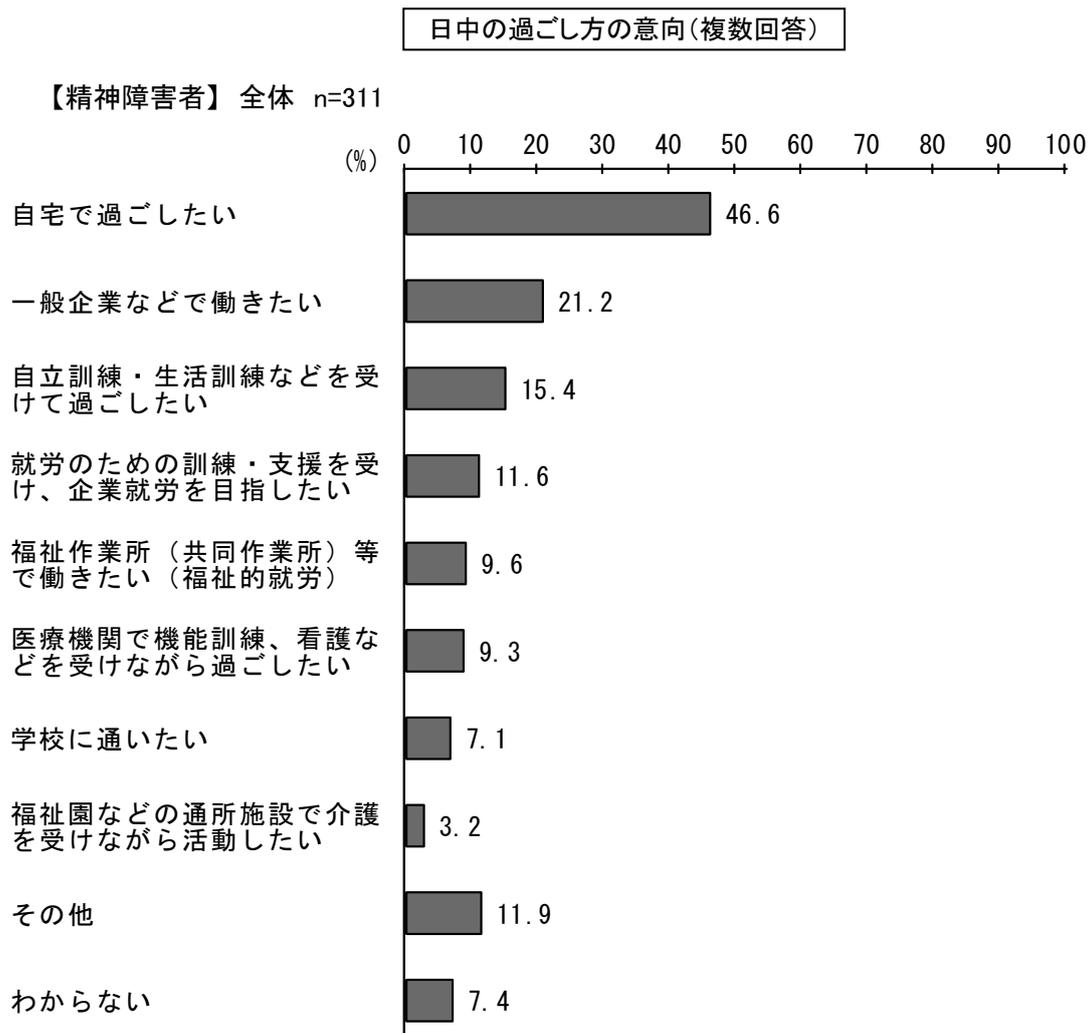
【障害の程度別】

1 重度・最重度(1・2度)	127	56.6	27.1	26.4	5.4	5.4	16.3	5.4	9.3	7.0	1.6
2 中度(3度)	77	13.0	35.1	18.2	20.8	16.9	13.0	5.2	11.7	2.6	2.6
3 軽度(4度)	136	6.6	16.2	24.3	41.2	33.8	15.4	11.8	2.2	4.4	9.6

精神障害者では、「自宅で過ごしたい」が46.6%と最も多く、次いで「一般企業などで働きたい」(21.2%)、「自立訓練・生活訓練などを受けて過ごしたい」(15.4%)である。

現在の日中の過ごし方別にみると、「自宅で静養中である」人のうち、「一般企業などで働きたい」は20.3%である。

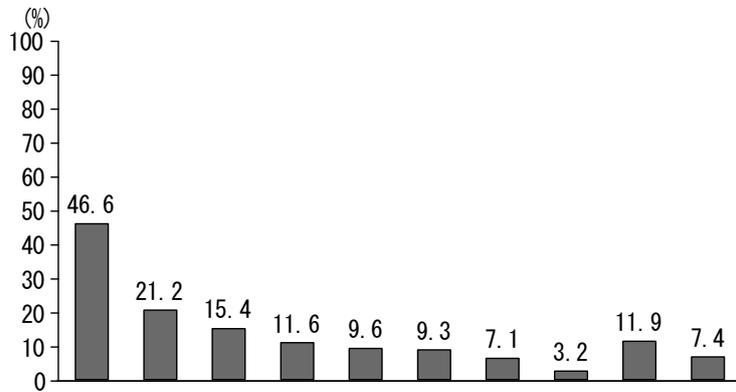
障害の程度別でみると、3級では、「一般企業などで働きたい」が31.7%と多い。



※無回答は省略

日中の過ごし方の意向(複数回答)

【精神障害者】全体 n=311

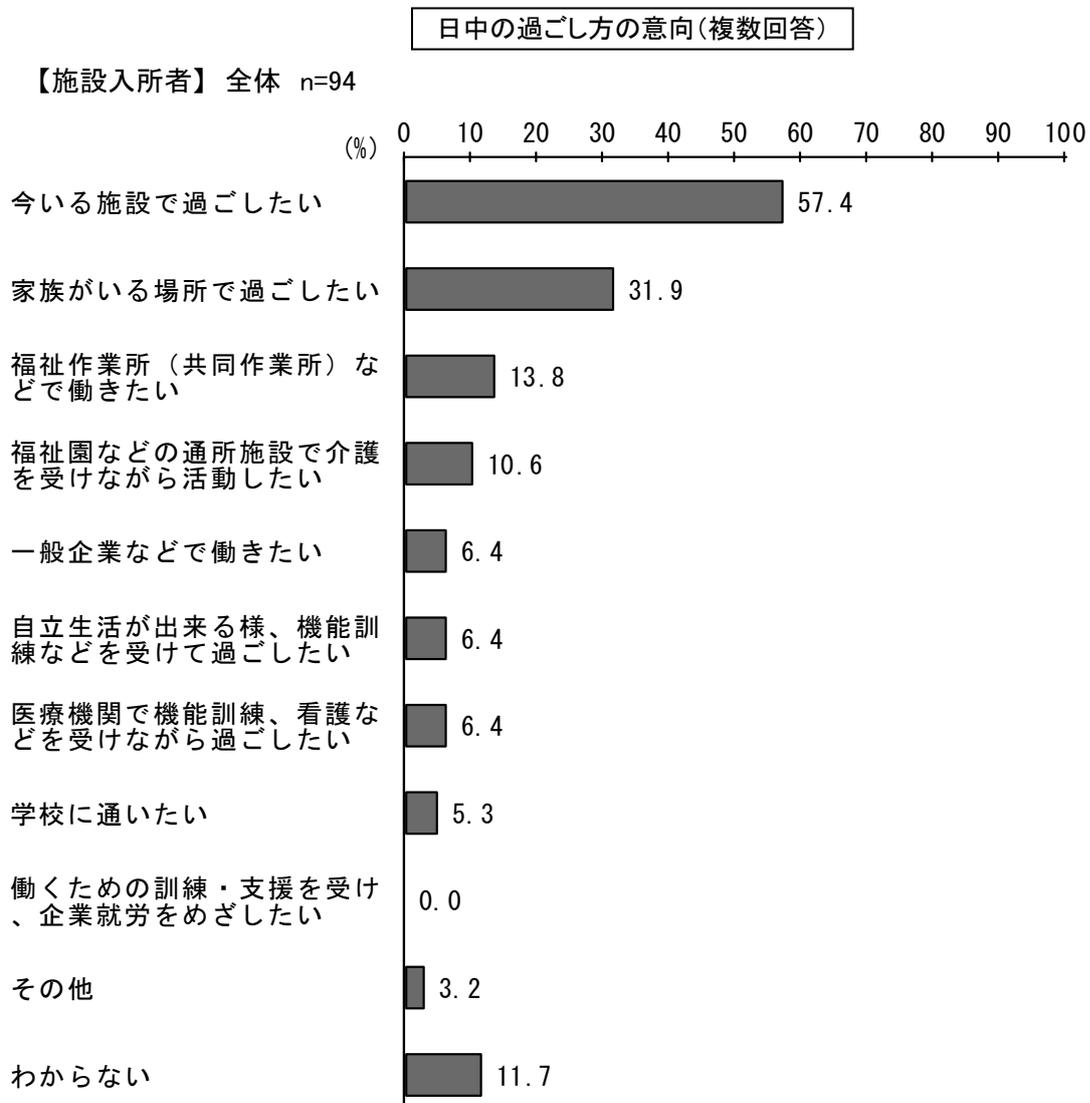


		n	1	2	5	4	3	6	8	7	9	10
* 問17 日中の過ごし方			自宅で過ごしたい	一般企業などで働きたい	自立訓練・生活訓練などを受けて過ごしたい	就労のための訓練・支援を受け、企業就労を目指したい	福祉作業所(共同作業所)等で働きたい(福祉的就労)	医療機関で機能訓練、看護などを受けながら過ごしたい	学校に通いたい	福祉園などの通所施設で介護を受けながら活動したい	その他	わからない
0	全体	311	46.6	21.2	15.4	11.6	9.6	9.3	7.1	3.2	11.9	7.4
1	学校などに通っている	10	40.0	40.0	30.0	10.0	0.0	10.0	70.0	0.0	0.0	10.0
2	働いている(福祉作業所、共同作業所なども含む)	55	23.6	32.7	14.5	12.7	25.5	3.6	7.3	1.8	12.7	3.6
3	障害者地域生活支援センターに通っている	11	27.3	9.1	27.3	0.0	9.1	18.2	0.0	9.1	18.2	18.2
4	病院・療養所のデイケアに通っている	44	31.8	15.9	13.6	15.9	4.5	15.9	6.8	2.3	20.5	9.1
5	自宅で静養中である	153	61.4	20.3	17.0	12.4	7.8	9.2	4.6	2.6	8.5	6.5
6	その他	28	46.4	17.9	3.6	7.1	3.6	10.7	3.6	7.1	21.4	10.7

【障害の程度別】

1	1級	38	50	10.5	13.2	7.9	10.5	18.4	2.6	10.5	5.3	10.5
2	2級	162	50.6	17.9	16.7	11.1	10.5	9.3	5.6	0.6	14.8	5.6
3	3級	101	36.6	31.7	15.8	14.9	8.9	6.9	10.9	4.0	9.9	7.9

施設入所者では、「今いる施設で過ごしたい」が 57.4%と最も多く、次いで「家族がいる場所で過ごしたい」(31.9%)、「福祉作業所(共同作業所)などで働きたい」(13.8%)である。



※無回答は省略

(2) 将来、暮らしたい場所

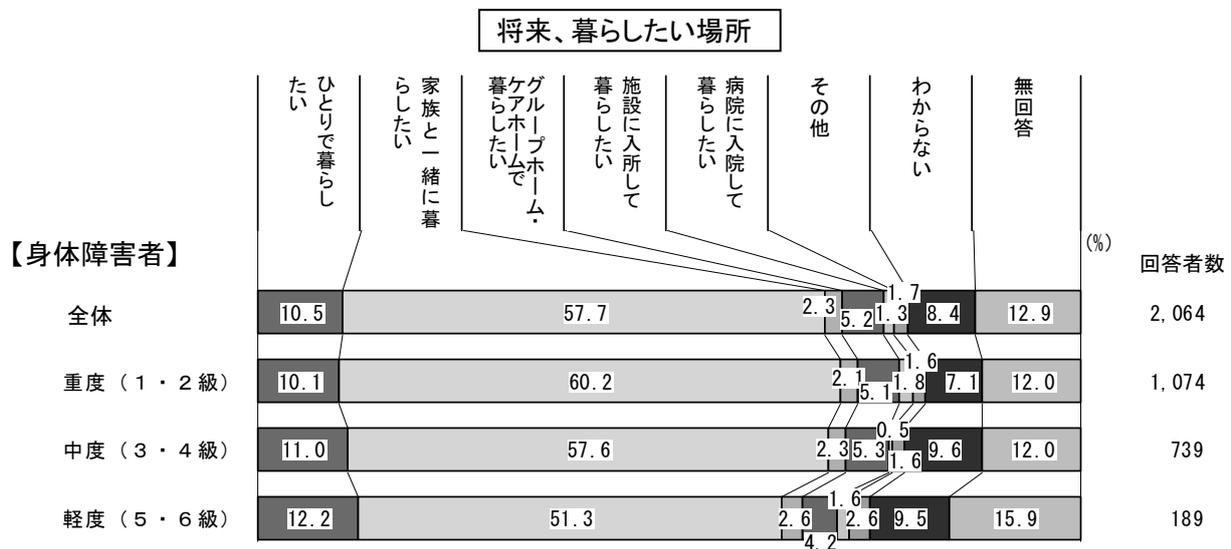
将来、暮らしたい場所については、施設入所者以外は「家族と一緒に暮らしたい」とする割合が最も多い。また、知的障害者の13.4%、精神障害者の3.5%、施設入所者の11.7%は、将来、グループホームやケアホームで暮らしたいと回答している。

身体障害者では、「家族と一緒に暮らしたい」と回答した人が 57.7%と最も多く、次いで「ひとりで暮らしたい」(10.5%)である。

障害の程度別にみると、程度による差はそれほど見られない。

現在の同居者別にみると、現在、ひとり暮らしをしている人では、「ひとりで暮らしたい」が 44.5%、「家族と一緒に暮らしたい」が 12.3%である。

現在の居住形態別にみると、アパート・賃貸マンション・借家で暮らしている人では、「ひとりで暮らしたい」(21.9%)が他の居住形態の人より多い。



【同居状況別】

問5 同居者		n	1	2	3	4	5	6	7
			ひとりで暮らしたい	家族と一緒に暮らしたい	グループホーム・ケアホームで暮らしたい	い施設に入所して暮らしたい	い病院に入院して暮らしたい	その他	わからない
0	全体	2,064	10.5	57.7	2.3	5.2	1.3	1.7	8.4
1	自分一人だけで暮らしている	308	44.5	12.3	5.8	7.1	1.0	3.2	14.9
2	配偶者(夫または妻)	1,124	3.0	71.9	1.3	4.4	1.3	1.3	5.3
3	息子、娘(息子または娘の配偶者も含む)	638	2.2	76.6	0.8	2.8	0.5	0.6	6.0
4	父、母	237	9.7	57.0	3.8	6.8	0.4	0.8	11.0
5	祖父、祖母	19	5.3	68.4	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3
6	兄弟、姉妹	113	8.8	61.9	4.4	3.5	0.0	2.7	12.4
7	福祉施設の職員や仲間	57	0.0	22.8	1.8	12.3	1.8	5.3	15.8
8	その他	65	6.2	53.8	1.5	3.1	6.2	4.6	7.7

※上記以外、無回答は省略

【居住形態別】

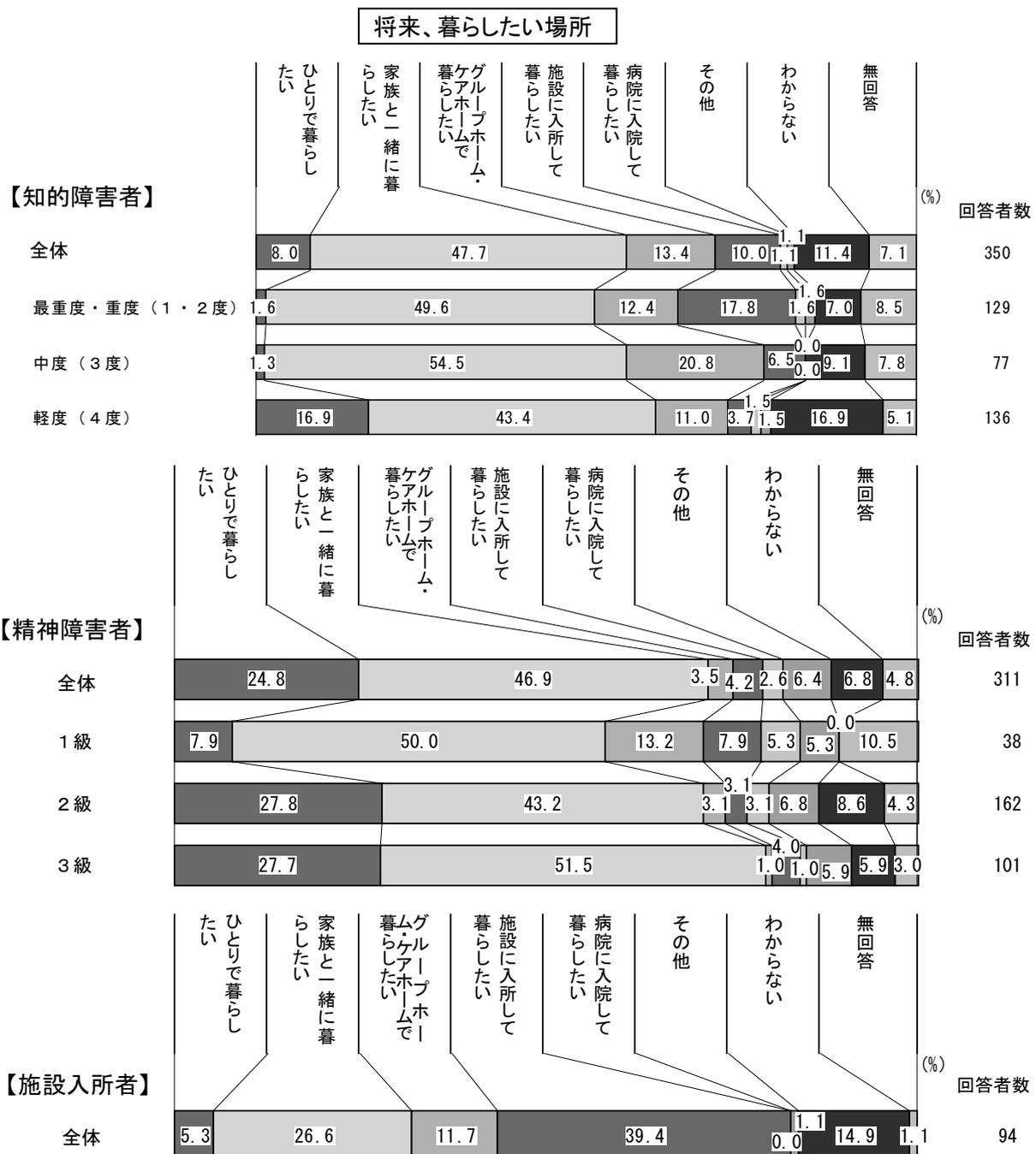
1	自分の持ち家(購入マンションも含む)	1,008	6.9	66.8	1.6	5.1	1.0	1.5	6.0
2	親など家族の持ち家(購入マンションも含む)	245	9.4	60.8	2.9	6.9	0.0	0.8	10.6
3	公営住宅	268	13.4	57.8	3.0	3.7	1.1	2.2	7.1
4	アパート、賃貸マンション、借家	352	21.9	44.9	3.4	4.3	0.9	1.7	11.6
5	グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム	17	0.0	23.5	17.6	0.0	5.9	0.0	5.9
6	社宅、会社の寮	15	26.7	46.7	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7
7	福祉施設	48	2.1	25.0	0.0	14.6	0.0	6.3	16.7
8	病院に入院している	58	1.7	34.5	0.0	6.9	13.8	1.7	3.4

※上記以外、無回答は省略

知的障害者では、「家族と一緒に暮らしたい」が 47.7%と最も多く、次いで「グループホーム・ケアホームで暮らしたい」(13.4%)、「施設に入所して暮らしたい」(10.0%)と続いている。障害の程度別で見ると、最重度・重度(1・2度)で「施設に入所して暮らしたい」が多い。

精神障害者では、「家族と一緒に暮らしたい」が 46.9%と最も多く、次いで「ひとりで暮らしたい」(24.8%)の順になっている。障害の程度別で見ると、1 級で「グループホーム・ケアホームで暮らしたい」が多い。

施設入所者では、「施設に入所して暮らしたい」が 39.4%と最も多く、次いで「家族と一緒に暮らしたい」(26.6%)、「グループホーム・ケアホームで暮らしたい」(11.7%)と続いている。



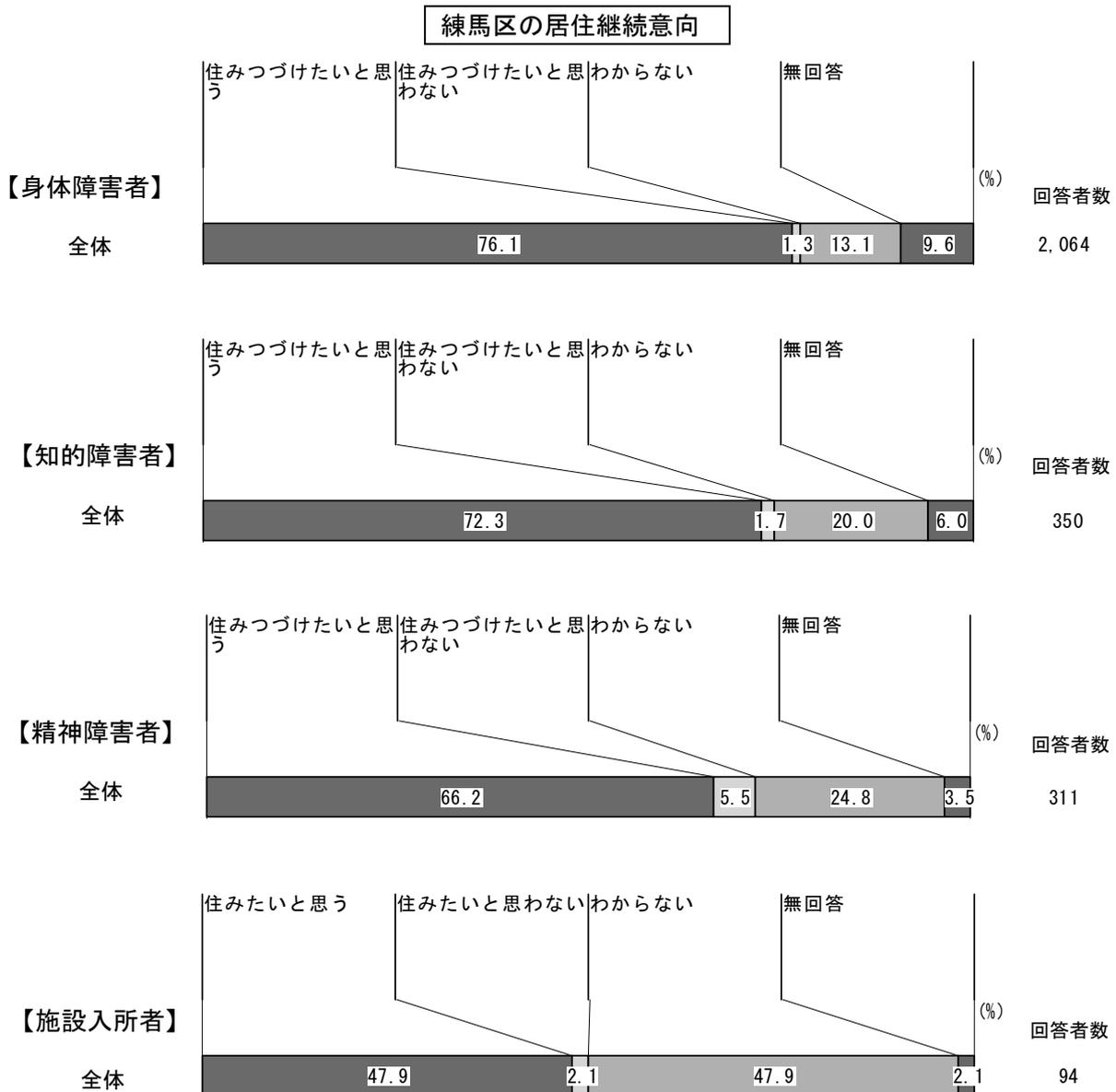
(3) 練馬区の居住継続意向

今後も練馬区に住みつづけたいと思うかを尋ねたところ、身体障害者では、「住みつづけたいと思う」と回答した人が76.1%である。

知的障害者では、「住みつづけたいと思う」が72.3%である。

精神障害者では、「住みつづけたいと思う」が66.2%である。

施設入所者では、「住みつづけたいと思う」が47.9%である。

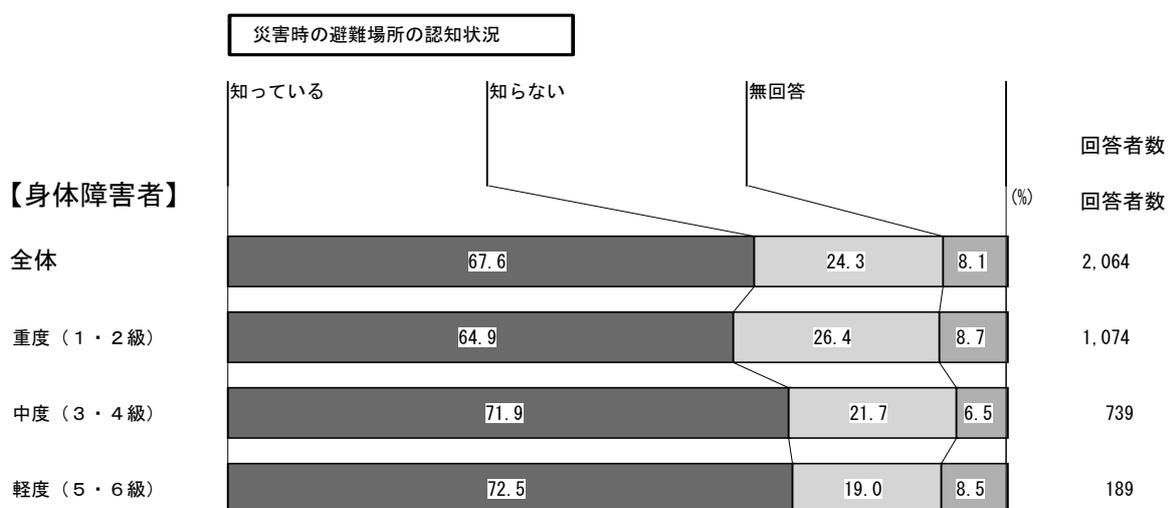


12 災害対策や消費者被害について

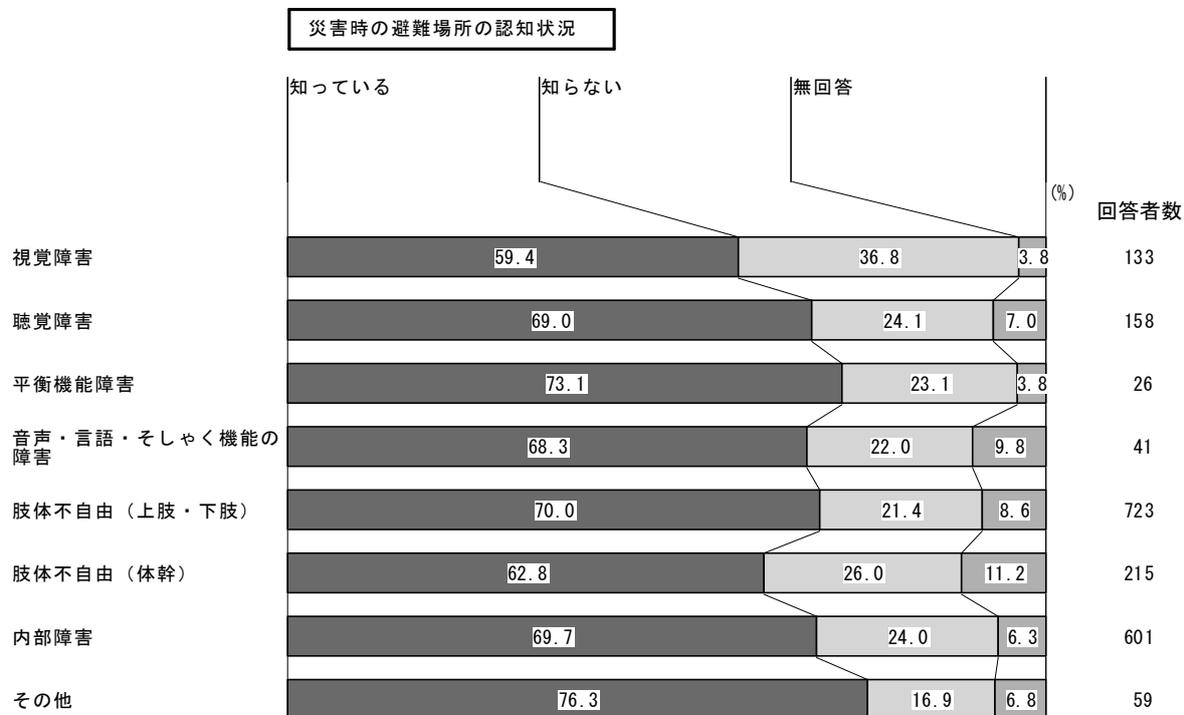
(1) 災害時の避難場所の認知状況

災害時の避難場所を知っている人の割合は、身体障害者では 67.6%、知的障害者では 54.3%、精神障害者では 50.5%である。

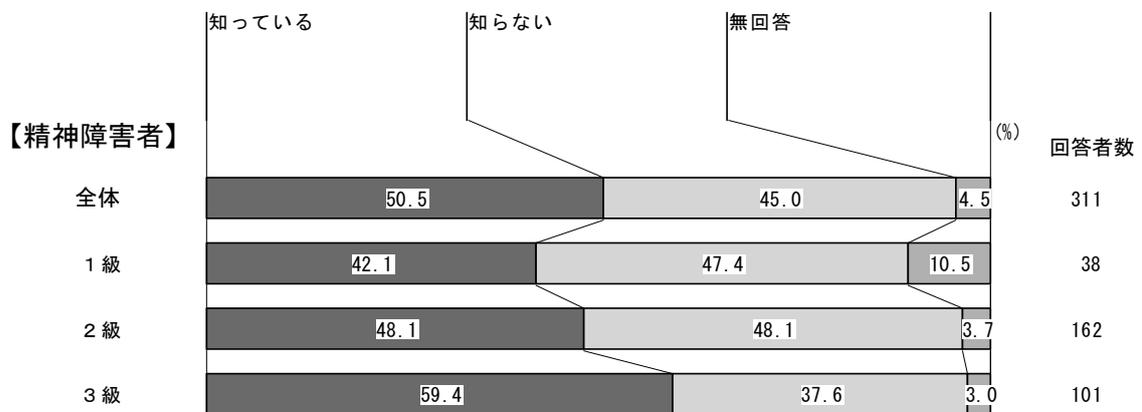
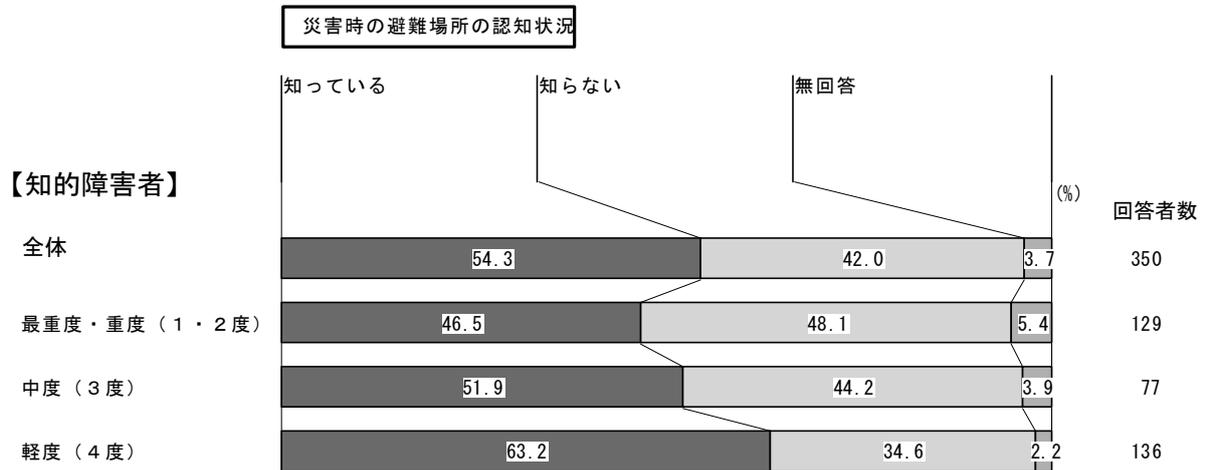
身体障害者では、「知っている」人が 67.6%である。
 障害の程度別にみると、重度(1・2級)では、やや少ない。



障害の種類別でみると、視覚障害の人では「知っている」人が59.4%と少ない。



知的障害者では、災害時の避難場所について、「知っている」人が 54.3%、精神障害者では、「知っている」人は 50.5%であり、約半数の人が知らない。
 知的障害者、精神障害者ともに、障害の程度別でみると、程度が重いほど、認知割合は低い。

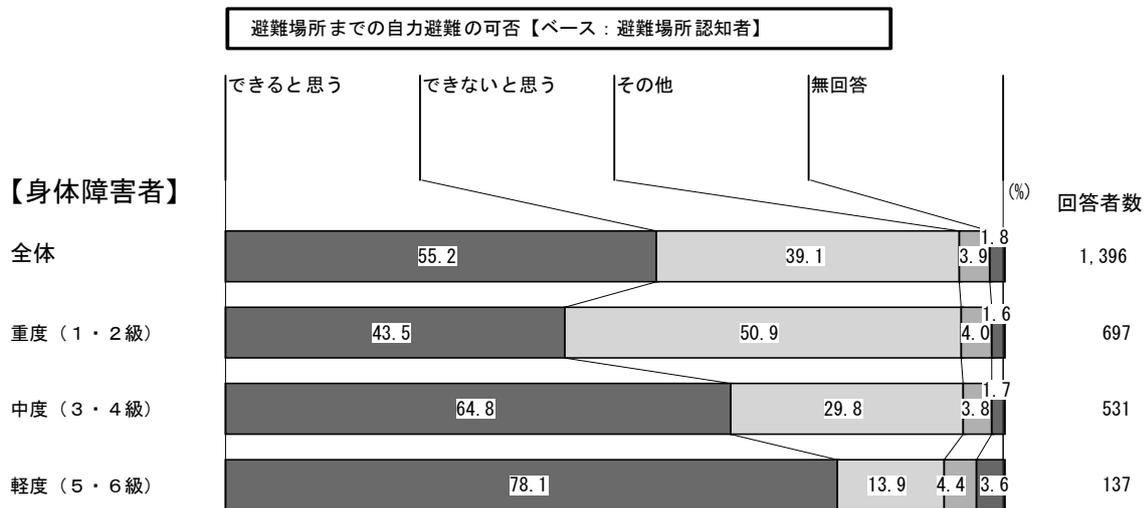


(2) 避難場所まで自力避難の可能性

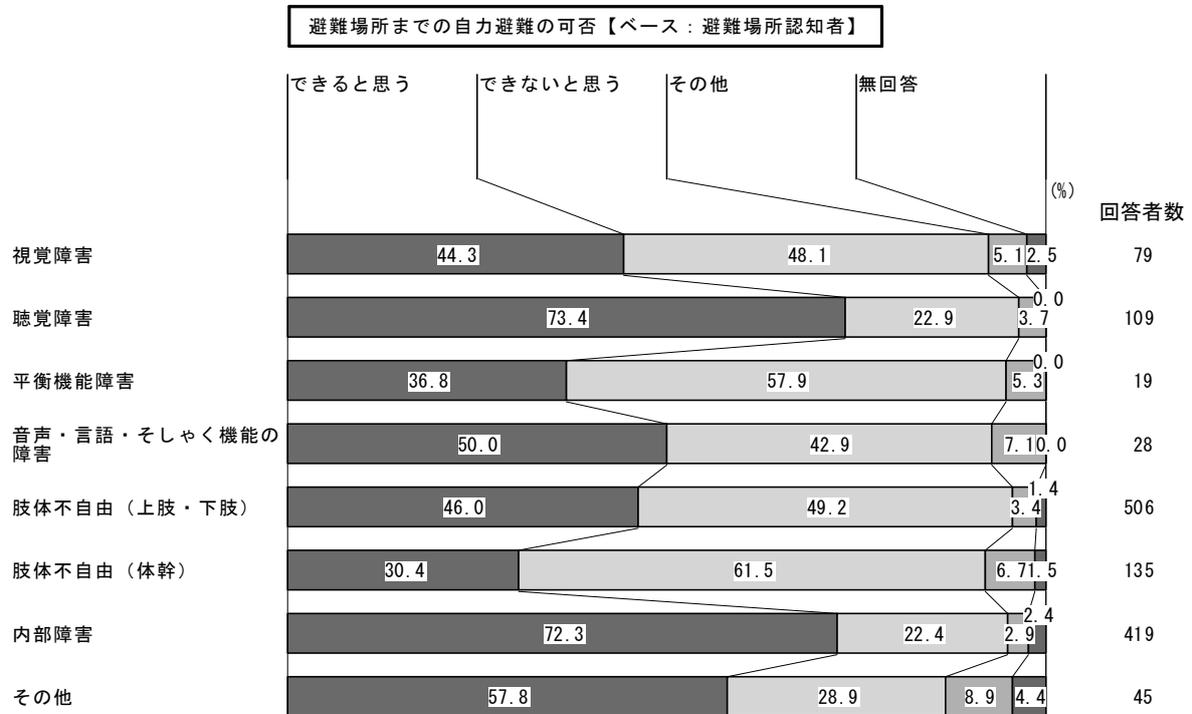
災害時の避難場所を知っている人のうち、自力で避難できると思う人の割合は、身体障害者では55.2%、知的障害者では52.6%、精神障害者では69.4%である。

災害時の避難場所を知っている人に、避難場所まで自力で避難できるかをたずねたところ、身体障害者では、自力避難が「できると思う」人の割合は55.2%である。身体障害者のうち、避難先を知らない人も含め、約6割の人は何らかの支援が避難に必要と考えられる。

障害の程度別でみると、避難場所を知っている人のうち、自力避難が「できると思う」人は、程度が重くなるほど少なく、重度(1・2級)で43.5%である。



障害の種類別でみると、避難場所を知っている人のうち、自力避難が「できると思う」人の割合は聴覚障害、内部障害で7割以上と多い。

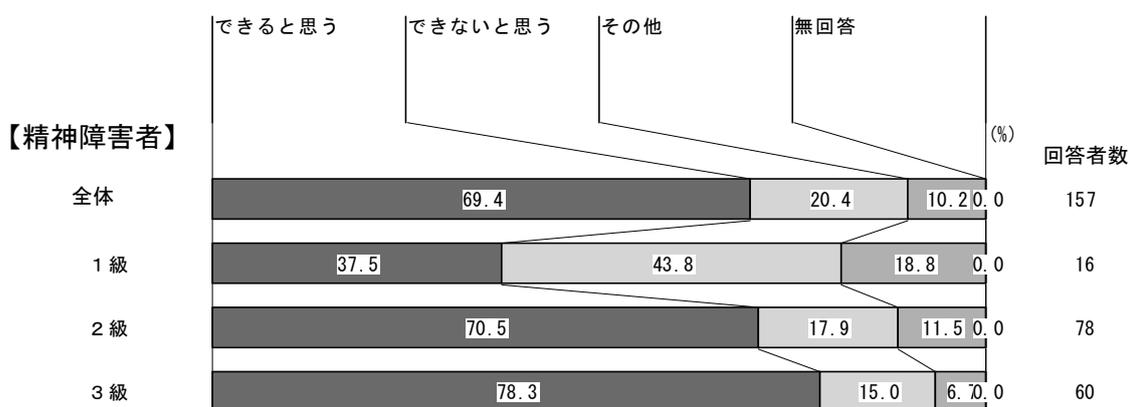
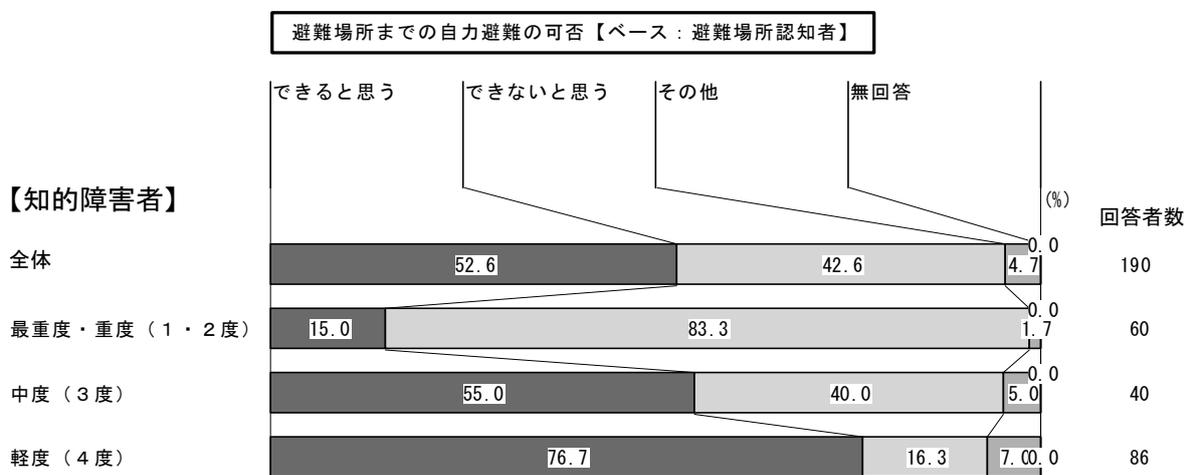


知的障害者では、自力避難が「できると思う」人の割合は 52.6%である。知的障害者のうち、避難先を知らない人も含め、約7割の人は何らかの支援が避難に必要と考えられる。

障害の程度別でみると、避難場所を知っている人のうち、自力避難が「できると思う」人は、程度が重くなるほど少なく、最重度・重度(1・2級)で 15.0%である。

精神障害者では、自力避難が「できると思う」人の割合は 69.4%である。精神障害者のうち、避難先を知らない人も含め、6割強の人は何らかの支援が避難に必要と考えられる。

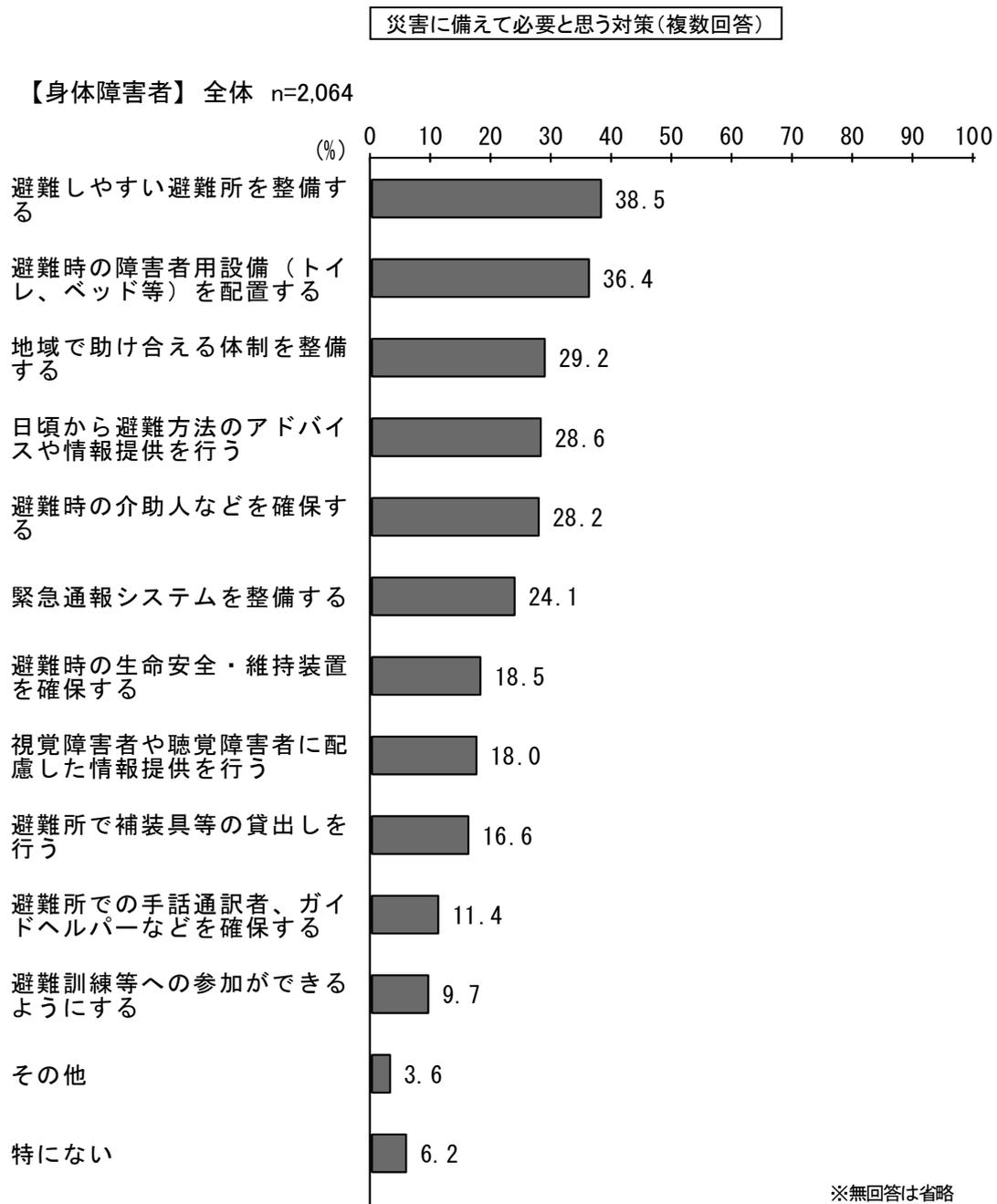
障害の程度別でみると、避難場所を知っている人のうち、自力避難が「できると思う」人は、程度が重くなるほど少なく、1級では 37.5%である。



(3) 災害に備えて必要と思う対策（複数回答）

災害に備えて、または災害時に必要な対策としては、身体障害者、精神障害者では「避難しやすい避難場所を整備する」ことをあげる人が最も多く、知的障害者では「地域で助け合える体制を整備する」が最も多い。

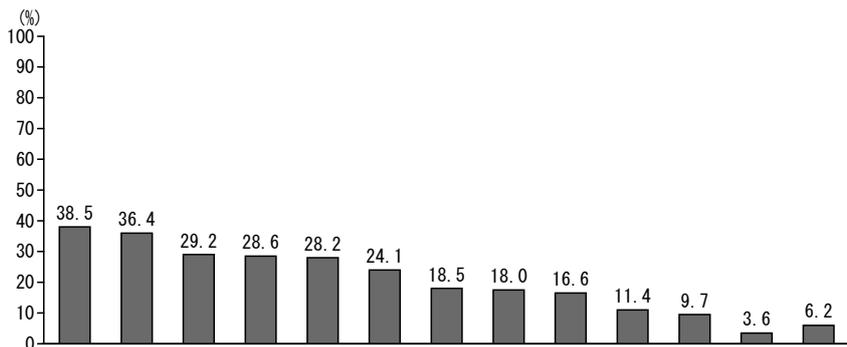
身体障害者では、「避難しやすい避難場所を整備する」ことをあげる人が 38.5%と最も多く、次いで「避難時の障害者用設備（トイレ、ベッドなど）を配置する」(36.4%)、「地域で助け合える体制を整備する」(29.2%)と続いている。



災害に備えて、または災害時に必要な対策について、障害の程度別にみると、重度の人では、「避難時の介助人などを確保する」(34.4%)、「避難時の生命安全・維持装置を確保する」(24.9%)も多い。

災害に備えて必要と思う対策(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064

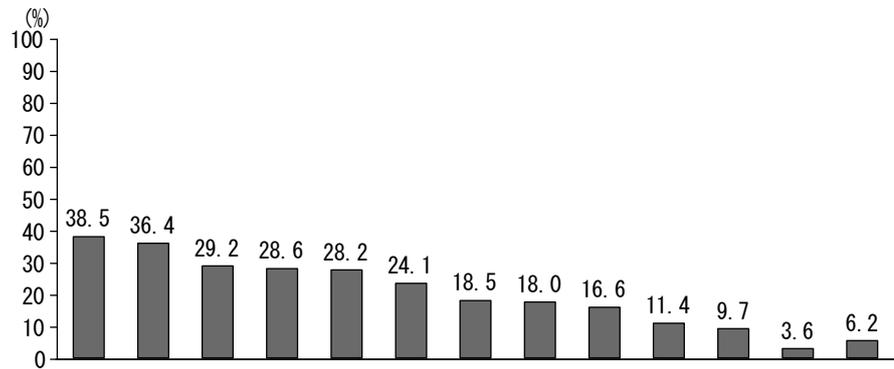


* 問6 障害の程度	n	対策												
		1	6	5	3	9	4	7	8	11	10	2	12	13
0 全体	2,064	38.5	36.4	29.2	28.6	28.2	24.1	18.5	18.0	16.6	11.4	9.7	3.6	6.2
1 重度(1・2級)	1,074	39.6	39.0	30.2	28.3	34.4	26.3	24.9	18.2	15.8	13.2	10.0	3.9	4.7
2 中度(3・4級)	739	38.6	36.0	28.8	29.0	21.9	22.7	11.2	14.6	18.3	8.5	9.6	3.2	7.7
3 軽度(5・6級)	189	37.0	24.3	28.6	29.6	20.1	21.7	11.1	31.2	15.3	13.8	8.5	2.6	9.0

障害の種類別にみると、視覚障害と聴覚障害の人では、「視覚障害者や聴覚障害者に配慮した情報提供を行う」(54.9%、49.4%)が最も多い。肢体不自由(上肢、下肢)の人では、「避難時の障害者用設備を配置する」(45.9%)が最も多く、内部障害の人では、「避難しやすい避難所を整備する」(36.1%)に続き、「避難時の生命安全・維持装置を確保する」(31.6%)も多くなっている。

災害に備えて必要と思う対策(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064



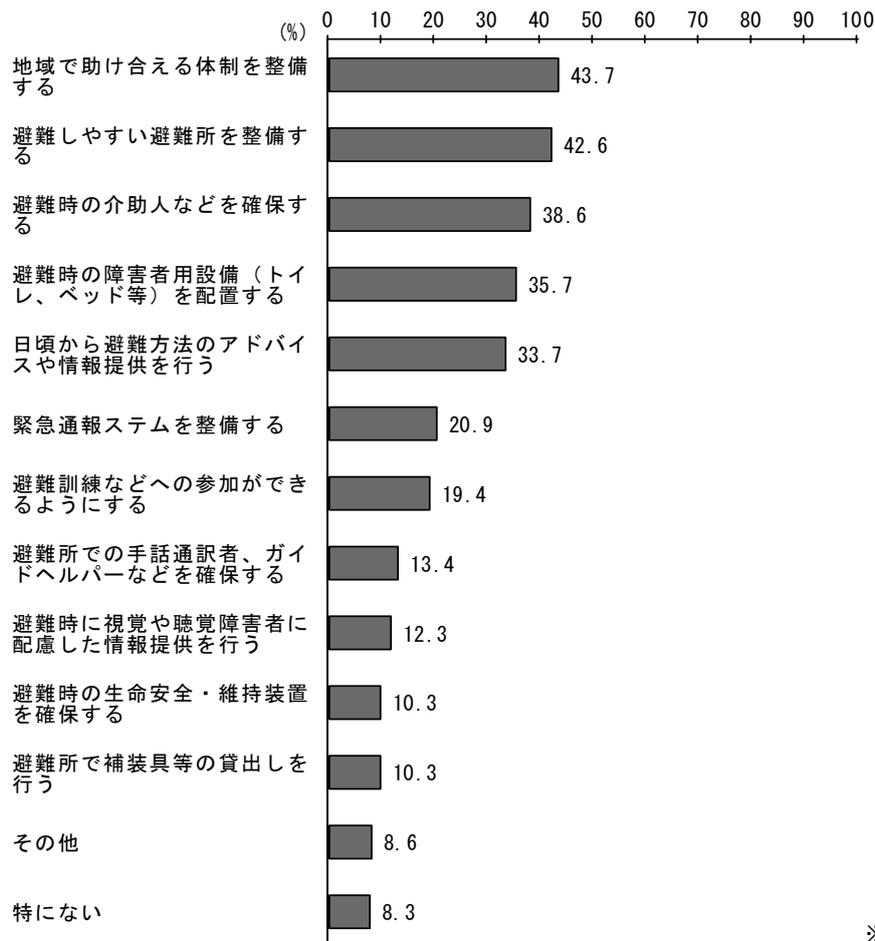
問7 障害者手帳に記載された障害の種類 1番目	n	対策												
		1	6	5	3	9	4	7	8	11	10	2	12	13
0 全体	2,064	38.5	36.4	29.2	28.6	28.2	24.1	18.5	18.0	16.6	11.4	9.7	3.6	6.2
1 視覚障害	133	39.1	29.3	29.3	24.1	36.1	26.3	12.0	54.9	16.5	24.1	12.0	3.8	6.0
2 聴覚障害	158	30.4	19.0	25.3	28.5	16.5	25.3	8.9	49.4	20.9	29.7	16.5	2.5	5.7
3 平衡機能障害	26	57.7	26.9	42.3	26.9	38.5	30.8	11.5	11.5	11.5	7.7	7.7	0.0	7.7
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	41	22.0	31.7	22.0	17.1	36.6	14.6	9.8	19.5	14.6	7.3	2.4	9.8	2.4
5 肢体不自由(上肢・下肢)	723	40.4	45.9	30.8	31.0	32.4	26.7	12.6	13.0	17.4	9.1	8.3	2.5	6.4
6 肢体不自由(体幹)	215	43.7	51.2	33.0	26.0	44.7	20.0	17.2	14.4	19.5	11.2	7.9	7.0	4.2
7 内部障害	601	36.1	27.0	27.6	27.8	18.5	24.3	31.6	10.8	14.5	7.5	9.8	3.8	7.2
8 その他	59	45.8	42.4	30.5	33.9	27.1	15.3	8.5	11.9	16.9	11.9	8.5	5.1	6.8

知的障害者では、「地域で助け合える体制を整備する」ことをあげる人が 43.7%と最も多く、次いで「避難しやすい避難場所を整備する」(42.6%)、「避難時の介助人などを確保する」(38.6%)と続いている。

障害の程度別でみると、最重度・重度(1・2度)では「避難時の介助人などを確保する」が最も多く、「避難時の障害者用設備を配置する」も次いで多い。

災害に備えて必要と思う対策(複数回答)

【知的障害者】全体 n=350

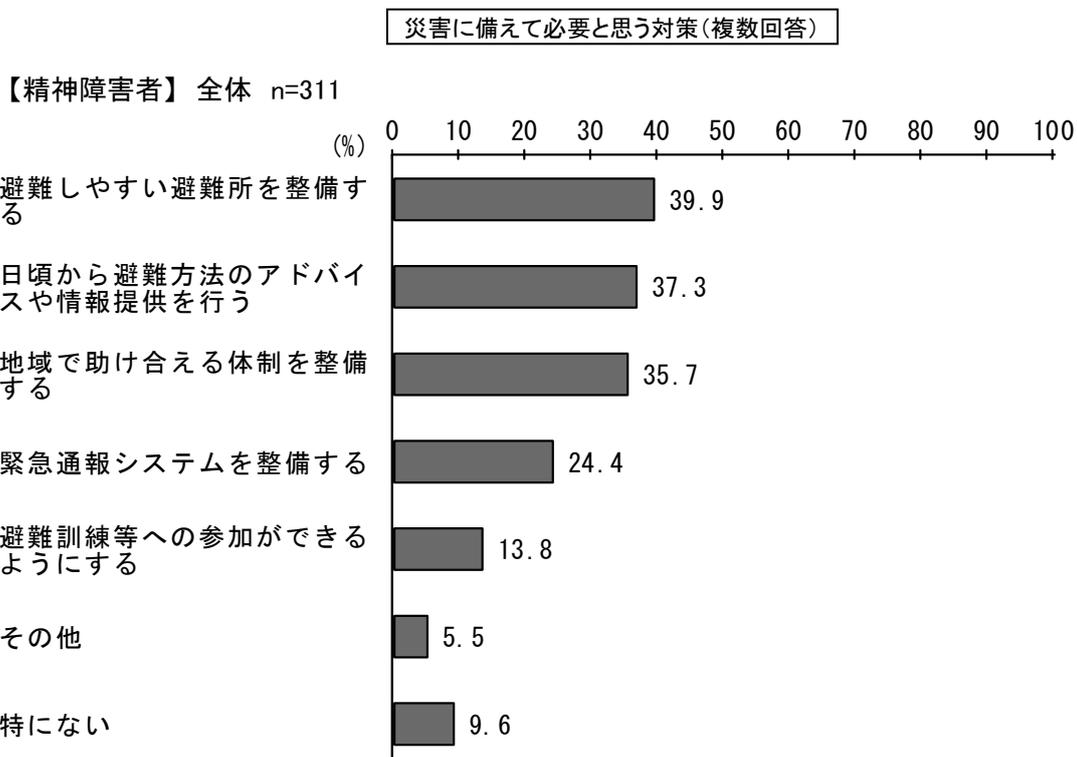


※無回答は省略

* 問6 障害の程度	n	5	1	9	6	3	4	2	10	8	7	11	12	13
		備する	地域で助け合える体制を整備する	避難しやすい避難場所を整備する	避難時の介助人などを確保する	避難時の障害者用設備(トイレ、ベッド等)を配置する	避難時の障害者用設備(トイレ、ベッド等)を配置する	日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う	緊急通報システムを整備する	避難訓練などへの参加ができるようにする	避難所での手話通訳者、ガイドヘルパーなどを確保する	避難時に視覚や聴覚障害者に配慮した情報提供を行う	避難時の生命安全・維持装置を確保する	避難所で補装具等の貸出しを行う
0 全体	350	43.7	42.6	38.6	35.7	33.7	20.9	19.4	13.4	12.3	10.3	10.3	8.6	8.3
1 最重度・重度(1・2度)	129	48.1	52.7	58.9	57.4	29.5	20.9	20.9	14.7	13.2	11.6	12.4	14.7	3.1
2 中度(3度)	77	45.5	39.0	32.5	29.9	33.8	20.8	23.4	11.7	9.1	7.8	9.1	5.2	6.5
3 軽度(4度)	136	39.7	35.3	22.8	19.1	36.8	19.9	16.2	12.5	13.2	9.6	8.1	5.1	13.2

精神障害者では、「避難しやすい避難場所を整備する」ことをあげる人が 39.9%と最も多く、次いで「日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う」(37.3%)、「地域で助け合える体制を整備する」(35.7%)と続いている。

障害の程度別にみると、1級と2級では「日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う」が最も多い。



※無回答は省略

		1	3	5	4	2	6	7	
		避難しやすい避難場所を整備する	日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う	地域で助け合える体制を整備する	緊急通報システムを整備する	避難訓練等への参加ができるようにする	その他	特にない	
* 問6 障害の程度	n								
0	全体	311	39.9	37.3	35.7	24.4	13.8	5.5	9.6
1	1級	38	23.7	31.6	31.6	21.1	5.3	5.3	10.5
2	2級	162	42.6	43.2	36.4	23.5	17.3	4.9	10.5
3	3級	101	42.6	31.7	35.6	29.7	11.9	5.0	8.9

(4) 消費者被害・トラブル等の被害経験・被害にあいそうになった経験（複数回答）

何らかの消費者被害にあった・あいそうになった割合は、身体障害者 14.5%、知的障害者 7.4% に対し、精神障害者では 30.9%と高い。

身体障害者では、「振り込め詐欺にあった(あいそうになった)」が 6.7%、「訪問販売で高額な商品(ふとん、呉服、栄養食品など)を買わされた(買わされそうになった)」が 4.2%、「不当に高額あるいは unnecessaryな住宅リフォーム工事をされた(されそうになった)」が 2.6%である。

【消費者被害・トラブル等の被害にあった経験・あいそうになった経験】

		特に、被害トラブルにあったことはない	何らかの被害・トラブルにあったことがある						無回答
			不当に高額・ unnecessaryな住宅リフォーム工事をされた(されそうになった)	訪問販売で、高額な商品を買わされた(買わされそうになった)	支払い能力を超える債務を負担させられた(させられそうになった)	知らないあいだに借金の保証人にされていた	振り込め詐欺にあった(あいそうになった)	その他	
身体障害者	(n=2,064)	67.7% (1,398 人)	14.5% (300 人)						17.7% (366 人)
			2.6% (53 人)	4.2% (86 人)	0.3% (7 人)	0.1% (2 人)	6.7% (138 人)	2.9% (60 人)	

知的障害者では、「訪問販売で高額な商品(ふとん、呉服、栄養食品など)を買わされた(買わされそうになった)」が 1.4%である。

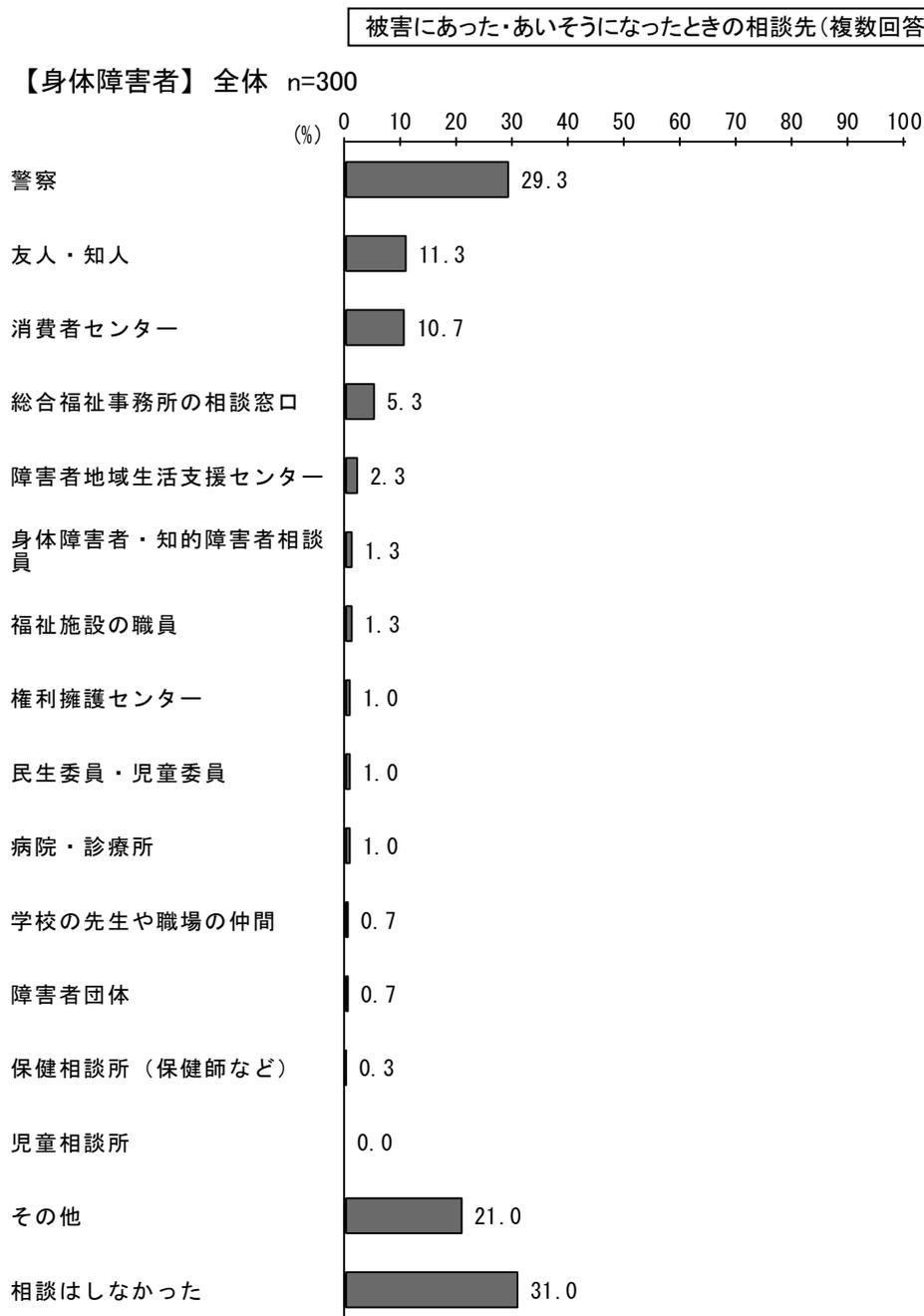
精神障害者では、「訪問販売で高額な商品(ふとん、呉服、栄養食品など)を買わされた(買わされそうになった)」が 10.0%、「振り込め詐欺にあった(あいそうになった)」が 9.0%、「不当に高額あるいは unnecessaryな住宅リフォーム工事をされた(されそうになった)」が 5.1%である。

		特に、被害トラブルにあったことはない	何らかの被害・トラブルにあったことがある						無回答
			不当に高額・ unnecessaryな住宅リフォーム工事をされた(されそうになった)	訪問販売で、高額な商品を買わされた(買わされそうになった)	支払い能力を超える債務を負担させられた(させられそうになった)	知らないあいだに借金の保証人にされていた	振り込め詐欺にあった(あいそうになった)	その他	
知的障害者	(n=350)	78.6% (275 人)	7.4% (26 人)						14.0% (49 人)
			1.1% (4 人)	1.4% (5 人)	0.6% (2 人)	—	1.4% (5 人)	3.1% (11 人)	
精神障害者	(n=311)	57.9% (180 人)	30.9% (96 人)						11.3% (35 人)
			5.1% (16 人)	10.0% (31 人)	3.9% (12 人)	—	9.0% (28 人)	8.0% (25 人)	

(5) 被害にあった・あいそうになったときの相談先（複数回答）

何らかの消費者被害にあった・あいそうになったときの相談先としては、いずれの障害でも「警察」が最も多い。また、「相談はしなかった」人も2～3割みられる。

身体障害者では、「警察」が 29.3%と最も多く、次いで「友人・知人」(11.3%)、「消費者センター」(10.7%)である。一方、31.0%の人は「相談はしなかった」としている。

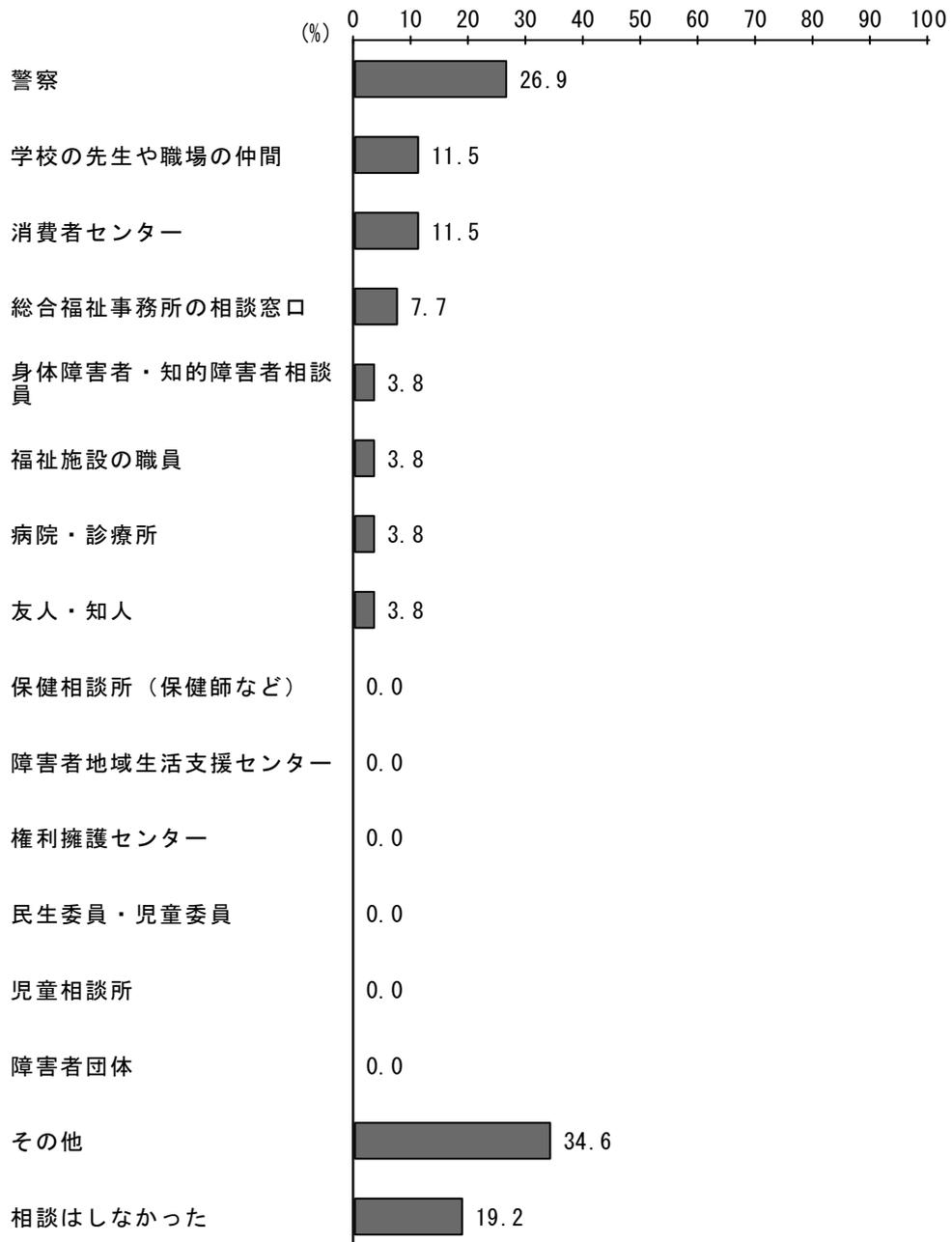


※無回答は省略

知的障害者では、「警察」が 26.9%と最も多く、次いで「学校の先生や職場の仲間」(11.5%)、「消費者センター」(11.5%)である。19.2%の人は「相談はしなかった」としている。

被害にあった・あいそようになったときの相談先(複数回答)

【知的障害者】全体 n=26

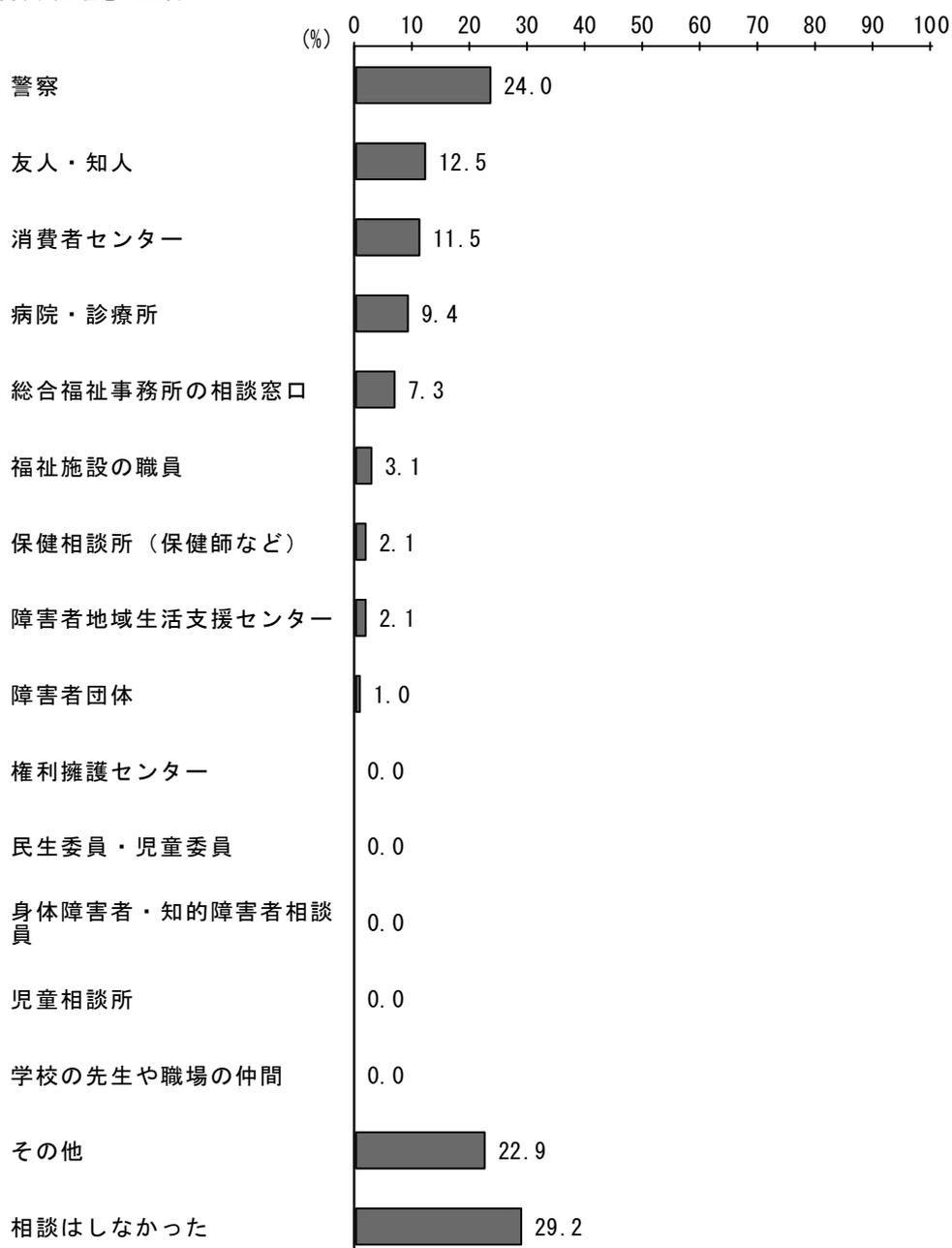


※無回答は省略

精神障害者では、「警察」が 24.0%と最も多く、次いで「友人・知人」(12.5%)、「消費者センター」(11.5%)である。29.2%の人は「相談はしなかった」としている。

被害にあった・あいそようになったときの相談先(複数回答)

【精神障害者】全体 n=96



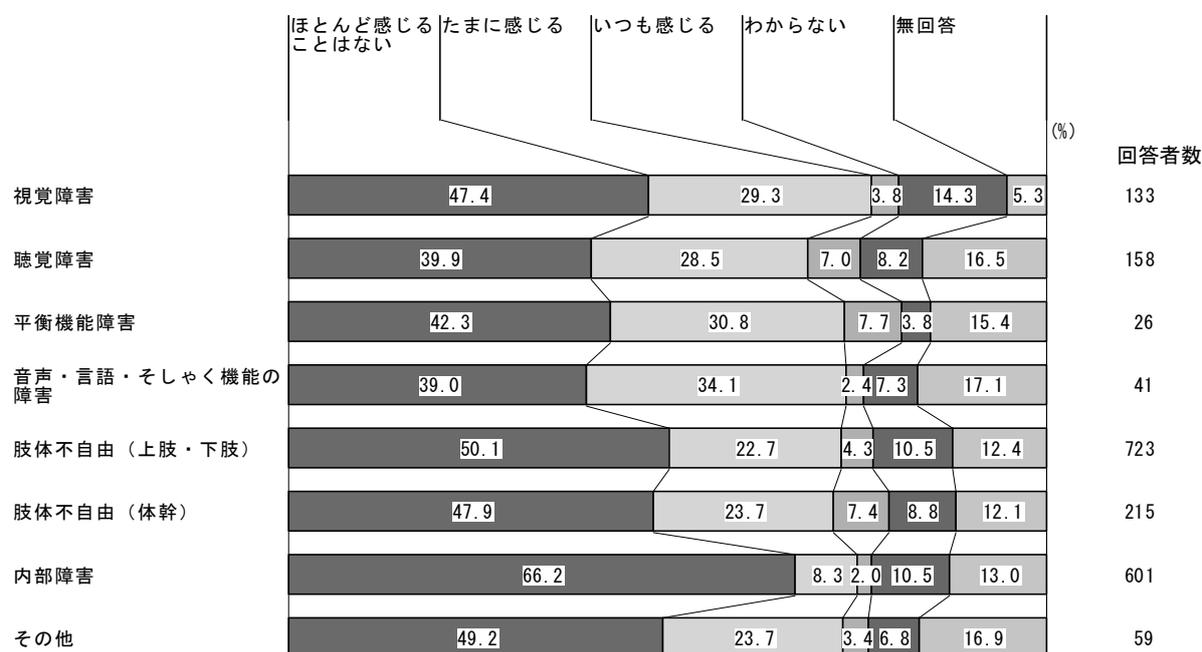
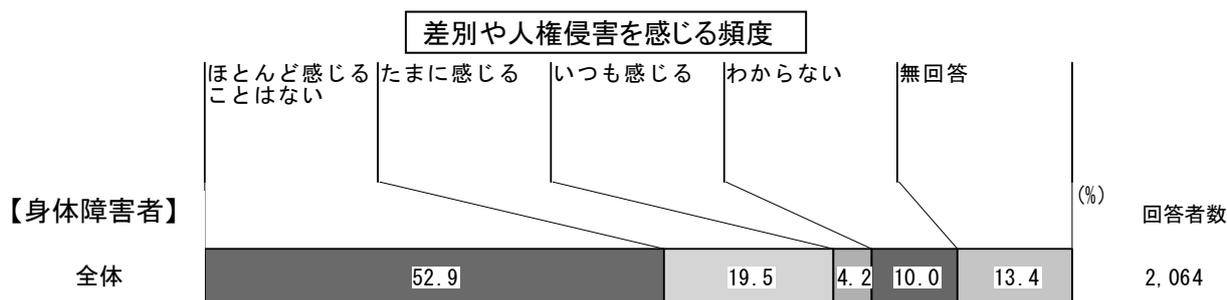
※無回答は省略

13 差別や人権侵害について

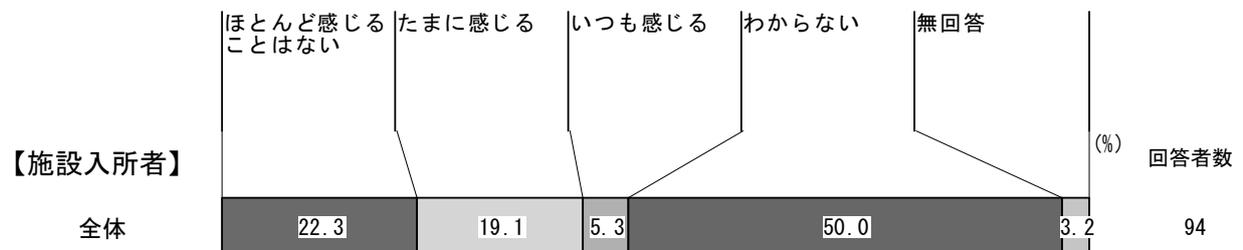
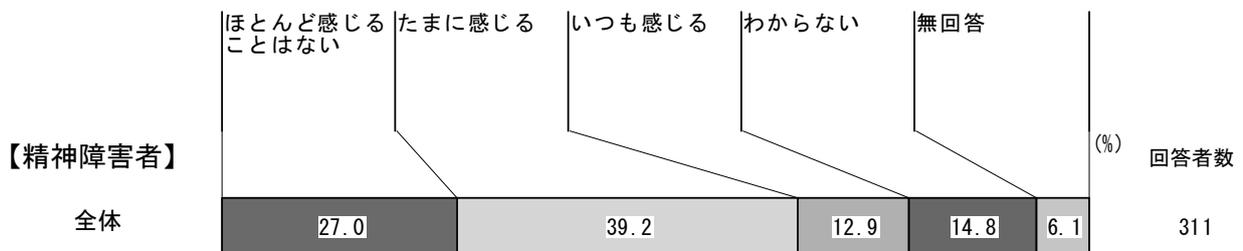
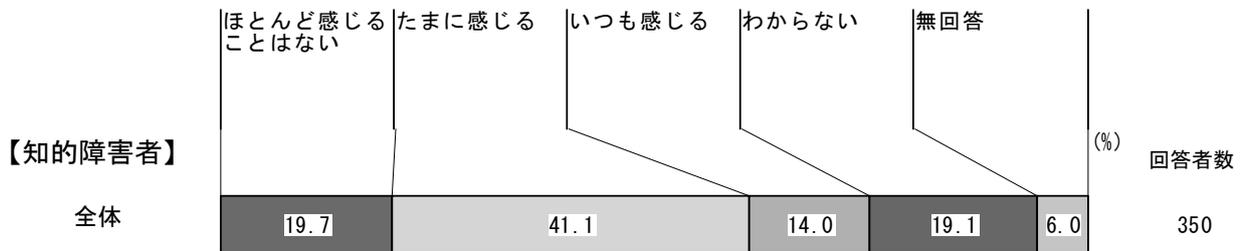
(1) 差別や人権侵害を受けていると感じることの有無

障害があることで、差別や人権侵害を受けていると感じる割合(「たまに感じる」、「いつも感じる」の合計)は、身体障害者で 23.7%、知的障害者で 55.1%、精神障害者で 52.1%、施設入所者で 24.4%となっており、知的障害者、精神障害者では半数を超えている。

身体障害者では、差別や人権侵害を受けていると感じる割合は 23.7%である。障害の種類別でみると、「内部障害」では差別や人権侵害を感じる人は少ない。



知的障害者では、差別や人権侵害を受けていると感じる割合は 55.1%である。
 精神障害者では、差別や人権侵害を受けていると感じる割合は 52.1%である。
 施設入所者では、差別や人権侵害を受けていると感じる割合は 24.4%である。



(2) 差別や人権侵害を受けていると感じるとき（自由回答）

主な意見は、次のとおりである。

【身体障害】

- ・障害の理解が得られず嫌な顔をされた。
- ・自分の言っていることを無視された。
- ・仕事や旅行に参加を制限された。
- ・駅などがバリアフリーでない。
- ・障害があると分かり態度が変わった。
- ・電車内で席をゆずってもらえない。
- ・障害ゆえに仕事に就けない。
- ・ジロジロと見られる。
- ・障害特性を分かってもらえず、どなられたり厳しい言葉をかけられる。

【知的障害者】

- ・障害への理解を得られない。
- ・周囲から疎外されている。
- ・迷惑そうな視線を受ける。
- ・障害ゆえにさまざまな社会資源を利用できない。
- ・いじめや暴力を受けた。
- ・障害特性を分かってもらえず、どなられたり厳しい言葉をかけられる。

【精神障害者】

- ・障害特性を分かってもらえず、どなられたり厳しい言葉をかけられる。
- ・周囲から疎外されている。
- ・不審者扱いをうけた。
- ・障害があると分かり態度が変わった。
- ・障害に対する理解がない。
- ・誰も口をきいてくれない。
- ・精神科に受診しているというだけで、会社から解雇された。

【施設入所者】

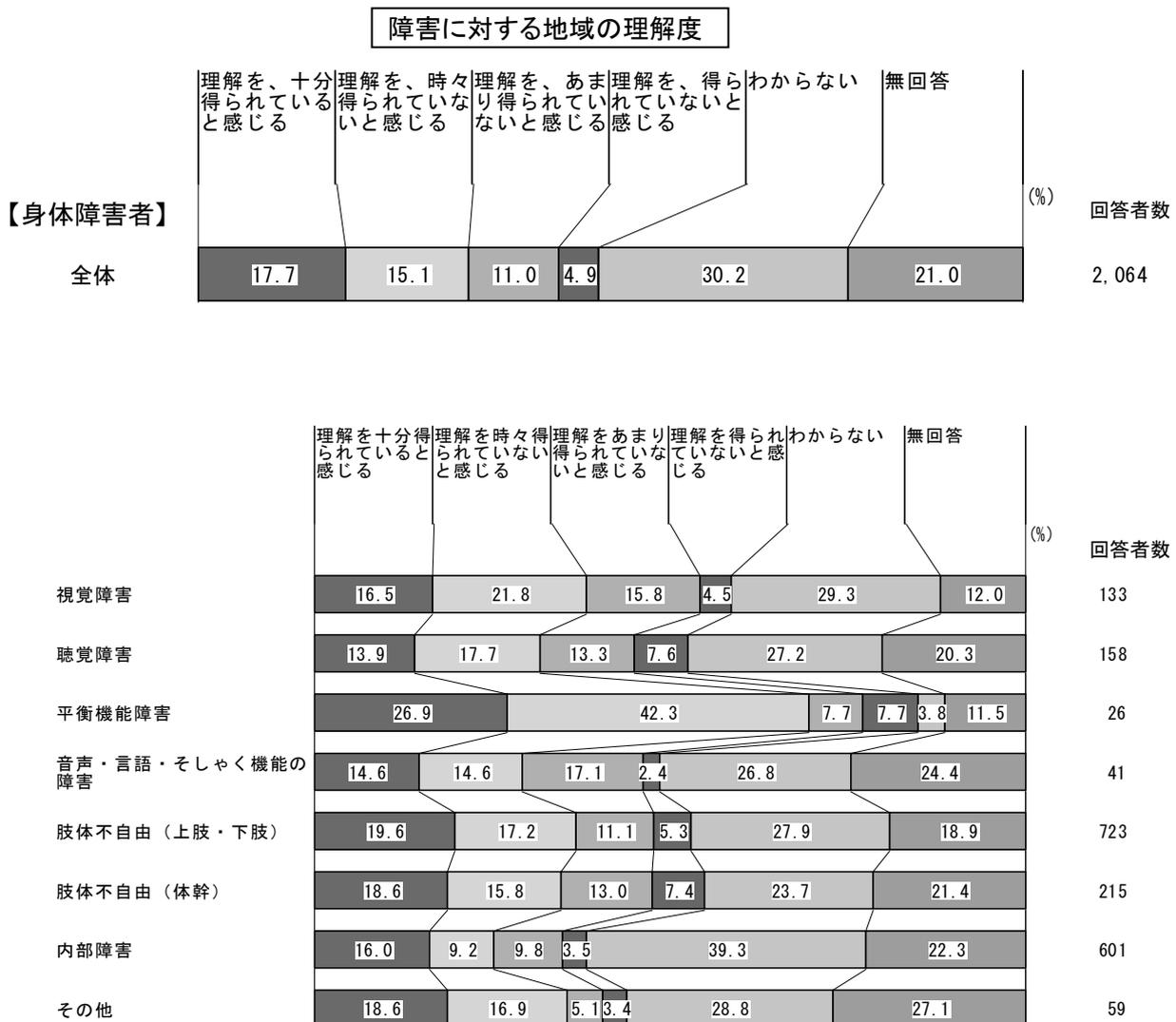
- ・周囲から受ける視線。
- ・障害というだけで、避けてしまう人がいる。
- ・挨拶を返してもらえない。
- ・施設のハード面が整備されていない。

(3) 地域で障害に対する理解を得られていると感じるか

地域で暮らす上で、障害に対する理解を十分得られていると感じる人は、身体障害者では17.7%、知的障害者では10.9%、精神障害者では8.7%となっている。

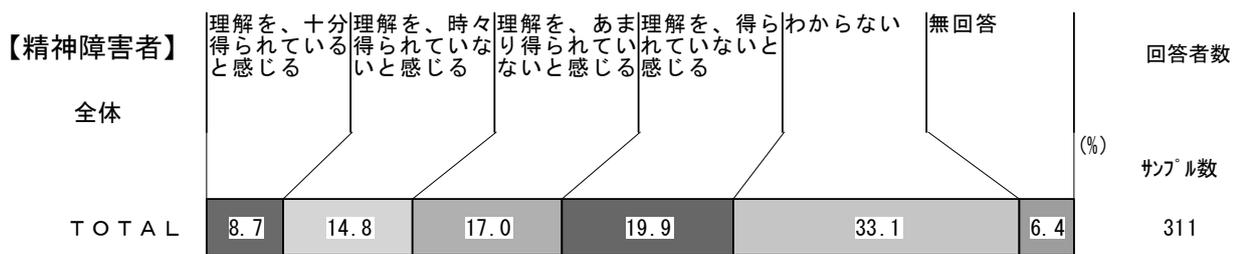
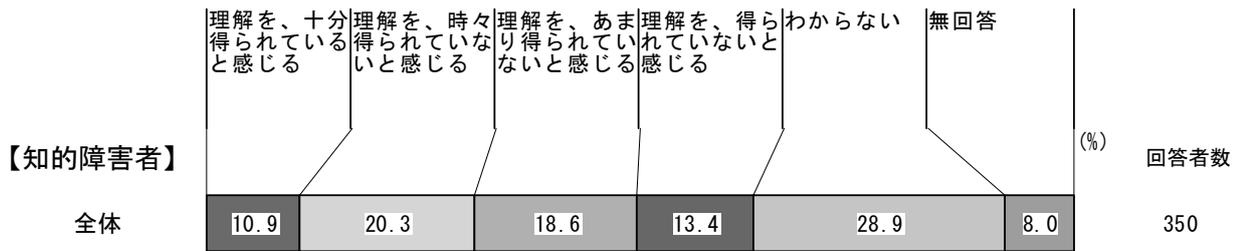
身体障害者では、地域で暮らす上で、障害に対する理解を得られていないと感じる人(「時々理解を得られていないと感じる」、「あまり得られていないと感じる」、「理解を得られていないと感じる」の合計)は、31.0%である。

障害の種類別にみると、「平衡機能障害」では「理解を十分得られていると感じる」が他の障害の種類より多く、「内部障害」では「わからない」が他の障害の種類より多くなっている。



知的障害者では、地域で暮らす上で、障害に対する理解を得られていないと感じる人は、52.3%である。

精神障害者では、地域で暮らす上で、障害に対する理解を得られていないと感じる人は、51.7%である。



(4) 地域で障害に対する理解を得られている、または得られていないと感じるとき
(自由回答)

主な意見は、次のとおりである。

【身体障害者】

○理解されていると感じるとき

- ・障害を思いやる声をかけてくれる。
- ・日常生活の中で、障害に配慮した対応をしてくれる。
- ・各種の優先制度や免除制度がある。
- ・普通に接してくれる。

○理解されていないと感じるとき

- ・内部障害等のため、障害者と認識されず大変さが理解されない。
- ・団地の清掃当番等、障害のない人と同様の分担を求められる。
- ・バリアフリーが不十分。
- ・介助する方がいる場合といない場合で対応が違う。
- ・障害があると分かると周囲の対応が違う。
- ・周囲とコミュニケーションがとれない。

【知的障害者】

○理解されていると感じるとき

- ・近隣の方に理解されている。
- ・挨拶等の声をかけてくれる。
- ・日常生活の中で、障害に配慮した対応をしてくれる。
- ・普通に接してくれる。

○理解されていないと感じるとき

- ・障害特性に対して理解がない。
- ・迷惑そうな視線等をうける。
- ・周囲の人が本人に向かって話さない。
- ・社会参加が制限される。
- ・本人や家族の努力不足が、障害の原因であると思われやすい。

【精神障害者】

○理解されていると感じるとき

- ・日常生活の中で、障害に配慮した対応をしてくれる。
- ・普通に接してくれる。

○理解されていないと感じるとき

- ・障害特性に対して理解がない。
- ・団地の清掃当番等、障害のない人と同様の分担を求められる。
- ・迷惑そうな視線等をうける。
- ・社会参加が制限される。

14 障害者施策全般に関して

(1) 区に充実してほしい施策（複数回答）

練馬区が特に充実してほしいと思う障害者施策は、身体障害者では「障害者や高齢者に優しい「福祉のまちづくり」の推進」が最も多く、知的障害者、精神障害者では、「障害者の働く場や働き続けるための支援の充実を図ること」が最も多い。

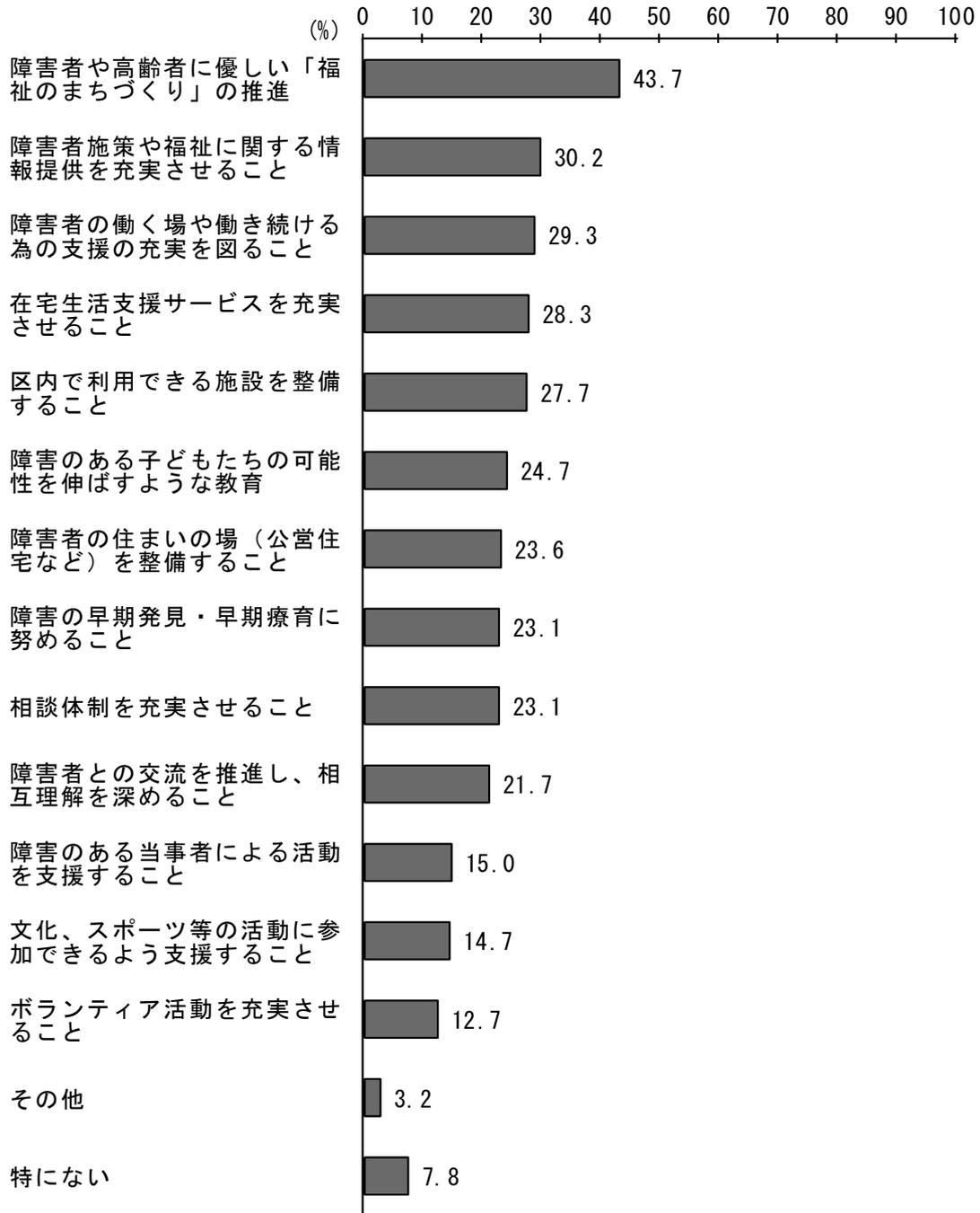
身体障害者では、障害者施策を進めていくにあたって、区に充実してほしいと思うこととして、「障害者や高齢者に優しい「福祉のまちづくり」の推進」が 43.7%と最も多く、次いで「障害者施策や福祉に関する情報提供を充実させること」(30.2%)、「障害者の働く場や働き続ける為の支援の充実を図ること」(29.3%)、「在宅生活支援サービスを充実させること」(28.3%)と続いている。

区に充実してほしい施策について、年齢区分別にみると、0～17歳では、「障害のある子どもたちの可能性を伸ばすような教育」が最も多く、18～64歳では、「障害者の働く場や働き続ける為の支援の充実を図ること」、65歳以上では「障害者や高齢者に優しい「福祉のまちづくり」の推進」が最も多い。

障害の程度別にみると、軽度では、「障害のある子どもたちの可能性を伸ばすような教育」、「障害者の働く場や働き続ける為の支援の充実を図ること」が「障害者や高齢者に優しい「福祉のまちづくり」の推進」に次いで多い。

充実してほしい障害者施策(複数回答)

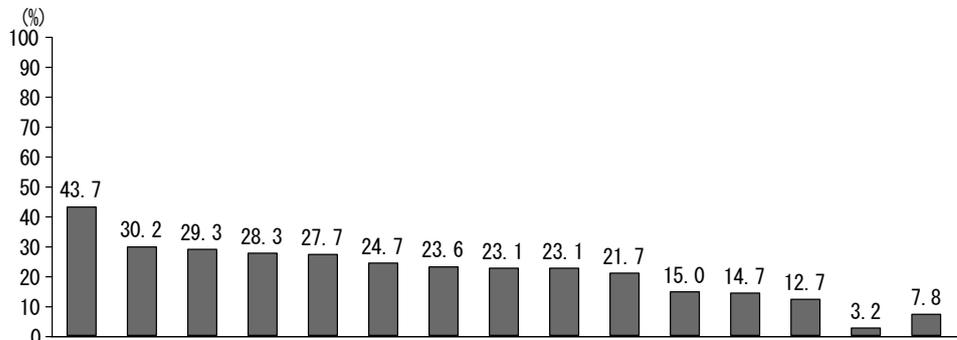
【身体障害者】全体 n=2,064



※無回答は省略

充実してほしい障害者施策(複数回答)

【身体障害者】全体 n=2,064



* 問1 年齢	n	7	12	4	5	6	3	8	1	13	2	10	9	11	14	15
		社 の ま ち づ く り の 推 進	障 害 者 や 高 齢 者 に 優 い 「 福 祉 の 提 供 を 充 実 さ せ る こ と	障 害 者 施 策 や 福 祉 に 関 す る 為 の 支 援 の 充 実 を 図 る こ と	障 害 者 の 働 く 場 や 働 き 続 け る 為 の 支 援 の 充 実 を 図 る こ と	在 宅 生 活 支 援 サ ー ビ ス を 充 実 さ せ る こ と	区 内 で 利 用 で き る 施 設 を 整 備 す る こ と	障 害 者 の 住 ま い の 場 (公 営 住 宅 な ど) を 整 備 す る こ と	障 害 者 の 早 期 発 見 ・ 早 期 療 育 に 努 め る こ と	相 談 体 制 を 充 実 さ せ る こ と	互 理 解 を 深 め る こ と	障 害 者 と の 交 流 を 推 進 し 、 相 互 支 援 す る こ と	障 害 の あ る 当 事 者 に よ る 活 動 を 支 援 す る こ と	加 え て 支 援 す る こ と	文 化 、 ス ポ ー ツ 等 の 活 動 に 参 加 で き る よ う 支 援 す る こ と	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 を 充 実 さ せ る こ と
0 全体	2,064	43.7	30.2	29.3	28.3	27.7	24.7	23.6	23.1	23.1	21.7	15.0	14.7	12.7	3.2	7.8
1 0~17歳	53	50.9	41.5	56.6	39.6	37.7	81.1	30.2	34.0	22.6	45.3	30.2	20.8	17.0	5.7	1.9
2 18~64歳	614	43.5	37.0	44.1	28.3	31.1	29.0	31.6	26.9	27.5	29.0	19.5	17.6	16.0	4.4	6.4
3 65歳以上	1,311	44.2	26.7	21.4	28.5	25.7	20.7	19.8	21.4	21.4	17.6	12.3	13.3	10.9	2.4	8.8

【障害の程度別】

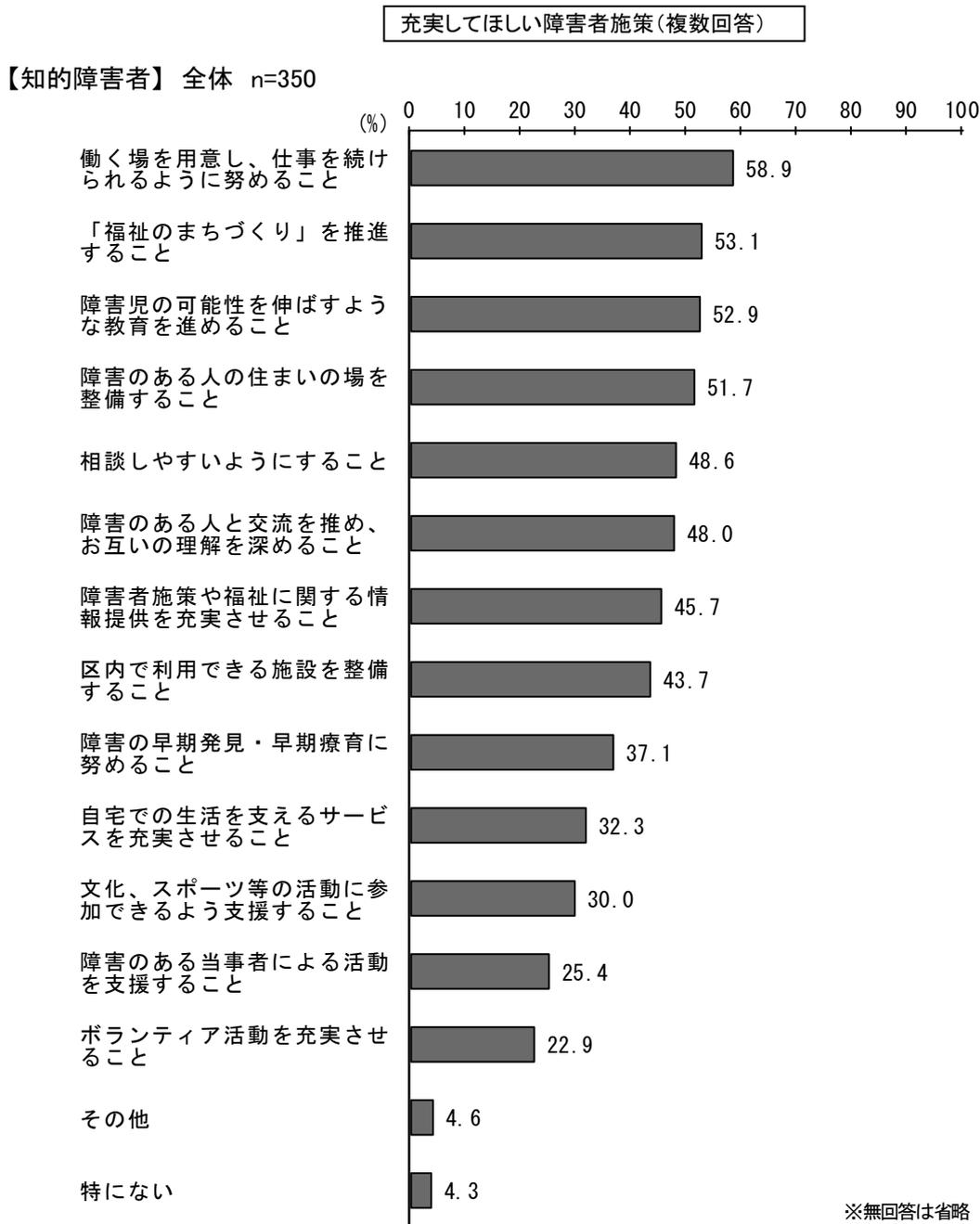
程度	n	7	12	4	5	6	3	8	1	13	2	10	9	11	14	15
1 重度(1・2級)	1,074	43.4	32.3	31.4	31.1	29.0	24.7	25.0	24.6	24.8	22.5	15.4	15.2	13.9	3.2	7.5
2 中度(3・4級)	739	43.7	29.1	26.0	26.1	25.8	23.7	22.6	22.2	21.2	20.6	14.5	13.8	11.6	3.1	8.8
3 軽度(5・6級)	189	48.1	24.9	32.3	23.8	27.0	32.3	21.2	20.1	22.8	22.2	16.4	16.4	10.6	3.7	5.8

【身体障害の種類別】

種類	n	7	12	4	5	6	3	8	1	13	2	10	9	11	14	15
1 視覚障害	133	47.4	33.8	33.8	36.8	32.3	28.6	24.8	24.1	28.6	24.8	18.8	17.3	18.0	2.3	9.8
2 聴覚障害	158	45.6	27.8	31.6	21.5	20.3	24.1	27.8	21.5	22.2	31.6	19.0	18.4	15.8	3.2	3.8
3 平衡機能障害	26	57.7	34.6	23.1	42.3	42.3	3.8	19.2	23.1	34.6	19.2	19.2	11.5	15.4	0.0	3.8
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	41	29.3	41.5	26.8	26.8	34.1	19.5	24.4	24.4	24.4	19.5	17.1	12.2	9.8	2.4	0.0
5 肢体不自由(上肢・下肢)	723	46.1	31.1	31.5	30.2	28.8	28.9	25.9	23.4	23.5	24.3	14.9	16.3	13.8	3.3	6.4
6 肢体不自由(体幹)	215	52.6	35.3	30.7	39.1	37.7	30.2	28.4	25.6	25.1	26.5	20.5	14.9	14.9	5.1	5.1
7 内部障害	601	38.4	26.5	27.8	23.1	23.5	20.5	19.6	23.5	21.8	15.0	12.0	11.8	8.7	2.8	11.5
8 その他	59	40.7	35.6	20.3	28.8	32.2	22.0	23.7	28.8	20.3	16.9	16.9	13.6	13.6	5.1	10.2

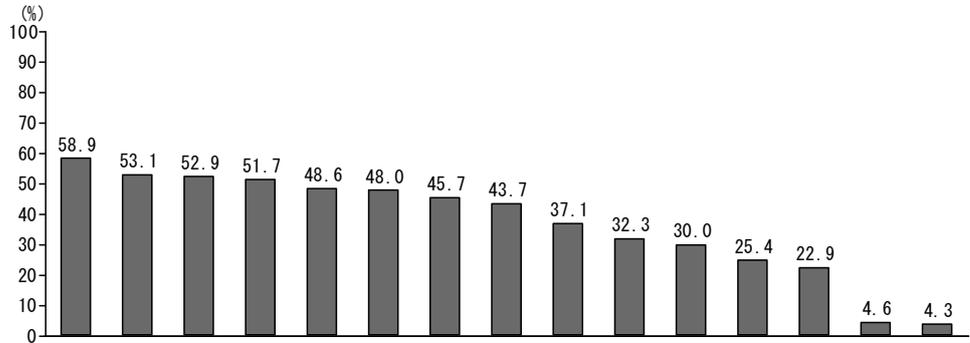
知的障害者では、「働く場を用意し、仕事を続けられるように努めること」が 58.9%と最も多く、次いで「福祉のまちづくり」を推進すること(53.1%)、「障害児の可能性を伸ばすような教育を進めること」(52.9%)、「障害のある人の住まいの場を整備すること」(51.7%)と続いている。

障害の程度別でみると、最重度・重度(1・2度)では「福祉のまちづくり」を推進することが最も多く、また、「区内で利用できる施設を整備すること」や「自宅での生活を支えるサービスを充実させること」も多い傾向がみられる。



充実してほしい障害者施策(複数回答)

【知的障害者】全体 n=350



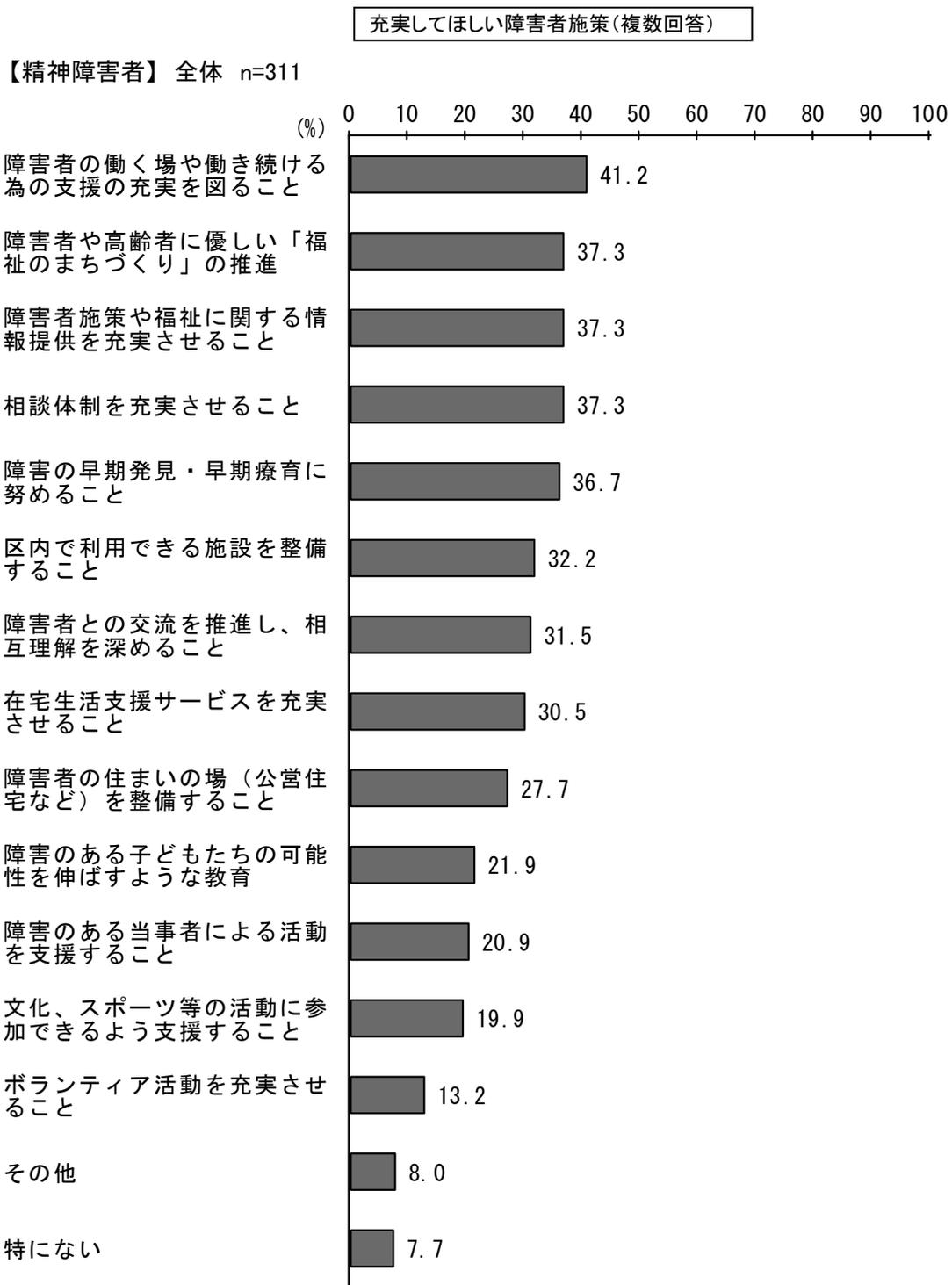
*問1 年齢	n	4	7	3	8	13	2	12	6	1	5	9	10	11	14	15
		働く場を用意し、仕事を続けられるように努めること	「福祉のまちづくり」を推進すること	障害児の可能性を伸ばすような教育を進めること	障害のある人の住まいの場を整備すること	相談しやすいようにすること	お互いの理解を深めること	障害のある人と交流を推し進めること	報提供を充実させること	障害者施策や福祉に関する情報提供を充実させること	区内で利用できる施設を整備すること	障害の早期発見・早期療育に努めること	自宅での生活を支えるサービスを充実させること	文化、スポーツ等の活動に参加できるように支援すること	障害のある当事者による活動を支援すること	ボランティア活動を充実させること
0 全体	350	58.9	53.1	52.9	51.7	48.6	48.0	45.7	43.7	37.1	32.3	30.0	25.4	22.9	4.6	4.3
1 0～17歳	93	81.7	59.1	86.0	63.4	60.2	63.4	62.4	54.8	58.1	41.9	41.9	39.8	29.0	5.4	2.2
2 18～64歳	231	51.5	50.6	43.7	48.1	45.9	43.7	39.4	39.8	30.7	29.4	26.4	19.9	19.9	4.3	3.9
3 65歳以上	15	26.7	53.3	6.7	26.7	20.0	26.7	33.3	33.3	26.7	26.7	6.7	20.0	26.7	0.0	13.3

【障害の程度別】

1 最重度・重度(1・2度)	129	52.7	62.8	57.4	58.9	51.9	49.6	56.6	60.5	45.0	45.7	28.7	27.9	27.1	5.4	2.3
2 中度(3度)	77	61.0	58.4	48.1	57.1	44.2	46.8	45.5	42.9	32.5	29.9	32.5	20.8	18.2	3.9	1.3
3 軽度(4度)	136	63.2	41.2	52.9	41.9	48.5	47.1	36.0	27.2	32.4	19.9	29.4	25.0	19.9	4.4	7.4

精神障害者では、「障害者の働く場や働き続ける為の支援の充実を図ること」が 41.2%と最も多く、次いで「障害者や高齢者に優しい「福祉のまちづくり」の推進」、「障害者施策や福祉に関する情報提供を充実させること」、「相談体制を充実させること」(いずれも 37.3%)と続いている。

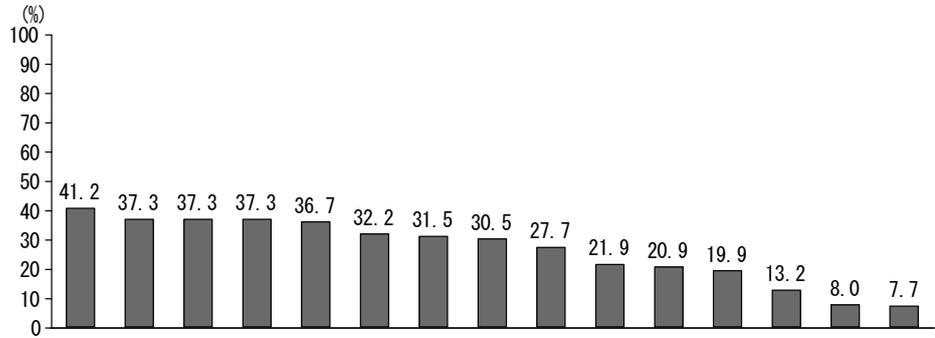
障害の程度別にみると、1級では、「相談体制を充実させること」、「在宅生活支援サービスを充実させること」、「障害者の住まいの場(公営住宅など)を整備すること」が最も多くなっている。



※無回答は省略

充実してほしい障害者施策（複数回答）

【精神障害者】全体 n=311

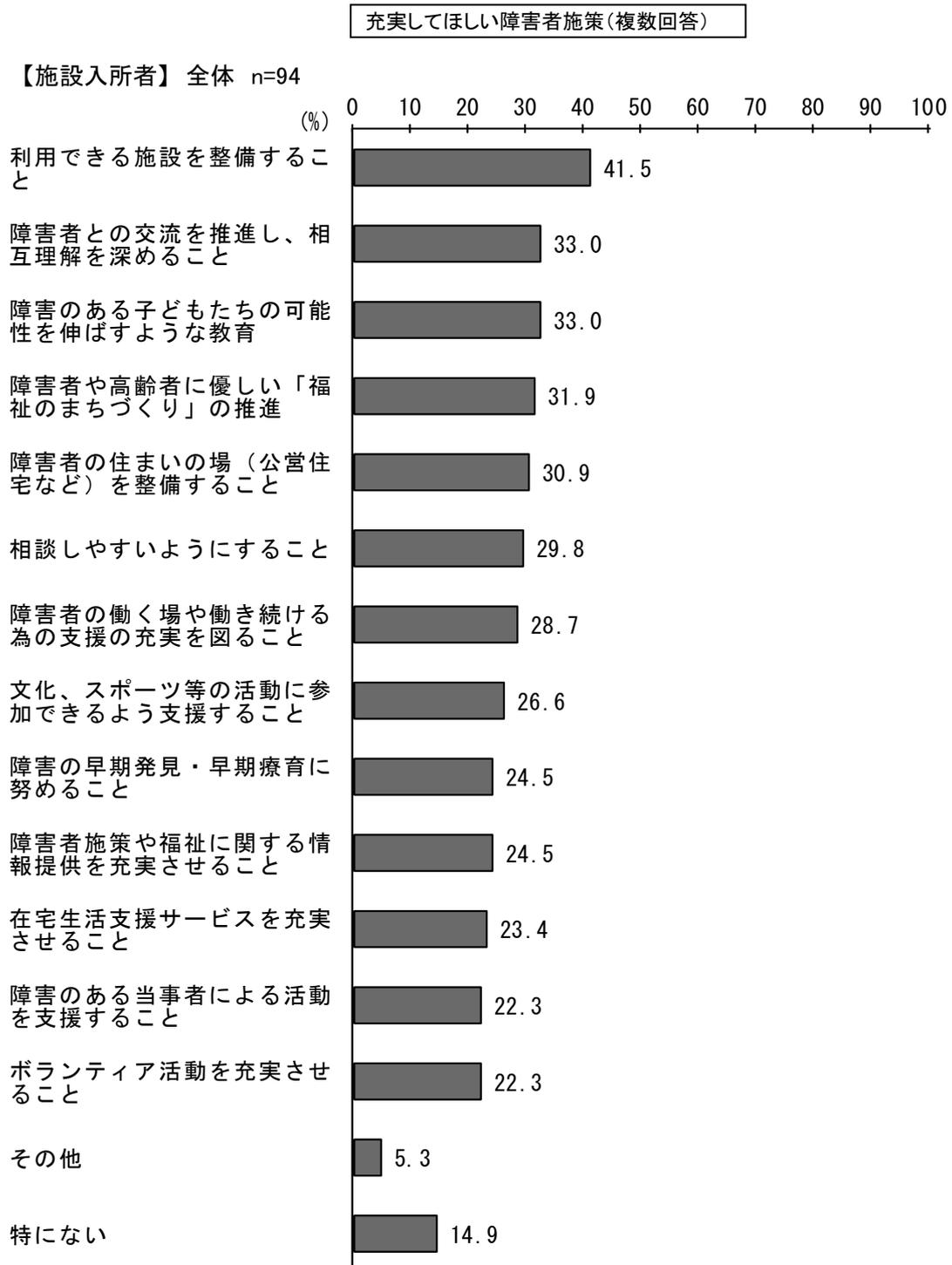


* 問1 年齢	n	4	7	12	13	1	6	2	5	8	3	10	9	11	14	15	
		障害者の働く場や働き続けるための支援の充実を図ること	社「のまちづくり」の推進	障害者や高齢者に優しい「福祉のまちづくり」の推進	障害者施策や福祉に関する情報提供を充実させること	相談体制を充実させること	障害の早期発見・早期療育に努めること	区内で利用できる施設を整備すること	障害者との交流を推進し、相互理解を深めること	障害者との交流を推進し、相互理解を深めること	在宅生活支援サービスを充実させること	障害者の住まいの場（公営住宅など）を整備すること	障害のある子どもたちの可能性を伸ばすような教育	障害のある当事者による活動を支援すること	障害のある当事者による活動に加えるよう支援すること	文化、スポーツ等の活動に参加できるように支援すること	ボランティア活動を充実させること
0 全体	311	41.2	37.3	37.3	37.3	36.7	32.2	31.5	30.5	27.7	21.9	20.9	19.9	13.2	8.0	7.7	
1 0～17歳	6	66.7	33.3	50.0	33.3	83.3	33.3	33.3	33.3	50.0	100.0	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	
2 18～64歳	263	44.5	36.5	38.0	39.2	36.1	35.0	34.6	30.0	29.3	22.4	21.7	21.7	12.2	8.0	8.4	
3 65歳以上	29	13.8	51.7	34.5	31.0	31.0	17.2	17.2	44.8	17.2	6.9	17.2	10.3	24.1	6.9	6.9	

【障害の程度別】

1 1級	38	34.2	34.2	31.6	42.1	26.3	31.6	26.3	42.1	42.1	15.8	15.8	15.8	18.4	5.3	7.9
2 2級	162	42.6	42.6	38.9	37.7	40.1	34.6	33.3	31.5	27.8	22.8	22.8	21.6	14.8	4.9	8.0
3 3級	101	42.6	31.7	37.6	37.6	34.7	30.7	32.7	26.7	23.8	22.8	21.8	20.8	8.9	13.9	7.9

施設入所者では、「利用できる施設を整備すること」が 41.5%と最も多く、次いで「障害者との交流を推進し、相互理解を深めること」、「障害のある子どもたちの可能性を伸ばすような教育」（いずれも 33.0%）と続いている。



※無回答は省略

(2) ご意見・ご要望（自由回答）

主な意見は、次のとおりである。

【身体障害者】

- 相談支援・情報提供に関すること
 - ・専門的な相談窓口と、それを統括する相談窓口を設置してほしい。
 - ・訪問による相談支援を充実してほしい。
 - ・医療・福祉情報など区報でもっと提供してほしい。
 - ・福祉機器等の最新情報を提供してほしい。
- サービスの利用・内容に関すること
 - ・障害者割引制度を充実してほしい。
 - ・福祉タクシー券を充実してほしい。
 - ・制度の谷間を埋めるようなボランティアを増やしてほしい。
 - ・検診を区外を含め、より身近な場所で受けられるようにしてほしい。
 - ・総合的な中途障害者支援センターを作してほしい。
 - ・障害者スポーツセンターを整備してほしい。
 - ・高齢障害者用施設を充実してほしい。
- 障害児支援に関すること
 - ・障害児支援の取り組みについて情報提供してほしい。
 - ・学校の設備を充実してほしい。
 - ・障害児の居場所を整備してほしい。
- 就労支援に関すること
 - ・福祉作業所ではなく「働く場」を整備してほしい。
 - ・障害の内容を配慮した職場が必要である。
- 社会参加・地域生活に関すること
 - ・障害理解・啓発を進めてほしい。
 - ・バリアフリー（駅・住宅・バス・施設等）を進めてほしい。
 - ・交通機関全体で、障害者優先制度を充実してほしい。
 - ・色々な人たちと交流する場をつくってほしい。
- 制度・利用者負担等に関すること
 - ・サービス利用の際、自己負担金を軽減してほしい。
 - ・各種手当・助成を充実してほしい。
- その他
 - ・家族の調査も行ってほしい。
 - ・アンケートが多岐に渡り、記入が大変だった。
 - ・上肢不自由者にも回答しやすいアンケート調査をしてほしい。
 - ・アンケートは真剣に前向きに考えるきっかけになり、貴重な体験であった。

【知的障害者】

- 相談支援・情報提供に関すること
 - ・親だけでなく、兄弟の精神的支援をしてほしい。
 - ・サービス情報を周知してほしい。
- サービスの利用・内容に関すること
 - ・ヘルパーを質・量とも充実してほしい。
 - ・障害児の放課後施策を充実してほしい。
 - ・療育施設を整備してほしい。
 - ・高齢者と障害者の併設施設を整備してほしい。
 - ・住宅改修の助成を拡大してほしい。
 - ・特別支援学校卒業後の日中活動の場を整備してほしい。
- 障害児支援に関すること
 - ・色々な人との交流の場が必要である。
 - ・学校と関係機関との情報共有・連携強化が必要である。
 - ・放課後の居場所などを拡充してほしい。
- 就労支援に関すること
 - ・特別支援学校卒業後も、就労について学べる場をつくってほしい。
- 社会参加・地域生活に関すること
 - ・障害理解を深める施策をしてほしい。
 - ・駅等のバリアフリーを進めてほしい。
 - ・余暇支援を充実してほしい。
- 制度・利用者負担等に関すること
 - ・サービス利用の際、自己負担金を軽減してほしい。
- その他
 - ・財政的には厳しいと思うが、積極的に障害者支援を行ってほしい。

【精神障害者】

- 相談支援・情報提供に関すること
 - ・相談窓口を充実させてほしい。
 - ・相談員個々で対応に差が感じられる。
 - ・これまで以上に区報やホームページに情報を載せてほしい。
- サービスの利用・内容に関すること
 - ・申請手続きを代行してほしい。
 - ・夜間利用できる支援プログラムを充実してほしい。
 - ・障害状態に応じた施設サービスを充実してほしい。
 - ・大人の発達障害者支援センターがほしい。

○就労支援に関すること

- ・工賃を維持してほしい。
- ・就労支援システムを強化してほしい。

○社会参加・地域生活に関すること

- ・障害啓発をもっと行ってほしい。
- ・色々な人との交流をする場をつくってほしい。
- ・街中にトイレを増設してほしい。

○制度・利用者負担等に関すること

- ・住まいの場を充実してほしい。

○その他

- ・同じ精神障害でも個人差があるので、それを理解し対応してほしい。
- ・障害者という言葉に違和感がある。

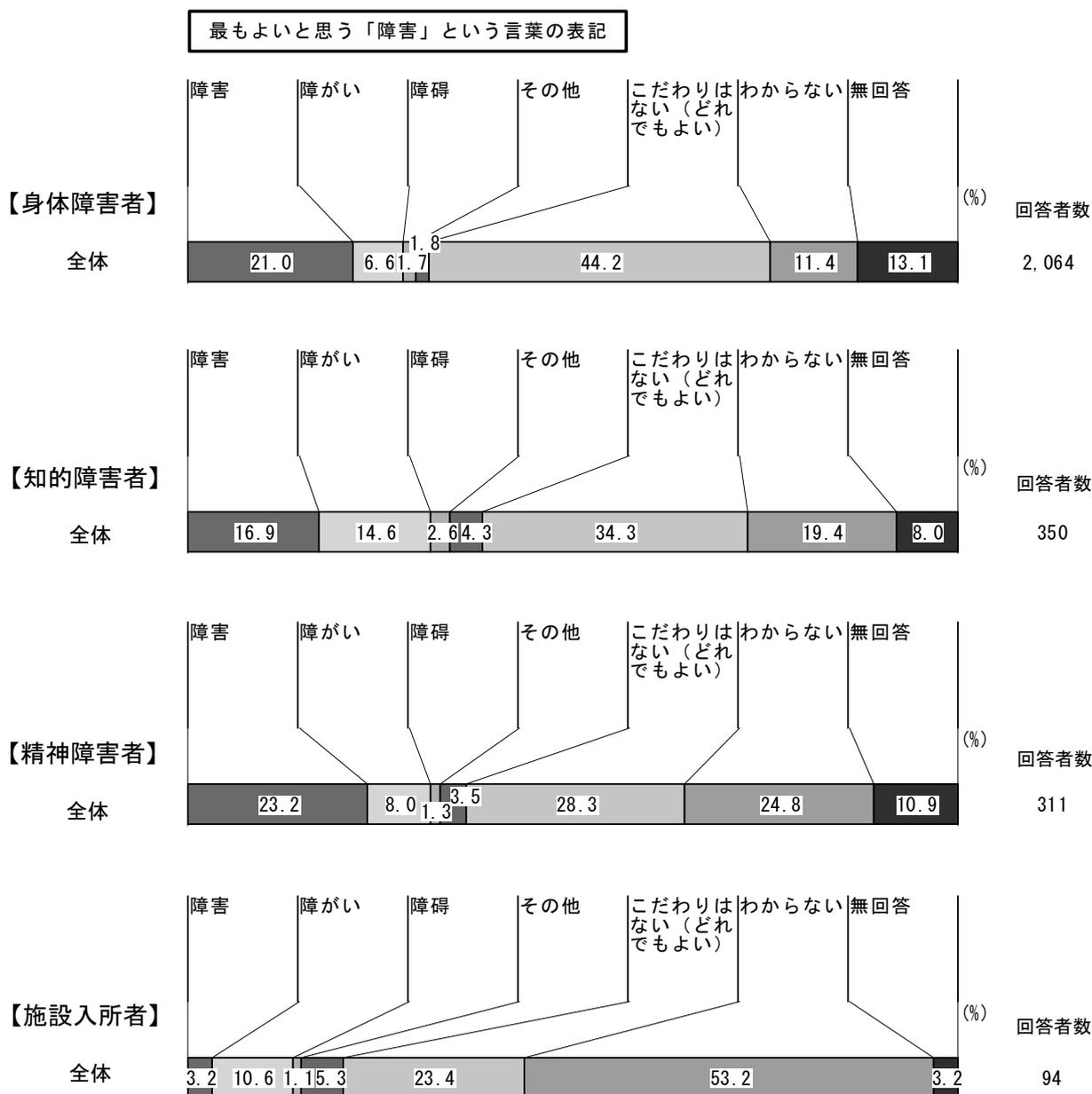
【施設入所者】

- ・地域の取り組みに参加したい。
- ・施設に法的・財政的支援をしてほしい。

15 障害の表記について

(1) 希望する表記

障害の表記については、いずれの対象者も「こだわりはない(どれでもよい)」とする割合が最も多く、身体障害者で44.2%、知的障害者で34.3%、精神障害者で28.3%、施設入所者で23.4%となっている。「障害」「障碍」「障がい」の表記の中では、身体障害者と精神障害者の2割は「障害」を、知的障害者、施設入所者の1割強は「障がい」を、それぞれあげている。



(2) その表記を希望する理由（複数回答）

前問で選択した“障害”の表記について、その表記を希望する理由では、「表記だけ変えても意味がないから」とする割合がいずれの障害でも最も多い。次いで多いのは、身体障害者、知的障害者では「差別感や不快感を感じないから」、精神障害者では、「見慣れているから」、施設入所者では「差別感や不快感を感じないから」である。

		見慣れているから	わかりやすいから	差別感や不快感を感じないから	本来はそう書くべきだから	表記だけ変えても意味がないから	その他	無回答
身体障害者	(n=2,064)	15.4%	15.2%	17.0%	7.8%	29.4%	1.8%	29.7%
知的障害者	(n=350)	14.3%	11.4%	17.1%	8.3%	30.6%	6.3%	27.7%
精神障害者	(n=311)	13.4%	6.2%	11.8%	4.9%	21.2%	6.5%	45.1%
施設入所者	(n=94)	6.4%	10.6%	12.8%	4.3%	16.0%	5.3%	58.5%

16 介護・援助者の意向

(1) 介助・援助するにあたって、困っていること(複数回答)

介助・援助するにあたって、困っていることでは、身体障害者では「年齢的に負担が大きい」「長期的な外出ができない」「精神的な負担が大きい」が 20%を超えている。知的障害者、精神障害者では「精神的な負担が大きい」がそれぞれ 43.6%、28.2%みられる。

身体障害者では、「年齢的に負担が大きい」が 24.3%と最も多く、次いで「長期的な外出ができない」(24.2%)、「精神的な負担が大きい」(21.6%)、「身体的な負担が大きい」(18.4%)である。

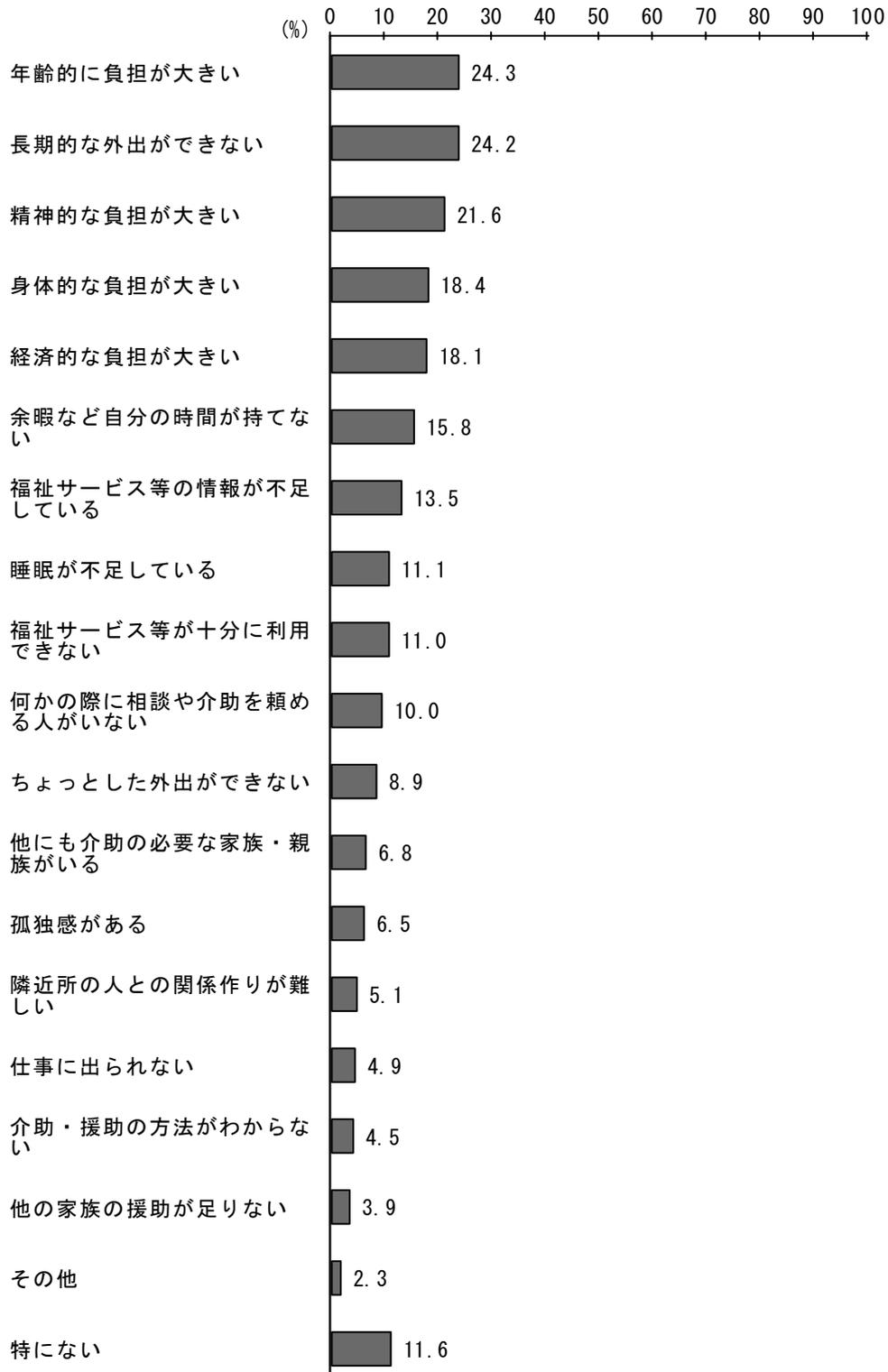
介助・援助するにあたって、困っていることについて、障害の程度別にみると、重度(1・2級)では、「長期的な外出ができない」が最も多くなっており、また、軽度(5・6級)では、「福祉サービス等の情報が不足している」、「福祉サービス等が十分に利用できない」が多い傾向にある。

主な障害の種類別にみると、視覚障害、聴覚障害の方の介助・援助者では、「精神的な負担が大きい」が最も多く、肢体不自由(上肢、下肢)の方の介助・援助者では、「年齢的に負担が大きい」、内部障害の方の介助・援助者では、「長期的な外出ができない」が最も多い。

主な介助・援助者(最も長い介助・援助者)別でみると、配偶者や兄弟・姉妹では、「年齢的に負担が大きい」が最も多く、息子・娘や父・母では、「長期的な外出ができない」が最も多くなっている。

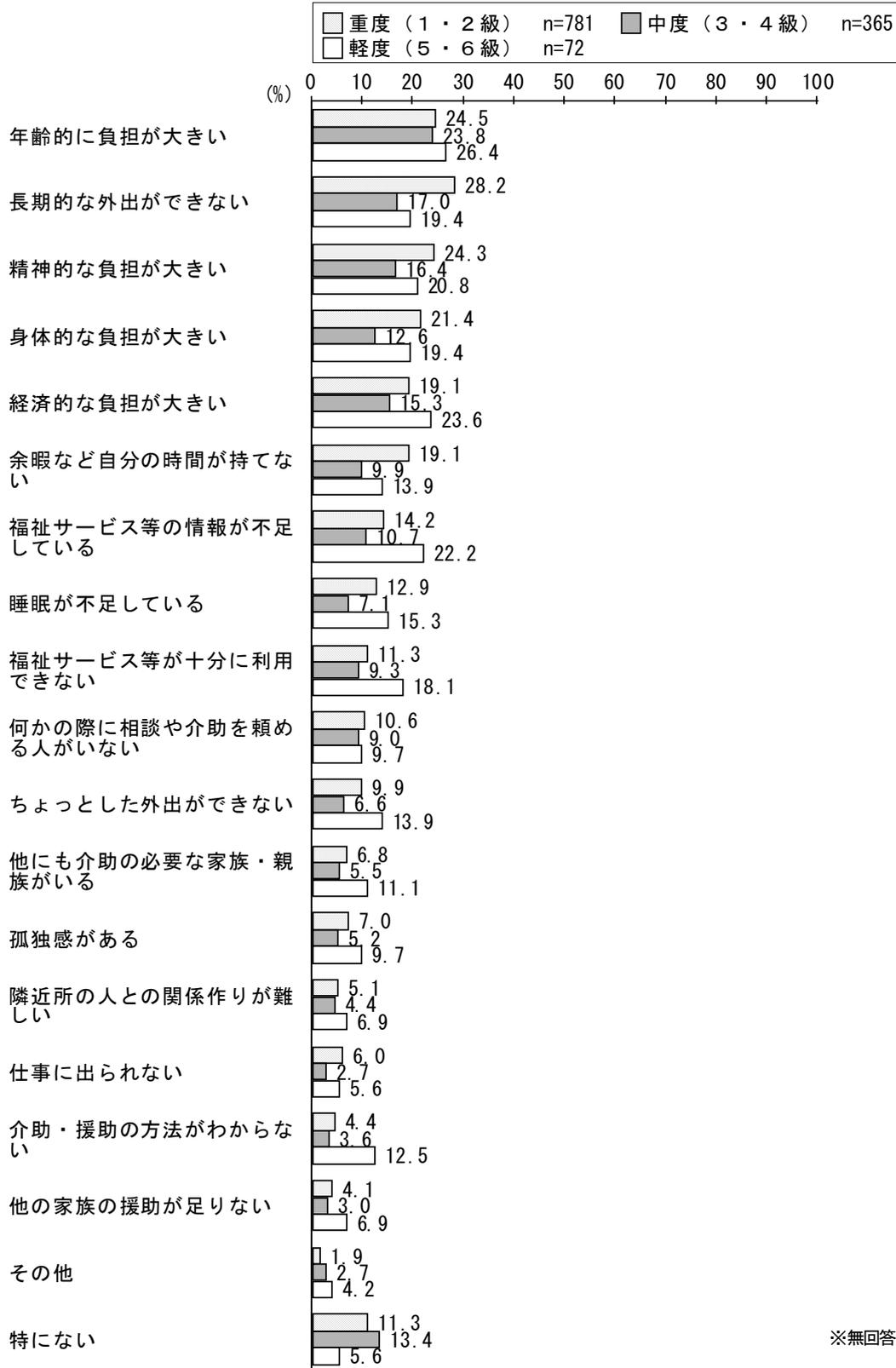
介助・援助者が困っていること【ベース:介助・援助を受けている人】

【身体障害者】全体 n=1,242



※無回答は省略

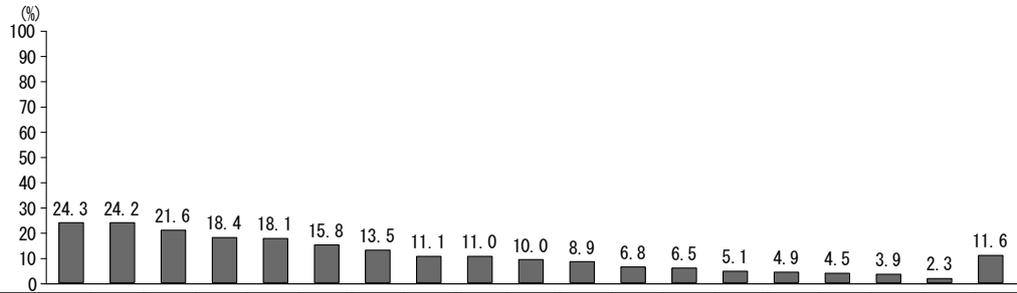
介護・援助者が困っていること【ベース: 介護・援助を受けている人】



※無回答は省略

介助・援助者が困っていること【ベース: 介助・援助を受けている人】

【身体障害者】 全体 n=1,242



問7 障害者手帳に記載された障害の種類 1番目	n	10	7	12	9	13	4	2	8	3	17	5	14	11	16	6	1	15	18	19
		年齢的に負担が大きい	長期的な外出ができない	精神的な負担が大きい	身体的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	余暇など自分の時間が持てない	福祉サービス等の情報が不足している	睡眠が不足している	福祉サービス等が十分に利用できない	何かの際に相談や介助を頼める人がいない	ちょっとした外出ができない	他にも介助の必要な家族・親族がいる	孤独感がある	隣近所の人との関係作りが難しい	仕事に出られない	介助・援助の方法がわからない	他の家族の援助が足りない	その他	特にない
0 全体	1,242	24.3	24.2	21.6	18.4	18.1	15.8	13.5	11.1	11.0	10.0	8.9	6.8	6.5	5.1	4.9	4.5	3.9	2.3	11.6
1 視覚障害	93	18.3	18.3	19.4	9.7	15.1	10.8	14.0	4.3	10.8	9.7	8.6	5.4	6.5	4.3	5.4	8.6	3.2	3.2	18.3
2 聴覚障害	64	18.8	18.8	21.9	10.9	10.9	7.8	15.6	6.3	12.5	7.8	4.7	12.5	6.3	9.4	4.7	9.4	7.8	1.6	7.8
3 平衡機能障害	21	28.6	23.8	19.0	9.5	23.8	14.3	4.8	9.5	9.5	9.5	0.0	0.0	4.8	9.5	0.0	4.8	4.8	0.0	9.5
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	33	39.4	36.4	30.3	30.3	33.3	27.3	15.2	24.2	9.1	9.1	15.2	3.0	9.1	12.1	3.0	3.0	3.0	6.1	6.1
5 肢体不自由(上肢・下肢)	489	26.2	25.6	21.9	20.0	17.0	17.8	12.7	13.3	11.9	10.8	8.8	6.7	5.9	4.7	5.5	3.7	3.5	2.0	11.5
6 肢体不自由(体幹)	161	30.4	31.7	26.7	29.8	27.3	25.5	19.9	16.8	17.4	16.8	11.8	8.1	8.1	6.8	8.1	6.2	6.8	2.5	9.3
7 内部障害	292	19.9	20.5	18.8	13.7	15.8	10.3	12.0	6.8	7.5	5.5	7.5	6.2	5.5	3.1	3.4	3.4	3.1	1.4	12.7
8 その他	34	17.6	17.6	17.6	11.8	14.7	20.6	14.7	8.8	8.8	8.8	14.7	2.9	8.8	0.0	0.0	2.9	2.9	2.9	17.6

【主な(最も長い) 介助・援助者別】

2 配偶者(夫または妻)	605	29.6	25.3	22.1	19.0	19.3	17.5	13.2	12.7	11.6	9.3	10.7	5.8	6.3	5.0	4.5	5.5	3.0	2.1	12.7
3 父、母	161	33.5	36.6	29.2	34.2	19.9	26.7	19.9	18.6	13.7	21.1	11.8	11.2	10.6	8.7	11.8	3.7	3.7	3.1	8.1
4 息子、娘(息子、娘の配偶者も含む)	191	9.9	28.3	19.9	8.9	15.2	13.1	11.5	7.9	8.4	4.2	6.3	8.9	4.7	3.1	5.8	5.2	7.3	2.1	13.6
5 祖父、祖母	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
6 兄弟、姉妹	38	31.6	13.2	13.2	5.3	13.2	5.3	23.7	0.0	13.2	18.4	2.6	10.5	2.6	7.9	0.0	5.3	2.6	0.0	10.5
7 行政の職員(ワーカ―保健師等)	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8 病院の職員(看護師等)	43	30.2	11.6	27.9	23.3	23.3	11.6	23.3	9.3	20.9	14.0	2.3	2.3	7.0	4.7	4.7	2.3	4.7	4.7	7.0
9 施設の職員	41	17.1	14.6	31.7	19.5	29.3	19.5	12.2	7.3	7.3	7.3	7.3	12.2	7.3	0.0	0.0	0.0	7.3	2.4	12.2
10 ホームヘルパー	105	9.5	11.4	13.3	13.3	13.3	4.8	5.7	5.7	8.6	8.6	7.6	1.9	6.7	4.8	1.0	3.8	2.9	1.9	11.4
11 その他	28	10.7	14.3	10.7	10.7	7.1	0.0	14.3	10.7	7.1	3.6	3.6	0.0	3.6	7.1	0.0	0.0	3.6	3.6	3.6

知的障害者では、「精神的な負担が大きい」が43.6%と最も多く、次いで「長期的な外出ができない」(36.3%)、「年齢的に負担が大きい」(30.0%)、「余暇など自分の時間が持てない」(28.7%)と続いている。

障害の程度別でみると、程度が重いほど、介助・援助者の負担感が大きい傾向がある。また、最重度・重度(1・2度)では、「精神的な負担が大きい」、「長期的な外出ができない」が5割を超えている。

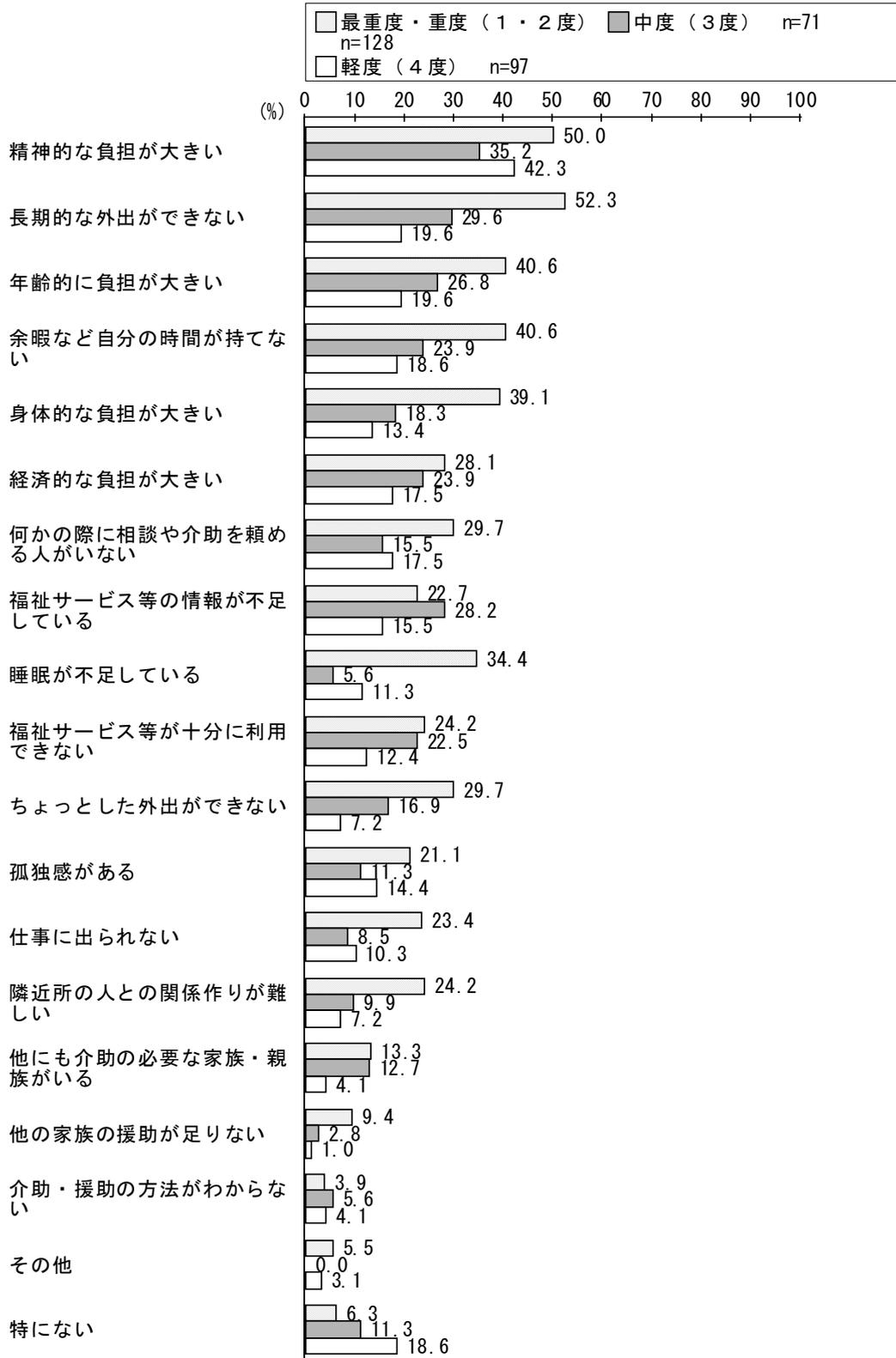
介助・援助者が困っていること【ベース:介助・援助を受けている人】

【知的障害者】全体 n=303



※無回答は省略

介護・援助者が困っていること【ベース:介護・援助を受けている人】



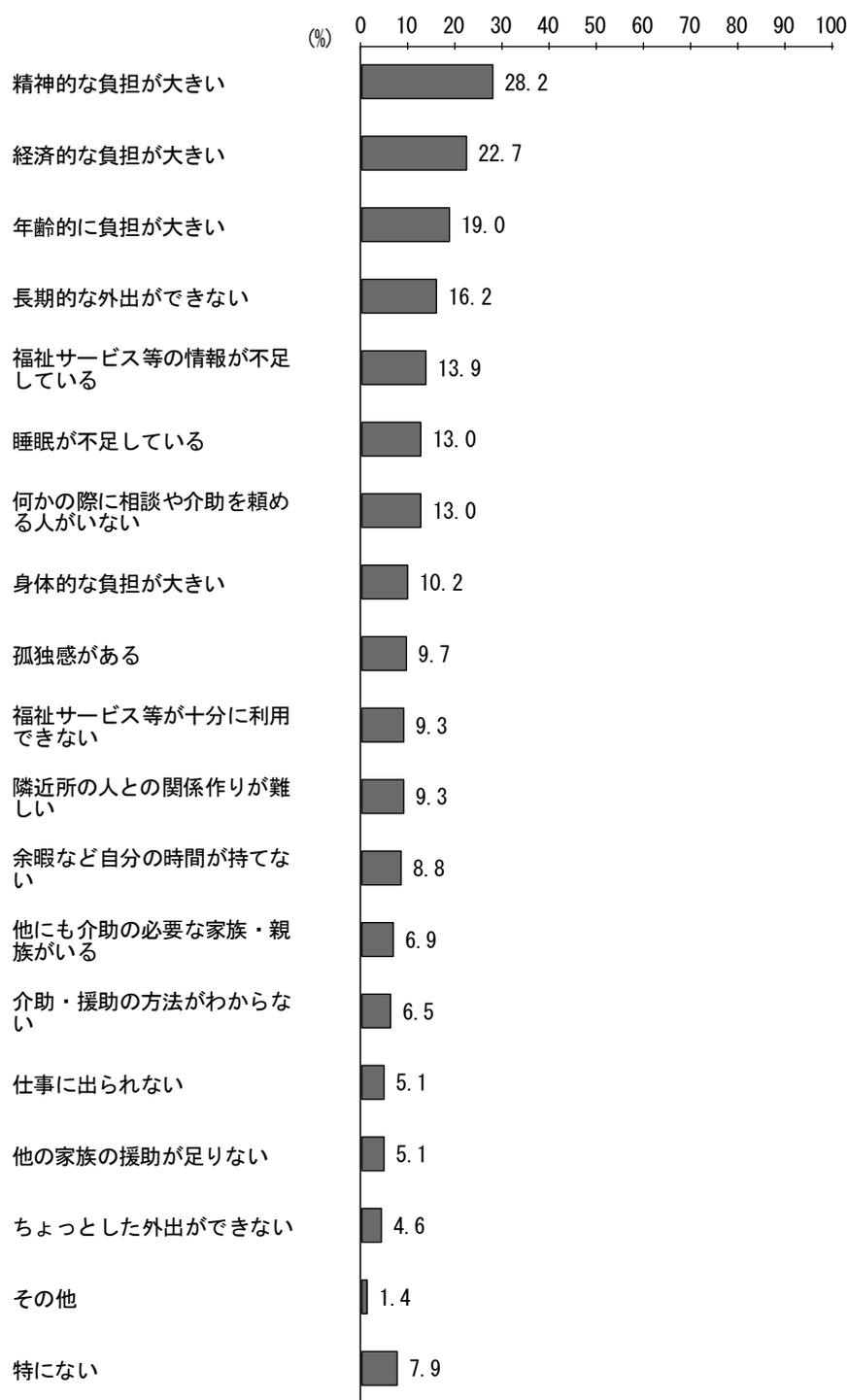
※無回答は省略

精神障害者では、「精神的な負担が大きい」が28.2%と最も多く、次いで「経済的な負担が大きい」(22.7%)、「年齢的に負担が大きい」(19.0%)、「長期的な外出ができない」(16.2%)と続いている。

障害の程度別でみると、3級では、「経済的な負担が大きい」が最も多くなっている。

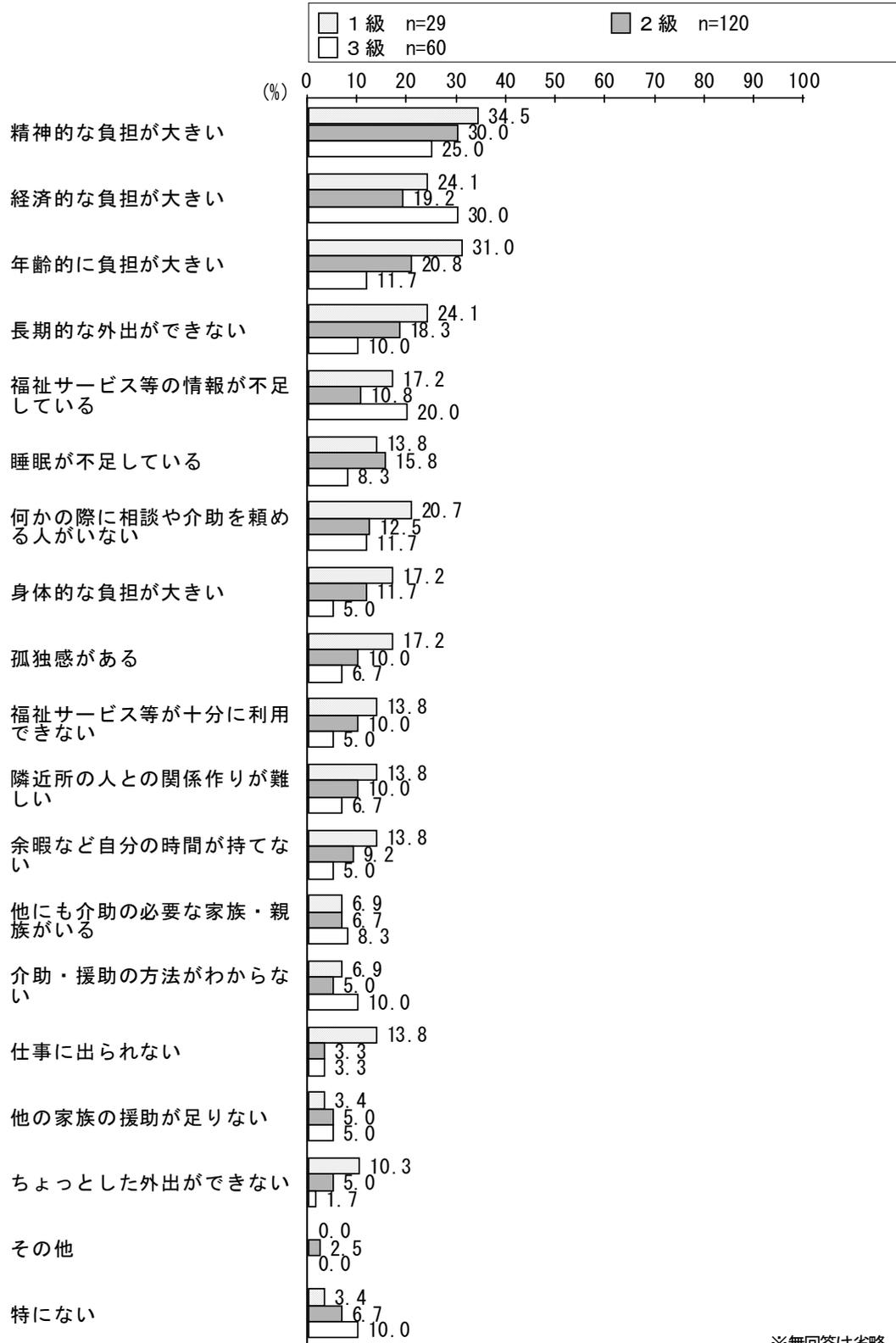
介助・援助者が困っていること【ベース:介助・援助を受けている人】

【精神障害者】全体 n=216



※無回答は省略

介助・援助者が困っていること【ベース: 介助・援助を受けている人】



※無回答は省略

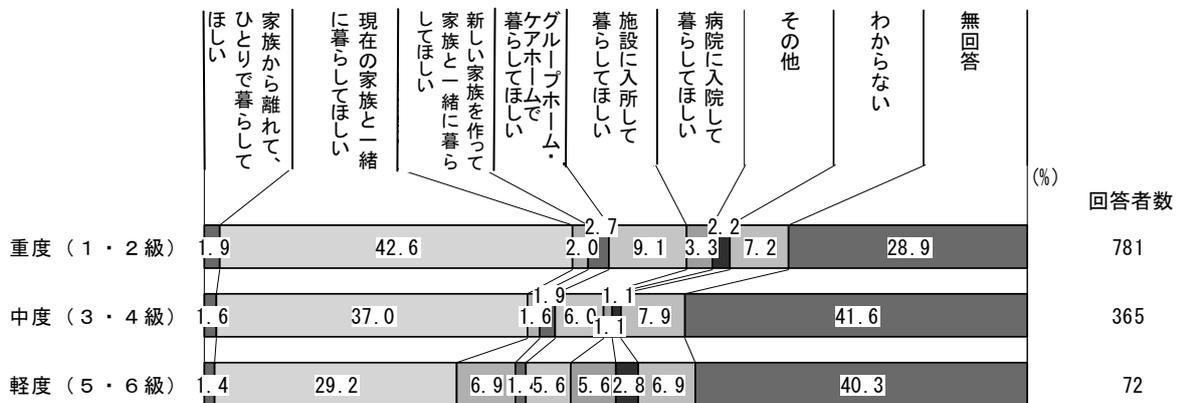
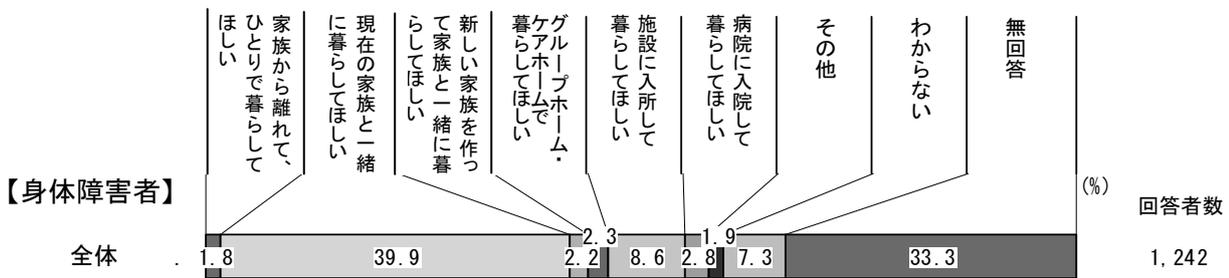
(2) 将来、本人に暮らしてほしい場所

介助・援助者が本人に将来、どのように暮らしてほしいかを聞いたところ、「現在の家族と一緒に暮らしてほしい」が身体障害者では 39.9%、知的障害者では 27.7%、精神障害者では 28.2%となっている。

身体障害者では、「現在の家族と一緒に暮らしてほしい」が 39.9%と最も多く、次いで「施設に入所して暮らしてほしい」(8.6%)である。

障害の程度別でみると、障害の程度が重いほど、「現在の家族と一緒に暮らしてほしい」と「施設に入所して暮らしてほしい」が多くなる傾向がみられる。

介助・援助者から本人の将来の居住場所について【ベース: 介助・援助を受けている人】



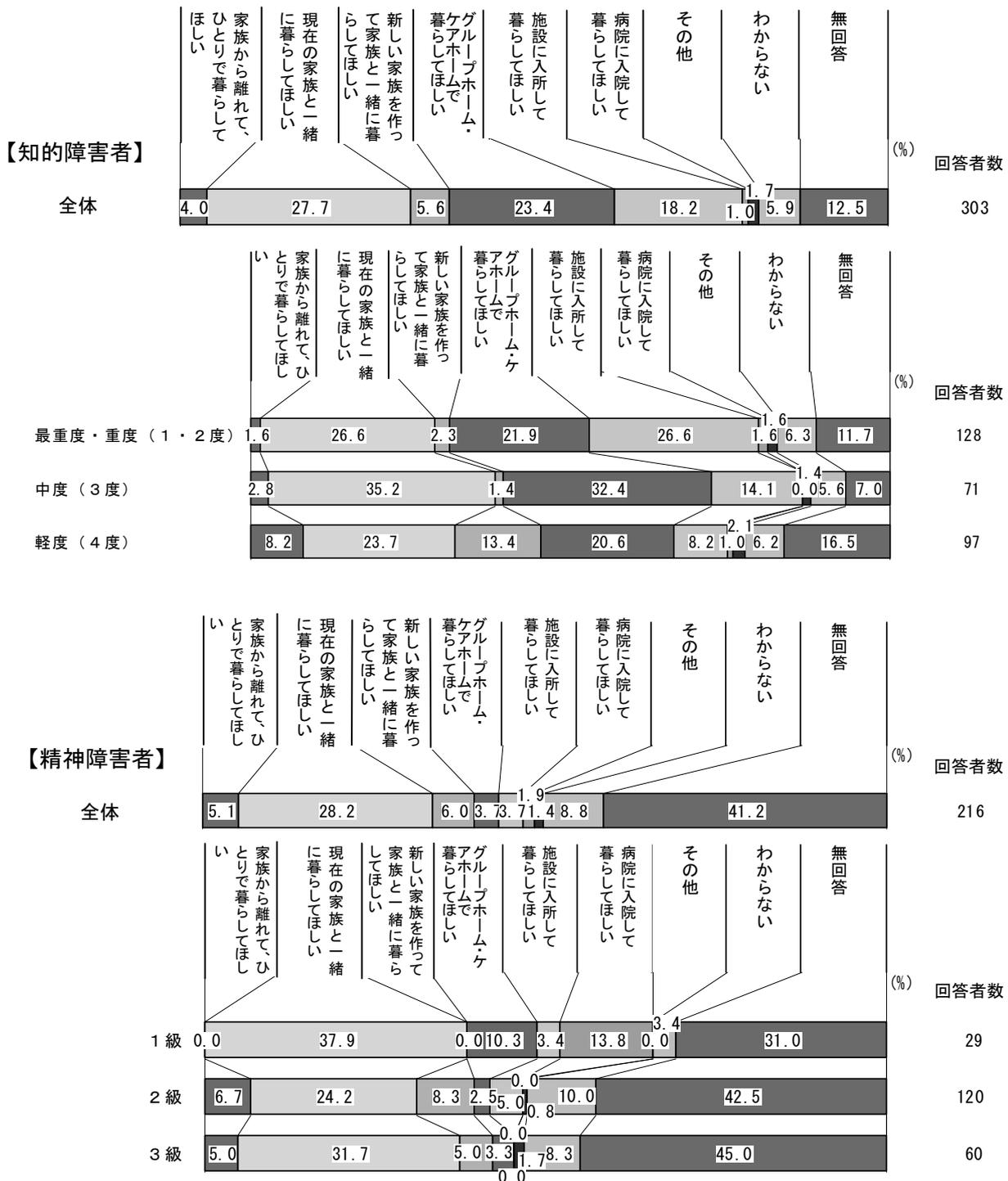
知的障害者では、「現在の家族と一緒に暮らしてほしい」が27.7%と最も多く、次いで「グループホーム・ケアホームで暮らしてほしい」(23.4%)、「施設に入所して暮らしてほしい」(18.2%)である。

障害の程度別でみると、障害の程度が重いほど、「施設に入所して暮らしてほしい」が多く、特に最重度・重度(1・2度)では「現在の家族と一緒に暮らしてほしい」と同程度である。

精神障害者では、「現在の家族と一緒に暮らしてほしい」が28.2%と最も多く、次いで「わからない」(8.8%)である。

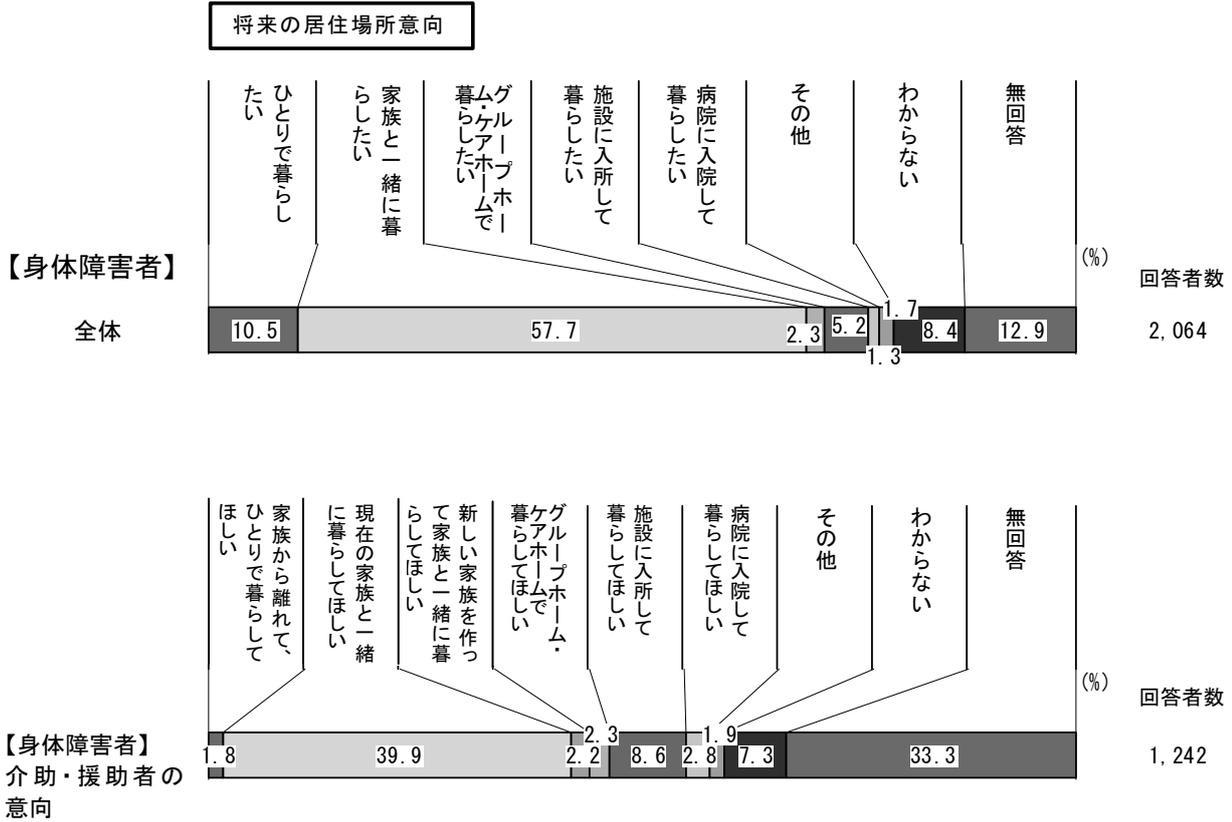
障害の程度別でみると、1級では「病院に入院して暮らしてほしい」がやや多い。

介助・援助者から本人の将来の居住地について【ベース:介助・援助を受けている人】



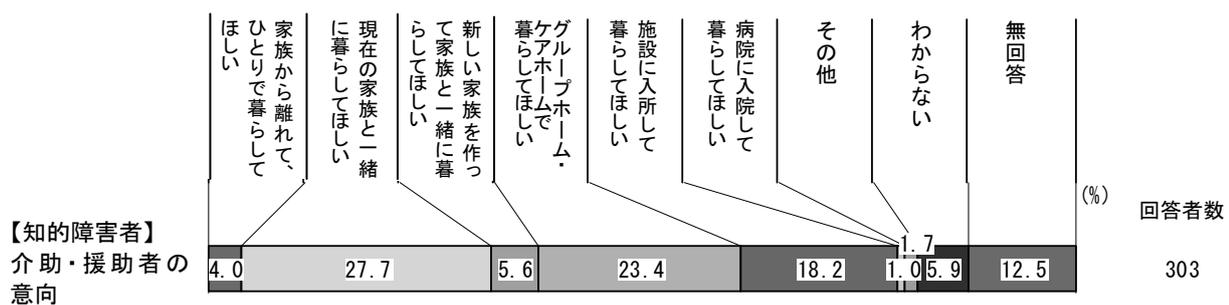
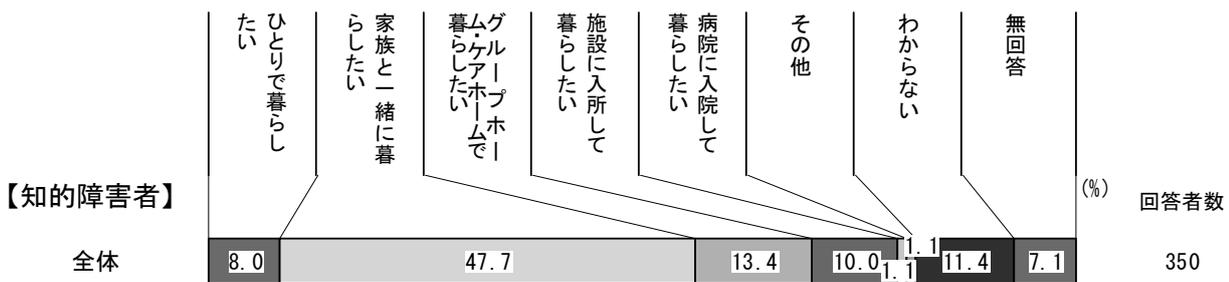
本人の意向と、介助者の意向との比較

身体障害者では、将来の居住場所についての意向を、本人と介助・援助者で比較すると、「家族と一緒に」が本人は57.7%に対し、介助・援助者では、「現在の家族と」が39.9%、「新しい家族と」が2.2%である。「ひとりで暮らす」ことについては本人は10.5%に対し、介助・援助者では1.8%と低い一方、「施設に入所」は本人は5.2%に対し、介助・援助者では8.6%である。



知的障害者では、将来の居住場所についての意向を、本人と介助・援助者で比較すると、「家族と一緒に暮らしたい」が本人は47.7%に対し、介助・援助者では、「現在の家族と暮らしてほしい」が27.7%、「新しい家族を作って一緒に暮らしてほしい」が5.6%である。「施設に入所」は本人意向10.0%に対し、介助・援助者では18.2%である。

将来の居住場所意向

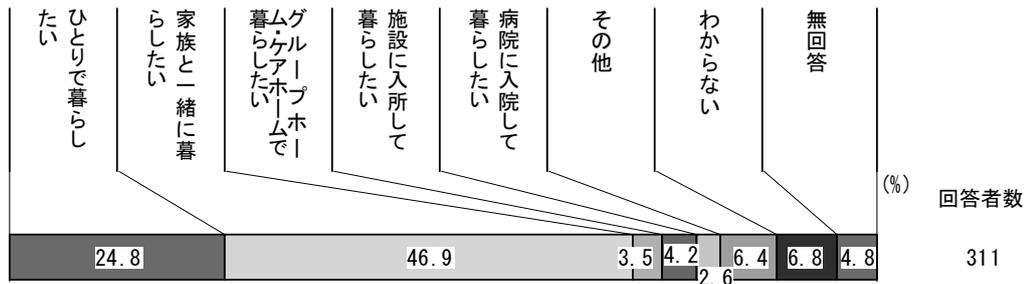


精神障害者では、将来の居住場所についての意向を、本人と介助・援助者で比較すると、「家族と一緒に暮らしたい」が本人は 46.9%に対し、介助・援助者では、「現在の家族と暮らしてほしい」が 28.2%、「新しい家族を作って一緒に暮らしてほしい」が 6.0%である。「ひとりで暮らしたい」は本人は 24.8%に対し、介助・援助者では 5.1%と低い。

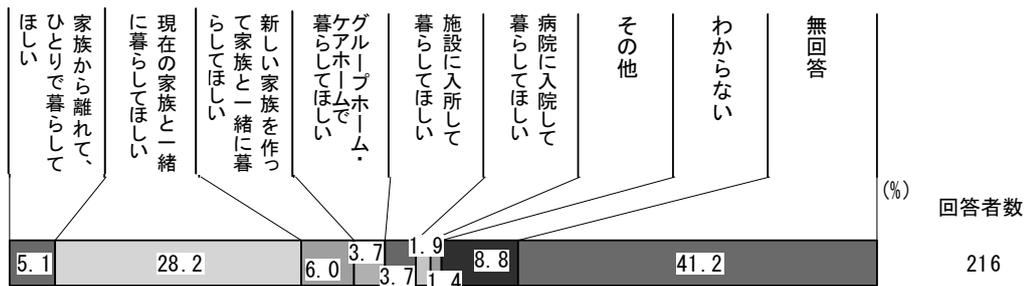
将来の居住場所意向

【精神障害者】

全体



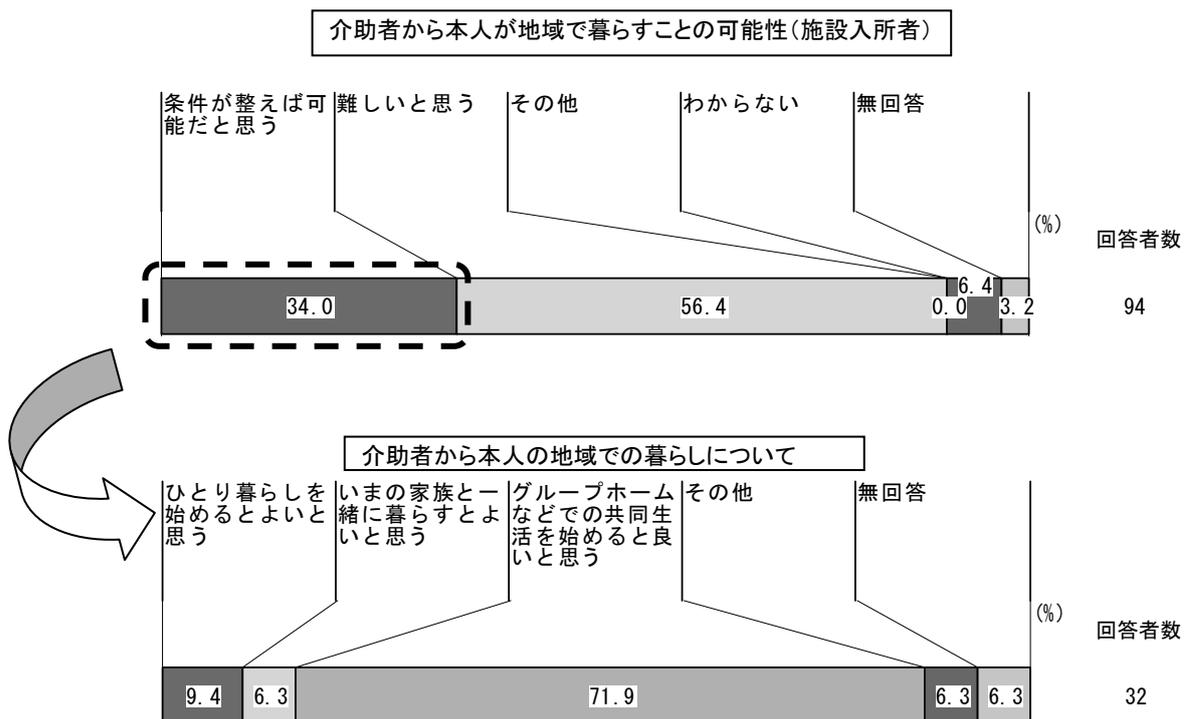
【精神障害者】
介助・援助者の意向



(3) 地域で暮らすことの可能性（施設入所者のみ）

介助・援助者が本人に将来、どのように暮らしてほしいかを聞いたところ、施設入所者では、「条件が整えば地域で暮らすことが可能」は34.0%、「難しいと思う」が56.4%である。

「条件が整えば(地域で暮らすことが)可能だと思う」方の、地域での暮らし方としては、「グループホームなどでの共同生活を始めると良いと思う」が71.9%と多数を占めている。

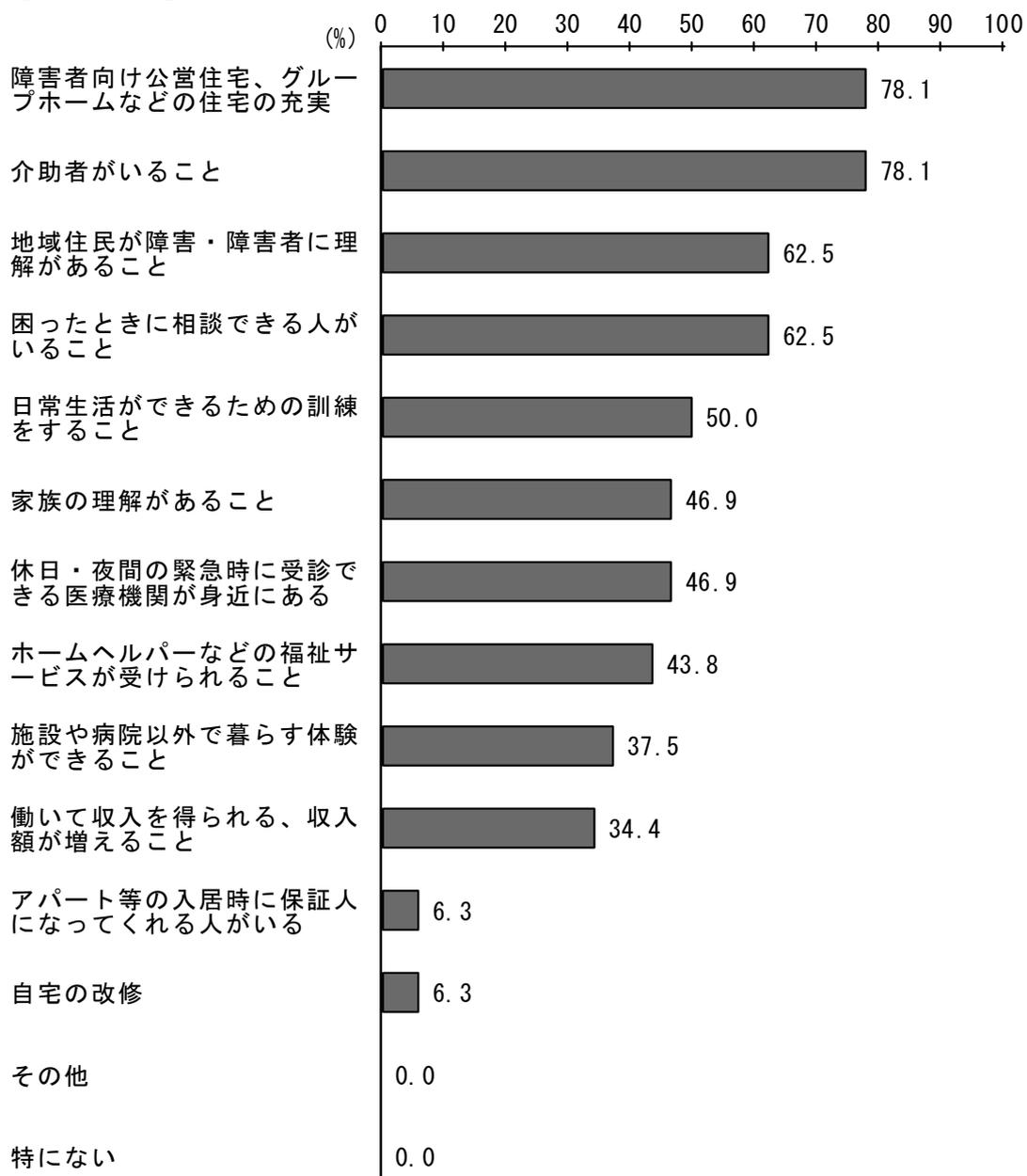


(4) 地域で暮らすための支援や環境（施設入所者のみ）（複数回答）

「条件が整えば、施設を出て、地域で暮らすことが可能」と回答した介助・援助者に、地域で暮らすことを可能にするための支援や環境として必要なことを聞いたところ、地域で暮らすまでの課題としては、「障害者向け公営住宅、グループホーム、ケアホーム等の住宅の充実」、「介助者がいること」が78.1%とともに最も高く、次いで「地域住民が障害・障害者に理解があること」、「困ったときに相談できる人がいること」（ともに62.5%）と高くなっている。

地域で暮らすために必要な支援・環境【ベース:本人が地域で暮らすことが可能】

【施設入所者】 全体 n=32



※無回答は省略

施設入所者について、「今後、施設を出て、地域で暮らすことが難しいと思う」理由(問33)(自由回答)としては、

- ・ 障害が重複しており、支援の専門性が必要となるから
- ・ 障害の程度や病気を考えるとむずかしい
- ・ 常に支援者がいなければ生活を送ることが困難
- ・ 高齢の為、また本人はそれを望んでいないように思われる
- ・ 本人の生活能力や家族意見からすると、施設で過ごすことが望ましいと思う

といった意見があげられている。

(5) 介助・援助者の意向（自由回答）

主な意見は、次のとおりである。

【身体障害者】

- ・訪問による相談支援を充実してほしい。
- ・土日の相談先を確保してほしい。
- ・障害に応じた資料提供(点字等)をしてほしい。
- ・福祉情報を総合的に、インターネットで案内・紹介してくれるシステムを整備してほしい。
- ・福祉タクシー券や福祉手当を拡充してほしい。
- ・リハビリサービスを、質・量ともに充実させてほしい。
- ・障害種別に応じたサービスを充実させてほしい。
- ・配食サービスを充実させてほしい。
- ・ショートステイ(医療的ケアも可能)を充実させてほしい。
- ・必要ときにヘルパーが駆けつけてきてほしい。
- ・特別支援学級を、より細かく障害別に分けてほしい。
- ・障害理解が進むような取り組みを充実させてほしい。
- ・介助をしている家族にも経済的支援をしてほしい。
- ・サービス利用の際、自己負担金を軽減してほしい。
- ・障害者用老人ホームを開設してほしい。
- ・施設における食事メニューを充実させてほしい。
- ・家族がいる方は家族がもう少し支援をするべき。
- ・アンケートは障害別ではなく、世代別にわけて実施したほうがよい。

【知的障害者】

- ・施設サービスを充実させてほしい。
- ・施設への通所に移動支援を認めてほしい。
- ・緊急一時保護事業を充実してほしい。
- ・社会全体で障害児をサポートしてほしい。
- ・社会全体で障害者を見守る環境をつくってほしい。
- ・軽度知的障害児が、もっと普通学級に通級できるようにしてほしい。
- ・全ての小中学校に特別支援学級を設置してほしい。
- ・家族と一緒に暮らし続けることが、障害者にとって幸福であるとは必ずしも考えない。

【精神障害者】

- ・訪問相談支援を充実してほしい。
- ・入所施設を増やしてほしい。
- ・身体・知的障害と同じ水準のサービスを提供してほしい。
- ・家族支援を充実してほしい。

- ・サービス利用の際、自己負担金を軽減してほしい。
- ・アンケート内容を平易にしてほしい。
- ・障害者という認識がない方もいるので、アンケートは慎重に行ってほしい。

【施設入所者】

- ・もっと福祉サービスなどの社会資源の情報提供をしてほしい。
- ・福祉サービスなど社会資源をもっと充実させてほしい。
- ・高齢者施策としての障害者施策を充実してほしい。
- ・「なにが差別か」を明確にしてほしい。
- ・地域全体でのバリアフリーを拡充してほしい。
- ・小規模事業所でも運営できるような報酬体系にしてほしい。

Ⅲ 資料編

1 調査票

あなたの声をお聞かせください

一 障害のある方へのアンケートへのご協力のお願い

日頃より、練馬区の健康福祉行政の推進につきまして、ご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

練馬区では、障害のある方々の施策を総合的かつ計画的に推進していくため、次期練馬区障害者計画の策定を進めております。（現計画書は、区役所障害者施策推進課および図書館、区民センター、区ホームページで閲覧できます。） これら計画の策定にあたっては、障害のある方々の日常生活の状況、将来への希望、考え方等をお聞かせいただき、皆様の意見を反映させることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施することとしました。

この調査は、区内にお住まいの身体障害者手帳をお持ちの方を対象としています。なお、調査は無記名であり、結果については統計的に処理しますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この区民アンケート調査の趣旨をご理解いただき、日頃お考えになっていることを、ありのままにお答えくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

練馬区

《 ご記入にあたって 》

- 1 このアンケートおよび返信用封筒には、お名前を書く必要はありません。
- 2 このアンケートは、封筒のあて名のご本人に記入していただくものです。ただし、ご本人が記入することが困難な場合には、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら記入していただきますようお願いいたします。
- 3 お答えは、平成22年6月1日現在の状況を記入してください。
- 4 お答えは、あてはまる項目の番号に○をつけていただくものです。なお、「その他」の場合は（ ）の中にその具体的な内容も記入してください。
- 5 お答えは、「1つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくもの、また、自由に記入いただくものがあります。
- 6 質問によっては、ある条件にあてはまる方だけにお答えをお願いするものがありますので、説明に当たってお答えください。
- 7 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。

ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、**6月18日(金)までに**、同封の返信用封筒により、区役所障害者施策推進課へ返送願います。

なお、このアンケートについてわからない点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

練馬区 健康福祉事業本部 福祉部 障害者施策推進課
 担当：斎藤、渡辺
 電話：03-3993-1111（代表） 内線6371
 03-5984-4602（直通）
 FAX：03-5984-1215

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。

性別	1 男性	2 女性
年齢	[] 歳	

問2 あなたがお住まいのエリアはどちらですか。ご住所の郵便番号（最初の3桁）をお選びください。（○は1つ）

1 練馬 (〒176-)	2 石神井 (〒177-)	3 大泉 (〒178-)	4 光が丘 (〒179-)
--------------	---------------	--------------	---------------

問3 この調査票はどなたが記入されましたか。（○は1つ）

1 本人が自分一人で記入	3 本人の意向を考えながら家族や介助者が記入
2 本人に聞いて家族や介助者が代筆	

問4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は1つ）

1 自分の持ち家（購入マンションも含む）	5 グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム
2 親など家族の持ち家（購入マンションも含む）	6 社宅、会社の寮
3 公営住宅	7 福祉施設
4 アパート、賃貸マンション、借家	8 病院に入院している
	9 その他（ ）

問5 現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1 自分一人だけで暮らしている	5 祖父、祖母
2 配偶者（夫または妻）	6 兄弟、姉妹
3 息子、娘（息子または娘の配偶者も含む）	7 福祉施設の職員や仲間
4 父、母	8 その他（ ）

問6 「身体障害者手帳」に記載された障害の程度をお答えください。（○は1つ）

1 1級	2 2級	3 3級	4 4級	5 5級	6 6級
------	------	------	------	------	------

問7 身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。あてはまる障害の番号を「1番目」の欄に記載してください。障害の種類が2つ以上記載されている場合は、記載の順番にしたがって「1番目」と「2番目」を記入してください。

1番目	<ol style="list-style-type: none"> 1 視覚障害 2 聴覚障害 3 平衡機能障害 4 音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害 5 肢体不自由（上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害） 6 肢体不自由（体幹） 7 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害 8 その他（ ）
2番目	

問8 身体障害者手帳をはじめ取得されたのは何歳の頃ですか。

年齢

歳ころ

問9 あなたは、障害者自立支援法に基づく介護給付を受けるために「障害程度区分（6段階）」の認定を受けたことがありますか。ある場合は、区分にも○をつけてください。（○は1つ）

1	ない						
2	ある	→ (区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6)

問10 あなたは、以下の手帳をお持ちですか。お持ちの方は等級にも○をつけてください。（○はいくつでも）

1	愛の手帳	→ (1度	2度	3度	4度)
2	精神障害者保健福祉手帳	→ (1級	2級	3級)	
3	これらの手帳は持っていない				

問11 あなたは、次のように診断されたことはありませんか。（○はいくつでも）

1	発達障害と診断されたことがある	4	難病（特定疾患以外）と診断されたこと
2	高次脳機能障害と診断されたことがある		がある
3	難病（特定疾患）と診断されたことがある	5	特にない

■ 介護・援助の状況について

問12 ふだん、あなたを主に介護・援助しているのはどなたですか。（○はいくつでも）

1	特に介護・援助を受けていない	→ 問15にお進みください	
2	配偶者（夫または妻）	7	行政の職員（ワーカー・保健師等）
3	父、母	8	病院の職員（看護師等）
4	息子、娘（息子、娘の配偶者も含む）	9	施設の職員
5	祖父、祖母	10	ホームヘルパー
6	兄弟、姉妹	11	その他（)

最も長く介護・援助している人はどなたですか。

⇨

（選択肢番号を記入）

【問13、問14は、現在、介護・援助を受けている方のみにおたずねします。】

問13 どのようなときに介護・援助を受けていますか。（○はいくつでも）

1	食事をするとき	7	外出するとき
2	トイレのとき	8	服薬するとき
3	入浴するとき	9	生命維持に関わる特別な介助のとき
4	衣服の着脱をするとき	10	他の人と意思疎通を図りたいとき
5	家の中の移動をするとき	11	金銭管理をするとき
6	家事（調理、掃除、洗濯）をするとき	12	その他（)

問14 あなたを主に介護・援助している方が、病気のときや、病気のときや、外出しなくてはならないときなどは、あなたはどのようにしてほしいと思いますか。（○はいくつでも）

1	同居している他の家族に頼みたい
2	同居していない家族や親せきに頼みたい
3	介護や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用したい
4	施設への短期入所（ショートステイ）を利用したい
5	近所の人や友人・知人に頼みたい
6	ボランティアに頼みたい
7	今までそのようなことはなかったもので、よくわからない
8	その他（)

【すべての方におたずねします。】

問15 あなたは、ふだんの生活の中で、必要とする介護・援助を受けていると思いますか。（○は1つ）

1	特に、介護・援助を必要としていない
2	必要とする介護・援助は受けられていると思う
3	必要だが、受けられていない介護・援助がある →問16にお進みください
4	その他（)

【必要とする介護・援助を受けられていない方におたずねします。】

問16 必要だが受けられていない介護・援助は、どのような内容ですか。（自由記入）

--

■ 日中の過ごし方について

【すべての方におたずねします。】

問17 あなたは、平日の昼間、主にどこで（何をして）過ごしていますか。（○は1つ）

1	幼稚園や保育園、学校などに通っている
2	働いている（授産施設・福祉作業所なども含む）
3	病院・施設などで看護・介護・訓練を受けている
4	障害者地域生活支援センターに通っている
5	自宅に多くの人がいる
6	その他（)

■ 教育について

【問 18～問 19 は現在、「幼稚園や保育園、学校などに通っている」方におたずねします。】

問 18 通園・通学先はどこですか。(○は1つ)

1 幼稚園	4 特別支援学校	7 職業訓練校
2 保育園	5 特別支援学級	8 専門学校・大学
3 通園施設	6 通常の学級	9 その他 ()

問 19 幼稚園・学校などに通っていていってもっと充実してほしいことはありますか。(○はいくつでも)

1 通いやすくしくしてほしい (通学手段の改善など)
2 施設・設備などを充実させてほしい
3 介助体制を充実させてほしい
4 先生・生徒の理解などが深まってほしい
5 放課後の居場所づくりを充実させてほしい
6 夏休みなど長期休みの際の取組みを充実させてほしい
7 その他 ()
8 特に困っていることはない

■ 雇用・就労について

【問 20～問 23 は現在、「働いている (福祉作業所・授産施設なども含む)」方におたずねします。】

問 20 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

1 自営業	5 内職
2 家業の手伝い	6 福祉作業所 (共同作業所)、授産施設など
3 会社・団体等の正規の職員、役員	7 その他 ()
4 臨時、日雇い、パート、嘱託等	

問 21 あなたの職場はどこにありますか。(○は1つ)

1 練馬区内	2 東京都内	3 東京都外
--------	--------	--------

問 22 仕事をして得た収入は1年にどれくらいですか。(給与・賞金など) (○は1つ)

1 5万円未満	5 100万円～400万円未満
2 5万円～20万円未満	6 400万円～700万円未満
3 20万円～50万円未満	7 700万円以上
4 50万円～100万円未満	8 収入はない

問 23 仕事をすると不安や不満がありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 収入が少ない	8 職場での身分が不安定
2 仕事が難しい	9 トイレなど障害者用の設備が十分でない
3 仕事がきつい	10 昇給や昇進が平等ではない
4 自分にあつた内容の仕事がない	11 通勤が大変
5 1日の就労時間が長い	12 その他 ()
6 週あたりの就労日数が多い	13 特に不安や不満はない
7 職場の人間関係が難しい	

【問 24～問 26 は、現在、働いていない方のみにおたずねします。】

問 24 今後、働いてみたいと思いますか。(○は1つ)

1 働きたい	} 問 25 ～	3 働きたくない
2 働きたいが、働けないと思う		4 わからない

問 25 「働いてみたい」と思う仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

1 自営業	5 内職
2 家業の手伝い	6 福祉作業所 (共同作業所)、授産施設など
3 会社・団体等の正規の職員、役員	7 その他 ()
4 臨時、日雇い、パート、嘱託等	

問 26 「働きたいが、働けないと思う」理由は何ですか。(自由記入)

--

【すべての方におたずねします。】

問 27 あなたは、障害のある方が働くためにはどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 自分の家の近くに働く場があること
2 自分の家の中で、通勤することなく働けること
3 健康状態にあわせた働き方ができること
4 障害のある人に適した仕事が開発されること
5 就労支援および社会生活上必要な生活支援を行う機関が充実していること
6 事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること
7 職場の施設や設備が障害のある人にも利用できるように配慮されていること
8 ジョブコーチの支援を受けながら働けること
9 同じような障害のある仲間と一緒に、あるいは交替で働けること
10 その他 ()
11 わからない

※ジョブコーチ：企業就労や企業で働き続けるために、障害者と企業との間に入って支援する人

■ 外出や社会参加の状況について

問 28 あなたは、どのくらい外出しますか。通園、通学、通勤、通院、買い物、日常の散歩等すべてを含めてお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------|---|-----------|
| 1 | 週に5日以上 | 4 | 月に2～3日 |
| 2 | 週に3～4日 | 5 | ほとんど外出しない |
| 3 | 週に1～2日 | 6 | その他() |

問 29 外出の際に困っていることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけください。(○はいくつでも)

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | 付添ってくれる人がいない |
| 2 | 他人との会話が難しい |
| 3 | 他人の視線が気になる |
| 4 | 必要なときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない |
| 5 | 歩道が狭く、道路に段差が多い |
| 6 | 道路に放置自転車などの障害物が多く、歩きにくい |
| 7 | 建物などに階段が多く、利用しにくい |
| 8 | 車を駐車するところがない |
| 9 | 気軽に利用できる移送手段が少ない(ハンディキャブ、福祉タクシー等) |
| 10 | 電車やバスなどの交通機関を利用しづらい |
| 11 | 障害者用のトイレが少ない |
| 12 | その他() |
| 13 | 困っていることは特にない |

問 30 あなたは、ここ1年間くらいの間に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------|----|--------------|
| 1 | スポーツやレクリエーション | 6 | 趣味などのサークル活動 |
| 2 | 旅行 | 7 | 講座や講演会などへの参加 |
| 3 | 買い物 | 8 | 地域の行事やお祭 |
| 4 | ボランティア活動 | 9 | その他() |
| 5 | 障害者団体の活動 | 10 | 特に何もしていない |

問 31 あなたは、これからのどのような活動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------|----|--------------|
| 1 | スポーツやレクリエーション | 6 | 趣味などのサークル活動 |
| 2 | 旅行 | 7 | 講座や講演会などへの参加 |
| 3 | 買い物 | 8 | 地域の行事やお祭 |
| 4 | ボランティア活動 | 9 | その他() |
| 5 | 障害者団体の活動 | 10 | 特に活動したくない |

問 32 あなたは、問 31 のような活動に参加するためにはどのような支援が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|--------------------|----|-----------------------|
| 1 | 活動についての情報が提供されること | 6 | 適切な指導者がいること |
| 2 | 一緒に行く仲間がいること | 7 | 障害のある人に配慮した施設や設備があること |
| 3 | 活動する場所が近くにあること | 8 | 介助者・援助者がいること |
| 4 | 外出のための手段が確保されていること | 9 | その他() |
| 5 | 魅力的な内容であること | 10 | 特にない |

問 33 ご近所々のおつきあいは、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-------------|---|-------------|
| 1 | 積極的にやっている | 3 | あいさつ程度はしている |
| 2 | 必要に応じて行っている | 4 | ほとんど行っていない |

■ 健康状況や医療について

問 34 あなたは過去1年間に健康診断(健康診査)を受けましたか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-----|---|-----------------------|
| 1 | 受けた | 2 | 受けていない →問 35 にお進みください |
|---|-----|---|-----------------------|

問 35 あなたが健康診断(健康診査)を受けなかった、受けられなかった理由は、次のうちどれにあてはまりますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 忙しくて受ける暇がないから |
| 2 | 日曜・休日・平日夜間などに受けられる場所がないから |
| 3 | 健康診断(健康診査)が受けられる医療機関を知らないから |
| 4 | 障害のため外出するのが難しいから |
| 5 | 介助者に負担がかかるから |
| 6 | 期日を忘れた・気がつかなかったから |
| 7 | 現在、通院しているから |
| 8 | 自分には必要ないから |
| 9 | その他() |

問 36 健康管理や医療について、困ったり不便に思ったことはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 特に、困ったことはない |
| 2 | 近所に診てくれる医師がいない |
| 3 | 専門的な治療を行う医療機関がない |
| 4 | 通院や健康診断のときに付き添いがいない |
| 5 | 往診を頼める医者がいない |
| 6 | 歯科診療を受けられない |
| 7 | 定期的に健康診断を受けられない |
| 8 | 障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない |
| 9 | 医療機関とのコミュニケーションがとれない |
| 10 | 受診手続きなど、障害のある人へ配慮が不十分 |
| 11 | 医療機関の建物が障害のある人に配慮した構造になっていない |
| 12 | 医療費の負担が大きい |
| 13 | その他() |

■ 相談や情報入手について

問 37 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------|----|-----------------|
| 1 | 総合福祉事務所の相談窓口 | 9 | 病院・診療所 |
| 2 | 保健相談所(保健師など) | 10 | 学校の先生や職場の仲間 |
| 3 | 障害者地域生活支援センター | 11 | 障害者団体 |
| 4 | 権利擁護センター | 12 | 友人・知人 |
| 5 | 民生委員・児童委員 | 13 | その他() |
| 6 | 身体障害者・知的障害者相談員 | 14 | 相談できるところはない |
| 7 | 児童相談所 | 15 | 誰かに相談することはまれである |
| 8 | 福祉施設の職員 | | |

問 38 あなたは、悩みごとや心配ごとを、家族や親せき以外に相談するためには、どのような体制が整っていると思いますか。(自由記入)

--

問 39 障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------|----|-----------|
| 1 | ねりま区報 | 7 | 民生委員・児童委員 |
| 2 | 区のホームページ | 8 | 障害者団体 |
| 3 | 総合福祉事務所・保健相談所 | 9 | 家族、親せき |
| 4 | 障害者地域生活支援センター | 10 | 友人、知人 |
| 5 | 学校、職場、施設 | 11 | その他() |
| 6 | 病院など | 12 | わからない |

問 40 障害福祉サービスの情報を十分に得るためには、区はどのようなことを充実すべきだと思いますか。(自由記入)

--

問 41 あなたは、5人だん周囲の方々とのコミュニケーションのために、どのような手段・機器等を利用していますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|-------------------------|----|------------------|
| 1 | パソコンのメール | 7 | 手話・手話通訳 |
| 2 | 携帯のメール | 8 | 読話 |
| 3 | 点字器 | 9 | 筆談・要約筆記 |
| 4 | 録音機器(視覚障害者用ポータブルレコーダー等) | 10 | 補聴機器(補聴器・人工内耳など) |
| 5 | 携帯用会話補助装置 | 11 | その他() |
| 6 | 活字文章読み上げ装置 | 12 | 特に利用している機器はない |

問 42 コミュニケーションや情報取得をするうえで、どのようなことを充実するとよいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 点字による情報提供を増やす |
| 2 | 音声による情報提供を増やす |
| 3 | パソコン・携帯メールによる情報提供を増やす |
| 4 | 手話通訳・要約筆記を充実させる |
| 5 | 公共施設の案内・誘導をわかりやすくする |
| 6 | コミュニケーション支援機器を充実させる |
| 7 | コミュニケーション支援機器の種類・使い方についての情報提供を増やす |
| 8 | その他() |
| 9 | 特にない |

■ 障害福祉サービスについて

【すべての方におたずねします。】

問 43 あなたは、ここ1年くらいの間に、次のサービスを利用したことがありますか。利用したことがあるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----|------------------------------|
| 1 | ホームヘルプなどの訪問系サービス |
| 2 | 短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護 |
| 3 | 補装具の支給・修理 |
| 4 | 日常生活用具の給付 |
| 5 | 住宅設備改善費の給付 |
| 6 | タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成 |
| 7 | 移動支援 |
| 8 | 訪問入浴サービス |
| 9 | 福祉作業所(共同作業所)・福祉園などの日中活動系サービス |
| 10 | グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス |
| 11 | 児童デイサービス・日中一時支援・幼児教室など |
| 12 | 手話通訳者・要約筆記者の派遣 |
| 13 | その他() |
| 14 | 1～12のようサービスは利用したことはない |

※グループホーム・ケアホーム：夜間や休日に、身辺の介護、相談や日常生活の援助等を受けながら、共同生活を行う住居

問 44 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは、新たに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----|----------------------------|
| 1 | ホームヘルプなどの訪問系サービス |
| 2 | 短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護 |
| 3 | 補装具の支給・修理 |
| 4 | 日常生活用具の給付 |
| 5 | 住宅設備改善費の給付 |
| 6 | タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成 |
| 7 | 移動支援 |
| 8 | 訪問入浴サービス |
| 9 | 作業所(共同作業所)・福祉園などの日中活動系サービス |
| 10 | グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス |
| 11 | 児童デイサービス・日中一時支援・幼児教室など |
| 12 | 手話通訳者・要約筆記者の派遣 |
| 13 | その他() |
| 14 | 1～12の中に利用したいサービスはない |

問 45 あなたは、現在、必要だと思うサービスを、十分利用できていると思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|----------------------|---|---------------------|
| 1 | 十分、利用できていると思う | 4 | その他() |
| 2 | 十分ではないが、ほぼ利用できていると思う | 5 | わからない |
| 3 | あまり、利用できていないと思う | 6 | 今のところサービスを利用する必要がない |

【問 46 は、サービスを、あまり、利用できていないと思う方のみにおたずねします。】

問 46 必要だと思うサービスを、あまり、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------------|---|---------------|
| 1 | 自己負担が大きく、利用できないから | 5 | 利用の仕方がわからないから |
| 2 | 支給要件に該当しないから | 6 | 対応できる事業者がないから |
| 3 | 必要とするサービスがないから | 7 | その他() |
| 4 | どのようなサービスがあるかわからないから | 8 | わからない |

【すべての方におたずねします。】

問 47 サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。
(自由記入)

--

■ 将来について

問 48 今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|--|
| 1 | 自宅で過ごしたい |
| 2 | 一般企業などで働きたい |
| 3 | 福祉作業所(共同作業所)などで働きたい(福祉的就労) |
| 4 | 就労のための訓練・支援を受け(就労移行支援)、企業就労を目指したい |
| 5 | 自立した日常生活ができるよう、自立訓練・生活訓練などを受けて過ごしたい |
| 6 | 医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の支援などを受けながら過ごしたい |
| 7 | 福祉園などの通所施設で、身辺の介護などを受けながら、さまざまな活動を行いたい |
| 8 | 学校に通いたい |
| 9 | その他() |
| 10 | わからない |

問 49 将来(今後)、あなたはどこで暮らしたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|---------------------|---|--------------|
| 1 | ひとりで暮らしたい | 5 | 病院に入院して暮らしたい |
| 2 | 家族と一緒に暮らしたい | 6 | その他() |
| 3 | グループホーム・ケアホームで暮らしたい | 7 | わからない |
| 4 | 施設に入所して暮らしたい | | |

問 50 今後も鎌馬区に住みつづけたしたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-------------|---|-------|
| 1 | 住みつづけたと思う | 3 | わからない |
| 2 | 住みつづけたと思わない | | |

■ 災害対策や消費者被害について

問 51 あなたは、地震や台風などの災害のときの避難場所を知っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-------|---|---------------------|
| 1 | 知っている | 2 | 知らない →問 53 にお進みください |
|---|-------|---|---------------------|

問 52 あなたはその避難場所まで自力で避難できますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|---------|---|--------|
| 1 | できると思う | 3 | その他() |
| 2 | できないと思う | | |

問 53 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 避難しやすい避難所を整備する
- 2 避難訓練等への参加ができるようにする
- 3 日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う
- 4 緊急通報システムを整備する
- 5 地域で助け合える体制を整備する
- 6 避難時の障害者用設備（トイレ、ベッドなど）を配置する
- 7 避難時の人工透析や在宅酸素など生命安全・維持装置を確保する
- 8 避難時において視覚障害者や聴覚障害者に配慮した情報提供を行う
- 9 避難時の介助人などを確保する
- 10 避難所での手話通訳者、ガイドヘルパーなどを確保する
- 11 避難所で補装具等の貸出しを行う
- 12 その他（ ）
- 13 特にない

問 54 あなたは、悪質な訪問販売（住宅リフォーム工事やふとん・呉服の販売）や振り込み込め詐欺などの消費者被害・トラブル等があったこと、あいそうになったことはありませんか。(○はいくつでも)

- 1 特に、被害・トラブルにあったことはない
- 2 不当に高額あるいは不必要な住宅リフォーム工事をされた（されそうになった）
- 3 訪問販売で、高額な商品（ふとん、呉服、栄養食品など）を買わされた（買わされそうになった）
- 4 支払い能力を超える多額のクレジット債務やサラ金債務を負担させられた（負担させられそうになった）
- 5 知らないあいだに借金に借金の保証人にされていた
- 6 振り込み詐欺にあった（あいそうになった）
- 7 その他（ ）

問 55 あなたは、被害・トラブルにあったとき、または、あいそうになったとき、どこに相談しましたか。(○はいくつでも)

- 1 総合福祉事務所の相談窓口
- 2 保健相談所（保健師など）
- 3 障害者地域生活支援センター
- 4 権利擁護センター
- 5 民生委員・児童委員
- 6 身体障害者・知的障害者相談員
- 7 児童相談所
- 8 福祉施設の職員
- 9 病院・診療所
- 10 学校の先生や職場の仲間
- 11 障害者団体
- 12 友人・知人
- 13 消費者センター
- 14 警察
- 15 その他（ ）
- 16 相談はしなかった

■ 差別や人権侵害について

問 56 障害があることで、差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

- 1 ほとんど感じることはない
- 2 たまに感じる
- 3 いつも感じる
- 4 わからない

問 57 具体的には、どのようなときに、差別や人権侵害を受けていると感じますか。(自由記入)

問 58 地域で暮らす上で、障害に対して理解を得られていると感じますか。(○は1つ)

- 1 理解を、十分得られていると感じる
- 2 理解を、時々得られていないと感じる
- 3 理解を、あまり得られていないと感じる
- 4 理解を、得られていないと感じる
- 5 わからない

問 59 具体的には、どのようなときに、理解を得られている、あるいは理解を得られていないと感じますか。(自由記入)

■ 障害者施策全般について

問 60 今後、障害者施策を進めていくうえで、充実してほしいと思う施策はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 障害の早期発見・早期療育に努めること
- 2 障害のある人となない人の交流を推進し、相互理解を深めること
- 3 障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること
- 4 障害のある人の働く場の確保や働き続けるための支援の充実を図ること
- 5 ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実させること
- 6 区内で利用できる施設を整備すること
- 7 障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること
- 8 障害のある人の住まいの場（公営住宅やグループホームなど）を整備すること
- 9 文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるような支援すること
- 10 障害のある当事者による活動を支援すること
- 11 ボランティア活動を充実させること
- 12 障害者施策や福祉に関する情報提供を充実させること
- 13 相談体制を充実させること
- 14 その他（ ）
- 15 特にない

このページは、ふだん、「宛名の方ご本人」を介助・援助している方のみお答えください。

■ 介助・援助者の意向 ■

問64 介助・援助をすすめるにあたって、困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|----|-------------------|----|---------------------|
| 1 | 介助・援助の方法がわからない | 11 | 孤独感がある |
| 2 | 福祉サービス等の情報が不足している | 12 | 精神的な負担が大きい |
| 3 | 福祉サービス等が十分に利用できない | 13 | 経済的な負担が大きい |
| 4 | 余暇など自分の時間が持てない | 14 | 他にも介助の必要な家族・親族がいる |
| 5 | ちよっととした外出ができない | 15 | 他の家族の援助が足りない |
| 6 | 仕事に出られない | 16 | 隣近所の人との関係作りが難しい |
| 7 | 長期的な外出ができない | 17 | 何かの際に相談や介助を頼める人がいない |
| 8 | 睡眠が不足している | 18 | その他 () |
| 9 | 身体的な負担が大きい | 19 | 特になし |
| 10 | 年齢的に負担が大きい | | |

問65 あなた(介助・援助者)は、「宛名の方ご本人」が将来(今後)、どこで暮らしてほしいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 現在一緒に暮らしている家族から離れて、ひとりで暮らしてほしい |
| 2 | 現在の家族と一緒に暮らしてほしい |
| 3 | 新しい家族を作って家族と一緒に暮らしてほしい |
| 4 | グループホーム・ケアホームで暮らしてほしい |
| 5 | 施設に入所して暮らしてほしい |
| 6 | 病院に入院して暮らしてほしい |
| 7 | その他 () |
| 8 | わからない |

最後に、障害者施策などについて、ご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて6月18日(金)までにご投函ください。

問61 あなたは「障害」という言葉について、どのように言葉に表記されるのが最もよいと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-----|---|------------------|
| 1 | 障害 | 4 | その他 () |
| 2 | 障がい | 5 | こだわりはない (どれでもよい) |
| 3 | 障害 | 6 | わからない |

問62 あなたが問61で、その表記を選んだ理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------|---|-----------------|
| 1 | 見慣れているから | 4 | 本来はそう書くべきだから |
| 2 | わかりやすいから | 5 | 表記だけ変えても意味がないから |
| 3 | 差別感や不快感を感じないから | 6 | その他 () |

最後に、この調査を通して、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望、計画に盛り込みたいことなどがありましたら、自由にお書きください。

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございます。「宛名の方ご本人」へのおたずねは以上です。同封の返信用封筒に入れて6月18日(金)までにご投函ください。なお、差し支えなければ、ふだん、あなたを主に介助・援助されている方のご意向(16ページ)もお聞かせください。

次ページは、
ふだん、「宛名の方ご本人」を介助・援助
している方へのおたずねです。



あなたの声をお聞かせください

－ 障害のある方へのアンケートへのご協力をお願い －

白旗より、練馬区の健康福祉行政の推進につきまして、ご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

練馬区では、障害のある方々の施策を総合的かつ計画的に推進していくため、次期練馬区障害者計画の策定を進めております。**（現計画書は、区役所障害者施策推進課および図書館、区民情報ひろば、区ホームページで閲覧できます。）** これら計画の策定にあたっては、障害のある方々の日常生活の状況、将来への希望、考え等をお聞かせいただき、皆様のご意見を反映させることが重要であると考へ、このたびアンケート調査を実施することとしました。この調査は、区内にお住まいの愛の手帳をお持ちの方々に対象としています。なお、調査はお名前を書く必要はなく、結果については統計的に処理しますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この区民アンケート調査の趣旨をご理解いただき、日頃お考えになっていることを、ありのままにお答えくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

練馬区
練馬区

《 ご記入にあたって 》

- このアンケートおよび返信用封筒には、お名前を書く必要はありません。
- このアンケートは、封筒のあて名のご本人に記入していただくものです。ただし、ご本人が記入することが困難な場合などには、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら記入していただきますようお願いいたします。
- お答えは、平成22年6月1日現在の状況を記入してください。
- お答えは、あてはまる項目の番号に○をつけていただくものです。なお、「その他」の場合は（ ）の中にその具体的な内容も記入してください。
- お答えは、「1つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくものと、また、自由に記入いただくものがあります。
- 質問によっては、ある条件にあてはまる方だけにお答えをお願いするものがありますので、説明したがつてお答えください。
- 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。

ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、**6月18日（金）までに、同封の返信用封筒**により、区役所障害者施策推進課へ返送願います。

なお、このアンケートについてわからない点がございますいたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

練馬区健康福祉事業本部 福祉部 障害者施策推進課 担当：斎藤、渡辺
電話：03-3993-1111（代表） 内線6371
FAX：03-5984-4602（直通）

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。

性別	1 男性	2 女性
年齢	[]	

問2 あなたがお住まいのエリアはどちらですか。ご住所の郵便番号（最初の3桁）をお選びください。（○は1つ）

1 練馬（〒176-）	2 神井（〒177-）	3 大泉（〒178-）	4 光が丘（〒179-）
-------------	-------------	-------------	--------------

問3 この調査票はどなたが記入されましたか。（○は1つ）

1 本人が自分ひとりで記入	3 本人の意向を考へながら記入
2 本人に聞いて家族や介助者が代筆	家族や介助者が記入

問4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は1つ）

1 自分の持ち家（購入マンションも含む）	5 グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム
2 親など家族の持ち家（購入マンションも含む）	6 社宅、会社の寮
3 公営住宅	7 福祉施設
4 アパート、賃貸マンション、借家	8 病院に入院している
	9 その他（ ）

問5 現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1 自分ひとりだけで暮らしている	5 おじいさん、おばあさん
2 夫または妻	6 きょうだい、しまい
3 子ども（むすこ、むすめ）	7 福祉施設の職員や仲間
4 おとうさん、おかあさん	8 その他（ ）

問6 「愛の手帳」に書かれている障害の程度をお答えください。（○は1つ）

1 1度	2 2度	3 3度	4 4度
------	------	------	------

問7 「愛の手帳」をはじめ取得されたのは何歳のころですか。

年齢	[]
歳ころ	[]

問8 あなたは、障害者自立支援法に基づき介護給付を受けるために「障害程度区分（6段階）」の認定を受けたことがありますか。ある場合は、区分にも○をつけてください。（○は1つ）

1 ない	2 ある →	（区分1）	（区分2）	（区分3）	（区分4）	（区分5）	（区分6）
------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

問9 あなたは、以下の手帳をお持ちですか。お持ちの方は等級には等級に○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 身体障害者手帳 → (1 級 2 級 3 級 4 級 5 級 6 級)
- 2 精神障害者保健福祉手帳 → (1 級 2 級 3 級)
- 3 これらの手帳は持っていない

【問10は、「身体障害者手帳」をお持ちの方のみにおたずねします。】

問10 「身体障害者手帳」に記載されている障害は次のどれですか。あてはまる障害の番号を「1番目」の欄に記載してください。障害の種類が2つ以上記載されている場合は、記載の順番にしたがって「1番目」と「2番目」を記入してください。

- 1 視覚障害
- 2 聴覚障害
- 3 平衡機能障害
- 4 音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害
- 5 肢体不自由 (上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害)
- 6 肢体不自由 (体幹)
- 7 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害
- 8 その他 ()

1番目

2番目

問11 あなたは、次のように診断されたことはありませんか。(○はいくつでも)

- 1 発達障害 (広汎性発達障害、ADHD、LD など) と診断されたことがある
- 2 高次脳機能障害と診断されたことがある
- 3 難病 (特定疾患) と診断されたことがある
- 4 難病 (特定疾患以外) と診断されたことがある
- 5 特にない

問12 ふだん、あなたを主に手助けしている人はどなたですか。(○はいくつでも)

- 1 特に介助・援助は受けていない → 問15にお進みください
- 2 夫または妻
- 3 子ども (むすこ、むすめ)
- 4 おとうさん、おかあさん
- 5 おじいさん、おばあさん
- 6 きょうだい、しまい
- 7 行政の職員 (ワーカー・保健師等)
- 8 病院の職員 (看護師など)
- 9 施設の職員
- 10 ホームヘルパー
- 11 その他 ()

最も長く手助けしている人はどなたですか。

(選択肢番号を記入)

【問13、問14は、現在、手助けをしてもらっている方のみにおたずねします。】

問13 どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

- 1 食事をするとき
- 2 外へ出かけるとき
- 3 トイレのとき
- 4 薬をのむとき
- 5 お風呂にはいるとき
- 6 生命維持に関わる特別な介助のとき
- 7 着替えをするとき
- 8 他の人とコミュニケーションをとりたいたいとき
- 9 家の中の移動をするとき
- 10 家事 (調理、掃除、洗濯) をするとき
- 11 お金の管理をするとき
- 12 その他 ()

問14 あなたを手助けしている方が、病気のときや、病気のときや、外出しなくてはならないときなどは、あなたはどのようにしてほしいと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 いっしょに住んでいるほかに家族にたのみたい
- 2 いっしょに住んでいない家族や親せきにたのみたい
- 3 ホームヘルプサービスを利用したい
- 4 施設への短期入所 (ショートステイ) を利用したい
- 5 近所の人や友人・知人にたのみたい
- 6 ボランティアにたのみたい
- 7 いままでそのようなことはなかったもので、よくわからない
- 8 その他 ()

【すべての方におたずねします。】

問15 あなたは、ふだんの生活の中で、必要とする介助・援助を受けていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 特に、介助・援助を必要としていない |
| 2 | 必要とする介助・援助は受けられていると思う |
| 3 | 必要だが、受けられていない介助・援助がある |
| 4 | その他 () |

問16 必要だけが受けられていない介助・援助は、どのような内容ですか。(自由記入)

--

■ 日中の過ごし方について

【すべての方におたずねします。】

問17 あなたは、平日の昼間、主はどこで(何をして)過ごしていますか。(○は1つ)

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 幼稚園や保育園、学校などに通っている |
| 2 | 働いている(授産施設・福祉作業所なども含む) |
| 3 | 病院・施設などで過ごしている |
| 4 | 障害者地域生活支援センターに通っている |
| 5 | 自宅に多くのことが多い |
| 6 | その他 () |

■ 教育について

【問18、問19は現在、「幼稚園や保育園、学校などに通っている」方におたずねします。】

問18 あなたは、どこに通っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|------|---|---------|
| 1 | 幼稚園 | 7 | 職業訓練校 |
| 2 | 保育園 | 8 | 専門学校・大学 |
| 3 | 通園施設 | 9 | その他 () |

問19 幼稚園・学校などに通っていてもっと充実してほしいことはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 通いややすくしてほしい(通学手段の改善など) |
| 2 | 施設などを充実させてほしい |
| 3 | 介助体制を充実させてほしい |
| 4 | 先生・生徒などの理解などが深まってほしい |
| 5 | 放課後の取組みを充実させてほしい |
| 6 | 夏休みなど長期休暇の取組みを充実させてほしい |
| 7 | その他 () |
| 8 | 特に困っていることはない |

■ 雇用・就労について

【問20～問23は現在、「働いている(福祉作業所・授産施設なども含む)」方におたずねします。】

問20 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|------------------|---|---------------------|
| 1 | 自営業 | 5 | 内職 |
| 2 | 家業の手伝い | 6 | 福祉作業所(共同作業所)、授産施設など |
| 3 | 会社・団体などの正規の職員・役員 | 7 | その他 () |
| 4 | 臨時、日雇い、パート、嘱託など | | |

問21 あなたの職場はどこにありますか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|
| 1 | 練馬区内 | 2 | 東京都内 | 3 | 東京都外 |
|---|------|---|------|---|------|

問22 仕事をして得た収入は1年にどれくらいですか。(給与・賞金など)(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|---------------|
| 1 | 5万円未満 | 5 | 100万円～400万円未満 |
| 2 | 5万円～20万円未満 | 6 | 400万円～700万円未満 |
| 3 | 20万円～50万円未満 | 7 | 700万円以上 |
| 4 | 50万円～100万円未満 | 8 | 収入はない |

問23 仕事をすることで不安や不満がありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------|----|----------------|
| 1 | 収入が少ない | 8 | 職場での身分が決まっていない |
| 2 | 仕事にむずかしい | 9 | トイレなどが使いにくい |
| 3 | 仕事がつい | 10 | 昇給や昇進に差がある |
| 4 | 自分にあった内容の仕事がない | 11 | 通うのがたいへん |
| 5 | 1日の仕事時間が長い | 12 | その他 () |
| 6 | 1週間の仕事日数が多い | 13 | 特に不安や不満はない |
| 7 | 職場の人たちとうまくいかない | | |

【問24～問26は、現在、働いていない方のみにおたずねします。】

問24 今後、働いてみたいと思いますか。(○は1つ)

1 働きたい	3 働きたくない
2 働きたいが、働けないと思う	4 わからない

問25 「働いてみたい」と思う仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

1 自営業	5 内職
2 家業の手伝い	6 福祉作業所(共同作業所)、授産施設など
3 会社・団体などの正規の職員、役員	7 その他()
4 臨時、日雇い、パート、嘱託など	

問26 「働きたいが、働けないと思う」理由は何ですか。(自由記入)

--

問27 あなたは、障害のある方が働くためにどのようなことが大切だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 家の近くで働くところがあること
2 通勤しない、家の中で働けること
3 からだの調子にあわせて働けること
4 障害のある人に適した仕事があること
5 働くことや社会生活に必要な生活支援を行う機関が充実していること
6 事業主や職場の人たちが、障害者を雇うことについて十分理解していること
7 職場の施設や設備が使いやすいようになっていること
8 ジョブコーチの支援を受けながら働けること
9 同じような障害のある仲間といっしょに、あるいは交替で働けること
10 その他()
11 わからない

※ジョブコーチ：企業就労や企業で働き続けるために、障害者と企業との間に入って支援する人

■ 外出や社会参加の状況について

問28 あなたは、どのくらい出かけますか。通園、通学、通勤、通院、買い物、ふだんの散歩などすべてを含めてお答えください。(○は1つ)

1 週に5日以上	4 月に2～3日
2 週に3～4日	5 ほとんど出かけない
3 週に1～2日	6 その他()

問29 出かけるときに困っていることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 つきそってくれる人がいない	8 車を停めるところがない
2 まわりの人と話すのがむずかしい	9 気軽に利用できる移送手段が少ない
3 まわりを人の目が気になる	10 電車やバスなどが利用しづらい
4 まわりを人の手助け・配慮が足りない	11 まちの看板などに工夫が足りない
5 歩道が狭く、道路にでこぼこが多い	12 その他()
6 放置自転車などが多く、歩きにくい	13 困っていることは特にない
7 建物などに階段が多く、利用しにくい	

問30 あなたは、ここ1年間くらいの間に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)

1 スポーツやレクリエーション	6 趣味などのサークル活動
2 旅行	7 講座や講演会などへの参加
3 買い物	8 地域の行事やお祭
4 ボランティア活動	9 その他()
5 障害者団体の活動	10 特に何もしていない

問31 あなたは、これからどのような活動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)

1 スポーツやレクリエーション	6 趣味などのサークル活動
2 旅行	7 講座や講演会などへの参加
3 買い物	8 地域の行事やお祭
4 ボランティア活動	9 その他()
5 障害者団体の活動	10 特に活動したくない

問32 あなたは、問31のような活動に参加するためにはどのような支援が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 活動についての情報が提供されること	6 適切な指導者がいること
2 一緒に行く仲間がいること	7 障害のある人に配慮した施設や設備があること
3 活動する場所が近くにあること	8 介助者・援助者がいること
4 外出のための手段が確保されていること	9 その他()
5 魅力的な内容であること	10 特にない

問33 ご近所々のおつきあいは、次のうちどれにあげてはまりますか。(○は1つ)

1 積極的に行動している	3 あいさつ程度はしている
2 必要に応じて行っている	4 ほとんど行っていない

■ 健康状況や医療について

問34 あなたは過去1年間に健康診断(健康診査)を受けましたか。(○は1つ)

1 受けた	2 受けていない→問35にお進みください
-------	----------------------

問35 あなたが健康診断（健康診査）を受けなかった、受けられなかった理由は、次のうちどれにあてはまりますか。（○はいくつでも）

- 1 忙しくて受ける暇がないから
- 2 日曜・休日・平日夜間などに受けられる場所がないから
- 3 健康診断（健康診査）が受けられる医療機関を知らないから
- 4 障害のため外出するのが難しいから
- 5 介助者に負担がかかるから
- 6 期日を忘れた・気がつかなかったから
- 7 現在、通院しているから
- 8 自分には必要ないから
- 9 その他（ ）

問36 健康管理や医療について、困ったり不便に思ったことはありますか。（○はいくつでも）

- 1 特に、困ったことはない
- 2 近所に診てくれるお医者さんがいない
- 3 専門的な治療を行う病院・診療所がない
- 4 通院や健康診断のときにつきそいがいない
- 5 往診をたのめるお医者さんがいない
- 6 歯科診療を受けられない
- 7 定期的に健康診断を受けられない
- 8 障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない
- 9 病院・診療所とのコミュニケーションがとれない
- 10 受診手続きなど、障害のある人への配慮が不十分
- 11 病院・診療所の建物が障害のある人に配慮した構造になっていない
- 12 医療費の負担が大き
- 13 その他（ ）

■ 相談や情報入手について

問37 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。（○はいくつでも）

- 1 総合福祉事務所の相談窓口
- 2 保健相談所（保健師など）
- 3 障害者地域生活支援センター
- 4 権利擁護センター
- 5 民生委員・児童委員
- 6 身体障害者・知的障害者相談員
- 7 児童相談所
- 8 福祉施設の職員
- 9 病院・診療所
- 10 学校の先生や職場の仲間
- 11 障害者団体
- 12 友人・知人
- 13 その他（ ）
- 14 相談できるところはない
- 15 誰かに相談することはあまりない

問38 あなたは、悩みごとや心配ごとを、家族や親せき以外に、相談するためには、どのような体制が整っているかと思えますか。（自由記入）

問39 障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。（○はいくつでも）

- 1 ねりま区報
- 2 区のホームページ
- 3 総合福祉事務所・保健相談所
- 4 障害者地域生活支援センター
- 5 学校、職場、施設
- 6 病院など
- 7 民生委員・児童委員
- 8 障害者団体
- 9 家族、親せき
- 10 友人、知人
- 11 その他（ ）
- 12 わからない

問40 障害福祉サービスの情報を十分に得るためには、区はどのようなことを充実すべきだと思いますか。（自由記入）

■ 障害福祉サービスについて

【すべての方におたずねします。】

問41 あなたは、ここ1年くらいの間に、次のサービスを利用したことがありますか。利用したことがあるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 ホームヘルプなどの訪問系サービス
- 2 短期入所・緊急一時保護
- 3 補装具の支給・修理
- 4 日常生活用具の給付
- 5 住宅設備改善費の給付
- 6 タクシー料金・自動車燃料費の助成
- 7 移動支援
- 8 訪問入浴サービス
- 9 福祉作業所・福祉園などの日中活動系サービス
- 10 グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス
- 11 児童デイサービス・日中一時支援・幼児教室など
- 12 手話通訳者・要約筆記者の派遣
- 13 その他（ ）
- 14 1～12 のようなサービスは利用したことはない

※グループホーム・ケアホーム：夜間や休日に、身辺の介護、相談や日常生活の援助等を受けながら、共同生活を行う住居

問42 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは、新たに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----|-------------------------|
| 1 | ホームヘルプなどの訪問系サービス |
| 2 | 短期入所・緊急一時保護 |
| 3 | 補装具の支給・修理 |
| 4 | 日常生活用具の給付 |
| 5 | 住宅設備改善費の給付 |
| 6 | タクシー料・金・自動車燃料費の助成 |
| 7 | 移動支援 |
| 8 | 訪問入浴サービス |
| 9 | グループホーム・福祉園などの日中活動系サービス |
| 10 | グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス |
| 11 | 児童デイサービス・日中一時支援・幼児教室など |
| 12 | 手話通訳者・要約筆記者の派遣 |
| 13 | その他 () |
| 14 | 1～12の中に利用したいサービスはない |

問43 あなたは、現在、必要だと思うサービスを、十分利用できていると思いませんか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|----------------------|---|---------------------|
| 1 | 十分、利用できていると思う | 4 | その他 () |
| 2 | 十分ではないが、ほぼ利用できていると思う | 5 | わからない |
| 3 | あまり、利用できていないと思う | 6 | 今のところサービスを利用する必要がない |

【問44は、サービスを、あまり、利用できていないと思う方のみにおたずねします。】

問44 必要だと思うサービスを、あまり、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 自己負担が大きく、利用できないから |
| 2 | 支給要件に該当しないから |
| 3 | 必要とするサービスがないから |
| 4 | どのようなサービスがあるかわからないから |
| 5 | 利用の仕方がわからないから |
| 6 | 対応できる事業者がいらないから |
| 7 | その他 () |
| 8 | わからない |

【すべての方におたずねします。】

問45 サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いませんか。(自由記入)

--

■ 将来について

問46 将来 (今後)、どのように日中を過ごしたいと思いませんか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | 自宅で過ごしたい |
| 2 | 一般企業などで働きたい |
| 3 | 福祉作業所 (共同作業所) などで働きたい |
| 4 | 働くための訓練・支援を受け、企業で働くことをめざしたい |
| 5 | 自立した日常生活ができるよう、自立訓練・生活訓練などを受けたい |
| 6 | 医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の支援などを受けながら過ごしたい |
| 7 | 福祉園などの通所施設で、手助けを受けながら、さまざまな活動を行いたい |
| 8 | 学校に通いたい |
| 9 | その他 () |
| 10 | わからない |

問47 将来 (今後)、あなたはどこで暮らしたいと思いませんか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|---------------------|---|--------------|
| 1 | ひとりで暮らしたい | 5 | 病院に入院して暮らしたい |
| 2 | 家族と一緒に暮らしたい | 6 | その他 () |
| 3 | グループホーム・ケアホームで暮らしたい | 7 | わからない |
| 4 | 施設に入所して暮らしたい | | |

問48 今後も練馬区に住みつづけたいと思いませんか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|-------|
| 1 | 住みつづけたいと思う | 3 | わからない |
| 2 | 住みつづけたいと思わない | | |

■ 災害対策や消費者被害について

問49 あなたは、地震や台風などの災害のときの避難場所を知っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-------|---|------|
| 1 | 知っている | 2 | 知らない |
|---|-------|---|------|

問50 その避難場所まで自力で避難できますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|---------|---|---------|
| 1 | できると思う | 3 | その他 () |
| 2 | できないと思う | | |

■ 差別や人権侵害について

問51 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 避難しやすい避難所を整備する
- 2 避難訓練などへの参加ができるようにする
- 3 日頃から避難方法のアドバースや情報提供を行う
- 4 緊急通報システムの整備する
- 5 地域で助け合える体制を整備する
- 6 避難時の障害者用設備（トイレ、ベッドなど）を配置する
- 7 避難時の人工透析や在宅酸素など生命安全・維持装置を確保する
- 8 避難時において視覚障害者や聴覚障害者に配慮した情報提供を行う
- 9 避難時の介助人などを確保する
- 10 避難所での手話通訳者、ガイドヘルパーなどを確保する
- 11 避難所で補装具等の貸出しを行う
- 12 その他 ()
- 13 特にない

問52 あなたは、悪質な訪問販売（住宅リフォーム工事やふとん・呉服の販売）や振り込め詐欺などの消費者被害・トラブルなどにあったこと、あるいはそうになったことはありませんか。(〇はいくつでも)

- 1 特に、被害・トラブルにあったことはない
- 2 不当に高額あるいは不必要な住宅リフォーム工事をされた（されそうになった）
- 3 訪問販売で、高額の商品（ふとん、呉服、栄養食品など）を買わされた（買わされそうになった）
- 4 支払い能力を超える多額のクレジット債務やサラ金債務を負担させられた（負担させられそうになった）
- 5 知らないあいだに借金・保証人の保証人にされた
- 6 振り込め詐欺にあった（あるいはそうになった）
- 7 その他 ()

問53 あなたは、被害・トラブルにあったとき、または、あるいはそうになったとき、どこに相談しましたか。(〇はいくつでも)

- 1 総合福祉事務所の相談窓口
- 2 保健相談所（保健師など）
- 3 障害者地域生活支援センター
- 4 権利擁護センター
- 5 民生委員・児童委員
- 6 身体障害者・知的障害者相談員
- 7 児童相談所
- 8 福祉施設の職員
- 9 病院・診療所
- 10 学校の先生や職場の仲間
- 11 障害者団体
- 12 友人・知人
- 13 消費センター
- 14 警察
- 15 その他 ()
- 16 相談はしなかった

問54 障害があることで、差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。(〇は1つ)

- 1 ほとんど感じることはない
- 2 たまに感じる
- 3 いつも感じる
- 4 わからない

問55 具体的には、どのようなときに、差別や人権侵害を受けていると感じますか。(自由記入)

問56 地域で暮らす上で、障害に対して理解を得られていると感じますか。(〇は1つ)

- 1 理解を、十分に得られていると感じる
- 2 理解を、時々得られていないと感じる
- 3 理解を、あまり得られていないと感じる
- 4 理解を、得られていないと感じる
- 5 わからない

問57 具体的には、どのようなときに、理解を得られている、あるいは理解を得られていないと感じますか。(自由記入)

■ 障害者施策全般について

問58 今後、障害者施策を進めていくうえで、充実してほしいと思う施策はどれですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- 1 障害の早期発見・早期療育に努めること
- 2 障害のある人となん人との交流を推め、お互いの理解を深めること
- 3 障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること
- 4 障害のある人の働く場を用意することと、仕事を続けられるように努めること
- 5 ホームヘルパーの派遣など自宅での生活を支えるサービスを充実させること
- 6 区内で利用できる施設を整備すること
- 7 障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること
- 8 障害のある人の住まいの場（公営住宅やグループホームなど）を整備すること
- 9 文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるように支援すること
- 10 障害のある当事者による活動を支援すること
- 11 ボランティア活動を充実させること
- 12 障害者施策や福祉に関する情報提供を充実させること
- 13 相談しやすいようにすること
- 14 その他 ()
- 15 特にない

このページは、ふだん、「宛名の方ご本人」を介助・援助している方のみお答えください。

■ 介助・援助者の意向

問62 介助・援助をすすめるにあたって、困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 介助・援助の方法がわからない | 11 孤独感がある |
| 2 福祉サービス等の情報が不足している | 12 精神的な負担が大きい |
| 3 福祉サービス等が十分に利用できない | 13 経済的な負担が大きい |
| 4 余暇など自分の時間が持てない | 14 他にも介助の必要な家族・親族がいる |
| 5 ちよっととした外出ができない | 15 他の家族の援助が足りない |
| 6 仕事に出られない | 16 隣近所の人との関係作りが難しい |
| 7 長期的な外出ができない | 17 何かの際に相談や介助を頼める人がいない |
| 8 睡眠が不足している | 18 その他 () |
| 9 身体的な負担が大きい | 19 特になし |
| 10 年齢的に負担が大きい | |

問63 あなた(介助・援助者)は、「宛名の方ご本人」が将来(今後)、どこで暮らしてほしいと思いますか。(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 現在一緒に暮らしている家族から離れて、ひとりで暮らしてほしい |
| 2 現在の家族と一緒に暮らしてほしい |
| 3 新しい家族を作って家族と一緒に暮らしてほしい |
| 4 グループホーム・ケアホームで暮らしてほしい |
| 5 施設に入所して暮らしてほしい |
| 6 病院に入院して暮らしてほしい |
| 7 その他 () |
| 8 わからない |

最後に、障害者施策などについて、ご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて6月18日(金)までにご投函ください。

問59 あなたは「障害」という言葉について、どのように書かれるのが最もよいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------------------|
| 1 障害 | 4 その他 () |
| 2 障がい | 5 こだわりはない(どれでもよい) |
| 3 障碍 | 6 わからない |

問60 あなたが問59で、その表記を選んだ理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 見慣れているから | 4 本来はそう書くべきだから |
| 2 わかりやすいから | 5 表記だけ変えても意味がないから |
| 3 差別感や不快感を感じないから | 6 その他 () |

この調査を通じて、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望、計画に盛り込みたいことなどがありましたら、自由にお書きください。

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございます。「宛名の方ご本人」へのおたすねは以上です。
同封の返信用封筒に入れて6月18日(金)までにご投函ください。

なお、差し支えなければ、ふだん、あなたを主に介助・援助されている方のご意向(16ページ)もお聞かせください。

次ページは、
ふだん、「宛名の方ご本人」を介助・援助している方へのおたすねです。



あなたの声をお聞かせください

一 障害のある方へのアンケートへのご協力のお願い

日頃より、練馬区の健康福祉行政の推進につきまして、ご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

練馬区では、障害のある方々の施策を総合的かつ計画的に推進していくため、次期練馬区障害者計画の策定を進めております。（現計画書は、区役所障害者施策推進課および図書館、区民センター、区ホームページで閲覧できます。） これら計画の策定にあたっては、障害のある方々の日常生活の状況、将来への希望、考え方等をお聞かせいただき、皆様の意見を反映させることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施することとしました。

この調査は、区内にお住まいの精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方々を対象としています。なお、調査は無記名であり、結果については統計的に処理しますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この区民アンケート調査の趣旨をご理解いただき、日頃お考えになっていることを、ありのままにお答えくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

練馬区

《ご記入にあたって》

- このアンケート及び返信用封筒には、お名前を書く必要はありません。
- このアンケートは、封筒のあて名のご本人に記入していただくものです。ただし、ご本人が記入することが困難な場合には、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら記入していただきますようお願いいたします。
- お答えは、平成22年6月1日現在の状況を記入してください。
- お答えは、あてはまる項目の番号に○をつけていただくものです。なお、「その他」の場合は（ ）の中にその具体的な内容も記入してください。
- お答えは、「1つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくもの、また、自由にご記入いただくものがあります。
- 質問によっては、ある条件にあてはまる方だけにお答えをお願いするものがありますので、説明に当たってお答えください。
- 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。

ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、**6月18日（金）までに**、同封の返信用封筒により、区役所障害者施策推進課へ返送願います。

なお、このアンケートについてわからない点ございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

練馬区 健康福祉事業本部 福祉部 障害者施策推進課
 担当：斎藤、渡辺
 電話：03-3993-1111（代表） 内線6371
 03-5984-4602（直通）
 FAX：03-5984-1215

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。

性別	1 男性	2 女性
年齢	[] 歳	

問2 あなたがお住まいのエリアはどちらですか。ご住所の郵便番号（最初の3桁）をお選びください。（○は1つ）

1 練馬（〒176-）	2 石神井（〒177-）	3 大泉（〒178-）	4 光が丘（〒179-）
-------------	--------------	-------------	--------------

問3 この調査票はどなたが記入されましたか。（○は1つ）

1 本人が自分一人で記入	3 本人の意向を考えながら家族や介助者が記入
2 本人に聞いて家族や介助者が代筆	

問4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は1つ）

1 自分の持ち家（購入マンションも含む）	5 グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム
2 親など家族の持ち家（購入マンションも含む）	6 社宅、会社の寮
3 公営住宅	7 福祉施設
4 アパート、賃貸マンション、借家	8 病院に入院している
	9 その他（ ）

問5 現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1 自分一人だけで暮らしている	5 祖父、祖母
2 配偶者（夫または妻）	6 兄弟、姉妹
3 息子、娘（息子または娘の配偶者も含む）	7 福祉施設の職員や仲間
4 父、母	8 その他（ ）

問6 「精神障害者保健福祉手帳」に記載された障害の程度をお答えください。更新申請中の場合は、現在お持ちの手帳の等級をお選びください。（○は1つ）

1 1級	2 2級	3 3級
------	------	------

問7 精神障害者保健福祉手帳をはじめ取得されたのは何歳の頃ですか。

年齢	[] 歳
場所	[]

問8 あなたは、障害者自立支援法に基づく介護給付を受けるために「障害程度区分（6段階）」の認定を受けたことがありますか。ある場合は、区分にも○をつけてください。（○は1つ）

1 ない					
2 ある	→	（区分1	区分2	区分3	区分4 区分5 区分6）

問9 あなたは、以下の手帳をお持ちですか。お持ちのかたは等級にも○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 身体障害者手帳 → (1 級 2 級 3 級 4 級 5 級 6 級)
 2 愛の手帳 → (1 度 2 度 3 度 4 度)
 3 これらの手帳は持っていない

【問10は、「身体障害者手帳」をお持ちの方のみにおたずねします。】

問10 身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。あてはまる障害の番号を「1番目」の欄に記載してください。障害の種類が2つ以上記載されている場合は、記載の順番にしたがって「1番目」と「2番目」を記入してください。

	⇐	1 視覚障害 2 聴覚障害 3 平衡機能障害 4 音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害 5 肢体不自由 (上肢、下肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害) 6 肢体不自由 (体幹) 7 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害 8 その他 ()
1 番目	⇐	
2 番目	⇐	

問11 あなたは、次のように診断されたことはありませんか。(○はいくつでも)

- 1 発達障害と診断されたことがある 4 難病 (特定疾患以外) と診断されたこと
 2 高次脳機能障害と診断されたことがある 5 特にな
 3 難病 (特定疾患) と診断されたことがある

■ 介助・援助の状況について

問12 ふだん、あなたを主に手助けしているのはどなたですか。(○はいくつでも)

- 1 特に手助けは受けていない → 問15にお進みください
 2 配偶者 (夫または妻) 7 行政の職員 (ワーカー・保健師等)
 3 息子、娘 (息子、娘の配偶者も含む) 8 病院の職員 (看護師等)
 4 父、母 9 施設の職員
 5 祖父、祖母 10 ホームヘルパー
 6 兄弟、姉妹 11 その他 ()

最も長く手助けしている人はどなたですか。

⇨ (選択肢番号を記入)

【問13、問14は、現在、手助けを受けている方のみにおたずねします。】

問13 日常生活でどのような手助けを受けていますか。(○はいくつでも)

- 1 部屋の整理・整頓・掃除 5 服薬
 2 衣類の洗濯 6 他の人と意思疎通を図りたいとき
 3 日用品の買い物 7 金銭の管理
 4 食事のしたく 8 その他 ()

問14 あなたを主に手助けしている方が、病気のときや、病気のときや、外出しなくてはならないときなどは、あなたはどのようにしてほしいと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 同居している他の家族に頼みたい
 2 同居していない家族や親せきに頼みたい
 3 介護や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用したい
 4 施設への短期入所 (ショートステイ) を利用したい
 5 近所の人や友人・知人に頼みたい
 6 ボランティアに頼みたい
 7 今までそのようなことはなかったもので、よくわからない
 8 その他 ()

【すべての方におたずねします。】

問15 あなたは、ふだんの生活の中で、必要とする手助けを受けていると思いますか。(○は1つ)

- 1 特に、手助けを必要としていない
 2 必要とする手助けは受けられていると思う
 3 必要だが、受けられていない手助けがある → 問16にお進みください
 4 その他 ()

【必要とする手助けを受けられていない方におたずねします。】

問16 必要だが受けられていない手助けは、どのような内容ですか。(自由記入)

■ 日中の過ごし方について

【すべての方におたずねします。】

問17 あなたは、平日の昼間、主にどこで (何をして) 過ごしていますか。(○は1つ)

- 1 学校などに通っている
 2 働いている (福祉作業所、共同作業所なども含む)
 3 障害者地域生活支援センターに通っている
 4 病院・療養所のデイケアに通っている
 5 自宅で静養中である
 6 その他 ()

■ 雇用・就労について

【問 18～問 21 は現在、「働いている(福祉作業所・授産施設なども含む)」方におたずねします。】

問 18 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-----------------|---|----------------------|
| 1 | 自営業 | 5 | 内職 |
| 2 | 家業の手伝い | 6 | 福祉作業所 (共同作業所)、授産施設など |
| 3 | 会社・団体等の正規の職員、役員 | 7 | その他 () |
| 4 | 臨時、日雇い、パート、嘱託等 | | |

問 19 あなたの職場はどこにありますか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|
| 1 | 練馬区内 | 2 | 東京都内 | 3 | 東京都外 |
|---|------|---|------|---|------|

問 20 仕事をし得た収入は1年にどれくらいですか。(給与・賞金など)(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|---------------|
| 1 | 5万円未満 | 5 | 100万円～400万円未満 |
| 2 | 5万円～20万円未満 | 6 | 400万円～700万円未満 |
| 3 | 20万円～50万円未満 | 7 | 700万円以上 |
| 4 | 50万円～100万円未満 | 8 | 収入はない |

問 21 仕事をす上で不安や不満がありますか。あてはまるものに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------|----|--------------|
| 1 | 収入が少ない | 8 | 職場での身分が不安定 |
| 2 | 仕事が難しい | 9 | 昇給や昇進が平等ではない |
| 3 | 仕事がつきつい | 10 | 通勤が大変 |
| 4 | 自分にあつた内容の仕事がない | 11 | その他 () |
| 5 | 1日の就労時間が長い | | |
| 6 | 週あたりの就労日数が多い | 12 | 特に不安や不満はない |
| 7 | 職場の人間関係が難しい | | |

【問 22～問 24 は、現在、働いていない方のみにおたずねします。】

問 22 今後、働いてみたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | | | |
|---|---------------|----------|---|--------|
| 1 | 働きたい | } 問 23 ～ | 3 | 働きたくない |
| 2 | 働きたいが、働けないと思う | | 4 | わからない |

問 23 「働いてみたい」と思う仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-----------------|---|----------------------|
| 1 | 自営業 | 5 | 内職 |
| 2 | 家業の手伝い | 6 | 福祉作業所 (共同作業所)、授産施設など |
| 3 | 会社・団体等の正規の職員、役員 | 7 | その他 () |
| 4 | 臨時、日雇い、パート、嘱託等 | | |

問 24 「働きたいが、働けないと思う」理由は何か。(自由記入)

【すべての方におたずねします。】

問 25 あなたは、障害のある方が働くためにはどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----|------------------------------------|
| 1 | 自分の家の近くに働く場があること |
| 2 | 自分の家の中で、通勤することなく働けること |
| 3 | 健康状態にあわせた働き方ができること |
| 4 | 障害のある人に適した仕事が開発されること |
| 5 | 就労支援および社会生活上必要な生活支援を行う機関が充実していること |
| 6 | 事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること |
| 7 | 職場の施設や設備が障害のある人にも利用できるように配慮されていること |
| 8 | ジョブコーチの支援を受けながら働けること |
| 9 | 同じような障害のある仲間と一緒に、あるいは交替で働けること |
| 10 | その他 () |
| 11 | わからない |

※ジョブコーチ：企業就労や企業で働き続けるために、障害者と企業との間に入って支援する人

■ 外出や社会参加の状況について

問 26 あなたは、どのくらい外出しますか。通園、通学、通勤、通院、買い物、日常の散歩等すべてを含めてお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------|---|-----------|
| 1 | 週に5日以上 | 4 | 月に2～3日 |
| 2 | 週に3～4日 | 5 | ほとんど外出しない |
| 3 | 週に1～2日 | 6 | その他 () |

問 27 外出の際に困っていることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 付添ってくれる人がいない |
| 2 | 他人との会話が難しい |
| 3 | 他人の視線が気になる |
| 4 | 必要ときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない |
| 5 | その他 () |
| 6 | 困っていることは特にない |

問 28 あなたは、ここ1年間くらいの間に、次のような活動をしましたか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------|----|--------------|
| 1 | スポーツやレクリエーション | 6 | 趣味などのサークル活動 |
| 2 | 旅行 | 7 | 講座や講演会などへの参加 |
| 3 | 買い物 | 8 | 地域の行事やお祭 |
| 4 | ボランティア活動 | 9 | その他 () |
| 5 | 障害者団体の活動 | 10 | 特に何もしていない |

問 29 あなたは、これからどのような活動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------|----|--------------|
| 1 | スポーツやレクリエーション | 6 | 趣味などのサークル活動 |
| 2 | 旅行 | 7 | 講座や講演会などへの参加 |
| 3 | 買い物 | 8 | 地域の行事やお祭 |
| 4 | ボランティア活動 | 9 | その他 () |
| 5 | 障害者団体の活動 | 10 | 特に活動したくない |

問 30 あなたは、問 29 のような活動に参加するためにはどのような支援が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----|-----------------------|
| 1 | 活動についての情報が提供されること |
| 2 | 一緒に行く仲間がいること |
| 3 | 活動する場所が近くにあること |
| 4 | 外出のための手段が確保されていること |
| 5 | 魅力的な内容であること |
| 6 | 適切な指導者がいること |
| 7 | 障害のある人に配慮した施設や設備があること |
| 8 | 介助者・援助者がいること |
| 9 | その他 () |
| 10 | 特にない |

問 31 ご近所とおつきあいは、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-------------|---|-------------|
| 1 | 積極的に行っている | 3 | あいさつ程度はしている |
| 2 | 必要に応じて行っている | 4 | ほとんど行っていない |

問 32 あなたは過去1年間に健康診断(健康診査)を受けましたか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-----|---|------------------------|
| 1 | 受けた | 2 | 受けていない → 問 33 にお進みください |
|---|-----|---|------------------------|

問 33 あなたが健康診断(健康診査)を受けなかった、受けられなかった理由は、次のうちどれにあてはまりますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 忙しくて受ける暇がないから |
| 2 | 日曜・休日・平日夜間などに受けられる場所がないから |
| 3 | 健康診断(健康診査)が受けられる医療機関を知らないから |
| 4 | 障害のため外出するのが難しいから |
| 5 | 介助者に負担がかかるから |
| 6 | 期日を忘れた・気がつかなかったから |
| 7 | 現在、通院しているから |
| 8 | 自分には必要ないから |
| 9 | その他 () |

問 34 健康管理や医療について、困ったり不便に思ったことはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 特に、困ったことはない |
| 2 | 近所に診てくれる医師がいない |
| 3 | 専門的な治療を行う医療機関がない |
| 4 | 通院や健康診断のときに付き添いがいない |
| 5 | 往診を頼める医者がいない |
| 6 | 歯科診療を受けられない |
| 7 | 定期的に健康診断を受けられない |
| 8 | 障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない |
| 9 | 医療機関とのコミュニケーションがとれない |
| 10 | 受診手続きなど、障害のある人へ配慮が不十分 |
| 11 | 医療機関の建物が障害のある人に配慮した構造になっていない |
| 12 | 医療費の負担が大きい |
| 13 | その他 () |

問 35 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------|----|-----------------|
| 1 | 総合福祉事務所の相談窓口 | 9 | 病院・診療所 |
| 2 | 保健相談所(保健師など) | 10 | 学校の先生や職場の仲間 |
| 3 | 障害者地域生活支援センター | 11 | 障害者団体 |
| 4 | 権利擁護センター | 12 | 友人・知人 |
| 5 | 民生委員・児童委員 | 13 | その他() |
| 6 | 身体障害者・知的障害者相談員 | 14 | 相談できるところはない |
| 7 | 児童相談所 | 15 | 誰かに相談することはまれである |
| 8 | 福祉施設の職員 | | |

問 36 あなたは、悩みごとや心配ごとの相談を、主にどのような方法で行っていますか。(○は1つ)

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 直接あつて話す |
| 2 | 電話で話す |
| 3 | 手紙を書く |
| 4 | メール(パソコン・携帯電話)を書く |
| 5 | その他() |

問 37 あなたは、悩みごとや心配ごとを、家族や親せき以外に相談するためには、どのような体制が整っているかと思えますか。(自由記入)

--

問 38 障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------|----|-----------|
| 1 | ねりま区報 | 7 | 民生委員・児童委員 |
| 2 | 区のホームページ | 8 | 障害者団体 |
| 3 | 総合福祉事務所・保健相談所 | 9 | 家族、親せき |
| 4 | 障害者地域生活支援センター | 10 | 友人、知人 |
| 5 | 学校、職場、施設 | 11 | その他() |
| 6 | 病院など | 12 | わからない |

問 39 障害福祉サービスの情報を十分に得るためには、区はどのようなことを充実すべきだと思いますか。(自由記入)

--

【すべての方におたずねします。】

問 40 あなたは、ここ1年くらいの間に、次のサービスを利用したことがありますか。利用したことがあるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | ホームヘルプなどの訪問系サービス |
| 2 | 短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護 |
| 3 | 障害者地域生活支援センター |
| 4 | 福祉作業所(共同作業所)などの日中活動系サービス |
| 5 | グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス |
| 6 | 病院や診療所のデイケア |
| 7 | その他() |
| 8 | 1～6のようないかなるサービスは利用したことはない |

※グループホーム・ケアホーム：夜間や休日に、身辺の介護、相談や日常生活の援助等を受けながら、共同生活を行う住居

問 41 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは、新たに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | ホームヘルプなどの訪問系サービス |
| 2 | 短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護 |
| 3 | 障害者地域生活支援センター |
| 5 | グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス |
| 6 | 病院や診療所のデイケア |
| 7 | その他() |
| 8 | 1～6の中に利用したいサービスはない |

問 42 あなたは、現在、必要だと思うサービスを、十分利用できていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 十分、利用できていると思う |
| 2 | 十分ではないが、ほぼ利用できていると思う |
| 3 | あまり、利用できていないと思う |
| 4 | その他() |
| 5 | わからない |
| 6 | 今のところサービスを利用する必要がない |

【問43は、サービスを、あまり、利用できていないと思っ方の方にのみおたずねします。】

問43 必要だと思うサービスを、あまり、利用できていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------------|---|----------------|
| 1 | 自己負担が大きく、利用できないから | 5 | 利用の仕方がわからないから |
| 2 | 支給要件に該当しないから | 6 | 対応できない事業者がないから |
| 3 | 必要とするサービスがないから | 7 | その他() |
| 4 | どのようなサービスがあるかわからないから | 8 | わからない |

【すべての方におたずねします。】

問44 サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。
(自由記入)

--

■ 将来について

問45 今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|--|
| 1 | 自宅で過ごしたい |
| 2 | 一般企業などで働きたい |
| 3 | 福祉作業所(共同作業所)などで働きたい(福祉的就労) |
| 4 | 就労のための訓練・支援を受け(就労移行支援)、企業就労を目指したい |
| 5 | 自立した日常生活ができるよう、自立訓練・生活訓練などを受けて過ごしたい |
| 6 | 医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の支援などを受けながら過ごしたい |
| 7 | 福祉園などの通所施設で、身辺の介護などを受けながら、さまざまな活動を行いたい |
| 8 | 学校に通いたい |
| 9 | その他() |
| 10 | わからない |

問46 将来(今後)、あなたはどこで暮らしたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|---------------------|-----|--------------|
| 1 | ひとりで暮らしたい | 5 | 病院に入院して暮らしたい |
| 2 | 家族と一緒に暮らしたい | 6 | その他 |
| 3 | グループホーム・ケアホームで暮らしたい | () | |
| 4 | 施設に入所して暮らしたい | 7 | わからない |

問47 今後も練馬区に住みつづけたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|-------|
| 1 | 住みつづけたいと思う | 3 | わからない |
| 2 | 住みつづけたいと思わない | | |

■ 災害対策や消費者被害について

問48 あなたは、地震や台風などの災害のときの避難場所を知っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-------|---|------|
| 1 | 知っている | 2 | 知らない |
|---|-------|---|------|
- 問49 あなたはその避難場所まで自力で避難できますか。(○は1つ)
- | | | | |
|---|---------|---|--------|
| 1 | できると思う | 3 | その他() |
| 2 | できないと思う | | |

問50 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 避難しやすい避難所を整備する |
| 2 | 避難訓練等への参加ができるようにする |
| 3 | 日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う |
| 4 | 緊急通報システムを整備する |
| 5 | 地域で助け合える体制を整備する |
| 6 | その他() |
| 7 | 特にない |

問51 あなたは、悪質な訪問販売(住宅リフォーム工事やふとん・呉服の販売)や振り込み詐欺などの消費者被害・トラブル等があったこと、あいそうになったことはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1 | 特に、被害・トラブルにあったことはない |
| 2 | 不当に高額あるいは不必要な住宅リフォーム工事をされた(されそうになった) |
| 3 | 訪問販売で、高額な商品(ふとん、呉服、栄養食品など)を買わされた(買わされそうになった) |
| 4 | 支払い能力を超える多額のクレジット債務やサラ金債務を負担させられた(負担させられそうになった) |
| 5 | 知らないあいだに借金の保証人にされていた |
| 6 | 振り込み詐欺にあった(あいそうになった) |
| 7 | その他() |

問52 あなたは、被害・トラブルにあったとき、または、あいそうになったとき、どこに相談しましたか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------|----|-------------|
| 1 | 総合福祉事務所の相談窓口 | 9 | 病院・診療所 |
| 2 | 保健相談所(保健師など) | 10 | 学校の先生や職場の仲間 |
| 3 | 障害者地域生活支援センター | 11 | 障害者団体 |
| 4 | 権利擁護センター | 12 | 友人・知人 |
| 5 | 民生委員・児童委員 | 13 | 消費者センター |
| 6 | 身体障害者・知的障害者相談員 | 14 | 警察 |
| 7 | 児童相談所 | 15 | その他() |
| 8 | 福祉施設の職員 | 16 | 相談はしなかった |

■ 差別や人権侵害について

問 53 障害があることで、差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|--------|
| 1 | ほとんど感じることはない | 3 | いつも感じる |
| 2 | たまに感じる | 4 | わからない |

問 54 具体的には、どのようなときに、差別や人権侵害を受けていると感じますか。(自由記入)

問 55 地域で暮らす上で、障害に対して理解を得られていると感じますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------------------|---|-----------------|
| 1 | 理解を、十分得られていると感じる | 4 | 理解を、得られていないと感じる |
| 2 | 理解を、時々得られていないと感じる | 5 | わからない |
| 3 | 理解を、あまり得られていないと感じる | | |

問 56 具体的には、どのようなときに、理解を得られている、あるいは理解を得られていないと感じますか。(自由記入)

■ 障害者施策全般について

問 57 今後、障害者施策を進めていくうえで、充実してほしいと思う施策はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | | |
|----|------------------------------------|--|---|
| 1 | 障害の早期発見・早期療育に努めること | | |
| 2 | 障害のある人とならない人の交流を推進し、相互理解を深めること | | |
| 3 | 障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること | | |
| 4 | 障害のある人の働く場の確保や働き続けるための支援の充実を図ること | | |
| 5 | ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実させること | | |
| 6 | 区内で利用できる施設を整備すること | | |
| 7 | 障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること | | |
| 8 | 障害のある人の住まいの場（公営住やグループホームなど）を整備すること | | |
| 9 | 文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう支援すること | | |
| 10 | 障害のある当事者による活動を支援すること | | |
| 11 | ボランティア活動を充実させること | | |
| 12 | 障害者施策や福祉に関する情報提供を充実させること | | |
| 13 | 相談体制を充実させること | | |
| 14 | その他（ | | ） |
| 15 | 特にない | | |

問 58 あなたは「障害」という言葉について、どのように表記されるのが最もよいと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-----|---|-----------------|
| 1 | 障害 | 4 | その他（ |
| 2 | 障がい | 5 | こだわりはない（どれでもよい） |
| 3 | 障壁 | 6 | わからない |

問 59 あなたが問 56 で、その表記を選んだ理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------|---|-----------------|
| 1 | 見慣れているから | 4 | 本来はそう書くべきだから |
| 2 | わかりやすいから | 5 | 表記だけ変えても意味がないから |
| 3 | 差別感や不快感を感じないから | 6 | その他（ |

最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望、計画に盛り込みたいことなどがあれば、自由にお書きください。

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございます。「宛名の方ご本人」へのおたずねは以上です。同封の返信用封筒に入れて6月18日（金）までにご投函ください。なお、差し支えなければ、ふだん、あなたを主に手助けされている方のご意向（15 ページ）もお聞かせください。

次ページは、
ふだん、「宛名の方ご本人」を手助けして
いる方へのおたずねです。



このページは、ふだん、「宛名の方ご本人」を主に手助けしている方のみお答えください。

■ 介助・援助者の意向 ■

問 61 手助けするにあたって、困っていることはありませんか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 介助・援助の方法がわからない | 11 孤独感がある |
| 2 福祉サービス等の情報が不足している | 12 精神的な負担が大きい |
| 3 福祉サービス等が十分に利用できない | 13 経済的な負担が大きい |
| 4 余暇など自分の時間が持てない | 14 他にも介助の必要な家族・親族がいる |
| 5 ちよつとした外出ができない | 15 他の家族の援助が足りない |
| 6 仕事に出られない | 16 隣近所の人との関係作りが難しい |
| 7 長期的な外出ができない | 17 何かの際に相談や介助を頼める人がいない |
| 8 睡眠が不足している | 18 その他 () |
| 9 身体的な負担が大きい | 19 特にない |
| 10 年輪的に負担が大きい | |

問 62 あなた(介助・援助者)は、「宛名の方ご本人」が将来(今後)、どこで暮らしてほしいと思いませんか。(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 現在一緒に暮らしている家族から離れて、ひとりで暮らしてほしい |
| 2 現在の家族と一緒に暮らしてほしい |
| 3 新しい家族を作って家族と一緒に暮らしてほしい |
| 4 グループホーム・ケアホームで暮らしてほしい |
| 5 施設に入所して暮らしてほしい |
| 6 病院に入院して暮らしてほしい |
| 7 その他 () |
| 8 わからない |

最後に、障害者施策などについて、ご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて6月18日(金)までにご投函ください。

問40 あなたは、ここ1年くらいの間に、次のサービスを利用したことがありますか。利用したことがあるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | ホームヘルプなどの訪問系サービス |
| 2 | 短期入所（ショートステイ）・緊急一時保護 |
| 3 | 障害者地域生活支援センター |
| 4 | 福祉作業所（共同作業所）などの日中活動系サービス |
| 5 | グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス |
| 6 | 病院や診療所のデイケア |
| 7 | その他（ |
| 8 | 1～6のようなサービスは利用したことはない |

※グループホーム・ケアホーム：夜間や休日に、身辺の介護、相談や日常生活の援助等を受けながら、共同生活を行う住居

問41 次のサービスの中で、今後もし引き続き利用したい、あるいは、新たに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | ホームヘルプなどの訪問系サービス |
| 2 | 短期入所（ショートステイ）・緊急一時保護 |
| 3 | 障害者地域生活支援センター |
| 4 | 福祉作業所（共同作業所）などの日中活動系サービス |
| 5 | グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス |
| 6 | 病院や診療所のデイケア |
| 7 | その他（ |
| 8 | 1～6の中に利用したいサービスはない |

◎ いただいた回答を分析するため、つぎの設問にもご協力をお願いします。
なお、ご回答により個人を特定することはありません。

(1) あなたの性別と年齢をお答えください。

性別	1 男性	2 女性	年齢	歳
----	------	------	----	---

(2) あなたがお住まいのエリアはどこですか。ご住所の郵便番号（最初の3桁）をお選びください。(○は1つ)

1	練馬（〒176-）	2	石神井（〒177-）	3	大泉（〒178-）	4	光が丘（〒179-）
---	-----------	---	------------	---	-----------	---	------------

(3) 「精神障害者保健福祉手帳」に記載された障害の程度をお答えください。更新申請中の場合は、現在お持ちの手帳の等級をお選びください。(○は1つ)

1	1級	2	2級	3	3級
---	----	---	----	---	----

ご協力ありがとうございます。おたずねは以上です。
同封の返信用封筒に入れて**7月31日（土）まで**にご投函ください。
先日ご協力いただいたアンケートの内容は、有効に活用させていただきます。

あなたの声をお聞かせください

一 障害のある方へのアンケート 一部再調査にかかるお詫びとご協力のお願い

日頃より、練馬区の健康福祉行政の推進につきまして、ご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

「障害のある方へのアンケート」として、6月初旬に郵送による調査を実施させていただきましたが、福祉サービスについての設問（問40、問41）に不備があったため、その部分につきまして、再調査をさせていただきますことと致しました。

皆様には、さらなるお手数をおかけすることとなり、まことに申し訳ございません。裏面の設問へのご回答・ご協力をお願い申し上げます。

練馬区

《ご記入にあたって》

- このアンケート及び返信用封筒には、お名前を書き必要はありません。
- このアンケートは、封筒のあて名のご本人に記入していただくものです。ただし、ご本人が記入することが困難な場合などには、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら記入していただきますようお願いいたします。
- お答えは、平成22年6月1日現在の状況を記入してください。
- お答えは、あてはまる項目の番号に○をつけていただくものです。なお、「その他」の場合は（ ）の中にその具体的な内容も記入してください。
- 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。

ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、**7月31日（土）までに**、同封の返信用封筒により、区役所障害者施策推進課へ返送願います。

なお、このアンケートについてわからない点があれば、下記までお問い合わせください。また、6月初旬にお送りした調査票（ふじ色）をまだお持ちの場合は、ぜひご記入いただき、返信用封筒にて、本調査票と一緒に返送いただきますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

練馬区 健康福祉事業本部 福祉部 障害者施策推進課
担当：斎藤、渡辺
電話：03-3993-1111（代表） 内線6371
03-5984-4602（直通）
FAX：03-5984-1215

あなたの声をお聞かせください

一 障書のある方へのアンケートへの協力をお願い

白旗より、練馬区の健康福祉行政の推進につきまして、ご理解、ご協力をお願いいたします。

練馬区では、障書のある方々の施策を総合的かつ計画的に推進していくため、次期練馬区障書者計画の策定を進めております。(提計画書は、区役所障書者施策推進課および図書部、区民広報ひろば、区ホームページで閲覧できます。)

これら計画の策定・策定にあたっては、障書のある方々の日常生活の状況、将来への希望、考え方等をお聞かせいただき、皆様の意見を反映させることが重要であると考へ、このたびアンケート調査を実施することとしました。

この調査は、練馬区内、区外の施設にお住まいで、愛の手帳または身体障害者手帳をお持ちの方々を対象としています。なお、調査はお名前を書く必要はなく、結果については統計的に処理しますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この区民アンケート調査の趣旨をご理解いただき、白旗にお考えになっていることを、ありのままにお答えくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

練馬区

《ご記入にあたって》

- このアンケートおよび返信用封筒には、お名前を書く必要はありません。
- このアンケートは、封筒のあて名のご本人に記入していただくものです。ただし、ご本人が記入することが困難な場合などには、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら記入していただきますようお願いいたします。
- お答えは、平成22年6月1日現在の状況を記入してください。
- お答えは、あてはまる項目の番号に○をつけていただくものです。なお、「その他」の場合は()の中にその具体的な内容も記入してください。
- お答えは、「1つだけ」を選んでいただくものと、「いくつでも」を選んでいただくものと、また、自由に記入いただくものがあります。
- 質問によっては、ある条件にあてはまる方だけにお答えをお願いするものがありますので、説明に当たってはお答えください。
- 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません

ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、**6月18日(金)までに、同封の返信用封筒に入れ、施設の職員の方へお渡し願います。**

なお、このアンケートについてわからない点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

練馬区健康福祉事業本部 福祉部 障書者施策推進課 担当：齋藤、渡辺
電話：03-3993-1111 (代表) 内線6371
03-5984-4602 (直通)
FAX：03-5984-1215

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。

性別	1 男性	2 女性
年齢	歳	

問2 あなたの自宅があるエリアはどちらですか。ご自宅の住所の郵便番号(最初の3桁)をお選びください。(○は1つ)

1 練馬 (〒176-) 2 石井 (〒177-) 3 大泉 (〒178-) 4 光が丘 (〒179-)
--

問3 この調査票はどなたが記入されましたか。(○は1つ)

1 本人が自分ひとりで記入	2 本人に聞いて家族や職員などが代筆	3 本人の意向を考へながら家族や職員などが記入
---------------	--------------------	-------------------------

問4 あなたは、現在の施設に入って、どのくらいになりましたか。(○は1つ)

1 1年未満	2 1年以上～5年未満	3 5年以上～10年未満	4 10年以上
--------	-------------	--------------	---------

問5 あなたは、以下の手帳をお持ちですか。お持ちの手帳の等級にも○をつけてください。(○はいくつでも)

1 愛の手帳	→ (1度)	2度	3度	4度		
2 身体障害者手帳	→ (1級)	2級	3級	4級	5級	6級
3 精神障害者保健福祉手帳	→ (1級)	2級	3級			
4 これらの手帳は持っていない						

問6 「愛の手帳」または「身体障害者手帳」をはじめ取得されたのは何歳のころですか。あてはまるほうに年齢をお書きください。

愛の手帳	年齢	歳ころ
身体障害者手帳	年齢	歳ころ

【問7は、「身体障害者手帳」をお持ちの方のみにおたずねします。】

問7 「身体障害者手帳」に記載されている障害は次のどれですか。あてはまる障害の番号を「1番目」の欄に記載してください。障害の種類が2つ以上記載されている場合は、記載の順番にしたがって「1番目」と「2番目」を記入してください。

1	視覚障害
2	聴覚障害
3	平衡機能障害
4	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害
5	肢体不自由（上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害）
6	肢体不自由（体幹）
7	心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害
8	その他（ ）

1番目

2番目

【すべての方におたずねします。】

問8 あなたは、障害者自立支援法に基づく介護給付を受けるために「障害程度区分（6段階）」の認定を受けたことがありますか。ある場合は、区分にも〇をつけてください。（〇は1つ）

1 ない

2 ある → (区分1 区分2 区分3 区分4 区分5 区分6)

問9 あなたは、次のように診断されたことはありませんか。（〇はいくつでも）

1 発達障害（広汎性発達障害、ADHD、LDなど）と診断されたことがある

2 高次脳機能障害と診断されたことがある

3 難病（特定疾患）と診断されたことがある

4 難病（特定疾患以外）と診断されたことがある

5 特にない

■ 雇用・就労について

問10 今後、働いてみたいと思いますか。（〇は1つ）

1 働きたい

2 働きたいが、働けないと思う

3 働きたくない → 問13にお進みください

問11 「働いてみたい」と思う仕事の形態は次のうちどれですか。（〇は1つ）

1 自営業

2 家業の手伝い

3 会社・団体などの正規の職員、役員

4 臨時、日雇い、パート、嘱託など

5 内職

6 福祉作業所（共同作業所）、授産施設など

7 その他（ ）

問12 「働きたいが、働けないと思う」理由は何か。（自由記入）

【すべての方におたずねします。】

問13 あなたは、障害のある方が働くためにはどのようなことが大切だと思いますか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。（〇はいくつでも）

1 家の近くに働くところがあること

2 通勤しないで、家の中で働けること

3 からだの調子にあわせて働けること

4 障害のある人に適した仕事があること

5 働くことや社会生活に必要な生活支援を行う機関が充実していること

6 事業主や職場の人たちが、障害者を雇うことについて十分理解していること

7 職場の施設や設備が使いやすいようになっていること

8 ジョブコーチの支援を受けながら働けること

9 同じような障害のある仲間と、あるいは交替で働けること

10 その他（ ）

11 わからない

※ジョブコーチ：企業就労や企業で働き続けるために、障害者と企業との間に入って支援する人

■ 外出や社会参加の意向について

問14 あなたは、これからのどのような活動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 スポーツやレクリエーション
- 2 旅行
- 3 買い物
- 4 ボランティア活動
- 5 障害者団体の活動
- 6 趣味などのサークル活動
- 7 講座や講演などへの参加
- 8 地域の行事やお祭
- 9 その他()
- 10 特に活動したくない

問15 あなたは、問14のような活動に参加するためにはどのような支援が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 活動についての情報が提供されること
- 2 一緒に行く仲間がいること
- 3 活動する場所が近くにあること
- 4 外出のための手段が確保されていること
- 5 魅力的な内容であること
- 6 適切な指導者がいること
- 7 障害のある人に配慮した施設や設備があること
- 8 介助者・援助者がいること
- 9 その他()
- 10 特にない

■ 相談や情報入手について

問16 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(○はいくつでも)

- 1 総合福祉事務所の相談窓口
- 2 保健相談所(保健師など)
- 3 障害者地域生活支援センター
- 4 権利擁護センター
- 5 民生委員・児童委員
- 6 身体障害者・知的障害者相談員
- 7 児童相談所
- 8 福祉施設の職員
- 9 病院・診療所
- 10 学校の先生や職場の仲間
- 11 障害者団体
- 12 友人・知人
- 13 その他()
- 14 相談できるところはない
- 15 誰かに相談することはあまりない

問17 あなたは、悩みごとや心配ごとを、家族や親せき以外に相談するためには、どのような体制が整っていると思いますか。(自由記入)

問18 障害福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- 1 ねりま区報
- 2 区のホームページ
- 3 総合福祉事務所・保健相談所
- 4 障害者地域生活支援センター
- 5 学校、職場、施設
- 6 病院など
- 7 民生委員・児童委員
- 8 障害者団体
- 9 家族、親せき
- 10 友人、知人
- 11 その他()
- 12 わからない

問19 障害福祉サービスの情報を十分に得るためには、図はどのようなことを充実すべきだと思いますか。(自由記入)

■ 差別や人権侵害について

問20 障害があることで、差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

- 1 ほとんど感じることはない
- 2 たまに感じる
- 3 いつも感じる
- 4 わからない

問21 具体的には、どのようなときに、差別や人権侵害を受けていると感じますか。(自由記入)

問24 問23のような暮らしをするためには、どのような支援や環境が必要になると思われますか。(〇はいくつでも)

- (地域で暮らすすまでに)
- 1 日常生活ができるための訓練をすること
 - 2 施設や病院以外で暮らす体験ができること
 - 3 障害者向け公営住宅、グループホーム、ケアホームなどの住宅の充実
 - 4 アパートなどの入居時に保証人になってくれる人がいること
 - 5 自宅の改修
- (地域で暮らし続けるために)
- 6 家族の理解があること
 - 7 介助者がいること
 - 8 働いて収入が得られる、収入額が増えること
 - 9 地域住民が障害・障害者に理解があること
 - 10 困ったときに相談できる人がいること
 - 11 ホームヘルパー、ショートステイなどの福祉サービスが受けられること
 - 12 休日・夜間の緊急時に受診できる医療機関が身近にあること
 - 13 その他 ()
 - 14 特にない

問25 今後、練馬区に住みたいと思えますか。(〇は1つ)

- 1 住みたいと思う
- 2 住みたいと思わない
- 3 わからない

将来について

問22 将来(今後)、どのように日中を過ごしたいと思えますか。(〇はいくつでも)

- 1 今いる施設で過ごしたい
- 2 家族がいる場所で過ごしたい
- 3 一般企業などで働きたい
- 4 福祉作業所(共同作業所)などで働きたい
- 5 働くための訓練・支援を受け、企業で働くことをめざしたい
- 6 自立した日常生活ができるよう、機能訓練などを受けて過ごしたい
- 7 医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の支援などを受けてながら過ごしたい
- 8 福祉園などの通所施設で、手助けを受けながら、さまざまな活動などを行いたい
- 9 学校に通いたい
- 10 その他 ()
- 11 わからない

問23 将来(今後)、あなたはどこで暮らしたいと思えますか。(〇は1つ)

- 1 ひとりで暮らしたい
- 2 家族と一緒に暮らしたい
- 3 グループホーム・ケアホームで暮らしたい
- 4 施設に入所したまま暮らしたい
- 5 病院に入院して暮らしたい
- 6 その他 ()
- 7 わからない

※グループホーム・ケアホーム：夜間や休日に、身辺の介護、相談や日常生活の援助などを受けながら、共同生活を営む住居

■ 障害者施策全般について

問26 今後は、障害者施策を進めていくうえで、充実してもらいたい施策はなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 障害者の早期発見・早期療育に努めること |
| 2 | 障害のある人とない人の交流を促進、お互いの理解を深めること |
| 3 | 障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばすような教育を進めること |
| 4 | 障害のある人の働く場を用意することと、仕事を続けられるように努めること |
| 5 | ホームヘルパーの派遣など自宅での生活を支えるサービスを充実させること |
| 6 | 利用できる施設を整備すること |
| 7 | 障害者や高齢者にやさしい「福祉のまちづくり」を推進すること |
| 8 | 障害のある人の住まいの場（公営住宅やグループホームなど）を整備すること |
| 9 | 文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう支援すること |
| 10 | 障害のある当事者による活動を支援すること |
| 11 | ボランティア活動を充実させること |
| 12 | 障害者施策や福祉に関する情報提供を充実させること |
| 13 | 相談しやすいようにすること |
| 14 | その他（ |
| 15 | 特にない） |

問27 あなたは「障害」という言葉について、どのように書かれるのが最もよいと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-----|---|-----------------|
| 1 | 障害 | 4 | その他（ |
| 2 | 障がい | 5 | こだわりはない（どれでもよい） |
| 3 | 障碍 | 6 | わかららない |

問28 その表記を選んだ理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------|---|-----------------|
| 1 | 見慣れているから | 4 | 本来はそう書くべきだから |
| 2 | わかりやすいから | 5 | 表記だけ変えても意味がないから |
| 3 | 差別感や不快感を感じないから | 6 | その他（ |

最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望、計画に盛り込みたいことなどがあれば、自由にお書きください。

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございます。「あて名の方ご本人」へのおたずねは以上です。同封の返信用封筒に入れて6月18日（金）までに施設の職員の方にお渡しください。なお、差し支えなければ、ふだん、あなたを主に介助・援助されている方のご意向（11ページ）もお聞かせください。

次ページは、
ふだん、「あて名の方ご本人」を介助・援助
している方へのおたずねです。



このページは、ふだん「あなた(あて名の方ご本人)を主に介助している方(かいじよ)がお答えください。

■ 介助・援助者の意向

問 30 「宛名の方ご本人」が、今後、施設を出て、地域で暮らすことの可能性についてお答えください。(○は1つ)

- 1 条件が整えば可能だと思ふ
- 2 難しいと思ふ →問 33 にお進みください
- 3 その他 ()
- 4 わからない

【問 30 で、「条件が整えば可能だと思ふ」と回答された方のみにおたずねします。】

問 31 地域で暮らすためには、どのような支援や環境が必要になると思ひますか。(○はいくつでも)

- (地域で暮らすまでに)
- 1 日常生活ができるための訓練をすること
- 2 施設や病院以外で暮らす体験ができること
- 3 障害者向け公営住宅、グループホーム、ケアホーム等の住宅の充実
- 4 アパート等の入居時に保証人になってくれる人がいること
- 5 自宅の改修
- (地域で暮らし続けるために)
- 6 家族の理解があること
- 7 介助者がいること
- 8 働いて収入が得られる、収入額が増えること
- 9 地域住民が障害・障害者に理解があること
- 10 困ったときに相談できる人がいること
- 11 ホームヘルパー、ショートステイ等の福祉サービスが受けられること
- 12 休日・夜間の緊急時に受診できる医療機関が身近にあること
- 13 その他 ()
- 14 特にない

問 32 「宛名の方ご本人」は、地域でどのように暮らすことがよいかと思ひますか。(○は1つ)

- 1 ひとり暮らしを始めるとよいかと思ふ
- 2 いまの家族と一緒に暮らすとよいかと思ふ
- 3 グループホーム・ケアホームで共同生活を始めるとよいかと思ふ
- 4 その他 ()

【問 30 で、「難しいと思ふ」と回答された方のみにおたずねします。】

問 33 差し支えなければ、「難しいと思ふ」理由をお書きください。(自由記入)

最後に、障害者施策などについて、ご意見・ご要望がありましたら、自由にお書きください。

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて6月18日(金)までに
施設の職員の方にお渡しください。

2 単純集計結果

練馬区障害のある方へのアンケート 単純集計結果

1. 発送・回収状況（郵送による配布・回収）

* 回収率	発送数	回収数	回収率
身体障害者	3,600	2,064	57.3%
知的障害者	650	350	53.8%
精神障害者	650	311	47.8%
精神障害者(再調査分)	650	271	41.7%
施設入所者	100	94	94.0%
合計	5,000	2,819	56.4%

2. 基本属性

* 性別	全体	男性	女性	無回答
身体障害者	2,064	48.7	49.1	2.2
知的障害者	350	61.1	37.4	1.4
精神障害者	311	42.4	55.6	1.9
施設入所者	94	54.3	44.7	1.1

* 年齢	全体	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答	平均年齢
身体障害者	2,064	1.2	1.5	1.8	3.4	6.6	8.8	72.4	4.2	66.1歳
知的障害者	350	7.1	21.7	16.9	22.9	17.1	5.7	5.4	3.1	30.7歳
精神障害者	311	0.3	1.9	4.8	14.8	27.7	22.5	23.8	4.2	49.1歳
施設入所者	94	0.0	0.0	11.7	14.9	30.9	22.3	15.9	4.3	46.7歳

* 居住エリア	全体	練馬	石神井	大泉	光が丘	無回答
身体障害者	2,064	29.3	28.1	18.6	22.2	1.8
知的障害者	350	25.1	29.1	15.7	28.3	1.7
精神障害者	311	31.8	31.2	19.9	14.5	2.6
施設入所者	94	30.9	22.3	18.1	11.7	17.0

* 調査票記入者	全体	本人が自分一人で記入	本人に聞いて家族や介護者が代筆	本人の意向を考えながら家族や介護者が記入	無回答
身体障害者	2,064	65.2	16.1	15.9	2.8
知的障害者	350	15.7	19.7	62.6	2.0
精神障害者	311	71.1	10.0	14.1	4.8
施設入所者	94	7.4	42.6	46.8	3.2

* 居住形態	全体	自分の持ち家(購入マンションも含む)	親など家族の持ち家(購入マンションも含む)	公営住宅	アパート、賃貸マンション、借家	グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム	社宅、会社の寮	福祉施設	病院に入院している	その他
身体障害者	2,064	48.8	11.9	13.0	17.1	0.8	0.7	2.3	2.8	0.8
知的障害者	350	9.1	45.1	14.9	18.6	3.1	1.1	5.7	0.6	0.9
精神障害者	311	19.0	25.4	10.9	36.3	1.3	0.0	0.3	4.5	0.0

* 居住形態	全体	無回答
身体障害者	2,064	1.8
知的障害者	350	0.9
精神障害者	311	2.3

* 施設入所年数	全体	1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上	無回答
施設入所者	94	2.1	10.6	48.9	35.1	3.2

*同居者	全体	自分一人だけで暮らしている	配偶者(夫または妻)	息子、娘(息子または娘の配偶者も含む)	父、母	祖父、祖母	兄弟、姉妹	福祉施設の職員や仲間	その他	無回答
身体障害者	2,064	14.9	54.5	30.9	11.5	0.9	5.5	2.8	3.1	2.3
知的障害者	350	3.4	1.1	0.9	81.4	4.6	40.0	9.4	1.4	1.7
精神障害者	311	36.3	19.3	10.6	33.1	1.3	9.0	1.0	1.6	2.6

*障害の程度	全体	1級・度	2級・度	3級・度	4級・度	5級	6級	無回答
身体障害者	2,064	37.5	14.5	15.5	20.3	4.6	4.6	3.0
知的障害者	350	4.0	32.9	22.0	38.9			2.3
精神障害者	311	12.2	52.1	32.5				3.2
施設入所者(知的)	81	2.5	49.4	30.9	14.8			2.5
施設入所者(身体)	25	56.0	20.0	8.0	8.0	0.0	4.0	4.0

*手帳取得年齢	全体	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答	平均年齢
身体障害者	2,064	7.9	3.8	5.1	5.3	9.4	15.4	47.2	6.0	52.4歳
知的障害者	350	44.3	32.3	8.0	4.6	2.3	1.7	0.3	6.6	12.9歳
精神障害者	311	0.3	4.8	13.5	15.8	28.3	16.1	7.4	13.8	41.5歳
施設入所者(知的)	81	16.0	27.2	19.8	7.4	2.5	0.0	0.0	27.2	18.2歳
施設入所者(身体)	25	28.0	16.0	12.0	8.0	8.0	12.0	0.0	16.0	23.3歳

*障害の種類(1番目)	全体	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	肢体不自由	肢体不自由(体幹)	心臓、じん臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸の機能の障害	その他	無回答
身体障害者	2,064	6.4	7.7	1.3	2.0	35.0	10.4	29.1	2.9	5.2
施設入所者(身体)	25	28.0	4.0	0.0	4.0	28.0	16.0	8.0	0.0	12.0

*所持している手帳の種類	全体	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	これらの手帳は持っていない	無回答
身体障害者	2,064		6.6	5.0	70.7	18.2
知的障害者	350	21.7		3.4	63.1	12.3
精神障害者	311	15.8	4.5		64.3	15.4
施設入所者	94	26.6	86.2	0.0	0.0	3.2

*障害程度区分の認定有無	全体	ない	ある	無回答
身体障害者	2,064	66.2	14.2	19.6
知的障害者	350	54.9	30.0	15.1
精神障害者	311	61.7	12.2	26.0
施設入所者	94	47.9	37.2	14.9

*障害程度区分の区分【認定者のみ】	全体	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	無回答
身体障害者	293	11.6	17.7	10.6	10.2	7.2	11.3	31.4
知的障害者	105	3.8	16.2	13.3	20.0	15.2	15.2	16.2
精神障害者	38	10.5	28.9	13.2	5.3	2.6	0.0	39.5
施設入所者	35	0.0	8.6	14.3	22.9	34.3	14.3	5.7

*障害の診断内容について	全体	発達障害と診断されたことがある	高次脳機能障害と診断されたことがある	難病(特定疾患)と診断されたことがある	難病(特定疾患以外)と診断されたことがある	特にない	無回答
身体障害者	2,064	2.8	4.5	12.4	4.1	59.9	17.4
知的障害者	350	32.3	2.3	4.3	1.7	37.1	24.9
精神障害者	311	7.4	2.6	4.5	2.9	46.9	37.9
施設入所者	94	2.1	1.1	1.1	0.0	66.0	29.8

3. 介助・援助の状況について

* 主な介助・援助者	全体	特に介助・援助は受けていない	配偶者(夫または妻)	父、母	息子、娘(息子、娘の配偶者も含む)	祖父、祖母	兄弟、姉妹	行政の職員(ワーカー・保健師等)	病院の職員(看護師等)	施設の職員
身体障害者	2,064	32.4	31.6	8.8	17.2	0.3	3.6	1.8	4.0	5.9
知的障害者	350	8.9	0.3	74.6	0.0	5.1	21.4	2.9	1.7	18.9
精神障害者	311	22.8	16.7	31.5	5.1	0.3	10.9	8.7	12.2	5.8
* 主な介助・援助者	全体	ホームヘルパー	その他	無回答						
身体障害者	2,064	13.1	2.8	7.4						
知的障害者	350	12.3	5.7	4.6						
精神障害者	311	9.0	8.0	7.7						

* 長時間補助の介助・援助者【介助・援助あり】	全体	配偶者(夫または妻)	父、母	息子、娘(息子、娘の配偶者も含む)	祖父、祖母	兄弟、姉妹	行政の職員(ワーカー・保健師等)	病院の職員(看護師等)	施設の職員	ホームヘルパー
身体障害者	1,242	48.7	13.0	15.4	0.2	3.1	0.5	3.5	3.3	8.5
知的障害者	303	0.0	82.2	0.0	0.3	5.0	0.3	0.7	7.6	1.0
精神障害者	216	21.8	40.7	2.3	0.0	7.4	3.2	9.3	0.9	8.3
* 長時間補助の介助・援助者【介助・援助あり】	全体	その他	無回答							
身体障害者	1,242	2.3	1.8							
知的障害者	303	2.0	1.0							
精神障害者	216	4.2	1.9							

* 介助・援助場面【介助・援助あり】	全体	食事をするとき	トイレのとき	入浴するとき	衣服の着脱をするとき	家の中の移動をするとき	家事(調理、掃除、洗濯)をするとき	外出するとき	服薬するとき	生命維持に関わる特別な介助のとき
身体障害者	1,242	21.7	23.8	40.6	31.2	18.0	40.7	55.0	22.9	9.7
知的障害者	303	36.0	37.0	50.8	37.6	12.9	48.5	66.7	50.8	14.9

* 介助・援助場面【介助・援助あり】	全体	他の人と意思疎通を図りたいとき	金銭管理をするとき	その他	無回答					
身体障害者	1,242	12.2	22.8	6.7	19.6					
知的障害者	303	46.9	68.0	9.2	5.9					

* 日常の補助【介助・援助あり】	全体	部屋の整理・整頓・掃除	衣類の洗濯	日用品の買い物	食事のしたく	服薬	他の人と意思疎通を図りたいとき	金銭の管理	その他	無回答
精神障害者	216	42.6	40.3	41.7	52.3	26.9	19.0	40.7	14.8	12.5

* 介助・援助支援【介助・援助あり】	全体	同居している他の家族に頼みたい	同居していない家族や親せきに頼みたい	介護などを行うホームヘルプサービスを利用したい	施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい	近所の人や友人・知人に頼みたい	ボランティアに頼みたい	今までそのようなことはなかったもので、よくわからない	その他	無回答
身体障害者	1,242	18.0	15.9	25.8	17.0	4.3	6.3	17.2	6.5	20.4
知的障害者	303	36.6	11.9	28.4	38.0	3.6	11.2	14.2	7.3	7.6
精神障害者	216	11.6	12.0	19.4	7.4	6.0	10.2	28.7	17.1	15.3

* 必要な介助・援助	全体	特に、介助・援助を必要としていない	必要とする介助・援助は受けられていると思う	必要だが、受けられていない介助・援助がある	その他	無回答
身体障害者	2,064	38.5	35.6	8.4	2.0	15.5
知的障害者	350	22.0	50.0	12.9	2.3	12.9
精神障害者	311	23.8	44.7	18.0	3.5	10.0

4. 日中の過ごし方について

* 日中の行動	全体	幼稚園や保育園、学校などに通っている	働いている（授産施設・福祉作業所なども含む）	病院・施設などで看護・介護・訓練を受けている	障害者地域生活支援センターに通っている	病院・診療所のデイケアに通っている	自宅にすることが多い	その他	無回答
身体障害者	2,064	2.6	14.6	10.4	2.0		60.4	6.0	4.0
知的障害者	350	27.7	36.3	12.6	7.4		13.4	1.7	0.9
精神障害者	311	3.2	17.7		3.5	14.1	49.2	9.0	3.2

5. 教育について

* 通園・通学先【該当者】	全体	幼稚園	保育園	通園施設	特別支援学校	特別支援学級	通常の学級	職業訓練校	専門学校・大学	その他
身体障害者	53	1.9	5.7	0.0	43.4	7.5	28.3	3.8	7.5	1.9
知的障害者	97	1.0	5.2	2.1	59.8	25.8	3.1	0.0	1.0	2.1
* 通園・通学先【該当者】	全体	無回答								
身体障害者	53	0.0								
知的障害者	97	0.0								
* 通園・通学に際し充実してほしいこと【該当者】	全体	通いやすくしてほしい（通学手段の改善など）	施設・設備などを充実させてほしい	介助体制を充実させてほしい	先生・生徒の理解などが深まってほしい	放課後の居場所づくりを充実させてほしい	夏休みなど長期休みの際の取組みを充実させてほしい	その他	特に困っていることはない	無回答
身体障害者	53	26.4	45.3	17.0	34.0	22.6	37.7	15.1	13.2	1.9
知的障害者	97	34.0	34.0	25.8	37.1	52.6	63.9	19.6	7.2	3.1

6. 雇用・就労について

* 仕事の形態	全体	自営業	家業の手伝い	会社・団体等の正規の職員、役員	臨時、日雇い、パート、嘱託等	内職	福祉作業所（共同作業所）、授産施設など	その他	無回答
身体障害者	302	17.2	0.7	46.0	22.8	0.0	5.6	3.0	4.6
知的障害者	127	0.8	0.0	15.7	22.8	0.0	49.6	4.7	6.3
精神障害者	55	3.6	0.0	10.9	23.6	1.8	52.7	1.8	5.5

* 職場所在地	全体	練馬区内	東京都内	東京都外	無回答
身体障害者	302	36.1	53.0	7.3	3.6
知的障害者	127	55.1	25.2	11.0	8.7
精神障害者	55	63.6	29.1	5.5	1.8

* 年収	全体	5万円未満	5万円～20万円未満	20万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～400万円未満	400万円～700万円未満	700万円以上	収入はない	無回答
身体障害者	302	3.6	6.6	6.0	10.9	39.7	16.9	8.6	2.3	5.3
知的障害者	127	16.5	34.6	5.5	15.0	19.7	0.8	0.0	0.8	7.1
精神障害者	55	32.7	18.2	7.3	3.6	23.6	7.3	0.0	3.6	3.6

* 就労の不安・不満	全体	収入が少ない	仕事が多い	仕事がついに	自分にあつた内容の仕事がない	1日の就労時間が長い	週あたりの就労日数が多い	職場の人間関係が難しい	職場での身分が不安定	トイレなど障害者用の設備が十分でない
身体障害者	302	31.1	3.0	12.3	4.3	10.6	5.0	9.9	7.3	2.3
知的障害者	127	39.4	3.9	2.4	5.5	1.6	0.8	7.9	3.9	3.1
精神障害者	55	45.5	5.5	14.5	14.5	1.8	1.8	36.4	18.2	

* 就労の不安・不満	全体	昇給や昇進が平等ではない	通勤が大変	その他	特に不安や不満はない	無回答
身体障害者	302	6.0	13.2	6.3	29.8	8.6
知的障害者	119	3.9	7.1	9.4	35.4	8.7
精神障害者	55	1.8	9.1	10.9	16.4	3.6

* 就労意向	全体	働きたい	働きたいが、働けないと思う	働きたくない	わからない	無回答
身体障害者	1,679	9.2	20.9	23.3	8.3	38.2
知的障害者	220	20.9	20.0	3.2	14.1	41.8
精神障害者	246	23.2	38.6	12.6	14.6	11.0
施設入所者	94	29.8	26.6	33.0		10.6

* 就労形態の希望	全体	自営業	家業の手伝い	会社・団体等の正規の職員、役員	臨時、日雇い、パート、嘱託等	内職	福祉作業所(共同作業所)、授産施設など	その他	無回答
身体障害者	506	10.7	3.2	8.1	18.8	9.7	6.3	9.5	33.8
知的障害者	90	1.1	1.1	31.1	4.4	2.2	26.7	14.4	18.9
精神障害者	152	7.2	5.9	17.1	29.6	7.2	12.5	10.5	9.9
施設入所者	53	0.0	3.8	9.4	7.5	5.7	43.4	15.1	15.1

* 就労の際の環境整備	全体	自分の家の近くに働く場があること	自分の家の中で、通勤することなく働けること	健康状態にあわせた働き方ができること	障害のある人に適した仕事が開発されること	就労支援および生活支援を行う機関が充実していること	事業主や職場の人たちが障害者雇用を理解していること	職場等が障害者も利用できるように配慮されていること	ジョブコーチの支援を受けながら働けること	同じ障害のある仲間と一緒、あるいは交替で働けること
身体障害者	2,064	36.4	20.9	43.0	31.4	25.2	36.0	26.0	12.8	15.0
知的障害者	350	37.4	5.4	22.3	44.9	41.4	48.0	24.9	32.3	22.3
精神障害者	311	42.8	19.6	57.6	36.7	35.7	45.3	24.4	19.9	20.9
施設入所者	94	31.9	13.8	43.6	52.1	39.4	37.2	31.9	27.7	22.3

* 就労の際の環境整備	全体	その他	わからない	無回答
身体障害者	2,064	3.3	7.6	26.5
知的障害者	350	3.7	6.0	28.0
精神障害者	311	6.8	9.6	11.6
施設入所者	94	2.1	20.2	4.3

7. 外出や社会参加の状況

* 外出頻度	全体	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に2~3日	ほとんど外出しない	その他	無回答
身体障害者	2,064	33.1	26.4	15.8	7.0	7.9	2.6	7.1
知的障害者	350	73.7	8.3	5.7	4.0	2.9	1.4	4.0
精神障害者	311	44.1	24.4	13.5	5.5	5.5	1.6	5.5

* 外出時の不満	全体	付添ってくれる人がいない	他人との会話が難しい	他人の視線が気になる	必要なときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない	歩道が狭く、道路に段差が多い	道路に放置自転車などの障害物が多く、歩きにくい	建物などに階段が多く、利用しにくい	車を駐車するところがない	気軽に利用できる移送手段が少ない
身体障害者	2,064	6.9	8.2	4.8	6.7	26.6	19.8	23.0	11.3	10.0
知的障害者	350	12.0	30.9	19.7	7.1	14.3	11.4	10.3	9.1	8.9
精神障害者	311	11.9	25.1	28.0	9.3					

* 外出時の不満	全体	電車やバスなどの交通機関を利用しづらい	障害者用のトイレが少ない	まちの看板などに工夫が足りない	その他	困っていることは特がない	無回答
身体障害者	2,064	16.1	15.7		7.8	24.2	16.6
知的障害者	350	15.4		3.7	7.1	22.0	15.4
精神障害者	311				17.7	31.8	12.5

* 活動状況	全体	スポーツやレクリエーション	旅行	買い物	ボランティア活動	障害者団体の活動	趣味などのサークル活動	講座や講演会などへの参加	地域の行事やお祭	その他
身体障害者	2,064	12.5	33.5	53.0	3.8	4.3	16.9	9.9	9.4	4.8
知的障害者	350	35.1	56.3	62.0	2.9	17.7	16.3	3.4	25.7	5.7
精神障害者	311	18.6	26.7	66.2	4.5	5.5	14.8	12.2	9.6	10.3

* 活動状況	全体	特に何もしていない	無回答
身体障害者	2,064	23.1	9.8
知的障害者	350	12.3	6.3
精神障害者	311	16.1	4.8

* 希望の活動	全体	スポーツやレクリエーション	旅行	買い物	ボランティア活動	障害者団体の活動	趣味などのサークル活動	講座や講演会などへの参加	地域の行事やお祭	その他
身体障害者	2,064	15.6	45.6	31.3	7.4	6.3	25.9	14.9	10.0	4.0
知的障害者	350	42.6	60.3	48.0	7.1	12.9	26.6	4.6	28.6	4.6
精神障害者	311	21.9	39.2	39.5	11.6	8.4	24.8	16.1	10.3	8.0
施設入所者	94	30.9	50.0	67.0	6.4	3.2	37.2	6.4	44.7	3.2

* 希望の活動	全体	特に活動したくない	無回答
身体障害者	2,064	14.8	16.8
知的障害者	350	8.6	11.1
精神障害者	311	17.4	7.7
施設入所者	94	8.5	4.3

* 活動に必要な支援	全体	活動についての情報が提供されること	一緒に行く仲間がいること	活動する場所が近くにあること	外出のための手段が確保されていること	魅力的な内容であること	適切な指導者がいること	障害のある人に配慮した施設や設備があること	介助者・援助者がいること	その他
身体障害者	2,064	23.4	22.3	24.7	19.9	21.3	16.6	28.5	20.5	2.8
知的障害者	350	36.9	44.9	36.9	29.7	23.7	44.9	40.9	45.1	0.9
精神障害者	311	31.8	32.8	35.7	17.4	34.1	26.4	28.6	13.2	5.1
施設入所者	94	40.4	44.7	39.4	51.1	31.9	45.7	53.2	62.8	0.0
* 活動に必要な支援	全体	特にない	無回答							
身体障害者	2,064	14.6	20.4							
知的障害者	350	7.1	13.7							
精神障害者	311	13.2	16.1							
施設入所者	94	4.3	6.4							

* 近所付き合いの状況	全体	積極的に 行っている	必要に応じて 行っている	あいさつ程 度はしている	ほとんど 行っていない	無回答
身体障害者	2,064	5.8	27.4	45.1	11.6	10.0
知的障害者	350	5.7	15.7	49.4	24.3	4.9
精神障害者	311	2.9	11.3	54.0	26.7	5.1

8. 健康状態や医療について

* 健康診断の有無	全体	受けた	受けていない	無回答
身体障害者	2,064	70.7	24.0	5.2
知的障害者	350	83.7	15.1	1.1
精神障害者	311	57.6	38.3	4.2

* 健康診断未受診理由【未受診者】	全体	忙しくて受ける暇がないから	日曜・休日・平日夜間などに受けられる場所がないから	健康診断が受けられる医療機関を知らないから	障害のため外出するのが難しいから	介助者に負担がかかるから	期日を忘れた・気がつかなかったから	現在、通院しているから	自分には必要ないから	その他
身体障害者	496	4.4	3.4	3.6	12.3	4.8	5.4	62.5	5.4	19.2
知的障害者	53	9.4	17.0	15.1	15.1	15.1	3.8	26.4	11.3	28.3
精神障害者	119	5.9	3.4	10.1	19.3	3.4	14.3	37.8	10.9	25.2

* 健康診断未受診理由【未受診者】	全体	無回答
身体障害者	496	3.4
知的障害者	53	3.8
精神障害者	119	2.5

* 健康管理や医療で困っていること	全体	特に、困ったことはない	近所に診てくれる医師がいない	専門的な治療を行う医療機関がない	通院や健康診断のときに付き添いがいない	往診を頼める医者がいない	歯科診療を受けられない	定期的に健康診断を受けられない	症状が正確に伝わらず必要な治療を受けられない	医療機関とのコミュニケーションがとれない
身体障害者	2,064	39.8	5.1	5.8	3.9	5.4	3.1	1.6	3.5	3.1
知的障害者	350	34.9	7.1	10.3	4.9	5.7	5.1	1.7	13.4	7.4
精神障害者	311	30.2	9.3	4.2	4.8	5.5	4.5	4.5	8.4	9.3

* 健康管理や医療で困っていること	全体	受診手続きなど、障害のある人へ配慮が不十分	医療機関の建物が障害のある人に配慮した構造ではない	医療費の負担が大きい	その他	無回答
身体障害者	2,064	5.2	5.7	13.6	5.0	25.4
知的障害者	350	8.6	4.0	7.4	6.9	25.7
精神障害者	311	8.7	2.9	20.9	10.0	20.9

9. 相談や情報入手について

* 家族以外の相談先	全体	総合福祉事務所の相談窓口	保健相談所(保健師など)	障害者地域生活支援センター	権利擁護センター	民生委員・児童委員	身体障害者・知的障害者相談員	児童相談所	福祉施設の職員	病院・診療所
身体障害者	2,064	15.0	1.9	4.3	0.2	0.8	1.6	0.0	6.0	23.2
知的障害者	350	24.6	2.9	5.7	1.1	0.0	7.1	1.1	26.0	19.7
精神障害者	311	14.1	16.1	6.8	0.3	1.3	0.6	0.6	8.7	46.0
施設入所者	94	10.6	1.1	0.0	0.0	2.1	1.1	2.1	69.1	13.8

* 家族以外の相談先	全体	学校の先生や職場の仲間	障害者団体	友人・知人	その他	相談できる場所はない	誰かに相談することはまれである	無回答
身体障害者	2,064	2.7	1.5	23.3	4.9	7.2	16.8	19.4
知的障害者	350	15.4	6.0	20.0	8.6	6.3	13.4	11.4
精神障害者	311	2.6	2.9	28.3	13.5	6.8	7.7	6.1
施設入所者	94	5.3	2.1	16.0	5.3	0.0	9.6	9.6

* 相談方法	全体	直接あつて話す	電話で話す	手紙を書く	メール(パソコン・携帯電話)を書く	その他	無回答
精神障害者	311	59.5	16.1	0.6	1.9	7.4	14.5

* 障害福祉サービスの情報源	全体	ねりま区報	区のホームページ	総合福祉事務所・保健相談所	障害者地域生活支援センター	学校、職場、施設	病院など	民生委員・児童委員	障害者団体	家族、親せき
身体障害者	2,064	50.1	6.8	17.0	5.3	3.6	12.9	0.9	5.1	10.8
知的障害者	350	40.0	3.7	23.7	9.4	28.6	6.3	0.3	17.1	12.9
精神障害者	311	26.7	3.5	19.9	9.3	4.5	29.9	0.6	2.3	11.9
施設入所者	94	8.5	1.1	7.4	0.0	45.7	1.1	2.1	2.1	11.7

* 障害福祉サービスの情報源	全体	友人、知人	その他	わからない	無回答
身体障害者	2,064	10.9	4.6	10.2	12.1
知的障害者	350	25.4	2.3	12.0	9.4
精神障害者	311	11.3	7.7	17.4	6.8
施設入所者	94	5.3	3.2	31.9	10.6

* コミュニケーションの際の手段・機器	全体	パソコンのメール	携帯のメール	点字器	録音機器(視覚障害者用ポータブルレコーダー等)	携帯用会話補助装置	活字文章読み上げ装置	手話・手話通訳	談話	筆談・要約筆記
身体障害者	2,064	12.5	21.0	0.6	0.9	0.3	0.4	2.1	2.5	3.2

* コミュニケーションの際の手段・機器	全体	補聴機器(補聴器・人工内耳など)	その他	特に利用している機器はない	無回答
身体障害者	2,064	7.9	5.5	45.0	17.7

* 必要な情報取得手段	全体	点字による情報提供を増やす	音声による情報提供を増やす	パソコン・携帯メールによる情報提供を増やす	手話通訳・要約筆記を充実させる	公共施設案内・誘導をわかりやすくする	コミュニケーション支援機器を充実させる	コミュニケーション支援機器の種類・情報提供を増やす	その他	特にない
身体障害者	2,064	2.2	7.1	15.2	4.1	19.3	6.1	8.4	3.6	29.2

* 必要な情報取得手段	全体	無回答
身体障害者	2,064	32.4

10. 障害福祉サービスについて

* 障害福祉サービス利用状況	全体	ホームヘルプなどの訪問系サービス	短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護	障害者地域生活支援センター	補装具の支給・修理	日常生活用具の給付	住宅設備改善費の給付	タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成	移動支援	訪問入浴サービス
身体障害者	2,064	16.3	6.1		16.0	10.0	4.3	38.6	5.5	4.4
知的障害者	350	8.9	16.9		6.6	3.7	0.3	29.4	21.4	2.0
精神障害者(※)	271	15.5	4.8	15.1						
* 障害福祉サービス利用状況	全体	福祉作業所・福祉園などの日中活動系サービス	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	児童デイサービス・日中一時支援・幼児教室など	病院や診療所のデイケア	手話通訳者・要約筆記者の派遣	その他	1～12のようなサービスは利用したことはない	無回答	
身体障害者	2,064	2.0	1.2	0.9		1.4	3.1	29.6	10.5	
知的障害者	350	28.3	4.6	12.6		0.0	2.0	32.6	8.9	
精神障害者(※)	271	15.1	4.4		31.4		11.4	33.6	4.4	

※精神障害者の数値は、精神障害者調査における再調査結果である。

* 継続利用したい障害福祉サービス	全体	ホームヘルプなどの訪問系サービス	短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護	障害者地域生活支援センター	補装具の支給・修理	日常生活用具の給付	住宅設備改善費の給付	タクシー料金の助成、自動車燃料費の助成	移動支援	訪問入浴サービス
身体障害者	2,064	20.2	13.0		22.9	17.8	15.7	50.6	12.0	6.4
知的障害者	350	15.4	34.3		11.7	10.0	7.1	35.7	34.6	4.9
精神障害者(※)	271	25.8	11.4	20.3						
* 継続利用したい障害福祉サービス	全体	福祉作業所・福祉園などの日中活動系サービス	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス	児童デイサービス・日中一時支援・幼児教室など	病院や診療所のデイケア	手話通訳者・要約筆記者の派遣	その他	1～12のようなサービスは利用したことはない	無回答	
身体障害者	2,064	3.2	3.1	1.6		2.0	3.3	12.9	15.7	
知的障害者	350	32.0	16.6	18.9		0.0	3.7	14.0	14.9	
精神障害者(※)	271	21.4	10.7		33.2		12.2	18.1	8.1	

※精神障害者の数値は、精神障害者調査における再調査結果である。

* サービスの利用状況	全体	十分、利用できていると思う	十分ではないが、ほぼ利用できていると思う	あまり、利用できていないと思う	その他	わからない	今のところサービスを利用する必要がない	無回答		
身体障害者	2,064	12.7	26.6	19.6	1.2	12.4	17.3	10.2		
知的障害者	350	10.3	30.9	25.1	0.9	14.0	12.3	6.6		
精神障害者	311	11.9	24.4	24.1	1.6	19.3	14.1	4.5		
* サービスを利用できない理由	全体	自己負担が大きく、利用できないから	支給要件に該当しないから	必要とするサービスがないから	どのようなサービスがあるかわからないから	利用の仕方がわからないから	対応できる事業者がないから	その他	わからない	無回答
身体障害者	405	23.5	20.2	13.1	34.1	26.7	7.4	9.6	4.4	5.7
知的障害者	88	20.5	26.1	15.9	38.6	29.5	26.1	12.5	3.4	5.7
精神障害者	75	21.3	14.7	16.0	41.3	49.3	12.0	8.0	5.3	5.3

11. 将来について

* 日中の過ごし方(将来)	全体	自宅で過ごしたい	今いる施設で過ごしたい	家族がいる場所で過ごしたい	一般企業などで働きたい	福祉作業所(共同作業所)等で働きたい(福祉的就労)	就労のための訓練・支援を受け、企業就労を目指したい	自立訓練・生活訓練などを受けて過ごしたい	医療機関で機能訓練、看護などを受けながら過ごしたい	福祉園などの通所施設で介護を受けながら活動したい
身体障害者	2,064	50.8			8.8	2.4	2.3	7.0	9.0	6.1
知的障害者	350	15.7			23.1	24.6	19.4	23.4	6.9	26.6
精神障害者	311	46.6			21.2	9.6	11.6	15.4	9.3	3.2
施設入所者	94		57.4	31.9	6.4	13.8	0.0	6.4	6.4	10.6

* 日中の過ごし方(将来)	全体	学校に通いたい	その他	わからない	無回答
身体障害者	2,064	2.0	6.5	6.2	20.0
知的障害者	350	7.7	4.9	4.9	10.0
精神障害者	311	7.1	11.9	7.4	6.8
施設入所者	94	5.3	3.2	11.7	1.1

* 将来の居住場所	全体	ひとりで暮らしたい	家族と一緒に暮らしたい	グループホーム・ケアホームで暮らしたい	施設に入所して暮らしたい	病院に入院して暮らしたい	その他	わからない	無回答
身体障害者	2,064	10.5	57.7	2.3	5.2	1.3	1.7	8.4	12.9
知的障害者	350	8.0	47.7	13.4	10.0	1.1	1.1	11.4	7.1
精神障害者	311	24.8	46.9	3.5	4.2	2.6	6.4	6.8	4.8
施設入所者	94	5.3	26.6	11.7	39.4	0.0	1.1	14.9	1.1

* 必要な支援や環境	全体	日常生活ができるための訓練をすること	施設や病院以外で暮らす体験ができること	障害者向け公営住宅、グループホームなどの住宅の充実	アパート等の入居時に保証人になってくれる人がいる	自宅の改修	家族の理解があること	介助者がいること	働いて収入を得られる、収入額が増えること	地域住民が障害・障害者に理解があること
施設入所者	94	35.1	24.5	23.4	6.4	8.5	28.7	53.2	11.7	23.4

* 必要な支援や環境	全体	困ったときに相談できる人がいること	ホームヘルパーなどの福祉サービスが受けられること	休日・夜間の緊急時に受診できる医療機関が身近にある	その他	特になし	無回答
施設入所者	94	27.7	22.3	26.6	5.3	9.6	21.3

* 継続居住意向	全体	住みつづけたと思う	住みつづけたと思わない	わからない	無回答
身体障害者	2,064	76.1	1.3	13.1	9.6
知的障害者	350	72.3	1.7	20.0	6.0
精神障害者	311	66.2	5.5	24.8	3.5
施設入所者	94	47.9	2.1	47.9	2.1

12. 災害対策や消費者被害について

* 避難場所の認知状況	全体	知っている	知らない	無回答
身体障害者	2,064	67.6	24.3	8.1
知的障害者	350	54.3	42.0	3.7
精神障害者	311	50.5	45.0	4.5

* 自力避難の可否【認知者】	全体	できると思う	できないと思う	その他	無回答
身体障害者	1,396	55.2	39.1	3.9	1.8
知的障害者	190	52.6	42.6	4.7	0.0
精神障害者	157	69.4	20.4	10.2	0.0

* 災害に必要な対策	全体	避難しやすい避難所を整備する	避難訓練等への参加ができるようにする	日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う	緊急通報システムを整備する	地域で助け合える体制を整備する	避難時の障害者用設備(トイレ、ベッド等)を配置する	避難時の生命安全・維持装置を確保する	視覚障害者や聴覚障害者に配慮した情報提供を行う	避難時の介助人などを確保する
身体障害者	2,064	38.5	9.7	28.6	24.1	29.2	36.4	18.5	18.0	28.2
知的障害者	350	42.6	19.4	33.7	20.9	43.7	35.7	10.3	12.3	38.6
精神障害者	311	39.9	13.8	37.3	24.4	35.7				

* 災害に必要な対策	全体	避難所での手話通訳者、ガイドヘルパーなどを確保する	避難所で補装具等の貸出しを行う	その他	特になし	無回答
身体障害者	2,064	11.4	16.6	3.6	6.2	19.4
知的障害者	350	13.4	10.3	8.6	8.3	11.1
精神障害者	311			5.5	9.6	12.2

* 消費者被害トラブルの経験	全体	特に、被害・トラブルにあったことはない	不当に高額・不必要な住宅リフォーム工事をされた	訪問販売で高額な商品(布団、呉服など)を買わされた	支払い能力を超える多額の債務を負担させられた	知らないあいだに借金の保証人にされていた	振り込め詐欺にあった	その他	無回答
身体障害者	2,064	67.7	2.6	4.2	0.3	0.1	6.7	2.9	17.7
知的障害者	350	78.6	1.1	1.4	0.6	0.0	1.4	3.1	14.0
精神障害者	311	57.9	5.1	10.0	3.9	0.0	9.0	8.0	11.3

* 消費者被害トラブル時の相談先	全体	総合福祉事務所の相談窓口	保健相談所(保健師など)	障害者地域生活支援センター	権利擁護センター	民生委員・児童委員	身体障害者・知的障害者相談員	児童相談所	福祉施設の職員	病院・診療所
身体障害者	300	5.3	0.3	2.3	1.0	1.0	1.3	0.0	1.3	1.0
知的障害者	26	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	3.8	3.8
精神障害者	96	7.3	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	9.4

* 消費者被害トラブル時の相談先	全体	学校の先生や職場の仲間	障害者団体	友人・知人	消費者センター	警察	その他	相談はしなかった	無回答
身体障害者	300	0.7	0.7	11.3	10.7	29.3	21.0	31.0	6.0
知的障害者	26	11.5	0.0	3.8	11.5	26.9	34.6	19.2	7.7
精神障害者	96	0.0	1.0	12.5	11.5	24.0	22.9	29.2	4.2

13. 差別や人権侵害について

* 差別や人権侵害を感じる頻度	全体	ほとんど感じることはない	たまに感じる	いつも感じる	わからない	無回答
身体障害者	2,064	52.9	19.5	4.2	10.0	13.4
知的障害者	350	19.7	41.1	14.0	19.1	6.0
精神障害者	311	27.0	39.2	12.9	14.8	6.1
施設入所者	94	22.3	19.1	5.3	50.0	3.2

* 障害に対する地域の理解度	全体	理解を、十分得られていると感じる	理解を、時々得られていないと感じる	理解を、あまり得られていないと感じる	理解を、得られていないと感じる	わからない	無回答
身体障害者	2,064	17.7	15.1	11.0	4.9	30.2	21.0
知的障害者	350	10.9	20.3	18.6	13.4	28.9	8.0
精神障害者	311	8.7	14.8	17.0	19.9	33.1	6.4

14. 障害者施策全般について

* 充実してほしい障害者施策	全体	障害の早期発見・早期療育に努めること	障害者との交流を推進し、相互理解を深めること	障害のある子どもたちの可能性を伸ばすような教育	障害者の働く場や働き続けるための支援の充実を図ること	在宅生活支援サービスを充実させること	区内で利用できる施設を整備すること	障害者や高齢者に優しい「福祉のまちづくり」の推進	障害者の住まいの場（公営住宅など）を整備すること	文化、スポーツ等の活動に参加できるように支援すること
身体障害者	2,064	23.1	21.7	24.7	29.3	28.3	27.7	43.7	23.6	14.7
知的障害者	350	37.1	48.0	52.9	58.9	32.3	43.7	53.1	51.7	30.0
精神障害者	311	36.7	31.5	21.9	41.2	30.5	32.2	37.3	27.7	19.9
施設入所者	94	24.5	33.0	33.0	28.7	23.4	41.5	31.9	30.9	26.6

* 充実してほしい障害者施策	全体	障害のある当事者による活動を支援すること	ボランティア活動を充実させること	障害者施策や福祉に関する情報提供を充実させること	相談体制を充実させること	その他	特になし	無回答
身体障害者	2,064	15.0	12.7	30.2	23.1	3.2	7.8	19.1
知的障害者	350	25.4	22.9	45.7	48.6	4.6	4.3	7.1
精神障害者	311	20.9	13.2	37.3	37.3	8.0	7.7	10.9
施設入所者	94	22.3	22.3	24.5	29.8	5.3	14.9	12.8

15. 障害の表記について

* 障害の表記	全体	障害	障がい	障得	その他	こだわりはない(どれでもよい)	わからない	無回答
身体障害者	2,064	21.0	6.6	1.7	1.8	44.2	11.4	13.1
知的障害者	350	16.9	14.6	2.6	4.3	34.3	19.4	8.0
精神障害者	311	23.2	8.0	1.3	3.5	28.3	24.8	10.9
施設入所者	94	3.2	10.6	1.1	5.3	23.4	53.2	3.2

* 障害表記の選択理由	全体	見慣れているから	わかりやすいから	差別感や不快感を感じないから	本来はそう書くべきだから	表記だけ変えても意味がないから	その他	無回答
身体障害者	2,064	15.4	15.2	17.0	7.8	29.4	1.8	29.7
知的障害者	350	14.3	11.4	17.1	8.3	30.6	6.3	27.7
精神障害者	311	13.2	6.1	12.2	5.1	21.2	6.4	44.7
施設入所者	94	6.4	10.6	12.8	4.3	16.0	5.3	58.5

16. 介助・援助者の意向

* 介助・援助時の問題点【介助・援助を受けている人】	全体	介助・援助の方法がわからない	福祉サービス等の情報が不足している	福祉サービス等が十分に利用できない	余暇など自分の時間が持てない	ちょっとした外出ができない	仕事に出られない	長期的な外出ができない	睡眠が不足している	身体的な負担が大きい
身体障害者	1,242	4.5	13.5	11.0	15.8	8.9	4.9	24.2	11.1	18.4
知的障害者	303	4.3	21.5	19.5	28.7	18.8	15.5	36.3	19.8	26.1
精神障害者	216	6.5	13.9	9.3	8.8	4.6	5.1	16.2	13.0	10.2
* 介助・援助時の問題点【介助・援助を受けている人】	全体	年齢的に負担が大きい	孤独感がある	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	他にも介助に必要な家族・親族がいる	他の家族の援助が足りない	隣近所の人との関係作りが難しい	何かの際に相談や介助を頼める人がいない	その他
身体障害者	1,242	24.3	6.5	21.6	18.1	6.8	3.9	5.1	10.0	2.3
知的障害者	303	30.0	16.5	43.6	23.1	10.6	5.0	14.9	22.1	3.3
精神障害者	216	19.0	9.7	28.2	22.7	6.9	5.1	9.3	13.0	1.4
* 介助・援助時の問題点【介助・援助を受けている人】	全体	特になし	無回答							
身体障害者	1,242	11.6	32.9							
知的障害者	303	11.2	12.9							
精神障害者	216	7.9	42.6							

* 将来の居住場所の希望【介助・援助を受けている人】	全体	家族から離れて、ひとりで暮らしてほしい	現在の家族と一緒に暮らしてほしい	新しい家族を作って家族と一緒に暮らしてほしい	グループホーム・ケアホームで暮らしてほしい	施設に入所して暮らしてほしい	病院に入院して暮らしてほしい	その他	わからない	無回答
身体障害者	1,242	1.8	39.9	2.2	2.3	8.6	2.8	1.9	7.3	33.3
知的障害者	303	4.0	27.7	5.6	23.4	18.2	1.0	1.7	5.9	12.5
精神障害者	216	5.1	28.2	6.0	3.7	3.7	1.9	1.4	8.8	41.2

* 今後、施設を出て地域で暮らせる可能性	全体	条件が整えば可能だと思える	難しいと思う	その他	わからない	無回答
施設入所者	94	34.0	56.4	0.0	6.4	3.2

* 地域で暮らすために必要な支援・環境【地域でくらすことが可能】	全体	日常生活ができるための訓練をすること	施設や病院以外で暮らす体験ができること	障害者向け公営住宅、グループホームなどの住宅の充実	アパート等の入居時に保証人になってくれる人がいる	自宅の改修	家族の理解があること	介助者がいること	働いて収入を得られる、収入額が増えること	地域住民が障害・障害者に理解があること
施設入所者	32	50.0	37.5	78.1	6.3	6.3	46.9	78.1	34.4	62.5
* 地域で暮らすために必要な支援・環境【地域でくらすことが可能】	全体	困ったときに相談できる人がいること	ホームヘルパーなどの福祉サービスが受けられること	休日・夜間の緊急時に受診できる医療機関が身近にある	その他	特になし	無回答			
施設入所者	32	62.5	43.8	46.9	0.0	0.0	0.0			

* 地域での暮らし【地域で暮らすことが可能】	全体	ひとりで暮らすとよいと思う	いまの家族と一緒に暮らすとよいと思う	グループホームなどでの共同生活を始めるとよいと思う	その他	無回答
施設入所者	32	9.4	6.3	71.9	6.3	6.3

障害者基礎調査報告書

平成23年(2011年)1月

編集・発行 練馬区健康福祉事業本部福祉部障害者施策推進課

東京都練馬区豊玉北6丁目12番1号

電話 3993-1111 (内 6371)

5984-4602 (直通)

FAX 5984-1215

集計・分析 株式会社 インテージ

東京都千代田区神田練塀町3番地 インテージ秋葉原ビル

電話 5294-0111 (代表)



古紙配合率70%再生紙を使用しています